サクvsミルコ、吉田vsホイス!! 8・28国立は、「ん〜〜ダイナマイッ!!」

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

紙のプロレス RADICAL

52
2002

灼熱の格闘技大戦に大肉迫!!

8・8ドーム、大ダッチロール!!
but見えない鎖を引きちぎれ!!

行けーッ 小川アアアッ!!（破壊王調）

"政治力"の正体とは何か!?
8・8に"あの小川"が出現!!
小川直也

寝技世界一決定戦に飛来!!
A・R・ノゲイラ

ブラジル特訓独占スクープ!!
村上和成

「日本vs世界の強豪」三昧!!
8・8『LEGEND』直前情報!!

格闘技が国立競技場初進出!!
"史上最大の格闘技ワールドカップ"実現!!
8・28『Dynamite!』灼熱の情報&噂!!

"プロレスラー・ハンター"ミルコ戦に出陣!!
桜庭和志、遂に復活!!

柔道vs柔術が歴史的大決戦!!
吉田秀彦、遂にデビュー!!

あの試合が語りかけたものは何か!?
高山善廣

USAの渡世人が、たっぷり語る!!
ドン・フライ

再生!! 悪夢から美濃輪育久戦へ!!
田村潔司

"暗黒肉弾大魔人"に最強説浮上!!
ボブ・サップ

変幻自在の大ギャンブルへ!!
武藤敬司

両国を大総括や!!
橋本真也

「トゥーッ!!」の素顔を暴露!!
Mr.フレッド

仰天! ヒョードルに続いて
コピィロフが『PRIDE』参戦か!?
ロシアン・トップチーム

紙のプロレスRADICAL NO.52
待ったなし!!
発売元：(株)ソニーマガジンズ 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188

8・8 UFO『LEGEND』TOKYO DOME

NAOYA OGAWA vs MATT GHAFFARE

「私とテレビ局が決めました!!
小川には了承は取っていませんが、
必ずやらせます!!」

――UFO・川村社長が、小川直也の相手に
選んだ男のことを、我々はもっと知る必要がある!!

その男の名は

マット・ガファリ

ズバリ言って、小川がヤバイ!!

プロの世界では無名だが、
この男、正真正銘強豪につき!!

アトランタ五輪・レスリング銀メダリスト!!
ワールドカップ4回、パンアメリカン4回優勝!!
グレコの雄だが、フリースタイルも実績十分!!
ランディ・クウートァーらと合流し、VTも習得済み!!

「私とテレビ局が決めました。小川には了承は取っていませんが、必ずやらせます!!」
7月17日、UFO・川村龍夫社長は小川直也の対戦相手であるマット・ガファリの名を発表し、怒気を強めてそう言い放った。さすがUFOだけに、8・8『LEGEND』に関しては、さまざまな〝未確認飛行情報〟が乱れ飛んだが、メインに出場する小川の対戦相手まで〝未確認〟とは、これには報道陣も驚いた。

このガファリの名前を聞いてピンとくるのはアマレス関係者かマニアぐらいで、それ以外の人は、「どこのウマの骨だァ!?」「ノゲイラやミルコやアーツじゃないのか?」「飛んだ一杯食わせものかァ!?」「金魚?」と訝しげに思った人が多いだろう。

しかし、このガファリは「ウマの骨」どころか、あのアレキサンダー・カレリンのロッ骨二本を折ったことのある、グレコローマンの超強豪レスラー。「彼に勝つにはゴリラにレスリングをやらせるしかない」と言われるほどの強さを誇ったカレリンを恐れ、自ら試合を放棄するレスラーが続出したなかで、ただ1人真っ向から挑んだ勇気ある戦士がガファリなのだ。

ガファリは、カレリンとは5度対戦。そのうち91年と98年の世界選手権、96年のアトランタ五輪で決勝を争っている。特に、アトランタ五輪での決勝戦では、「全盛期のカレリンが最も苦しんだ」と言われる激戦を展開し、僅差の判定負け。勇気だけではなく、レスリングの実力でカレリンに肉迫していたのだから、月並みな言い方をすれば〝ホンモノ〟だ。

肉体的にも「130キロもあって、あんなに均整の取れた身体を持った人間は見たことがない」と絶賛されるカレリンよりは太いが、ともかくゴツイ!

プロ&総合デビュー戦だけに、総合ルールでどこまで通用するかは、まさしく〝未確認〟ではある。しかし、グレコ出身のMMA（アメリカでの総合の呼び名）ファイターといえば、UFC王者に就いたことのあるランディ・クートゥアー、KOK王者に輝いたダン・ヘンダーソンなどを排出し、その適応力は存分に証明されている。

加えて、タチの悪いことにこの男、投げ、差し合いで力を発揮するグレコだけではなく、フリースタイルでもパンアメリカン選手権を2度制覇している。下半身へのタックルなども世界レベルの技術を持っていることは十分に考えられるのだ。小川でもテ

カレリンが苦しんだ顔をするのはめったに見れないが、ガファリはどの試合もカレリンを追い込んだ。カレリンのロッ骨を折ったときの試合が下の写真だ。このパワー&テクに加え、VTの練習もしているというから怖い

カレリンのロッ骨を折り、〝カレリンの最大のライバル〟と呼ばれた男

デカイ！ゴツイ！
テク、全然あり！
パワー、当然あり！

小川、最大のピンチ!! 見てみ、この顔!! このカラダ!!

世界最強伝説
LEGEND
UFO

イクダウンを取るのは至難の技だろう。
　これだけでも驚異なのだが、ふだんからクートゥアーらとMMAの練習にも余念がないという話も伝わってきている。小川が逆にテイクダウンを取られた場合、驚異の肉体＆パワーから振り下ろされる鉄槌の餌食にならないとも限らない。オマケに、クートァーやアンダーソンが得意とする、スタンドで相手の首根っこを抱えてのアッパーカットを習得していたなんて日にゃあ、小川が白目を剥いて失神するという、まさにLEGENDな光景が立ち昇る気配まで十分漂ってきているのだ。
　いや、ズバリ言おう。小川がヤバイ！
　さらに、アトランタ五輪開催中に勃発した爆発テロでは、選手としては一番真っ先に病院に駆けつけ負傷者を見舞うなど、多大な愛国心に溢れている男で、歴代大統領を始めとしたアメリカ国民から尊敬されまくる名士としての顔も持っている。
　言うなれば、「カレリンを凌駕する巨体を持ち、マーク・ケアーばりのタックルを使い、クートゥアーを超える差し合いの強さを持ち、ドン・フライ以上の強面まで持つ。そして、カート・アングルもひれ伏す愛国心を胸に抱く男」が、このマット・ガファリなのだ。
　たしかに40歳という年齢だけにスタミナ面では不安を残すし、打撃にどこまで対応できるのかも未知だ。小川が突くならそこだろうが、ガファリは、同じシルバー・メダリストである「オガワとならゼヒ闘いたい」と言ったという。総合格闘家としては限られた時間がわずかなだけに、小川戦に懸けるそのモチベーションは計り知れないはずだ。正真正銘アメリカのスポーツヒーローであるガファリは、国の威信に賭けても勝利をドン欲に取りにくるだろう。
　ZERO―ONEというプロレスのリングでボッ発した日米決戦が、思わぬところに、しかもデンジャラスな形で飛び火してしまった。
　もう一度言う。ズバリ言って、この男、″金魚″じゃない！
　小川がヤバイ！

MATT GHAFFARE

プロフィール

1961年生まれ
193センチ、127キロ
所属／サンキスト・キッズ・レスリングクラブ

グレコローマン・レスリング 130kg級

- 89年・90年・91年・92年 94年・95年・96年 パンアメリカン選手権7回優勝
- 90年・91年・94年・95年 ワールドカップ4回優勝
- 92年バルセロナ五輪11位
- 96年アトランタ五輪銀メダル
- USカナダカップ4回優勝

フリースタイル・レスリング 130kg級

- 90年・92年 パンアメリカン選手権優勝

※その他に、USインターナショナル・オープン3回優勝、サンキスト・インターナショナル・オープン3回優勝、カナダカップ3回優勝

アメリカでは尊敬を集める英雄＆名士

正真正銘のアメリカン・スポーツ・ヒーローであるガファリは、クリントン前大統領、ブッシュ（父）前大統領とも笑顔で歓談し、エレガントなダンサーたちに囲まれてメダルを披露する。その力で栄光を勝ち取ってきた男だ

あのアリとも親交!!

あのモハメド・アリとも親交の深いガファリ。アリの自宅にまで遊びに行く仲という話だ。しかし、上のアリの首を抱えている腕の太さを見てみぃ！

「小川選手の希望で、『すべてガチンコで行きたい』と、このように申しておりました。どうぞよろしくお願いします」

いままでプロレス・格闘技、いや、全てのスポーツの会見において、『すべてガチンコで行きたい』などと宣言がされたのは、たぶん、これが初めてだろう。

8・8UFO『LEGEND』東京ドーム大会の幕開けは、UFO社長である川村龍夫氏の、この〝仰天発言〟から始まった！

6月27日に行われた大会開催決定記者会見を、『LEGEND』の主役でありながら〝体調不良〟を理由に欠席した小川直也。その小川の要望として、冒頭のコメントを川村社長は口にしたのだ。

この「ガチンコ発言」の意図については、『LEGEND』が〝プロレス〟とは一線を画す大会として、イメージ確立のためにブチ上げたと捉える向きもある。

しかし、昨年、小川の出場問題で紛糾した『猪木ボンバイエ』同様、『LEGEND』でも〝舞台裏の闘い〟を見せる小川に〝鎖〟を巻き付け、なんとかリングに立たせようとする川村社長のフライング発言だった可能性もある。

アントン総帥ですら手を焼く小川を強引にヒレ伏せさせようとするこの川村社長とは、アントン総帥曰く「ある意味では芸能界では大変恐れられているという、ボス的存在」で、テレビ局に多大な影響力を持つ超大物。先日、新日本プロレスの取締役に就いたことでも有名だ。小川がマット界から孤立しがちだったときも、小川が〝小川直也〟として存在できるのは、川村社長の後ろ盾があったのも大きい。

川村社長はその絶大な力を駆使し、『LEGEND』を日本テレビのゴールデンタイム生中継で放映することまで決定させた。肝心のマッチメイクに関しては、「猪木会長に全てお任せしてます」と、最初はゲタを預けた川村社長。大会の命運を任されたアントン総帥も「残すところ1ヵ月ちょっとしかありませんけども、『エッ！』って言うようなことを準備をしている最中なんですね。ムンフフ」と、バーリ・トゥード生中継という前代未聞のビック・プロジェクトに向けて、ブチ上げていた。

出場選手については、藤田、安田、菊田らの日本人勢に加え、早くからUFO搭乗が噂されていたノゲイラ、マリオ・スペーヒーらのブラジリアン・トップチームの参戦など、『PRIDE』にも劣らぬ豪華な参戦選手の発表となった会見。しかし、離陸早々、小川との不仲を感じさせ、そして衝撃の「ガチンコ発言」と、その怪飛行振りを満天下にさらけ出してしまったUFO『LEGEND』。大会3週間前にしてひとつもカードが発表されないダッチロール状態にまで陥る危機が訪れた！

さらに、7月17日に行われた2回目の会見のこと。小川の相手を発表するこの席には、川村社長、ノゲイラ（兄）戦が決定した菊田、そして〝尾崎の野郎〟ことパンクラス尾崎社長が出席。マット・ガファリなる〝未知の強豪〟との対戦が決定した小川も出席……しなかった。

小川、動かず！

メインイベントを務める選手が、2度も会見を欠席するイベントが、いままであったのだろうか？　ガファリにしてももっと早く発表していればマスコミもアオリがいのある強豪だ。何が起こったのか？

この会見では、「裏口から失礼します」と、いきなり非常口から事務所に姿を現した川村社長が、厳しい表情で「遂に対戦相手が決定しました。小川選手は知りませんが、でも、私が必ずやらさせます」と

選手の希望で ガチンコ で行きたいと申しております!!

この川村ボスのひと言で 8・8UFO『LEGEND』ようやく、離陸!!……

小川選
全て

力強いひと言！　記者陣から「小川選手と最近、お話はされてるんですか？」という質問に対しては、「話してません！」と厳しい口調で言い放った。またもやダッチロール！　メインカードが発表されたのにも関わらず、UFOは緊急不時着寸前か？と思わせるものだった。

　そして、その会見と同時刻の成田空港では、アメリカより来日したアントン総帥が、爆弾発言をブッ放した！

「俺はマッチメイクは本当にさわってないんで、俺の意向は一切入っていませんから」と、川村社長からマッチメイクを任されていたにも関わらず、『LEGEND』を"投げ"てしまったアントン総帥！

「まあ、いろいろあるようですけど、何か相談があればのります。たまたま何度か向こうのほうに電話があったようなんですけどね」とまるで人ごとであり、あげくのはてには「それぞれみんなやってみて、結果は結果で。皆さんまだ若いから、いろんな経験されたほうがいいだろうと。いつもこちらが取り越し苦労をしてしまったりね」……とくるから、もはや返す言葉もない。

　飛ぶのか、UFO？　小川は本当に動くのか!?

　アントン総帥の永久エネルギーで、『LEGEND』は生まれるのか？

『LEGEND』に参戦することで、反『PRIDE』連合に回った（？）パンクラス。この決断は吉と出るか、凶とでるか？　そして、パンクラスが『LEGEND』にもたらすものとは？

開催決定会見ではカード編成を任されながらも、いつの間にか、"投げ"てしまったアントン総帥。それでも8・8成功に向け動き出した情報も入ってきた！

俺はマッチメイクは触ってねぇですから

世界最強伝説
LEGEND
UFO

世界最強伝説
LEGEND
UFO

〝あの小川〟が
ドームのリングに立ち昇る

直也

8・8『LEGEND』で
“カレリン最大のライバル”
マット・ガファリ戦
強権決定!!

オーちゃんが「負けない」と言った“政治力”とは何か？

聞き手／山口日昇　撮影／森“モーリー”鷹博　designed by hisa（Two Three）

「PRIDE & K−1連合軍が相手？
それいいんじゃない？
敵がデカくて。
闘いがいがあるね」

小川

川村社長がオーちゃんの相手を〝未知すぎる強豪〟マット・ガファリと発表した翌日、地元・茅ヶ崎で張った。運よくいた！　掴まえた！　了承なしで対戦相手を発表されたオーちゃんは、いったいいま何を考えているのか。8・8はすぐそこだ！

小川　モーリー、メニュー！
モーリー　あ、す、すいません、き、気が利かないで。
小川　気が利かないねぇ、モーリー。目の前にいるんだからさぁ、気を配れよ。こっちはデリケートな仕事してんだから。今日はどうせあんまりしゃべりたくない話題なんだからさ。
――カメラマンのクセに（笑）。
小川　そう。カメラマンのクセに、カメラのセッティングなんかしてる場合じゃない！　メニューぐらい取れよ。まったく恥ずかしいカメラマンだ！
――「カメラマンなんだからメニューぐらい取れ！」（笑）。
小川　も〜う、嫌だね、ホントに。あ、モーリー、ケーキ食べなよ。
モーリー　いや、ぼ、ボクはけっこうです。
小川　食べろよ！　おいしいんだぞ、ここ。
モーリー　……は、はい。いただきます。
小川　頼めよ！
モーリー　な、なにがあるんですか？
小川　自分で見て決めろよ！
――さ、今回はこんなところでいいですか？（笑）。小川さん、そろそろ始めましょう。
小川　俺がなに話すんだよぉ。……ZERO―ONEの天下一武道会の話？
――天下一武道会は、まだなんにも決まってないんですよね？（笑）。

プレデターとの金網デスマッチ？もう振り返らないようにしてるから（笑）

小川　決まってんですよ。OH砲で出る！
――天下一武道会はシングルですよ（笑）。
小川　タッグも考えてるんですよ。俺はもうベルトのデザインまで考えてるから。
――OH砲としてベルトを巻くのは素敵ですね。
小川　「こんなデザインがいいなぁ」って考えたりして（笑）。筋肉マンじゃないけど、ベルトの真ん中にデッカク、天下一の「天」って一文字書いてあるのがいいなぁと思ってね。「天」の字をマルで囲んであるやつ（笑）。
――もう王者になったつもりですか。
小川　いや、もちろん！　もしタッグがあったら、獲りにいきますよ！
――日本や韓国ではワールドカップが終わってから鬱病の人が増えてるらしいですよ。
小川　そうなんですか？　真剣に応援しすぎて心に穴が開いちゃったんでしょうね。
――小川さんのワールドカップボケは治ったようですね。ZERO―ONEの地方巡業、両国があったから。
小川　俺にとっては、これからがワールドカップだから。
――なるほど。『LEGEND』の紙媒体への広告で、小川さんのイメージカットがあって「小川、動く」っていうコピーが書いてあるやつ見ました？
小川　見てない。テレビのCMはちょっと見たけど。……俺、いつも動いてんだけどねぇ。
――だから、それを見て、小川さんはどこに動くんだろうと思って（笑）。いまは躁状態と鬱状態。どっちかって言ったら、どっち状態ですか？
小川　いや、俺は俺！　マイペースで。
――あ、マイペース（笑）。8・8の話は気乗りしないみたいなんで、まず、7・7

7・7両国PUTIT REVIEW

■金網デスマッチ［時間無制限1本勝負］
小川直也（10分26秒 裸絞め）**ザ・プレデター**

設置時間に時間が掛かりすぎてしまい不満の声も多々上がっていた、この金網。地上4メートル級の高さでの攻防は見られるか？　ゴング直前、館内は異様な空気に包まれた

両国の観客席を蹴散らしながら入場してきたプレデター。一方の小川は、いつものように鋭い眼光のまま初の金網の中へと足を踏み入れた。ちなみに、この一戦のレフェリーはミスター・フレッド

金網の中へチェーンを引きずり込んだプレデターは小川の首にチェーンを巻きつけ固定し、そこへ強烈なヒザ蹴りをブチ込んでいった。スタミナをロスした小川はオモチャのように金網へ叩きつけられた。

世界最強伝説
LEGEND
UFO

NAOYA OGAWA

――両国のプレデターとの金網マッチを振り返ってみてどうですか？
小川 いや、もう振り返らないことにしてる！
――ダハハハ！ 汚ねえなぁ（笑）。
小川 ほら、せっかく破壊王と2人で締めたと思ったらさ、ZERO―ONEって恐ろしいところで、破壊王と2人で引き揚げてったら、いきなりガイジンが突っかかってきたからね。
――「ZERO―ONEはこの2人がいる限り潰れません」と一度締めたのに（笑）。
小川 俺もわけわかんなくってさ、「なんだ、この展開は！」とか思って。なんか、日米決戦の始まりだったみたいね。
――あの金網の中での乱闘は興奮しましたね（笑）。
小川 いきなり始まりましたからね、まさにZERO―ONEだ。不思議なんだよね、ZERO―ONEのガイジン軍団って。プロレスって、予定調和だなんだって言われたり、「できてんだろ？」とか言われるじゃないですか。そうじゃないんだよね、俺に言わせれば。結局アメリカのシェアは、WWEが一大カンパニーで占めてる。だから、あぶれる選手がいっぱいいる。力があっても上にいけない選手もいるじゃないですか。要するに「向き、不向き」があったりね。そんな中で、ZERO―ONEのガイジンたちはプロですから、次に呼んでもらうためには、自分がなにをしなきゃいけないかっていうことで、明確に腹を括ってるわけですよ。あのデカいヤツ、なんだっけ？
――ネイサン・ジョーンズですか？
小川 それ。ネイサン・ジョーンズなんか、「OH砲と闘うように持っていけば、また次に来れる。その切符を手に入れられる」みたいな必死さが伝わってくるっていうのかな。凄いものが垣間見えちゃった。
――彼らはクリエイティブですよね。
小川 だから、彼らのプロとしての必死さに圧倒されたって感じかなぁ。そういうふうに、乱闘のときは、ついつい違う角度で見ちゃったね。
――小川さんが、やけにおとなしく見えましたよ。
小川 「絶対にこの場で、みんなの前で俺たちと闘うという約束をさせないと、俺たちに次はないんだ」っていう必死さを感じたよね。だから、ホントに予定調和外のものが出てきて、俺がある意味でお客さんになっちゃった（笑）。だから、俺はむしろ自分の絡みより、そっちの方が面白かった。
――新鮮だった、と。ZERO―ONEは、そういういい意味でのイレギュラーがあるから面白いんですよ。
小川 要するに、なんにもアポなしで来るわけじゃないですか？（笑）。
――アポなしで金網を超えてくる2メートル9センチの巨人！（笑）。
小川 そういった意味で、次の展開は面白いよね。
――日米決戦なんて、メチャメチャ古いコンセプトなんだけど、それがメチャメチャ面白いですからね。
小川 ふつうに聞いたらさ、いまの時代「ふざけんな」っていうようなコンセプトなんだけど、裏を返せば納得いくようなコンセプトじゃないですか。
――破壊王も本気ですからね、日米決戦っていうのは（笑）。最初、入場式では『君が代』の英語バージョンを流す演出を予定してたらしいんですけど、そのリハーサルを見て破壊王が激怒したらしいですからね（笑）。日本を再生させることに本気なんですよ、破壊王は！
小川 そういった意味でもね、面白いZERO―ONEに、俺もいい形で加わっていきたいね。
――ZERO―ONEって、次々にドラマが自然発生的に湧いてきますよね。
小川 俺もせっかくそのドラマの役に加わって、こっちも力入れないといけないと思ってるところに「ここでまたこっちかよ！」みたいな感じがあるよね、8・8は。
――あ、自分から8・8の話を振ってくれるとは思いませんでした（笑）。8・8は、今後のZERO―ONEにとっても重要ですよ！

試合後の金網の中は、まさに管理のずさんなサファリパーク状態。プレデター、ハワード、ジョーンズだけではなく、K―1を控えたデンプシーまで小川狙いで乱入し、しばらく混乱は収まらなかった。

小川の試合をTV解説席から見守っていた破壊王だったが、大暴れを続けるガイジン勢を蹴散らすべく、Tシャツを脱ぎ捨てリングに登場。「8月8日、小川を応援してやってください！」と小川を後押し。

スリーパーでガッチリとプレデターを捉えた小川だったが、新超獣はパワーにまかせてスリーパーを掛ける小川ごと金網へ叩きつけていった。それでも、腕をほどかない小川が執念でタップを奪った。

金網があろうがなかろうが、いつ何時でも豪快に炸裂するのがオーちゃんのSTO。続けざまに3連発でプレデターへお見舞いすると、さすがの新超獣も息絶え絶えだった。

小川　だから、8・8は今後のZERO—ONEに付加価値をつけていく意味では外せないかな。地方復興のためにやるには欠かせないアイテムの一つなのかなって。ゴールデンの生中継っていうチャンスでもあるしね。

——で、昨日、『LEGEND』の会見があったんですけど、川村社長が対戦相手をガファリと発表して、「私と日テレでカードを決めました。必ずやらせます!」って怒気を含んで言ってましたね。

小川　（皮肉っぽく）それが一番言いたかったんじゃないですか？（さらに皮肉っぽく）向こうにとってはいい具合に進んでるじゃないですか？

——ダハハハ。でも、これだけの規模のビッグイベントで、3週間前にカード発表が一つもなかったっていうのは前代未聞ですよね（笑）。

小川　いいんじゃないの？　要するに、今回加わった人はこっちの世界の難しさを改めてわかったんじゃない？　基本的に、テレビ局とはウチの社長の関係でやってるっていうのが明白に見えちゃってるから。でも、芸能の世界では、いろんな人がいる……代わりがいっぱいいるんですよ。でも、こっちの世界は代わりっていないじゃないですか、闘うんだから。

——なかなか代役がいない世界ですよね。

小川　「この人の代わりにこの人」ってわけには、なかなかいかないじゃないですか。そこがまた難しいところでね。

——大会前にこういうこと言うのはなんだけど、今回の『LEGEND』は、まったくコンセプトが見えませ〜ん（笑）。

小川　う〜ん……コンセプトはいまから日テレが組むんじゃないの？　日テレが考えてんじゃない？　俺に考えてくれっていうんだったら、企画料取るよ！

——銭ゲバとしては（笑）。

小川　そう、銭ゲバとしては。

——一応UFOっていう看板はついてるけども、小川さんはそのコンセプトづくりとか、あるいはイベントそのものには、まったく関わってないわけですね。

小川　そうですね、今回の場合はいち選手としてっていう位置づけなのかなぁ。最初っから、ちゃんとテーブルに着いてくれれば問題なかったんだけどね。テーブルに着かなかったのがあまりにも大きい！

——確かに、川村社長も会見で「小川とは会ってません」ってハッキリと言ってましたからね（笑）。

小川　最初からそのテーブルに着いてりゃさ、もっと面白いコンセプトでやれたと思うんだけど、俺は今回は、あくまでもいち選手としての起用っていうかさ。だから分けたいんだろうね、フロント陣が。日テレ関係とか、自分たちのやる方向に対して、「小川は選手なんだから、なにも言わせるな」っていう感じなんじゃない。

——「黙って闘え!」と。

小川　っていうのはあるんだろうね。でも、なんていうのかなぁ……だから、今回は『LEGEND』のきっかけとしてやるしかないのかなって思ってね、自分の中で。これを次に繋げる展開にするには、どっちみちどうなるかわかんないんで、とりあえず今回やれることだけやって、次の方向性を見出していくしかないのかなってね。

——今回一番思うのは、誰がどう主導権を握って、どういう役割で動いてるのか、まったくわかんないってことですよね（笑）。

小川　う〜ん、そうですね。俺はメインで出るぐらいしか言えないから。だから別に、敢えて言ったってどうにもなんないことだから……もうね、非常に難しいんですよ!

——難しいですよね、確かに（笑）。猪木さんは「これまでのマッチメイクに私は触ってねぇです」と力強く言ってました。「ただ、一回決まったものを引っくり返す勇気も必要なんじゃないか」って言い始めましたね（笑）。

小川　要は「やめろ」ってことですね？（笑）。

——ダハハハハハハハ!

小川　猪木さんは、以前は「やめろ」って言ってましたけどね。「今回はやめた方がいいんじゃない?」って。

——もともと今回のイベントっていうのは、どういう形で立ち上がったわけですか?

小川　それも知らないんだよ!

——あ、それがわかんない（笑）。

小川　最初っからテーブルに着いていれば、俺も説明できるんだけどさ。

——去年の大みそかの『猪木ボンバイエ』に出なかったっていう経緯があって、それは『PRIDE』とK—1の合同興行みたいな形でやった。それを今度は川村さんが「俺がやる」って言い出したって認識していいんですよね?

小川　どうなんだろう?　やっぱそういう部分でやりたいっていうのはあったんじゃないですか?

——でも、K—1側との交渉がうまくいかなかった、と。

小川　いくわけないよね!

——ダハハハ!　いくわけないですよね。それは素人でもわかりますけどね（笑）。

小川　だからそこがわかんないんだよなぁ。「俺が言えばなんとかなる」って次元だから。「そうじゃないんだよ」って一生懸命訴えてたんだけどね。

——小川さんは『PRIDE』の組織が嫌いだから（笑）、「そっちと関わりなくK—1とできるんならいいよ」ということで

世界最強伝説 LEGEND UFO

最初は話が進んでたわけですよね？

小川　そうそう。ミルコだとかアーツを担ぎだせるんだったら面白いですねって。『PRIDE』とK—1が業務提携してるときに、どうやって割り込むのかなっていうのはあったんだけどね。「俺が言えばなんとかなる」って一点張りだから、"ああ、そういうもんなのかなぁ"ってこっちも思ってたんだけど。

——しかも、8月は国立競技場が同じ月にあるわけですからね（笑）。

小川　「どうやってやるのかな？　不可能だろ？」みたいな感じもあったけどねぇ。

——じゃあ、その話が頓挫しかけたときに、「イベント自体やめよう」って話はあったわけですか？

小川　そう聞いたら、誰もがそう思うじゃないですか、「そんなもん、やめようよ」って。俺も最後まで「やめる」って言ったんですけど、そうしたら日テレが急に「もともと最強の格闘家っていうものを作りたいというコンセプトで始めた。そこに小川さんが出てくれないか」みたいなことを言ってきてね。俺に望まれるコンセプトって最強になることなの？

——そういうのも含まれていいんじゃないですか（笑）。

小川　いや、含まれて全然構わないけど、俺は「総合格闘家でござい」なんて一度も名乗ったことはないからね。そっちのルールで最強を決めるなら、勝手にトーナメントでもなんでもやって決めてくれって。でもね、もういい！　日テレがこの時間帯で、こういうのを放送するのは初めてじゃないですか。

もういい！ 日テレがゴールデンで生中継するって、こういうのでは初めてだから

NAOYA OGAWA

——そうですよね、そういう意味じゃ、業界的にはもの凄いチャンスですもんね。

小川　とりあえず、俺的に発奮できる材料はそれだけかな、と。

——猪木さんは、カード編成について『PRIDE』を意識しすぎだ」「『PRIDE』ではできないことをやった方がいい」と言ってた。それはボクも、その通りだと思うんですよ。

小川　俺もそれがしたかったんだけどね。俺は人の真似事は嫌いだし。

——でも、『PRIDE』と重なる、いわゆる総合格闘技の大会という雰囲気になっちゃいましたよね（笑）。

小川　それじゃないとダメだって部分が日テレの方に強すぎたんじゃないですかね。ノアというプロレスもあるから、プロレスも重なるからダメでしょ。

——「ガチンコなんだけど"プロレス"」というのをUFOで実現したら面白かったと思うんですけどね。

小川　まぁ、それはやりたかったんですけどね、どういうわけか……。

——『PRIDE』も『PRIDE』の中でドラマを作っていってるから継続性がありますよね。せっかくUFOって看板を掲げるんだったらUFOなりのドラマをつくってほしかったですよね。

小川　作りたかったねぇ……どうなるんだろう、ホントに（笑）。っていうより、そういうのは理解してくれる人が少ないじゃない、そういう感覚を持ってる人がいないから。山口さんはわかると思うけど、やっぱ難しいよね。で、基本的には日テレ側としても、『PRIDE』はゴールデンでやったことないじゃないですか。要はゴールデンタイムに出るのは初めてなんですよ。だから、総合格闘技と打ち出しちゃうっていうのもあったんじゃないかなって。

——『PRIDE』を始めとした名前が売れてる人たちを集めてビッグイベントをやるというコンセプト。でも、それってコンセプトじゃないんですけどね（笑）。

小川　だからUFO『LEGEND』っていうのは実に迷惑だね、UFOの選手としては！『LEGEND』だけにしてほしいよね、日テレ『LEGEND』とかさ。

——ダハハ！　日テレ『LEGEND』。同じ月の『PRIDE』とK—1の合同興行が『Dynamite!』ってタイトルなんですけど、ある意味じゃ8・8の方がダイナマイトですよね（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。そうだね、これは爆弾だよ！

——国立競技場で初めてやるほうが、『LEGEND』ってイメージだもんな（笑）。

小川の初バーリ・トゥードといえば、「PRIDE.6」でのゲーリー・グッドリッジ戦。その後「PRIDE.11」での佐竹戦では、あえて相手の土俵の打撃で互角に渡り合い、改めてそのポテンシャルの高さを披露した。8・8「LEGEND」東京ドーム大会ではレスリング界の強豪マット・ガファリと対戦する小川は、今度は、どんな“ガチンコ”そして“プロレス”を見せてくれるのだろうか？

UFO『LEGEND』っていうのは迷惑だね。日テレ『LEGEND』にしてよ（笑）

橋本さんは8・8に関してはなんて言ってるんですか？

小川　橋本さんにも出場の要請があったみたいですけどね。でも橋本さんに当たると言った、日テレもしくはウチの社長の意見は、なかなか鋭いとこ突いてるなっていう感じはするけどね（笑）。

——だから、それが活きるのもコンセプトにかなった相手次第なんでしょうけどね。

小川　プロレスはダメ、格闘技はOKっていうさ。その狭間にあるものが難しいなっていう。だから、「結局、割り切った方がいい時代に来てんじゃねぇの？」っていうのはあるよね、ある意味。エンターテインメントって部分でね。

——プロレスを打ち出すにはそうしたほうがいいってことですか？

小川　敢えて「プロレス」「格闘技」と分けるんであれば、格闘技の方も、エンターテイメント格闘技みたいなものがあればいいんじゃない？　だからルールでもね、まぁ、リング上はガチンコならガチンコでもいいとして、パフォーマンスは最低3回はやんなきゃいけないとかさ。

——ダハハハ！　1ラウンド中に必ず3回ホーガンポーズ！（笑）。

小川　そうそう。パフォーマンスしなかったヤツは反則負けとかね。

——それは面白いなぁ。とてつもなく難しいというか、人間的にも技術的にも幅がないとできない（笑）。

小川　そういうのをね、マジメにルールに組み込むとプロレスの成り立ちみたいなものも「なるほどな」っていうのが垣間見えるじゃないですか。そういう企画をしたかったんですよ、俺は。

——なるほど。そういう企画面から入って行きたかった、と。

小川　そういうのは絶対わかる人にはわかってもらえるけど、一般の人にはわからない世界じゃないですか。

——例えば、チャイナvs佐藤ルミナとか面白いと思うんですよね（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。

——茶化して言ってるんじゃなくて、でっかくて見るからに強そうな女と、小さいけど技術を持った男が闘ったらどうなるか？　これ、人類の進化の過程での壮大な実験ですよ。マジメに。テレビ的には佐藤ルミナに交渉するところから撮り始めて、ルミナが「格闘技をバカにしてるのか！」とか怒ってるとこも含めてアオリで映していく。で、イザやるとなったら盛り上がりますよ。ガチンコで。しかも女が勝ったらすごいことになる（笑）。そういう実験するのは格闘技的にも価値はありますよ。でも、こんなのをいま簡単に言っても面白いと思わない人もいるだろうし、活字になったところで、まったく伝わりにくいとは思うんですよ。だからこそ、テーマやコンセプトを、しっかり打ち出さなきゃいけないんですよ。

小川　うん。それとかさ、つまらないヤツはギャラ没収ルールとか、その場でユニセフに寄付とかさ。そういうイベントにすればね、ゲラゲラ笑えるんじゃないの？　真剣勝負であっても。

——ゲラゲラ笑える（笑）。

小川　まったくそういうのないもん。普通に総合格闘技の大会だって言って『PRIDE』の真似したって、「なにしてんだろう？」っていうのがあるし。

——小川さんのそういう考えに、今回は真剣に耳を傾けてくれる人がいなかったわけですね。

小川　まずいないね。いや、理解できる人はいるんだけど、スポンサー集めだなんだ

NAOYA OGAWA

って話になると、それはまた違う次元になってきちゃうからさ。

——だからこそコンセプトが必要なんですよね。まあ、いまは『ＰＲＩＤＥ』人気が高いから「総合格闘技の大きな大会を開く」って言った方が話が早いし、スポンサーも付きやすいでしょうからね。それはわかるんですけど、あまりにもコンセプトが見えなすぎるんで（笑）。

小川　要は、テメェらでやるのは勝手だけど、最後の最後に俺たちに投げられちゃ困るっていうのが正直なところなんですよ……こんなこと言っていいのか知らないけど。

——でも、そういう裏のことはともかく、「結局また、オーちゃんがゴネてる」とかって言われてますよね。

小川　ゴネてないんだよ、俺は！　俺はハッキリ「やめろ」って言ったんだから（笑）。だから「ほら見ろ、言わんこっちゃない」っていうさ。で、いまから「頼む」って言われてもね、俺はゴルゴ13じゃねぇんだからよ！　ゴルゴ13だってさ、「これとこれ用意しろ」って言ってさ、意に沿わない場合は仕事受けねぇんだからさ。ミルコやアーツも出てくるって最後まで信じてんだもん、ウチの社長は。もう頭抱えちゃったよ。「今週までに答えをもらえなかったら、時間もないからやめましょう」って俺が仕切ったんだよ。それ、至極当然のことじゃないですか。それをまた俺がやりたくないとかゴネてるとかさ。そうじゃねぇんだよ（笑）。俺が一人でやりたいって盛り上がったって、相手がＯＫしなかったら成り立たないわけでしょ。普通、大きなイベントやるには大きな切り札がなきゃ、宣伝期間とかかかるんだから。逆算していくじゃないですか。

——それはファンもわかることです（笑）。

小川　俺がゴネてるっていうのは、ちょっと勘弁してよって感じなんだけど。俺が「やめましょう」って言ってるのは意味が違うからね。やりたくなくてやめるんじゃなくて、期間を設けて、そこまでに相手に返事がもらえなかったら、イベントはやめましょう、ということだから。ソフトが決まらないのにハードだけ用意したってしょうがないでしょ。

——それはそうだ。ただ、「またオーちゃんがガチンコから逃げてる」とか思われがちじゃないですか。

小川　逃げてるって言われても、それはそれでいいんだけどね。「そうそう、逃げてるよ」って言っとくよ。反論したくもないよ、そんなことで。結局ね、そういう一大組織から抜けると、一大組織の誰かが言いふらすんだろうなぁと思って。

——一大組織っていうのは『ＰＲＩＤＥ』のことですか？

小川　しかないだろうね。ヒクソンも別に逃げてるわけじゃないのに「逃げた」って言われてね。

——小川さんは、ホント難しい立場にいるよなぁ。望まれることが多いから。

小川　目立つから利用しようとするんだろうね。

——要はそういうことですよね。それだけ重要なポジションにいるんですよ。

小川　ホント、プロレスが衰退してるのを、やっと歯止めで破壊王とタッグ組んで、やっとプロレスを復興させていこうって矢先にね、またこういう話が来るかっていう話でさ。ハッキリ言って、8・8は、俺を応援してほしいよ！（笑）。

——ガハハハ！　珍しいですね、そんなこと言うのは。

小川　「プロレスを愛する者よ、東京ドームに集まれ！」みたいなさ、集会を開きたいよ。全国から暴走族みたいなバイクでみんな来てさ。「みんな特攻服で囲んでくれよ、東京ドームを」みたいなさ（笑）。

——永ちゃんのライブじゃないんだから。「鎖を引きちぎれ」ですね（笑）。ホント、いろんな見えない鎖があるんでしょうけど、でも、プロレスを復興するためには、いわゆる総合格闘技の選手とガチンコで闘って倒すことも、ガチンコの場に出ていくことも、小川さんの場合望まれるじゃないですか。

小川　まあ、そういう意識が全然なくなっちゃったら、プロレスもサーカス小屋の一つというか、ショーになっちゃうのかなって。世間から離れてどんどん衰退していっちゃうからね。

——だから8・8は、プロレスが衰退していくのに歯止めをかける意味でも小川さんに頑張ってもらうしかないですよ（笑）。

小川　そうですね、「プロレスは最大の格闘技だ」って思わせる。それしかないでしょ、俺の試合のコンセプトは。

——川村社長はマット・ガファリという名前を出しましたね？

小川　俺と同じシルバーでしょ。バルセロナの。

——アトランタです！（笑）。

小川　ああ、そうなんだ（笑）。そういう名前を出したって聞いたから、調べさせたけど、違ってたね。試合のこと聞かれても答えられないよ、今日はデータがないから。

——銀メダリスト対決ですよ！

小川　まぁ、ドームでやる以上は、ショボい相手とできないですからね。弱いわけはないからね。日テレも体面上、俺にそういう相手をぶつけてきたなって言うしか……ないのかなぁ？

——でもやっぱり格闘技ファンでも一般の人でもそうでしょうけど、マット・ガファリっていう名前を聞いてピンと来る人はいないでしょうからね。

小川　でも、どれがメジャーかメジャーじゃないかなんて……世界中で有名なヤツなんてそんな数いないし、しょうがないんじゃない。

——いや、選手としては凄いんですよ、間違いなく。でも今回の場合、あまりにも時間がなさすぎるじゃないですか、その凄さをわからせるまでの。

小川　だから逆に、これでうまくプロレスの方に持ってけたらいいなって。なにしろいまプロレス界を救える団体は、ハッキリ言ってＺＥＲＯ—ＯＮＥしかないからね。そのＺＥＲＯ—ＯＮＥに活きるような試合をするしかないでしょ。

——ネガティブな言い方になっちゃいますけど、こういう形でイベントがダッチロールするんだったら、思い切ってＺＥＲＯ—ＯＮＥで東京ドームをやった方が面白かったなって思ったりもしましたね（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。でもプロレスはダメらしいです。ウチの社長は凄い否定的なんだよね。「プロレスはダメなんだ」って言ってる時点で、「おたく、どこの社長なんだ？」ってね。「プロレスの団体の社長だろ」みたいな。

——ガハハハ！　新日本の取締役でもありますしね。その川村さんが、1回目の記者会見で「小川選手の希望は、すべてガチンコで行きたいと申しております」って

言ってましたね（笑）。
小川　「小川選手」じゃないんだよ。「俺は」って書き換えといてほしいよ。
――「俺はすべてガチンコで行きたい」と。
小川　「俺」、すなわち「川村龍夫」はって。なんか嫌だねぇ、欠席裁判みたいなもんでさ。
――メインを張る選手が第1回目と2回目の会見に出ないっていうのも、それも前代未聞ですよ。……なんか、ネガティブすぎるな、話の流れが（笑）。
小川　だけど、今回はここまで来ちゃったら、腹括るしかないのかなって。勝手に決められて、一番嫌なパターンなんだけど、仕方ねぇのかな。
――ズバリ聞きますけど、小川さんはガチンコから逃げてるわけじゃないんですよね？（笑）。
小川　エンターテインメントにガチンコだ、ガチンコじゃないっていうのは、俺のエンターテイメント観のなかには、ない！　ガチだろうがなんだろうが、来たお客さんに満足してもらうのがエンターテイナーとしての責任じゃねぇのかなって。満足してもらうためにはテーマやコンセプトをシッカリしなきゃいけねぇんじゃねぇのかなって。ウチの師匠はプロレスってものを「興行だ」って言ったんですよ。
――「プロレスとは興行である」って猪木さんはよく言いますよね。
小川　興行っていうのは、要するにお客さんに飯を食わせてもらってるってことでしょ。来てくれてるお客さんを楽しませるには、こういうもので楽しませるっていう決まり事は別にないわけじゃないですか。そのときのお客さんの趣向に合ったもので楽しんでもらうっていうので、ズッと来てるから。ガチンコだとかなんだとか、そういうレベルではあんまり語りたくないっていうのが正直な話ですよ。

プロレスラーは強いんだ。プロレスは最強の格闘技だって思わせるしかないでしょ

――破壊王もよく言うように「お客様は神様です！」ってことですか（笑）。
小川　俺は総合格闘技にランキングがあったとしたら、そのランキングには興味はない。興味あるのはガチだろうがなんだろうが、試合をやるテーマであり、コンセプトですよ。あのね、「プロレスは楽だ」とかって話、よく聞くじゃないですか。でも実際、総合格闘技の選手だって、「プロレスは難しい」って言ってるでしょ。
――小川直也というオリンピックの銀メダリストが「難しい」って言ってんだから、そりゃ難しいんですよ（笑）。
小川　みんな「簡単、簡単」って言うけど、そうじゃないんだよね。
――「総合格闘技はキツくて、楽なプロレスの方に行った」という言い方をする人はいますよね。
小川　だからね、実際に総合格闘技のヤツらに体験してもらってから言ってもらいたいよね。ブッ切りで単発でやるんじゃなくて、「1回両足突っ込んでみろ」と。……まぁ、総合格闘技の選手は無口だからね。
――ガハハハ！　無口（笑）。
小川　今回もね、要するにね、陰気臭ぇんだよ！　それだけは嫌！
――ダーッハッハ！　陰気臭い？（笑）。
小川　うん！
――イベントそのものがですか？
小川　イベントやってる人間が。暗そうじゃない。選手もね、もっと明るくしてほしいよね。なんかね、凝り固まってて、エンターテイメント性がないからね。自分さえよけりゃいいって世界に見えちゃうから。それじゃ夢が持てないし、暗いんだよね。画面にもそれが映るんだよね。
――夢っていう言い方で言えば、『PRIDE』なんかは、夢があるような見せ方はうまいですよ、やっぱり。選手のモチベーションの上げ方もうまいし。
小川　言うこと聞く選手だけでしょ？　でもまぁ、あれはあれで、いい舞台を作ってるのかもね。俺には関係ないけど（笑）。
――ダハハハ。今度の『Dynamite!』にしたって、初物である国立競技場というものを使って、初物である吉田秀彦が上がる。柔道vs柔術のジャケットマッチで、バーリ・トゥードじゃないけど、イベントってそういうことですからね。
小川　そうそう。だからそれで文句言う人はね、結局ダメなんですよ。バーリ・トゥードじゃなきゃダメだとか。好きなものはいいけど、嫌いなものは揚げ足取って終わっちゃう。そんなものに対してね、いちいち聞く耳持ってもキリがないから。ま、『PRIDE』はイベントとしてはいいかもしれない。俺には関係ないけどね（笑）。
――『PRIDE』側も小川さんのことは嫌いなんですかね？（笑）。
小川　言うこと聞かないヤツは嫌いなんじゃない？
――単純にそういうことなんですか。
小川　単純に雇う側、雇われる側って感じだから、みんな言うこと聞いてるんだろうな、選手は。
――8月は興行大戦争なんて言われてますけど、「小川直也個人」vs「『PRIDE』&K―1連合軍」みたいな感じがしますよね（笑）。『LEGEND』はまったく統率取れてないし、興行的にも小川さんにかかる比重は大きいですしね。
小川　いいねぇ！！　それいいんじゃない？　敵がデカくて。闘いがいがあるね！

世界最強伝説 LEGEND UFO

「小川直也個人」vs「『PRIDE』&K—1連合軍」? そういうコンセプトにして自分で盛り上げるしかないかな、今回は。

——ところで小川さん！ 今日一番聞きたかったのは、7・7両国で「政治力には絶対負けません！」ってマイクがありましたよね。あの政治力っていうのは、具体的に言うとどういうことなんですか?

小川 「俺の言うことを聞け！」っていうのは絶対、嫌だということですよ。どんなに金を積まれても、俺は俺でやってくっていうことです。

——業界でも、ファンの中でもいろんな憶測が飛んでましたよ。「あれはアントニオ猪木のことだ」とか。

小川 いや、猪木さんは師弟関係だから、全然問題ないですよ。要は他の業界で偉いと称されてる人がいるじゃないですか。

——「川村さんに対してじゃないか?」とか、そんな憶測も飛んでるんですけど（笑）。

小川 結局、みんな言わないんだよね。言えない環境になっちゃってるんだろうね。幸いにして、俺は猪木さんにしろ、川村さんにしろ、言える環境を作ってくれた……俺みたいな若僧に意見を言わせてくれる環境を作ってくれたっていうことには感謝してますよ。猪木さんなんか、3年ぐらいそばにいさせてもらって、そういう関係を作ってもらってね。猪木さんの周りに来る人なんかは、ホントに何も言わないもんね。

——あ、猪木さんに対して。

小川 猪木さんに対して自分の考えを言わない。ちゃんとそのときに言うべき人が言わないから、結局時間ギリギリになってドーンって言われるだけでさ。

NAOYA OGAWA

——猪木さんは「遠慮すっこたねぇよ、なんでも言えよ」って人ですからね（笑）。

小川 でも、みんな言わないんだよね。

——今回の『LEGEND』もそうなんですか? 川村さんというもの凄い力を持った人がいて、周りは何も言えないという。

小川 俺はね、一生懸命言ったの。ダメだったね（笑）。聞く耳は持ってくれなかったね。

——いろんなもの引っくるめたもの?

小川 そうですね。

——見えない鎖のことですね。「鎖を引きちぎれ」（笑）。政治力っていうものの中には『PRIDE』やK—1も含まれる?

小川 なんていうのかなぁ……たとえば石井さんとか、業界としては神様のように扱ってるじゃないですか。でも俺なんかは話をするときには、こっちも一つの個人、あるいは会社の代表で来てて、面倒見てもらうんじゃなくて、ただ仕事の話をするわけじゃないですか。……選手だとついつい見下されちゃうのかなぁ?

——そういう人は、かわいくない（笑）。

小川 そうだろうね。石井さんにアーツの件で去年会ったけど、アーツのコンディションのこととか言い出したから「ちょっと待ってください。館長は選手じゃないじゃないですか」って言っちゃったんだよね。引きつってたけどね、顔が（笑）。だって「出る、出ない」は選手が決めることであって、「選手に聞いてみる」って言うのが筋じゃないですか。「怪我してて無理だと思うけど、一応聞いてみる」っていうのが答えだと思ったんだけど、自分が決めるような発言だったから、「ちょっと違うんじゃないですか?」と。だから選手をコントロールしてんだなっていうのが見えちゃう。でも、こんな若僧にそんなことを言われたら面子が立たないのかなぁ。

——つまり、小川さんの言った「政治力」っていうのは、小川さんを、なんらかの形でコントロールしようとする力のことを指すんですか?

小川 まぁ、抽象的な言い方すればだけどね。そういうシチュエーションを作って、がんじがらめにしてしまおうっていう。

——そういう小川さんに対しての当てつけじゃないだろうけど、かわいくない小川さんが銀だったら、金メダルの吉田秀彦を持ってこようっていうのもあったんですかね。

小川 ダーッハッハッハ。

——でも、『Dynamaite!』はド派手なイベントになりそうですね。

小川 やってくれ、やってくれ。

——そこで小川さんが8・8に何を見せるかっていうのは重要ですよ！ なにせ、個人vs二つの大きな組織ですから。

小川 そうだねぇ。こっちもなんかの連合で行きたいけど、『LEGEND』はコンセプトすらも言わねぇんだもん（笑）。「お前は強いとこ見せてればいい」なんて言われてね（笑）。でもね、8・8を乗り切ったら、ZERO—ONEにすべてを投入して、プロレス界を復興させますよ。

——小川さん、8・8に向けての抱負を最後にください。

小川 やるときゃやるよ、と。やるしかないな、と。プロレスを盛り上げるためにも、やるしかない、と。だから、プロレスファン大集合！ 応援してください！ 以上！

【7月18日／茅ヶ崎の某喫茶店にて収録】

8・8『UFO REGEND』
菊田早苗と
「寝技世界一決定戦」
実現!

取材/マルセーロ・アロンソ
撮影/石川武志(『Brazilizm』より)
構成/堀江ガンツ
協力/ブックマン社
designed by matsu(Two three)

8・8『UFO REGEND』に大挙襲来!
ブラジリアン・トップチーム　現地直撃インタビュー――①

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

Antonio Rodrigo Nogueira

「菊田はボクからパスガードできるかもしれない。でも、アブダビとバーリ・トゥードは違うよ」

現役PRIDEヘビー級王者ノゲイラが、8・8UFOドームに出場!
菊田早苗との"真・寝技世界一決定戦"を行うこととなった。
はたして、ノゲイラはLEGENDでどんな闘いを見せようというのか。
また、『PRIDE.21』でノゲイラへの挑戦を表明したヒョードルに関しても言及した。

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ+マリオ・スペーヒー
withブラジリアン・トップチーム写真集
『Brazilizm』
ブックマン社刊/8月10日発売

●ケガの具合はどうですか？　オランダで1ヶ月間治療に当たったというのは本当ですか？

「ケガというのは椎間板突出というもので、そのままにしていると椎間板ヘルニアになる恐れがあったんだ。そこでアメリカ人の理学療法士のもとで3週間治療に当たった。彼は脊柱（せきちゅう）のスペシャリストで、オランダに住んで、スポーツ生理学を専攻した卒業生を相手に授業を行っているんだ。彼を紹介してくれたのはペドロ・ヒーゾだった。彼によると、以前ピーター・アーツも似たような問題を抱えていたが、このドクターのおかげで治ったって言うんだ。3週間かかったおかげで、ほとんど100％近い状態にまでなった。トレーニングのリズムに乗れるようになるにはもう少し時間が必要だけど、でも痛みがなくなったということは重要だね」

●いまはどんな練習をしていますか？

「2週間前からトレーニングを始めた。つまり試合の1ヶ月前からになるね。今は以前と比べて効率的にトレーニングができるようになった。それはNBAのスター選手たちを何人も見てきたフィジカルトレーナーのおかげなんだ。彼がボクによりよいトレーニングの仕方を教えてくれた。彼がボクに教えてくれたことは、ボクのテクニックは頂点に達したけど、身体の使い方が悪かったって言うんだ。彼は効率的にテクニックを高めてくれるような身体の使い方を教えてくれているよ」

●6・23『PRIDE・21』のビデオは見ましたか？　見たのならその感想を聞かせてください。また、最も印象に残った試合はなんですか？

「いつものことながら、『PRIDE』には優れた格闘家が出場していると思ったよ。一番印象に残ったのはドン・フライと日本人タカヤマの試合かな。素晴らしい試合だった。それからギルバート・アイブルとジェレミー・ホーンの試合もよかったな。ホーンはグラウンドの素晴らしさを見せたし、ギルバートもグラウンドでの成長を見せた。何度も1本から逃れたからね」

●セーム・シュルトを破ったロシアのエメリヤーエンコ・ヒョードルが、ノゲイラ選手への挑戦を表明しました。それについてどう思いますか？　また彼についての印象は？

「ボクがチャンピオンベルトを持っているのだから、ボクと闘いたいと思うのは当然のことだろう。彼はグラウンドもスタンディングも素晴らしい。ボクは彼と似たようなタイプの選手とすでに闘ってきた。だから彼と闘うときにはどのようにやるかよく分かっている。しかし彼は手強いだろうね」

●あなたのかつてのトレーニングパートナーのヒカルド・アローナはリングスでヒョードルに敗れましたが、それについてどう思いますか？

「ボクが観た限り、アローナはあの試合で勝っていたと思う。あの判定はレフェリー、ジャッジの誤審だと思うよ。非常に均衡していた試合であることは確かだけどね。寝技でアローナは優位なポジションを取っていたから、もしスタンドをもっと上手く闘っていたなら負けることはなかっただろうね」

ヒョードルは非常に危険な男だ。でも、ボクは彼から一本奪う自信があるよ

Antonio Rodrigo Nogueira

●ヒョードルのグラウンド技術はどう思いますか？　また極める自信はありますか？

「グラウンドではボクの方が優ってるね。だからグラウンドで彼から一本を取る自信はあるよ。ブラジリアン柔術はサンボよりもグラウンドでの動きが激しいんだ。我々のポジショニングの方が洗練されているし、より細分化されている。彼はポジショニングにも優れているけど、柔術の方がより優れているんだ」

●ヒョードル、ハン、コピィロフらが「ロシアン・トップチーム」という名前で活動することになりました。そのことについて何か感想はありますか？

「トップチームと名乗れるのはボクらだけだよ。彼らにはふさわしくないね」

●『UFO・LEGEND』という新しい舞台で、どんな闘いを見せたいですか？

「PRIDE戦士だけでなく、プロレスラーも参加するこの新しいイベントで、ボクはさらに日本のファンから認められたいと思う。この試合はテレビで生放送されるわけだから、より多くの人にボクを知ってもらうチャンスだと思うね」

●8・8東京ドームで菊田早苗戦が決定しました。彼の印象は？　また、勝つ自信はどのくらいありますか？

「キクタはグラウンドで素晴らしいテクニックを持っている。ボクはどちらかというと下になる（ガードポジション）タイプで彼は上で闘う（パスガード）タイプだ。しかしグラウンドではボクのテクニックの方が優れていると思うよ。そしてスタンディングでもボクの方が優れているから、彼と闘えば間違いなく勝てると信じているよ」

●菊田選手はアブダビでサウロ・ヒベイロを破りました。それについては？

「キクタは非常にうまく闘ったね。しかしアブダビはバーリ・トゥードではない。彼は小柄だから、ボクのガードポジションからパスすることは不可能ではないだろう。しかし、もし彼がガードポジションの時に殴ろうとしたら、不利になるだろうね。なぜならボクの方がウエートが重いからね」

●また、一部では8・8ドーム大会で橋本真也戦も取りざたされました。彼の印象は？　また、対戦に異存はありませんか？

「彼が柔道家だということは知っているよ。プロレスでの試合を一度見たことがある。テイクダウンのテクニックはなかなかだね、でもグラウンドとスタンディングではボクの方が優れているよ」

●8月28日に行われる、PRIDE対K—1の10万人イベントに参加する意志はありますか？

「もちろん。参加したいよ」

●最後に8・8東京ドーム大会への意気込みをお願いします。

「ボクはいつものように一本勝ちを目指して観客を喜ばせたい。素晴らしい闘いを日本のファンに見せたいと思っているよ」

8・8『UFO REGEND』に大挙襲来!

ブラジリアン・トップチーム　現地直撃インタビュー――②

マリオ・スペーヒー

Mario Sperry

「TVの生中継で多くの人にトップチームの技術を見てもらいたいね」

8・8UFO LEGENDに大挙参戦するブラジリアン・トップチーム。その総帥であるマリオ・スペーヒーに、現在のトップチームの状況、そしてBTTで修行中の村上和成の近況について直撃。さらに「ロシアン・トップチーム」の印象についても伺ってきた。

取材／マルセーロ・アロンソ
撮影／石川武志（『Brazilizm』より）
構成／堀江ガンツ
協力／ブックマン社
designed by matsu（Two three）

「ロシアン・トップチーム」という名前は、少しエレガンス面に欠けていると思うね

Mario Sperry

●ムリーロ・ニンジャ戦でのヒザのケガはもう大丈夫ですか？

「ニンジャに奪われた最初のダウンでヒザを捻挫してしまった。そしてヒザに3箇所ケガをしてしまったため、1カ所は手術をして、あとの2カ所はいま回復に向かっている。トレーニングのリズムを少し失ってしまったが、トレーニングを休止することなく、部分的にできる範囲で続けてきた。おそらくあと1週間もすれば100パーセントの状態になると思うよ」

●6・23『PRIDE・21』はビデオで見ましたか？ 見たのならその感想を聞かせてください。また最も印象に残った試合はなんですか？

「素晴らしい大会だったね。特によいと思ったのはアンデウソン・シウバの試合だね。短い闘いだったけど、彼は素晴らしいムエタイのテクニックを披露したよ」

●ヘンゾ・グレイシー、ダニエル・グレイシーの試合についてはどう思いますか？

「ヘンゾはあまりトレーニングをしてなかったんじゃないかな。ダニエルはよく闘ったと思う。たしかに彼は開始早々に小さなミスを犯してしまったが、勇敢に闘い、試合を元に戻した。勝利に値していたね」

●セーム・シュルトを破ったロシアのエメリヤーエンコ・ヒョードルが、ノゲイラ選手への挑戦を表明しました。それについてどう思いますか？ また彼についての印象は？

「ミノタウロは今日ナンバーワンだから、他の格闘家が挑戦したがるのは当然のことだろう。エメリヤーエンコはハードファイターでスタンディングでの技術は素晴らしい。タックルとテイクダウンも優れている。グラウンドでの動きもよい。我々ほどのグラウンド・テクニックはないにしても、非常に危険な男だ。しかしミノタウロはより完成されている。一本勝ちをすることもできるだろう」

●ヒョードルのグラウンド技術はどう思いますか？

「動きはよいし、ポジショニングもよい。しかし我々の柔術とくらべると劣っている。しかしすでに言ったように彼は非常に強敵であることは間違いない」

●ヒョードル、ハン、コピィロフらが「ロシアン・トップチーム」という名前で活動することになりました。そのことについて何か感想はありますか？

「ちょっと個性が欠けているんじゃないかな。私だったらもうちょっとよく考えて、他の名前を選ぶだろうね。ちょっとエレガンスの面で欠けているんじゃないかな」

●トップチームが、なぜUFO・LEGENDという新しいイベントに出場しようと思ったのですか？

「新しい大会であり、日本で最大のイベントであるとされているからだよ。そしてテレビの生中継もされるんだってね」

●8・8東京ドーム大会では、どんな闘いを見せたいですか？

「私はとにかく素晴らしい闘いをして、勝ちたいだけだよ」

●8・8東京ドームに参戦するトップチームメンバーの現在の状況を教えて下さい。

「今のところ決まっているのは私とミノタウロ（ノゲイラ兄）とミノトゥーロ（ノゲイラ弟）。我々はみんな、勝利を目指して今まで以上にハードなトレーニングしてきたよ」

●8・8東京ドーム大会での対戦相手の印象を教えて下さい。また、勝つ自信はどのくらいありますか？

「私とホジェリオはまだ誰と闘うか知らないんだ。ホドリゴはキクタだろうけどね」

●現在、トップチームで修行中の村上和成選手の状況を詳しく教えて下さい。

「カズナリは適応するのに少し時間がかかったね。ここでのトレーニングはとてもハードなんだ。彼がそれに慣れるまでが大変だった。最初の月にはちょっとしたケガもしてしまった。でもそれも回復して、今は十分ハードにトレーニングを続けているよ。彼はとっても才能があるし、学ぶのも早いね。グランドでの闘いには大きな進歩を見せているよ。スタンディングでも基礎ができているし、きっと試合の時にはいかなる相手でも闘えるような状態になっているだろう」

●村上選手はいつから、どんな練習をトップチームで行っているのですか？

「2ヶ月前からで特にグラウンドポジションがよくなった。重量のかけ方がとてもよくなった」

●マルコ・ファスと試合を組むとの話しもあったそうですが？

「マルコ・ファスは手を怪我しているらしい。だから彼はファスとは闘わないよ。まだ対戦相手は決まっていない」

●8月28日に行われるPRIDE vs K—1の10万人イベントにトップチームの選手が参戦する可能性はどのくらいありますか？

「未定だね」

●最後に8・8東京ドーム大会への意気込みをお願いします。

「ファンの人たちに大いに楽しんでもらえるような大会になって欲しい。私自身も素晴らしい闘いを皆さんにお見せしたいと思う。応援して下さい」

8・8『UFO REGEND』に大挙襲来!
ブラジリアン・トップチーム　直撃取材——番外編

村上和成はブラジルにいた!

Kazunari Murakami in Brazil

村上和成はブラジルにいた！

今年3月2日、ＺＥＲＯ—ＯＮＥの両国大会で、ＵＦＯの兄貴分であった小川直也に反旗を翻し、大谷晋二郎戦を終えた小川を急襲。そのまま会場を飛び出し、行方をくらましていた村上。

これから小川との闘いが始まるという矢先での失踪は、実に不可解であったが、なんと地球の裏側、ブラジルへと飛んで、秘密特訓に励んでいたことが発覚した！

しかも、その練習場所は、あの世界最高峰ブラジリアン・トップチーム。ここで村上は、ＰＲＩＤＥヘビー級王者ノゲイラ、世界一の寝業師マリオ・スペーヒー、ＵＦＣミドル級王者ムリーロ・ブスタマンチらの猛特訓にもまれていたのである。

失踪前、ＺＥＲＯ—ＯＮＥ、新日本、バトラーツ等プロレスのリングで大暴れしていた村上が、なぜブラジルに飛び、イチからバーリ・トゥードを学び直したのかは、帰国までインタビュー取材はお断りという村上の意向により、知ることはできなかったが、掲載した写真を見ていただければ、村上がハンパな気持ちでブラジルに飛んだのではないことがわかっていただけるだろう。

凱旋の舞台は8・8東京ドーム『ＵＦＯ・ＬＥＧＥＮＤ』。いまだ対戦相手は決まっていないが、持ち前の狂気にトップチームの技術をプラスした村上は、我々に新たなる衝撃を与えてくれるはずだ。

8月8日、5ヶ月分ブチ切れろ、村上！

世界最強伝説 LEGEND UFO

小川vsガファリだけじゃない!!

日本vs世界 総合大戦三昧!!

ここから、どんな『LEGEND』が生まれるか!?

決定 “寝技のワールドカップ”

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
〈ブラジル／ブラジリアントップチーム〉

vs

菊　田　早　苗
〈日本／パンクラスGRABAKA〉

寝技世界一は『LEGEND』が決める！『PRIDE』のリングで実現してもおかしくなかったこの“寝技師”対決が、『LEGEND』のリングで行われる！『PRIDE.21』のアレク戦では未体験ゾーンに突入した菊田だけに、今回は自分の得意のフィールドで、思う存分、世界最強の男に立ち向かうことができる。一方、『PRIDE』ヘビー級を保持したまま『LEGEND』にやってくるノゲイラが、ゴールデンタイムの生中継で放映されるこの大会で活躍すれば、知名度の面でもヒクソンを超えるきっかけを掴むことになる。ヒクソン来場の噂もあるだけに、目の前でその実力を見せつけるチャンスだ。

決定 “UFC王者に爆弾投下!!”

ジェンス・パルバー
〈アメリカ／ミレティッチ・マーシャルアーツ・センター〉

vs

村　浜　武　洋
〈日本／大阪プロレス〉

UFCを制した“粉砕機”が日本初上陸！　村浜の土手っ腹に風穴を空けるべく、ジェンズ・パルヴァーがやってくる！　かつて佐藤ルミナが対戦を熱望していたアメリカ軽量級の星がこのパルヴァー。UFCバンタム級初代王者決定戦が行われた「UFC-33」では、日本から初登場となった宇野薫を相手に判定勝利！見事、王座に輝いた。現在はUFCを離れているため無冠だが、軽量級最強の男と言っても過言ではない。少年時代からレスリングを学んでいたパルヴァーだが、その魅力はアグレッシブな打撃であり、村浜とは噛み合う好勝負を繰り広げる可能性は高い。村浜も、総合の舞台で再び強烈な光りを放つには絶好の相手といえる。

藤田の相手は締め切り時点（20日朝）で〝X〟！ 安田の相手も〝X〟！ 村上もやっぱり〝X〟！（ホジェリオは？ という声を無視して）というわけで、ここまで〝X〟が並ぶと、〝何が飛び出すかわからない〟ドキドキ感で、大会自体の幻想が高まってきたともいえる8・8『LEGEND』。

ゴールデンタイムで生中継されるこの大会では、〝未知の強豪〟から、世界最高峰の技術を持つホドリゴ・ノゲイラまで、結果的に様々な世界の強豪が日本勢を襲う。迎え撃つ日本勢には、『PRIDE』でも揃えることは難しいメンツが出揃った。小川、藤田、安田が同じガチンコのリングに揃って登場するのは初めて。パンクラスから菊田、大阪プロレスから村浜、ZERO－ONEからは、坂田と横井が2人参戦（横井は流動的）。そして、村上和成も帰ってくるから、実に個性の強い選手が集まったと言える。このバラバラ感は、逆に楽しみだ！ それにしてももう月刊誌の限界なので、あとは新聞等に任せるが……とかなんとか言ってるうちに、『LEGEND』に超大物日本人選手が参戦か!? という超未確認情報も飛び込んできた。まだまだ予断は許されない状況！ いま、どうなってます!?

もう締め切りです!! あとは新聞＆ネット＆週刊誌に任せた!!

その他 決定間近＆予想 豪華カード!!

豪華カード決定間近!!…な～んて偉そうなことを言っちゃいましたが、
Xという名の人ばかりでどうもすいましぇん。本が出るころには決まってたら、ちょっと悲しいぜ。

"名古屋とBTTの大将対決"

マリオ・スペーヒー
〈ブラジル／ブラジリアントップチーム〉
VS
坂田亘
〈日本／EVOLUTION〉

"ブラジルの大将"との一戦を掴んだ坂田にとってはビッグ・チャンス！ VT4連勝＆ZERO-ONE参戦で勢いに乗る坂田本人が締め切り間際に「日本人はみんなマリオにビビって逃げたって聞いてる。だらしない。俺がやらねば誰がやる！ですよ。意外とこういうふうにバタバタと決まったほうが、肩の力が抜けていいかもしれない。勝ちます！」というコメントをくれた。"名古屋の大将"は、本気で大物を食うつもりだ。これに勝って、次はノゲイラ兄と小池栄子争奪戦だ！

"野獣復活記念日"

藤田和之
〈日本／猪木事務所〉
VS
X
〈？ ？ ？〉

昨年の『猪木祭り』の直前に、悪夢のアキレス腱断裂に見舞われ、マット界の流れから完全に姿を消していた藤田が帰ってくる！ 相手には、一時はドン・フライの名前も挙がっていたが、ここにきて新日LA道場の未知なるロシア人格闘家の名前が急浮上……と思いきや、それはアントン総帥の勘違いでLAボクシングジムの選手という話もある。さらに超大物日本人の名も絶賛浮上中！

"ブラジルの兄弟仁義"

アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ
〈ブラジル／ブラジリアントップチーム〉
VS
X
〈？ ？ ？〉

兄と共にUFOに搭乗するホジェリオ・ノゲイラは、ドン・フライor菊田早苗との対戦が浮上していた。最終的には大型日本人とのカードが決定……寸前で消滅！ 中型日本人もすぐさま候補に挙がったが、これもまた消滅してしまった。ここにきて、LAボクシングジムのロシア人格闘家との対戦が急浮上している。プレ"ロシアン・トップチーム"との対抗戦というべき一戦で、ホジェリオの実力が東京ドームで明らかになる？

"777よ、もう一丁!"

安田忠夫
〈日本／猪木事務所〉
VS
X
〈？ ？ ？〉

"フテーンの寅さん"の行き先は誰にもわからないが、"マット界のフーテンの寅"の安田の相手もまったくわからない！ 安田自身は「どうせ10日前にならないと決まらないんでしょ？」と、半年振りのバーリ・トゥードにハラは括ったコメントを残している。昨年の『猪木祭り』で国民的ヒーローとなった安田。前回と舞台のシチュエーションはかなり違うが、勝てばさっそく新日本にギャラ増額を要求するだろう。相手は決まっていないが、試合後の筋書きはできている（はず）。

"横井大舞台出場なるか？"

ブルドーザー・ジョージ
〈？ ？ ？〉
VS
横井宏考
〈日本／チーム・アライアンス〉

これは噂として浮上している一戦。デビュー以来連勝街道をひた走る"リングス最後の怪物"横井宏孝。その連勝街道こそプロレスのリングで、大谷晋二郎に止められてしまったが、総合ではいまだ無敗を誇る。3月30日のDEEPでは"オリンピック戦士"メモ・ディアス相手に30キロの体重差を感じさせない闘いっぷりを披露。そして対戦相手として候補に上がっている通称"ブルドーザー"は経歴その他すべて謎のベールに包まれている。ブルドーザーに乗って入場してみろ、ジョージ！

"ブラジリアン・テロリスト凱旋!"

村上一成
〈日本／UFO〉
VS
X
〈？ ？ ？〉

今年3月、兄貴分の小川にまで噛みつき、謎の失踪を遂げたまま行方不明だった村上が、UFOのリングに帰ってくる！ 失踪後はブラジルに渡り、BTTでの修行に励んでいたテロリスト。当初はマルコ・ファス戦がほぼ決定とされていたが、ドス・カラスJr.、坂田戦と二転三転し、現在ではヴァリッジ・イズマイウ戦が最有力。独り立ちをしたい村上にとっては、しっかりインパクトを残したいところだ。勝利して、BTT入りか!?

世界最強伝説 LEGEND UFO

8月8日(木)
開場／15:00(予定)
試合開始／17:00

【チケット料金】（全席指定・税込）
VIP席（スペシャルプレゼント付き）……88,000円　プレミアムシート……50,000円
SRS席……30,000円　RS席……20,000円　S席……10,000円
A席……8,000円　B席……5,000円

【チケット発売場所】
キョードー東京 03-3498-9999　チケットぴあ 03-5237-9999　CNプレイガイド 03-5802-9999
ローソンチケット 03-3569-9999（Lコード36657）　イープラス http://eee.eplus.co.jp

【テレビ放映時間】
8月8日（木） 午後7時～9時24分　■公式ホームページ http://www.ufo-legend.net　問い合わせ先●キョードー東京：03-3498-9999

サクが
ンター・ハンター”
目だ!!

桜庭和志vs ミルコ・クロコップ、遂に決戦!!

サクは国立をバックに 復活の息吹!!

7・9、国立競技場におなじみの入場テーマが鳴り響き、石井館長・森下社長らに引率されて飄々とサクが登場！　親に無理矢理スーツを着せられた子供のようなたたずまいのサクは、とても世界を代表する格闘家には見えないが、ミルコ征伐にかける意気込みをサクなりに語った

灼熱の夏、桜庭和志がついに復活!! 復帰戦の相手は超K―1の鉄仮面、〝プロレスラー・ハンター〟ミルコ・クロコップ!!!

〝寝技vs立ち技の哲人同士の異種格闘技戦〟が遂に実現する!!

この世紀の一戦の舞台は、8・28国立競技場で行われる『史上最大の格闘技ワールド・カップ〝Dynamite!〟SUMMER NIGHT FEVER in 国立』。

総合プロデューサー・石井館長のもと、リング上では絶賛抗争中の『PRIDE』と『K―1』が、企業としてスクラムを組み、一大ビッグイベントを仕掛ける。国立競技場が民間の団体に貸し出されるのはこれが初めて！ 格闘技の大会をやるのももちろん初めて！さらに、10万人という途方もない人数を集めようというのだ。まずは、桜庭和志という〝時代の大きな立役者〟の復活が、ここまで壮大な舞台であるということを素直に喜びたい。

7・9に行われた大会発表会見では、会見場となった国立競技場に、試合よりもひと足早くサクの入場テーマが、本番よりひと足先に鳴り響いた。その曲とともにサクが現れたときに感じた奇妙な興奮は、サク復活が現実だということを教えてくれた。

石井館長によると「大会名の『Dy

ん〜、ダイナマイッ!
8・28国立は、

“プロレスラー・ハン

になる

ミルコ強し!! 7・14K-1福岡で〝褐色の新星〟をド圧倒!!

7・14K-1福岡大会。昇り調子の“黒い新星”レミー・ボンヤスキーを重戦車のようなパンチのラッシュで破ったミルコ。まったく寄せつけなかった。「止めるのが早い」という島田レフェリーへの批判はあったが、このパワーと自信は、サクの復帰戦にとっては大きな驚異だ!

namaite!』（ダイナマイッ!」）というのは、口で言い表せないくらいの素晴らしいものを見たときの感嘆詞であり、格闘技界に打ち上げる花火、という意味でもある」そうだ。大の〝桜庭ファン〟であるという石井館長は「ボクはいまだに彼が世界最強だと信じてる。今回は彼の復帰戦にふさわしい舞台が用意できたと思う。相手のミルコは、旬の選手たちと闘ってきてまだ一度も負けていない。ボクはぜひ、桜庭選手にミルコの首を取ってほしい」と、K―1の総大将ではなく、総合プロデューサーとして、この一戦に対しての大きな期待を語った。

昨年の『PRIDE.17』で、ヴァンダレイ・シウバに2度目の敗北を喫して以来、実に約10ヶ月ぶりの復活となるサク。記者陣大注目の中、マイクを持ったサクは「どうも、桜庭です……」といつもの調子で挨拶。

「昔、お酒を飲んだ帰りに、子供の自転車に乗っていたら『お前、その自転車を盗んだだろう』と言われ、警察署に連れていかれたことがありました。今回は相手が警察官ということで、この試合に勝って無実を証明したいと思い

ミルコのパワーを、サクは国立の星空の下で

生で喰うか？ 煮るか？ 焼くか？

桜庭　和志

7・16帝国ホテルで行われた会見でも、相変わらずのトークで会場の緊張感をイッキに緩めてしまったサク。この日のミルコは服装からしてリラックスムード。写真撮影時にはサクと笑顔で語り合うシーンもあった。スーツ姿のサクのほうがなぜか幼い

ます。よろしくお願いします」と、大一番前とは思えない気の抜けた勝利宣言で、会見場の緊張感をイッキにゆるめまくった。その上、なんとミルコを「右ハイキックで倒せればいいですね（ニコニコ）」と、驚きの〝右ハイKO宣言〟!! だが、そのすぐ後に話した希望のルールは……「打撃なしのルールでやりたいです」!!!

しかし、わずか1週間後、サク、〝右ハイKO宣言〟取り消し!! 7・16に行われた第2回会見でのサクは「ミルコ選手は相当強いと思いますので、当日はいい試合ができるように頑張りたいです。あと、この間は右ハイキックを狙うって言っていたんですが、慣れない打撃の練習をしていたら突き指をしてしまいましたので、やめました。次の技を考え中です」と報道陣を煙に巻きまくった。

対するミルコは「サクラバ選手は総合でもトップクラスの強い選手なので、闘えるのはとても嬉しい。試合はぜひアームバーで極めたいね」と珍しく笑顔を見せた。しかし、むしろミルコのこのリラックスムードは恐ろしいものがある。なにしろこの男は、会見のわずか2日前、昇り調子のレミー・ボンヤスキーを寄せつけず、ボコボコに殴り倒し、いっそう〝立ち技の哲人〟ぶりと、そのパワーを増幅させている。

しかも対桜庭戦で注目の体重差についてミルコは「自分の体脂肪はいつも5％前後。右足を切ったりすることでしか体重を落とすことは出来ない」と、ゾッとするようなコメントを出している。サクの普段の体重が83～84キロであるのに対して、ミルコのボンヤスキ

Dynamite!

この勢いは止められない!?

サクでも

02.1.27
柳澤を寄せつけず!!

01.8.19
藤田を流血葬!!

02.3.3
ハントまでエジキに!!

01.11.3
髙田を罵倒!!

02.4.28
シウバと決闘!!

01.12.31
永田を一撃!!

昨年8月19日、藤田和之をヒザ蹴り一発で沈めてから、ミルコの怪物ストーリーは始まった!! この一戦で、K-1の"角番大関"的立場だったミルコが、一躍"プロレスラー・ハンター"に変貌。永田を秒殺、さらにK-1王者ハントを一蹴、そして"サクの宿敵"シウバとの緊張感抜群の決闘もクリア!! その怪物ぶりは、ますます加速を続けるばかりだ

ー戦での計量体重は102・9キロ。約20キロ近い体重差となる。サクは、「ボクが落とすのは無理なので、ミルコ選手に落としてもらいたいです。あとは自分でおもりをつけていくようにします」と実にのんきに語っていたが、ミルコはこの言葉を静かに無視!

ミルコは、ルールも体重問題も、譲る気持ちがほとんどないのではないだろうかとさえ思えてくる。〝プロレスラー・ハンター〟ミルコは徹底的に自分に有利な状態を作った上で、サクのクビを躊躇なく狩ろうとしている!

だが、もちろん簡単に狩られるサクであるわけがない。なにしろK―1ルールでシリル・アビディを圧殺したクイントン・〝ランペイジ〟・ジャクソンから見事一本勝ちをしているサクである。ランペイジのような驚異の圧力を持つ選手を冷静に捌き、寝技で仕留めたサクは、やはり〝寝技の哲人〟である。

〝立ち技の哲人〟であるミルコからの綺麗な一本勝ちを狙っているはずだ。そして、ミルコ戦に向けての一見のらくらしたサク発言には、ひと言も「負け」を想定した言葉がない! サクはすでにミルコのおいしい料理方法をいくつもシミュレーションしているに違いない。

祈りと期待を込めて、こう宣言したい。8・28国立は、10万人の前でサクがミルコを狩り、晴れて〝プロレスラー・ハンター〟を襲名する日になる!

真夏の夜に打ち上げられる〝ダイナマイトな花火〟にふさわしいのは、サクの勝利以外にはありえません! でしょ?

の50年ロマン!!
闘”、遂に実現!!

グレイシーの本家・柔道へ リベンジなるか!?

桜庭戦の前には無制限ラウンドを主張していたホイス。今回は一転、10分3ラウンドを主張してきた。打撃のありなしで戦局は大きく変わると思われるが、「打撃なしでいい」というホイスのひと言が、逆に非常に不気味だ。ルール問題は紛糾するか?

7・16、都内ホテルにて、8・28『Dynamaite!』の第2回記者会見が行われ、吉田秀彦vsホイス・グレイシーの対戦カードが正式に発表された!

この一戦は、50年前にグレイシー柔術の始祖・エリオ・グレイシーが、ブラジルでありとあらゆる他流試合をこなしていた頃、唯一の黒星を許した相手である日本柔道の雄・木村政彦との〝マラカナンスタジアムの決闘〟をモチーフにして行われる。

半世紀前の伝説の闘いから続くロマンある闘いを、10万人の前で行うという壮大なプロ第一戦を前にしても、吉田秀彦は会見で終始リラックスした様子で、大物ぶりを発揮しまくっていた。

笑顔を見せながら報道陣の質問に答えていた吉田だが、対戦相手であるホイスについては「(背が)デカイです。非常に手足が長くて、目つきも怖い。自分も気を引き締めてかからないとやられてしまうかもしれない」と神妙に

Dynamite!

柔道VS柔術の5

“真夏の夜の決

吉田秀彦vsホイス・グレイシー

ジャケットマッチで柔道王、出陣!!

バルセロナ五輪の金メダリスト、そして柔道時代に小川直也を判定ながら破った吉田が遂にプロのリングへ！　あくまでも柔道をベースにしたいという吉田だが、このジャケットマッチをステップに、純「PRIDE」ルールへの挑戦はありえる

語った。吉田がそう答えたのも無理はない。会見場で桜庭・ミルコ・吉田と並んだ中でもホイスは飛び抜けて背が高く、背負った雰囲気はひとり異様だった。ここ数回の『PRIDE』に登場しているヘンゾやホドリゴといった、笑顔の似合うナイスガイな〝陽〟のグレイシーと異なり、深い深い〝陰〟を背負ったホイスが上から吉田を見据えると、吉田の顔から、笑みが消えた。

試合のルールについては、総合プロデューサーである石井館長によると「互いに道衣を着用したジャケットマッチで、打撃も含んだものになると思う」とのこと。桜庭vsホイス戦のように時間無制限・完全決着ルールが一案としてあげられているが、ホイスは「50年前の闘い（木村vsエリオ）が10分3Rで行われていたので、自分はそれを希望する。そしてあの日の闘いは打撃無しの闘いだったので、今回も組技のみで闘うことを希望する」と、あくまで50年前の父の闘いを再現することへのこだわりを見せた。さらにホイスは「ヒクソンにもこの挑戦のことは話してある。当日は、エリオやヒクソンにも来てもらいたいと思っている」と、一族をあげて柔道家・吉田秀彦と闘うことをアピールした。

会見の翌々日、吉田は某紙のインタビューで興味深い発言をしている。「（ホイス戦を受けた理由は）柔道着を着られるからです。その要望を飲んでくれたから。それじゃないとやらなかった。木村（政彦）先生とエリオが闘ったことは、あとで知ったこと」。

ホイスが「父エリオのリベンジという言葉はあまり使いたくない。リベン

歴史的な夜の歴史的な一戦!!

ホイスは早くも臨戦態勢!!

終始ニコニコと人の良さそうな雰囲気を漂わせていた吉田に対し、ひとり異様ともいえるほど殺気を漂わせていたホイス。口調は柔らかかったものの、吉田を見る目つきはすでに尋常じゃない!!

ジはあくまで本人がするものだからだ」とは言いながらも、父の唯一の黒星から50年のいま、〝本家・日本柔道〟へのリベンジを決意してこの一戦に臨んでくるのは間違いない。それに対して、吉田はあくまで他流試合を通じて己の柔道家としての地力の強さ&柔道そのものをアピールするための絶好の機会として、この試合を捉えているようだ。

もちろんバルセロナ五輪の金メダルに輝いた上、柔道で同期だったTK(髙阪剛)のもとで総合の練習に励んでいる吉田が、柔術に簡単に敗れるとは思えない。だが、ここ最近で地に落ちたとさえ言われている〝グレイシー〟のブランド復権という任務と、父エリオが倒すことができなかった日本人柔道家を、柔道の生まれた国・日本で打ち破るという事実に賭けるホイスの決意も、また簡単に破られるものではないだろう。

そして、グレイシーとルール問題といえば、非常に強い印象として残っているのがやはり00年の桜庭vsホイス戦である。プロレスラー・桜庭和志相手にさえ、勝つためには手段を選ばずに徹底的に己たちのルールを要求してきたグレイシーが、因縁の対決を前に主催者側のルールを簡単に飲むわけがない。大会まであと1カ月、グレイシー側は断固とした態度で〝マラカナンスタジアムの決闘ルール〟を通すことを要求してくるだろう。

50年目の一戦に望むホイス・グレイシーと、小川直也を破った柔道家・吉田秀彦のプロデビュー戦。どちらにとっても負けは許されない一戦が、真夏の夜の国立競技場で行われる!!

格闘技、初の国立進出!!

ん〜〜、ダイナマイッ!!

8・28『Dynamite!』のチケット

『紙プロ』 ダイナマイッスペシャル 先行予約!!

太っ腹!! ご購入代表者の方には
『紙プロ』オリジナルTシャツを、ん〜〜、プレゼンッ!!

先行予約電話番号 **03-3403-5142**

7月27日(土)午前10時〜午後6時まで

先行予約メールアドレス **ticket@kamipro.com**

【メールでも先行予約を受付けます】 上記の受付時間中にお名前、電話番号、メールアドレス、チケットの種類&枚数、Tシャツサイズ（S or M or L）を書いたメールを送りください。折り返し、予約番号&購入方法を返信します。
※当日午後7時までにメールが届かない場合は、先行予約電話番号にて確認してください。
※また、特典Tシャツの希望サイズがなくなった場合は、こちらでサイズを選ばせていただきますのでご了承ください。

史上最大の格闘技ワールド・カップ
SUMMER NIGHT FEVER in 国立
史上最大の格闘技ワールド・カップ
Dynamite!
SUMMER NIGHT FEVER in 国立

8月28日(水)
国立霞ヶ丘競技場
開場 15:30
開始 18:30
雨天順延日／8月29日(木)・30日(金)

チケット料金（全席指定・消費税込）

RRS(ロイヤルリングサイド)……30,000円　スタンドS……15,000円
スタンドA……12,000円　スタンドB……6,000円

購入方法

発売日(7月27日)に電話またはメールで予約した後、8月5日(月)〈消印有効〉までに現金書留で下記のものを送付して下さい。
①お客様の郵便番号、住所、氏名、チケットの種類&枚数、Tシャツの希望サイズ、予約番号を明記したメモ
②現金(チケット代+送料500円)

送付先:〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス　紙プロチケット係

[お問い合わせ先] (株)ダブルクロス TEL.03-3403-5188　(株)ドリームステージエンターテインメント TEL.03-5775-5700

ん～～、ダイナマイッ! Kのリングに乗り込んだ

ランペイジ、アイブル……そしてジョシーにまで『Dynamite!賞』が!!

7・14『K-1 WORLD GP in 福岡』

ん～、ダイナマイッ!!

ランペイジ、仰天のアビディKO劇!!

誰もが驚いたランペイジのKO勝ち! 桜庭戦の前にはイロものと見られていたが、いつの間にか格闘技界のトップグループに入ってきた

ん～、ダイナマイッ!!

アイブル、ヤケクソ玉砕!!

飛びヒザも見せたアイブルは、セフォーの強烈なローでダウン。その後、痛めた左足で蹴る、殴るとヤケクソ気味の大突進! 最後はローを決められ見事な玉砕!

ん～、ダイナマイッ!!

ジョシー〝狂拳〟不発! but「俺みたいな〝クソッタレ〟でも必ずK-1のチャンピオンになる!!」

誰とでもフルタイム闘う武蔵はK—1のジャンボ鶴田か? 素人には受けないが、玄人には受ける武蔵のテクの前に、ジョシーの〝狂拳〟は完封された。でも、ダイナマイッ!!

んと、～、ダイナマイッ!!〝純K—1〟の二本立てとなった7・14福岡大会だが、この日は〝超K—1〟の圧勝!!

『PRIDE』から暴走、シリル・アビディをまさかのKOで葬ったクイントン〝ランペイジ〟ジャクソン!

同じく『PRIDE』から、レイ・セフォー相手にヤケクソの突進。最後は負けたのに「一本!」と言いたくなる玉砕をしたギルバート・アイブル!

前日の会見でも「ファック」しか言わず、ロクに専門的な蹴りも知りもしないのに、武蔵を相手にフルRに闘ったZERO—ONEの〝狂拳〟、ジョシー・デンプシー!

この、K—1にとっての〝外敵3人衆〟が『ダイナマイト!賞』を見事に受賞した。この3人は、存在自体が〝いつ何時でも他流試合〟であることを証明したわけだ。

ところで、Whatis『ダイナマイト!賞』!?

試合前日(7・13)の記者会見で「今回のテーマは〝ダイナマイッ!!〟」と、「K—1ワールドGP」の大会にも関わらず、8・28国立を見据えた発言をしまくった石井館長は、さらに「勝ち負けに関係なく、今大会で一番感動させる試合をした選手に3万ドルの『ダイナマイト!賞』を出す」と言ったもんだから、サァ大変!!〝外敵3人衆〟は極めてアグレッシブに『ダイナマイト!賞』を取りに行ったというわけだ。

そして閉会式で館長が発表する前に、3人は「ダイナマ～イッ! ダイナマ～イッ!! ダイナマ～イッ!!!」とマイクで叫び出し、〝オレによこせ〟とアピールしまくる始末!!

館長もノリノリの〝外敵3人衆〟に笑顔で応え、賞金3万ドルを1万ドルづつ分けて贈呈した。まさにダイナマイト・セール!

8・28では、誰が『本番ダイナマイト!賞』を獲得するのか!?(あるのか?)

●7・14K-1福岡大会の関連記事は、P155～からの『紙の新聞』(主人公・ドラゴン)にもありマスカラス。

新柔道王

暴走柔道王

これは興行戦争というより「小川直也」vs「PRIDE&K-1連合軍」だ!!

8・28 国立『Dynamite!』

8・8 UFO『LEGEND』

2002年8の月
格闘技幻魔大戦
灼熱の真実&噂

小　いやあ、8・8『LEGEND』ですけど、大会3週間前の（7月）17日に、ようやく小川直也のカードの他に2カードが発表されましたね。それまでなんにも発表されなかったんだから、この規模の大会としては異例中の異例ですよ（笑）。

中　日付けの順番的には、8・28『Dynamite!』よりも先に発表されてなきゃいけないんだけど、完全に先手を打ったのは『Dynamite!』のほうだったね。9日に格闘技ファンには求心力のあるサクvsミルコを発表して、16日には一般マスコミも大騒ぎだった吉田秀彦プロデビュー戦という、バツグンに遠心力のあるタマを持ってきた。しかもホイス戦というのがスパイスが効いてる。言ってみれば二段撃ちで極めた感じ（笑）。

大　いや、さらに、格闘技ファン、プロレスファン、一般ファン、さらにマスコミまで巻き込む力を持っている「格闘技初の国立進出」「民間企業初の国立使用」ってことで、さらに話題は加速してる。実際に効果は、鴨汁そばのそばを追加したときのように、一枚二枚と積み重なっていってるよ。

小　すいません、それが例えなのか比喩なのかすらもわからないんですけど（笑）。

中　で、完全に後手を踏んでしまった『LEGEND』のほうだけど、小川の相手のマット・ガファリは、実績たっぷりでキャラ的にもド迫力の〝未知すぎる強豪〟なんだけど、いかんせん総合&プロデビュー戦ということで、プロの世界では無名だから、動員的に苦しいとは思うね。

大　たしかに、7・7ZERO―ONEの両国大会の日がチケット一斉発売だったんだけど、その時点ではドーム興行にしては惨憺たる結果だったらしい。

小　その時点では、小川がホントに出るのかどうかすらわからなかったですからね（笑）。一切カードは発表されてなかったし、これからどう動いていくかじゃないですか？

中　17日には菊田vsノゲイラと、村浜vsパルバーも併せて発表されたよね。他に噂されてるものも含めて、ひとつひとつカードを引っぱり出して見れば、全然豪華なカードなんだよ。でも、いかんせん大会の方向性というか、コンセプトがイマイチよくわからないから、イベントとしての高揚感や期待感が薄いよね。それはファンの反応を見ていて思ったことだけど。

大　6月末の第1回目の発表会見では、猪木さんが「とんでもない仕掛けを考えてます」なんて言ってたけど、水面下でのドタバタが面倒くさいのか、失敗したときの保険なのか、小川vsガファリが発表された日に来日した猪木さんは「これまでのマッチメイクには、一切触ってねぇですから」って言ってたな（笑）。

中　凄いよね、前言撤回もはなはだしいというか、変化することをなんとも思ってないから（笑）。あの人のなかでは、物事は常に動いていくものだからね。それについてこれない者は、切り捨てちゃうから。

小　でも、その日には不気味なことも言ってましたよね。「決まったことを変えるっていうのは非常に難しいんですけど、より視聴者、ファンが好む方向へ変える英断っていうか、勇気がスタッフにあるのかどうか」と、微妙なニュアンスながら、暗にカード見直し要求とも取れる発言をしてました。

大　要するに、「一度決まったことをひっくり返す勇気が、テメエらにあるかい？　アーッ!?」ってことなんだろうけど、それが小川の対戦相手に関してなのか、全体的なカードの見直しを指したものなのかはわからない。

UFO『LEGEND』見切り&出遅れの離陸!! やっぱり最後は小川頼み

2002年8の月 格闘技幻魔大戦 灼熱の真実&噂

中　でも、そう言うっていうことは、猪木さんが、これから興行を成功させるために、本格的にひと肌脱ごうってことなんじゃないの？　「俺のほうでもいい選手は用意できる」って言って、元チャイナことジョアニー・ローラーの名前を出したときは「また始まったか」と思ったけど（笑）。

小　ローラーは、「蹴りもパンチも投げも、ホントにいい」って言ってましたね。とくに男に混じってやっているボクシングはなかなかのものだって言ってました。

中　まさか安田vsローラーってことはないと思うけど、なんらかの形でローラーの試合を組み込んでくるっていう可能性はなくはない。

小　ますます何の大会だかわからなくなりますよ（笑）。

大　いや、でも例えば男vs女のバーリ・トゥードが行われてもいいカラーの格闘技大会があってもおかしくはないんだよ。それが猪木さんが総帥としていて、小川っていう看板選手がいるUFOだったら、なおさら、いろんな試合があってもいいと思うんだ。

中　たしかに菊田vsノゲイラなんかは、『PRIDE』でやってれば反応はもっともっとあっただろうからね。俺はやっぱり『LEGEND』のコンセプトワークがウマくいかなかったのが、カードが決まらないとか、その他のドタバタの原因だと思うんだ。

中　だから、猪木さんも言ってたけど、『PRIDE』を意識しすぎて、よけい色がハッキリしなくなっちゃったよね。

大　総合格闘技の大会じゃ、選手も食い合うしね。

小　でも"芸能界のビッグボス"と言われる川村社長のラインで、芸能人はリングサイドにたくさん座るだろうし、放送も豪華絢爛になるはずですよ。

中　だから、小川の相手のガファリなんて、いい素材だと思うんだよ。でも、いかんせん大会の色づけもできてない、選手も無名じゃ、ライブとして会場の地熱は生まれにくいよね。ただ、日テレはガファリの映像を急遽アメリカまで撮りに行ったんだけど、そのクルーの話によると、動いてるガファリのビジュアル・インパクトは相当なものらしいね。練習でもポンポン相手をブン投げてるらしい。それによく食うんだって。

小　よく投げて、よく食うんですか！（笑）。

中　やっぱり、全盛期のカレリンと5回も闘って苦しめた力は、とんでもなく驚異だよ。しかも、いまランディー・クートゥアーらとポートランドで合流してMMAの練習に励んでるらしいね。あの連中の総合でのテクを、あの巨体で、ベーシックなものだけでもマスターしてたとしたら大変なことになるよ。空恐ろしい（笑）。

大　だから、ZERO－ONEじゃないけど、無名の選手でも"敵"はつくっていけるんだよね。むしろ、"敵"をつくっていくのが、プロの世界でしょ。でも、プロレスのように試合しながらっていうわけにはいかないから、ある程度、その"敵"

00年10月の佐竹戦以来、実に1年10ヶ月ぶり3度目のVT出陣となる小川。多くのファンが待ち望みながら、なかなか実現しないVT戦だけにハッキリ言って見逃せない！

昨年8月、ミルコ戦でのあまりにも鮮烈なTKO負けから1年、再びVTのリングに足を踏み入れる藤田。メインの小川と比較される舞台だけに、一発大きなことを狙っているか

昨年の大晦日、猪木軍の大将として、レ・バンナに激勝！「お父さん勝ったぞー！」で、全国のお茶の間を感動させた安田。再び地上波生中継で大仕事をやってのけるか？

「PRIDE・20」のアレク戦は、せっかくのメジャーデビューながら、最悪の内容となってしまった菊田。今回はノゲイラという申し分ない相手だけに、その真価が問われる。

現在、「DEEP」4連勝と絶好調の坂田。リングスKOKでは、ヘンゾに秒殺された苦い経験があるが、それ以来となる柔術の強豪との対戦で、その成長ぶりを見せつけられるか。

「PRIDE・10」の佐竹戦以来、長らくVTから離れていたが、実は「PRIDE・1」の第1試合にも出場している村上。ブラジル修行の成果を見せる相手はいったい誰か？

［座談会出席者］

大　『紙プロ』編集部の誰かというのは信憑性がある気がしないでもないが、そうでもない気もする。いや、まったく違う気がしてきた。

中　業界に強力な情報網を張り巡らせている事情通。この人に聞けば、マット界周辺のことはわからないことはないという地獄耳。

小　まだキャリアは浅いが、それをカバーするフットワークの軽さ、取材力には定評があり、データにも強い。選手との親交も深い。

のプロモーションは必要になってくる。

中　日テレのほうは、これから本腰を入れてプロモーションをしていくだろうから、視聴率はいくかもしれない。問題は求心力が必要になってくる興行のほうだと思うんだ。だって、まだ今日の時点（20日）で、藤田、安田のカードも決まってない。締め切りの都合で追えないけど、今日、新日本の札幌大会に猪木さんが現れる可能性は高い。

小　藤田のプロレス復帰戦（対垣原賢人戦）もあるから、なんらかのアクションなり、発表がある可能性は高いね。

中　俺が調べたところでは、猪木さんルートで、藤田か安田の相手は、新日本のロス道場で練習しているロシア人の強豪がいるらしいんだけど、そいつになるんじゃないかって聞いた。でも、小川に続いて、藤田まで〝未知の強豪〟じゃ「ちょっと……」と、日テレサイドが難色を示して、ブランコ・シカティックやジョシー・デンプシーの名前も上がってるみたいだ。

大　一発大きな、求心力のあるカードが必要ってことで、藤田の相手として超大物の日本人プロレスラーと交渉に入るっていう噂もある。バーリ・トゥード初挑戦の選手なんだけど、その選手が出てきたら、藤田相手じゃなくても爆発するよ！

小　うっわ〜、それは凄いなぁ。でも、藤田の相手はタイソンって飛ばしてたところもありますけどね。

中　猪木さんが「タイソンを呼ぶ」ってブチ上げたやつでしょ。ま、それはいつものリップサービスだろうけどね（笑）。

小　タイソンはゲストでもないと思いますけどね。

中　でも、そろそろ「俺の出番！」と思いだしたのかどうなのかわからないけど、猪木さんはカード編成の見直しを始めてるみたいだね。ヴァリッジ・イズマイウをカードの中に組み込みたいらしい。相手は当初、マルコ・ファスや坂田亘が対戦候補として上がっていた村上。ブラジル特訓の成果を見せるにはいい相手かもしれない。

大　猪木さんのカードとしてはまともだよな（笑）。でも、チケットの売れ行き次第では、契約が済んでる以外のカードは大幅に変更ってこともありえるね。

中　いや、いま決まってる菊田vsノゲイラとか坂田vsマリオ・スペーヒーとかは純粋に見たいよ、やっぱり。

大　そもそも、そのノゲイラやマリオのBTTのマネージメントをやってる元RのU女史もマッチメイクに絡んでるんだけど、そのマッチメイクが、UFOスタッフの考え方と、あまりにも溝があるみたいだね。そのスタッフとU女史が同じ選手に声をかけたり、それも全然違う対戦相手だったりと、『LEGEND』内でもやってることが混乱してるんだよ。要は、川村社長やUFOのスタッフ、日テレ、U女史らの意見をまとめるイベント・プロデューサーの役割の人がいない。それが、方向性やカードが決まらない一番の原因だろうね。

小　でも、この分だと、ホントに伝説になりかねないですよ、この大会は。めちゃくちゃ面白くなるか、大コケするのかはわからないけど、何かが起こりそうな匂いはプンプンしてますよ。

中　日々の情報に注目しててほしいよね。

大　いや、いろんな意味で見逃せない大会だよ。しかもバーリ・トゥードの大会で、ゴールデンタイム生中継は初めてだから、そういう面でも注目せざるをえない。なんか、藤田と安田のカードが発表されたら、一気にいきそうな感じもあるしね。

中　『LEGEND』はUFOだ

●

イッ！な初モノづくし
0万人興行には
ャンピオン
ラスが勢揃い!!

2002年8の月
格闘技幻魔大戦
灼熱の真実&噂

驚ガクのカードがズラリ!!

けに"未確認飛行情報"が多いわけだけど、8・28の『Dynamite!』のほうは、TBSが放送する。『スカパー!』では生で完全中継するけどね。

小 『ダイナマイッ!』っていう大会名は画期的ですよ。覚えやすいし、インパクトあるし。って思ったら、今度『DEEP』でドス・カラスJrと対戦する中野の越谷の桂スタジオでやった自主興行が、『DYNAMITE』っていうらしいですね（笑）。大文字と小文字の違いと、「!」が入ってるか入ってないかの違いはありますけど（笑）。

中 ハハハハ。先乗りがいたんだ! でも、インパクトは強いね、『Dynamite!』は。大会コンセプトは"他流試合"らしいけど、カードから演出面から超ド級のものになりそうだね。驚愕の演出を考えてるって聞いたね。国立ってことで国歌吹奏もあるらしいんだけど、大物アーティストが夜空に歌い上げるっていうプランもあるらしい。

小 出場候補を挙げるだけでも豪華ですからね。

大 サクvsミルコ、吉田vsホイス意外は、締め切りの今日の時点（20日）では発表されてないけど、

8・8の『LEGEND』にも出る藤田には正式にオファーがいったみたいだね。

中 あ、そうなの? 俺はてっきり8・8の様子を見てからだと思ったけど。そういうことなら、想定メンバーから対戦相手を予想するとすると、ボブ・サップあたりかな。田村の技術が体格差という壁に阻まれて通用しなかっただけに、ヘビー級の藤田が、"暗黒肉弾大魔人"にぶつかっていくのは、実に面白いね。藤田ならそうパワー負けしないだろう。

小 い、いや、わからないですよ。サップは、ホントに我々が想像してる以上のタマですよ、きっと。

大 たとえノゲイラでも、ノゲイラがなんかやる前に圧力だけでやられるって見る専門家は多いよね。100キロのノゲイラなら、中迫や田村のように、圧力だけで吹き飛ばされて、なにもできないうちに終わってしまうんじゃないかって。

中 ボブ・サップ最強説か（笑）。でも、サップだったらフライ戦で男を上げた高山との試合も見てみたいけどね。

小 見てみたいですね！ 高山だったら、簡単に潰されないですよ。体格に加えて、フライとノーガード・バーリ・トゥードをあれだけやった精神力もあるし。

中 でも高山は一気にトップスターとしてのオーラが出始めたね。

『Dynamite!』出場予想選手

クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン

ドン・フライ

ピーター・アーツ

藤田和之

安田忠夫

シリル・アビディ

ヴァンダレイ・シウバ

ボブ・サップ

アレクサンダー大塚&
フランク・シャムロック

高山善廣

レイ・セフォー

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

ダイナマイッ
8・28 10万
チャン
クラ

でもさすがに、フライ戦後まもなくノアのシリーズに参加して、その後、今日（20日）の新日本に参戦して、8月はG1。いくらタフな高山だって、その後にサップ戦はシンドイんじゃない？

大　いや、オファーは当然いくだろうし、出てくるんだったら、相手は誰でも一緒なんじゃない、シンドさは。こんなことカンタンに言ったら怒られるけど（笑）。うん、でも、高山vsサップも見たいね。

小　この大会は、サクvsミルコが猪木ボンバイエルールの改良型になったり、吉田vsホイスがジャケットマッチになったり、カードによって、一番見たいルールを設定していくんですけど、ドン・フライvsシリル・アビディのK─1ルールという、去年の『猪木祭り』と「対」になった形のリベンジ戦も浮上してたじゃないですか。あれはまだ生きてるんですかね？

大　フライは、8・8『LEGEND』にも出場するっていう話があっただろ。相手はノゲイラ弟って言われたり、ノゲイラ兄だって話が出てたけど。でも、肩の負傷で出場は流れたみたいだね。

小　高山戦のダメージから回復するのも時間がかかったでしょうし、もともとヒザも悪いし、満身創痍っていってもいい状態らしいですね、フライは。

大　でも、国立っていう特別な舞台だったら出てきたいんじゃない？　フライは。対戦相手は、アビディが7・14のK─1福岡大会でランペイジにまさかのKO負けを食ってしまったから、相手は変わる気がするけどね。

小　ランペイジは、暴走ホームレスっていう異名を凌駕する実力とパワーがありますね。当然、他流試合要因だから、国立にも出てくる可能性はあるね。

大　あと、K─1からのブッキングで、フランク・シャムロックが参戦する。じつはもうシャムロックvs田村でオファーが行ったらしいんだ。

中　それはUWFルールかね!?（笑）。

大　ありえたんじゃない？　ガチンコのUWFルールは。でも、田村は9・7有明の『DEEP』で美濃輪戦を気持ちの中では決めてたらしいんだ。なにしろ『DEEP』の佐伯代表は、2年近く、ズッと田村にオファーを出していたからね（笑）。

中　先に『PRIDE』と契約しちゃったけどね。でも、契約上は何も問題ないんだけど、田村側から『PRIDE』側に断りを入れて、穏便に『DEEP』参戦が決まったらしいけど。

小　田村は「佐伯さんにはお世話になってるから恩返しをしたい」みたいな、泣かせるセリフを言ってましたよね？

大　ホント、面白い存在だよね、田村潔司は。誠実さとタチの悪さが同居してる。シウバ、サップに『PRIDE』で2連敗して、ちょっと傷ついたけど、でも、より大きく再生できる胆力は持ってるよね、田村は。

小　シウバって名前がいま出ましたけど、そのシウバは当然、出場候補でしょうけど、誰と"他流試合"をやるんですかね。

大　この間の福岡でアイブルを憎々しいほどにかっこよく沈めたレイ・セフォー戦はバツグンに見たいけどね。

小　ああ、セフォーの他流試合は見たいですよ。ルール次第ですけど、猪木ボンバイエルールでも、バーリ・トゥードでも、K─1ルールでも、シウバvsセフォーは見たいです！

大　なんか、さっきからカード予想座談会になってないか？（笑）。

小　ところで、肝心のノゲイラはどうなっちゃうんですか？『Dynamite!』は？

大　DSEの森下社長によると、『Dynamite!』参戦の正式オファーを出してるのに、回答がないまま『LEGEND』参戦が発表されたことで問題が生じたらしい。

小　いや、ノゲイラは『PRIDE』のヘビー級チャンピオンですからね。カンタンに他にチャンピオンが上がれるのもどうかと思うんですけど……。

中　森下社長は、「『LEGEND』さんを邪魔するつもりはない

後"には
変動!!

し、契約上は問題ない」と言ってるね。でも、「私のところにひとつも連絡がありません。彼は王者としての責任があるし、王座を軽く考えてるようで寂しいですね」と言ってる。本人の目に止まるように、英語版の『PRIDE』公式サイトで森下社長のコメントを正式発表してるね。

小　「最後通告」ですかね。

中　それでなんの回答もないようなら、王座ハク奪や、『PRIDE』からの締め出しまで辞さない構えだね。

大　『LEGEND』を邪魔するつもりはないと言いながら、森下社長も意識してるね。

中　そういう問題じゃないって怒られますよ（笑）。

小　でも、ノゲイラのブッキングをやってるUさんの行くところ、トラブルが絶えないですね。R時代のM総帥とも蜜月関係だったのが、いきなり裁判まで行っちゃったし。トラブルに巻き込んでるのか、巻き込まれてるのかはわからないですけどね。

中　それはU女史が美人だからじゃないの？　違うか（笑）。でも、UFOの川村社長は、ノゲイラの出場については「問題ない」と言ってましたね。

大　ノゲイラの『LEGEND』出場で、昔のプロレス界やキック界みたいに、ヘンなふうにこじれて、選手が活躍の場を奪われるのだけは勘弁してほしいな。これが尾を引くようなら、秋以降のマット界の様相は変わっていくかもしれない。

中　いろんなものを巻き込んで政治闘争にまで発展しかねないからね、この業界は。

大　ノゲイラなんて実力、人気、まだまだ伸びるタマなんだから。

小　いまからまだ実力は伸びるんですか（笑）。いまでも世界最強なのに。あ！　最強っていえば、ヒクソンはどっちに来るんですかね？

大　ああ、ホイスと和解したらしいね。ホイスが吉田とやるっていうことに決まって、ヒクソンにアドバイスを仰いだらしい。

小　グレイシー一族のもっとも有名な兄弟が遂に和解ですか。

大　ホイスの吉田戦には、ヒクソンのモチベーションが凄く上がってるらしいね。なんか、ホイスのセコンドに着きたいと言ってるらしい。

小　やっぱりグレイシー一族の日本柔道に対してのモチベーションは高いんだな。

中　柔道といえば小川ですよ。日テレの宮本プロデューサーは、2回目の『LEGEND』で、小川vsヒクソンを狙ってるらしい。8・8ドームにも日テレがヒクソンをゲストで呼ぶ計画もある。

小　小川が8・8で勝ってヒクソンを呼び込んだら、凄いことになりますね！

大　まぁ、ヒクソン絡みの噂も出ては消え、出ては消えしてるよな。いずれにしろ、『LEGEND』と『Dynamite!』には業界を活性化させるような大きな盛り上がりを期待したいね。

次号もやります！
8・28『Dynamite!』の、ん〜、ダイナマイッな直前大特集!!
8月24日前後に発売！

7月16日『Dynamite!』の第2回記者会見。仕掛けでは、完全に「LEGEND」を凌いでいる。石井館長は、完全に"超K-1"モード。プロレス進出も視野にいれてるらしい

4・28の菊田vsアレク戦で「PRIDE」と溝を残した尾崎社長が、17日の会見には、菊田とともに出席。左後ろからニラミを効かすのが"芸能界のドン"でもある川村社長だ

ノゲイラ問題ボッ発!!

“祭りの

またもや地殻

そしてヒクソンはどっちに来る!?

紙のプロレス RADICAL

052 CONTENTS

Cover Model : Shinya Hashimoto & Naoya ogawa

006

088

129

Main-Event

8・8UFO東京ドーム、
8・28『Dyamite!』国立競技場
灼熱の格闘技大戦に大肉迫!

MMA Special

Pro-Wrestling Spcial

Columns

Another

RADICAL Special Pinup 村上一成/ Portrait Ryoko

7・7両国大会
大爆発記念
巻頭インタビュー

ウチのボーナスはかき氷や！

ZERO-ONE、ブレイクの秘訣？ 選手もフロントも他とは
気合いが違うんや！

破壊王
橋本真也

聞き手／松澤チョロ
撮影／森"モーリー"鷹博
designed by matsu〔Two three〕

7・7両国大成功！

ゼロワンダフル

ZERO-ONEの今年のボーナスはかき氷や！

橋本 （破壊王タイムで1時間送れて登場。手には、たくさんのかき氷）悪ィ悪ィ！　でもいいところに来たな。これからZERO―ONEの社員にボーナスやるんや。撮っていいぞ！（笑）。

――それは是非！　でも中村部長も（オッキー）沖田さんも、レフェリーのデューク（佐渡）さんもいないじゃないですか？

橋本 中村、沖田、佐渡の3人は、もう次のシリーズに向けて出張中だから。

――せっかくのボーナス授与式に3人欠席っていうのも、ちょっと寂しいですけどね。

橋本 その3人には何やろうか？　……やっぱ、かき氷か？（笑）。

――アハハハハ！　もしかしてボーナスって、かき氷……ですか？（笑）。

橋本 そうや！　これが今年のボーナスだから（と言って、ひとりひとりにかき氷を手渡す破壊王）。オレはイチゴな。どっちがいい？　イチゴとレモン？

――あ、ボクはレモン味のボーナスいただきます！（笑）。

橋本 （フロントの3人に向かって）よし、これからも頑張っていこう！

――以上、ボーナス授与式でした（笑）。先日のネプチューンのバラエティ番組（ネプチューンとオーちゃんが、大イビキでグッスリ寝ている破壊王から3カウントを取れるかという企画）を見たら、イビキの手術したって言ってましたけど、橋本さん全然治ってないじゃないですか！（笑）。

橋本 違うよ！　あれは戻ったんや！

――アハハハハ！（笑）。最近、戻っちゃったんですか？

橋本 やっぱり、太ったら戻るやろ！（キッパリ）。ただな、前はもっと凄かったらしいぞ。ダーッハッハッハッ！

――そうなんですか（笑）。でも、さっきのバラエティーではベットの周りにエロ本だ小池栄子写真集だって、たくさんありましたけど、いつもああなんですか？

橋本 違うよ！　あれは、ずっと沢野（小川のマネージャー）と小川が朝方まで俺の部屋にいて、何かいっぱいコンビニで買って来てくれたんだよ。「エロ本こんなに買って、沢野ちゃんスケベだねぇ」って言ってたんだけどな（笑）。

――小川さん達はギリギリまで橋本さんと一緒にいて、収録の時は熱睡しているよう仕組んでたわけですね（笑）。

橋本 そう、ハメられたんだよ！　たまたまその日に小池栄子とメシ喰ってたんだけど、同じ日に「破壊王と小池栄子熱愛発覚」みたいな新聞が出ててな（笑）。「おい、こんなん出てるぞ！」って見せてたんだよ。

――アハハハハ！　で、実際どうなんですか、仲がいいとは言ってますけど、新聞に出てるような関係なんですか？（笑）。

橋本 栄子のために、オレが潔白を証明してやるよ。栄子はただの友達や！　指一本、触れてもいません！（キッパリ）。

――アハハハハ！　触れてはいないと？

橋本 触れたかったけどな（笑）。

――まあ男なら触れたいですよね（笑）。

お客様は神様です！

そしてプロレスは我々が守ります！

両国のリングに上がった破壊王は「本日はご参列いただき誠にありがとうございます」と破壊王らしいマイクアピール。その後、お馴染みの「お客様は神様です！」が炸裂した！

SHINYA HASHIMOTO

橋本 それに栄子はオレのことを親父とアニキの中間だと思ってるみたいだから。

――また微妙なポジションですね（笑）。

橋本 「お父さんみたい」って。そうやって言われると、何もできんやろ（笑）。

――そうですよね（笑）。でも、どんなネタでも新聞の一面になるってことはいいことですよ。ここ最近は、小川さんが一面を飾ることが多かったですけど。

橋本 そういうふうに仕向けたんや。なんか最近はサッカーがずっと話題を独占してて、プロレスで一面を取ることが少なくなってきたじゃない？　やっぱり、オレらが頑張らないといけないんだよ。

――両国大会に向けて、かなり頑張ってきたみたいですけど、橋本さん的には両国は、100点満点で何点だったんですか？

橋本 点数か……70点プラスアルファ、プラスマイナス……。

――どっちなんですか？（笑）。

橋本 オレの評価は70点や！　不可抗力とかもいっぱいあったからな。

――不可抗力もあった結果、70点というのは橋本さん的に成功と言えるんですかね。

橋本 そういうのを考えると高得点だと思うよ。個人個人に関していえば、まだまだ全然ダメなヤツもいるし、ホントにミスマッチで面白かったのは大谷と将斗と坂田&横井の試合だろうな。それと、ガイジンにはホント、ボーナスやりたいぐらいだな。これは社長として見た発言だけど（笑）。

――選手としては憎らしいけど、社長としては評価が高いわけですね（笑）。

橋本 まあ、そういうことや！（笑）。

橋本 でもネイサン・ジョーンズなんかは、プロレス的には、うまくない選手だって評判でしたけど……。

橋本 （遮って）初めて活きてきたよな。

――地方で連戦してきて、両国大会では抜群に良くなってましたからね。金網をよじ登って上から現れた時のインパクトは凄かったですよね。

橋本 怖いぜ、あれは。まだまだ、でも、崔（リョウジ）と（佐藤）耕平に関しては、金村（キンタロー&黒田哲広）達にたまたま勝ったようなものの、ハッキリ言ってあんなもん勝ちとは言えないよ。

――橋本さん的にはダメだったと？

橋本 勝負のしどころと耐えるところとのバランスがもうグッチャグチャで、だから、ここぞという時に汚い攻撃しかできない。

――逆に、坂田、横井とか元リングス勢と絡むと崔さんも耕平さんも感情剥き出しのいいファイトを見せてるじゃないですか。

橋本 でもな、崔と耕平のやってることはカッコつけようとしてるだけなんだよ。だから一生懸命に試合を組み立てようとしてるけども、組み立てもできてないし、すべてがバラバラ。それが面白いっていえば、面白いのかもしれないけども、あまりにもみっともない。まだまだ全然ダメや！

――かなり辛口ですね。ちなみに突然始まった第0試合って何だったんですか？

橋本 試合数が多すぎたんだよ。でもな、第0試合に出したスパンキーは、ZERO―ONEのベッカムにしてみせるから！

――ベッカムですか！（笑）。たしかに、スパンキーは、イイ男系ですけどね。

橋本 いや、実力もあると思うし、ちょっと勉強したら、もの凄く良くなると思うよ。オレが〝若き天才〟オーエン・ハート以上の人気を出させてみせるよ。

――ZERO―ONEのベッカムに！

橋本 ベッカムもいいけど、やっぱりレオ様や！　名前もレオナルド・スパンキーに改名するから

（キッパリ）。

――それは日本限定っていうことですか？

橋本　そうさせる！（キッパリ）。格好も変えさせるからな（ニヤリ）。

――どんな格好をさせるんですか？

橋本　そりゃあモッコリやろ！（笑）。

――モッコリですか（笑）。でもZERO―ONEの日本人選手でベッカムに相当する選手は今は残念ながらいないですよね。

橋本　ウチにはいないな！（キッパリ）。（次期シリーズのポスターの日本人選手を指差し）見てくれよ、みんなゴリライモみたいな顔ばっかりで（笑）。

――ZERO―ONEはゴリライモですか（笑）。でもファンの間でも両国大会は成功だったって声が多いみたいですけどね。

橋本　大成功まではいかんわな。ホント、今はキッツイ時代だからね。金網やったり、いろいろ企画をして、小川やオレが出て、札止め超満員じゃなきゃおかしいんだよ。でも今は新日本が入らない時代やろ？

――ここ最近は特に地方の入りも芳しくないって聞きますからね。

橋本　それだけひどいんだよ。オレらも予定外というか、ホントの予定っていうのはもっと違うところにあるんだけどな。だから今こそ踏ん張らなければいかんねん。

――あえて両国大会の難点を言えば、小川さんの金網マッチが試合としては、あまり評判は良くないんですが。

橋本　要するに、みんなが小川に望んでるものは、もっともっと凄いものだから。

――それはあるでしょうね。

橋本　昔、試合から戻ってきて、「しょっぱかったな」ってオレらが言ってると、長州さんから「そんなこと言うな！」って怒られたもん。

――それはどういう意味なんですか？

橋本　なぜかというと外人のトップのヤツらと試合をするっていうのは大変だし、それだけ難しいんだから。みんな誰でも手が合ったもんとやりゃ、いい試合になるよ。そうじゃなくてトップの人間というのは、そういうマズイものもこなさなきゃいけないわけ。「それをお前らはこなしてんだから、お前らがしょっぱかったどうのこうのと口にした時点で負けだ」って言われたよ。それはオレもそう思うよ。だから小川の試合も、しょっぱくないよ。オレは良かったって思うよ。高望みじゃないけど、周りのヤツらは先に先に行き過ぎてんだよ。

――求めるものが高すぎると。

橋本　そうや！　ハードルが高いんだよ。だって、あれで完結じゃないんだからさ。初めて金網をZERO―ONEで組んで、しかも小川のために組んだわけだから。今まで小川が金網で試合をするなんてあり得なかったわけでしょ？

――確かにそうですね。

橋本　小川が、そういう意識になったっていうことをもっとわかってやって欲しいし、それで今度は試合内容がああだこうだって言うのは、それはマニアの言い方なんだろうけど、それはそれで次に楽しみにして欲しいしね。

――実際に、あれだけの金網を作って、相当お金も掛かったって聞きましたし、また使用する可能性もあるんですよね。

橋本　まあ、あるやろうな。

――橋本さんは金網マッチというのは海外とかでは経験してるんですか？

橋本　いやぁ……覚えてないな。だいたいオレは、ああいうのは興味ないんだ。

――金網は興味ないと？

橋本　興味ないっていうか、オレの試合に金網は必要なかったから。

――小川さんも最初のうちは、いろいろと葛藤があったみたいですし、橋本さんも然るべき相手とじゃないと、金網マッチは、あまりやりたくないと？

橋本　やっぱり、オレが金網でやるとしたら、小川とだろうな（笑）。

――真の決着戦としてなら金網でやる意味も出てきますよね。

橋本　いつになるか、わからんけどな。

――それにしても、場外での暴れっぷりは凄かったですね、両国大会は。

橋本　プレデターか？　あれ始末書もんだぞ！　両国であういうことをしちゃいかんのや。

――過去の新日での暴動以来、プロレスには特に厳しいみたいですからね。たしかにプレデターの暴れっぷりも凄かったんですけど、客席でプレデター並に暴れてたのが橋本さんの息子さんだったんですよ（笑）。

橋本　あ、そう？（恥ずかしそうに）

――ローラー付の靴を履いて、マス席の周りをグルグル回って一番注目を浴びてましたね（笑）。

橋本　邪魔だったの？

――いえいえ（笑）、それでお父さんの試合も見ないんですよ。それで「あれはどこの子供だ！」ってなって、知ってる人が「破壊王の息子だ！」って言って、一躍人気者になってましたよ。ホント、プレデターなみの暴れっぷりでしたね（笑）。

橋本　ちょっと言っとくわ。迷惑掛かったかな。

破壊王のプロデュース心をくすぐった男・スパンキー。ゼロワンのベッカムになれるか？

SHINYA HASHIMOTO

ZERO-ONE『Creation』6·27後楽園～7·6新潟 DIGEST

6·27 後楽園ホール

果てしない場外乱闘！　横井VS崔、この日も白熱！

横井が「本気で殴った」という5.23後楽園での因縁を受けて、横井と崔がシングルで激突。結果はスリーパーホールドで横井の圧勝だったが、試合後は崔が襲いかかり再び大乱闘に！

坂田、耕平を下しサップ戦へ名乗り！

坂田がキャリアの差を見せつけ、顔面ウォッシュまで披露した後、ジャンピングニーで耕平を下した。試合後「田村さんの仇を討ちたい」と、ボブ・サップ征伐に名乗りを上げた！

ZERO-ONE最強軍vsアメリカ最強軍激突！

橋本＆大谷＆田中のZERO-ONE最強トリオと、ジョーンズ＆ハワード＆プレデターのUPW最強トリオが激突。シリーズ初戦から大将・橋本がまさかの敗退！　どうなる、ZERO-ONE!!

新日本も『PRIDE』の選手なんか連れてきてディファレントファイトさせるからダメなんや！

うざったかった？

――そんなことないですよ。みんな大歓声で、橋本さんの息子さんだとわかったら、本人もヒーロー気分で（笑）。

橋本 ウチの子供は協調性がなくて、学校でも1人だけ違うことやってるみたいで、困ってるんだよ。授業中に立ち上がって、窓の外を見てるらしいんだよな（苦笑）。

――アハハハ！ どちらに似たんですか？

橋本 オレだろうけどな（苦笑）。1～2歳の頃から、デパート行ったって一人でどっかに行っちゃうんだよ。普通子供って、親から離れねぇもんじゃん？

――普通はそうですよね。やっぱり橋本さんの息子だけに好奇心旺盛というか（笑）。

橋本 授業中抜け出して、一人で校庭で遊んでたりとか。ちょっとヤバイなぁと最近思ってて。

――そうなんですか（笑）。で、その両国では、またもや「お客様は神様です！ プロレスは我々が守っていきます！」と高らかに宣言してましたよね。

橋本 当たり前のこと言っただけだよ。みんなプロレスじゃないことやってるから、おかしいんであって。新日本も『PRIDE』の選手とか連れてきてディファレントファイトさせてるんだからダメなんや！

――ディファレントファイトですか！

橋本 『PRIDE』のヤツが『PRIDE』じゃない試合をしてるやろ！ そんなもん誰が見たいねん！ それでプロレスラーはプロレスじゃないファイトをしてる。だからオレは異種格闘技戦がいいって言ってんだよ。

ダブルのアルゼンチンで担ぎ上げられるOH砲。小川は初めてのプロレス3連戦を経験！

――小笠原さんとの試合は良かったですよ。思わずもらい泣きしましたから（笑）。

橋本 本当か？（笑）。

――本当ですよ。でも、橋本さん的には、自分の試合はどうだったんですか？

橋本 いやいや、まだオレの体調がホントにいい体調じゃないからな。早く自分の体調を万全にできるようにして、ここ（会社）には3日に1回くらい来れればいいようにしたいよな（笑）。

――小笠原さんは体格差も克服できるとは言ってましたけど、やっぱりどうにもならない部分はありましたからね。

橋本 でも、オレはウドの大木だった（笑）。

――アハハハ！ 自分で言いますか（笑）。

橋本 でも、ホントにいいものは持ってるよ。やっぱり経験の少ない若い選手や、高岩でさえやられたっていうことだからね。一撃必殺のものはあるよ。まぁ、オレもこの世界のトップの一人だから、そう簡単に引くわけにはいかないから。

――なるほど。先日は小笠原さんを表敬訪問してましたけど、今後は、どういう形で関わっていくつもりなんですか？

橋本 やっぱり小笠原の気持ちを一番重視すればいいかなと。ただし、選り好みはさせないから、この世界でやる以上は。外人と当てるのもいいかなと思うし。

――本人もそう言ってますもんね。ネイサン・ジョーンズとかあの辺のデカイ相手の方が、急所も見つけやすいと。

橋本 いや、空手としてだけやるんじゃなくて、今度はまた違うものを習得したらいいんですよ。自分の足りなかったことを。それを空手に活かせばいいし。今はそういう時代じゃなくなってきたから。生徒も感動して、みんな泣いてたらしいじゃない？

――そうみたいですね。それに客席の橋本応援団と小笠原応援団の応援合戦も、かなり盛り上がってましたからね。

橋本 やっぱりね、ホントの人生ドラマって大事だよ。最初に後楽園でいざこざがあって、普通だったら相手にしないものを、あの時は「よーし、じゃあ引っ張りだしてやろう！」って気になっちゃったからな。その後もいろいろあって、オレもしんどい思いをしたしね。ホントに小川も言ってくれたけど、オレが前から言ってる「政治力には負けない」っていう部分だよな。

――小川さんの「政治力には負けない」っていうマイクアピールが一人歩きしちゃってる部分もありますけど。

橋本 まぁ、でもオレがやってきたことだからな、アレは。だからそれに小川も感化されたのか、体制に屈しないというのは、オレのようなこともあるから気をつけてくれと。

――小川さんのマイクは「オレたちは政治力には負けない」っていう、橋本さんも含めての発言だったみたいですけど（笑）。

橋本 オレがされてきたことをアイツは見てるわけでしょ？ アイツはその裏を知ってるから。だから今度は自分も気をつけないかん。

7・7両国大成功！ ゼロワンダブル

6・29 札幌テイセンホール・

元リングスVS元FMW、初遭遇！

佐々木が振りかざしたイスを、横井が正拳突きでブチ抜いた！ 試合後、横井は佐々木の根性を評価。「イス攻撃にはカチンときましたね。前田さんにもやられたことないです」

コリノ旋風、札幌初上陸！

札幌市民がこよなく愛する、コンサドーレ札幌Tシャツで入場したコリノ。「サッポロ、イチバ〜ン!!」しかしその後やっぱりストンピング、さらには股間まで拭く暴挙に出た!!

大谷&田中VS金村&黒田に熱闘警報！

メインの大谷&田中組VS金村&黒田組の試合は、プロレス史上に残る名試合に。金村&黒田組の"熱さ"を肌で感じた大谷は2人を絶賛、「ムチャクチャ楽しかった!!」とシャウト

吐いた言葉は飲めないからな。今度はオレらが守ってやらなけりゃいけないかもしれないし。オレの二の舞にならないように。それができる実力があるとお互い確信して言ってるんだから。オレたちで新しい時代をつくるよ。それに、「政治力」って何のこと言ったんだって聞かれても、そんなものは勝手にみんながこれじゃねぇかと思ってくれればいいよ。名指しで、この人とか言えねぇじゃん！（笑）。

——そりゃそうですよね（笑）。

橋本　まぁ、オレは「猪木、この野郎！」って言っちゃったことがあるけどな（笑）。

——普通に考えると、8・8ドームだとか、それともやっぱりこの間の両国大会も何かしらの政治力が働いてたのかと、変な勘ぐりをしてる人も多いんですよ。

橋本　小川の今の心境でしょ。「ZERO—ONEから撤退しろ」とかいろんなことを言われながら。でも判断するのは自分なんだから。そういう意味では立派なもんだよ。要は小川っていうのは仮面ライダーみたいなもんなんだよ、アイツは。

——小川さんが仮面ライダー⁉　それは初耳ですね（笑）。

橋本　そうか。ショッカーに作られたんだけど、ショッカーを裏切って正義の味方になると。

——ショッカーがものすごく強い人間をつくってしまったと（笑）。

橋本　そういうことなんだよ。

——最近は、橋本さんも小川さんもお互いマイクアピールで何を言うんだろうって、結構ヒヤヒヤするんじゃないですか（笑）。

橋本　いや、確かにこの前の小川のは唐突だったから、ビックリしたけど、あんだけハッキリ言ってくれたらね、そりゃ嬉しかったよ。

——そういうのもあって、金網の中でかなり熱い抱擁をかわしてましたからね。

橋本　オレも今までやってきたことが、ようやく小川のマイクによって、引退問題までというか、アイツのデビュー戦まで遡っちゃうんだよ、その因縁が。小川は小川でずっと猪木さん達に焚きつけられて、新日本のヤツらを「やっちゃえ」って言う話でね。ウチのかみさんにも言われたけど、「小川さんに好かれて良かったわね」って。

——別にヤキモチ焼いてるわけじゃないんですよね（笑）。

橋本　違うよ！（笑）。でもホントにアイツと一番スキンシップとってんのはオレだよと。誰か他にオレ以上にスキンシップとってるヤツがいるかって。

——だからこそ、「オレたちがいる限り、ZERO—ONEは潰れない！」っていう発言も飛び出したんでしょうね（笑）。

橋本　まぁ、ZERO—ONEのことは余分だったかもしれないけど（笑）、人のことをそうやって言ってくれるっていうのは非常にありがたいことだよ。

——そういう感情が、あったからこそ、橋本さんも「8・8ドームで小川を見に行ってくれ」って素直に言えたわけですね。

SHINYA HASHIMOTO

橋本　そうだね。猪木さんをはじめ、新日の上層部の人たちからすると、ZERO—ONEの存在っていうのはウザったくてしょうがないと思うんだよ。ハッキリ言ったら、逆恨みみたいなもんだよ。猪木さんとは一応の手打ちはしたものの、オレが出てきたら絶対に機嫌が悪いと思うんだよ。付かず離れずじゃないけど、猪木さんはずっとオレの中の猪木さんでいて欲しいっていう部分でも、非常に出にくいし協力しづらいね。そんな話はここんなって初めてで、川村さんから電話があったのも久々だけど、そんな話があるんだったらずっと前から話があったっていいはずなのにさ。ホント気を遣うよ！

——『LEGEND』に関してはホントにドタバタしてるみたいですからね。

橋本　オレもこれ以上、猪木さんとはケンカしたくないし、いい師匠、いい仲でいたいんで。だから影ながらでしか応援できない。ただオレにできることだったら、アイツのセコンドつけろって言うんだったら、ウチらからセコンドつけるし。外人選手っていうんだったら、UPWでもなんでも出すし、何ならマーク・ケアー出したっていいんだから。

——ケアーもそうだし、他にもZERO—ONEのガイジン部隊には、出せそうな選手がいくらでもいますからね（笑）。ただ、現時点ではUFOも対戦カードは、ほとんど発表されてませ

遂に実現！ 破壊王vs小笠原 PETIT REVIEW

7月7日（七夕）に橋本真也と小笠原和彦の大河ドラマの第一章が終了した。橋本と小笠原の闘いは異種格闘技戦として行われた。異種格闘技戦といえば、誰もが昭和の新日本プロレスを思い出す。また小笠原も火の輪くぐりなど極真伝統の荒行を敢行し、この一戦に賭けた。試合は両者とも真っ向勝負で容赦なく打ち合い、三角絞めで橋本の完勝に終わったが、我々は、この一戦を古き良き時代のプロレスとしてみた、この試合は「温故知古」だった。押忍！

6・30 札幌テイセンホール

NWAとUPWが 壮絶 仲間割れ！

橋本＆田中と対戦したハワード＆プレデター。試合中ジョーンズが何故かプレデターを挑発、試合中にもかかわらず乱闘に発展!! その間ハワードは破壊王の餌食に。どうしたＵＰＷ？

バト勢、NWAマジックにハマる！

石川＆臼田が、ついにコリノ＆ファイアー+Mr.フレッドの洗礼を浴びる！　急所攻撃＆高速３カウントを食らった臼田＆石川は「試合前からアピールが長くて困る」とボヤイていた

東郷が高岩のヒザを破壊！

佐々木をダブルインパクトでＫＯ状態に追い込んだ東郷＆日高が、徹底して高岩の右ヒザを破壊！　最後は佐々木のアシストから高岩が日高を逆転フォール、「このヒザで実力は同じ位だ」

要は小川っていうのは仮面ライダーみたいなもんなんだよ！

んけど、橋本さんは「ZERO—ONEとしては協力する、オレは出ないけど」って言ってますよね。

橋本　出るとか出ないの問題じゃなくて、オレが出たらまた歯車が狂うじゃない！　もう、いまでさえ協力してんじゃん。あ〜ヤダヤダ！（面倒臭そうに）。

——ホント大変そうですね（笑）。

橋本　なんでオレがこんなことで悩まなきゃいけないんだ。試合やろうって言ったら、スッキリしてやればいいでしょ？　そのうしろに、やっぱり政治力が見えるわけだよ。派閥というか。そんなんだったら小川ひとりだけで頑張ってくれたらいいよ。要はウチがやった『真撃』みたいなもんなんだから。『LEGEND』っていうのは、みんな業界のトップがやってるからあっという間に日テレのゴールデンが決まっちゃうわけだから。そういう最先端、至近距離にいるんだから、それを活用したらいいんだよ。まあでも、こっちは気合いが違うから。毎日のように11時〜12時まで社員は仕事してね。女の子とかも最終電車ですよ。試合前だからとかじゃなくてだよ。

——「はい、ZERO—ONEです！」っていう電話の応対は、どの団体よりも元気がありますからね（笑）。

橋本　だろ？　他のところ夜10時に電話かけてくれって、たぶん出ねえよ（笑）。だからその辺はウチはみんな気合いが違うよ。5時か6時に終わって、留守電にして、はい、さようならじゃ、会社いらないよ。それだけは絶賛してやりたい。

——選手もフロントも気合いが違うと。

橋本　物事で新しい物を創ろうとしてるときは気合いが必要なんや。それだけは他には負けないから。

——ボーナスは、かき氷ですけどね（笑）。

橋本　そのかわり実現した時にはきっぷのいいものをあげようと思ってるよ。

——負けられないとい

7・7両国大成功！
ゼロワンダフル

7・5
長野市運動公園体育館

K-1出場のデンプシーが公開練習！

闘争本能だけではなくテクニック的にも期待を抱かせる動きのよさを披露したデンプシー。練習後は何を聞かれても言うことは「ファック、ムサシ!!」「ファック、ジャパン!!」

横井、大谷と初遭遇＆初マイク！

横井が「大谷、いつまでも余裕こいてんじゃねぇぞ！　両国でぶっ潰してやるからな」と、初のマイクアピール！　しかし大谷は「横井ぃ…慣れないマイクなんかやるんじゃねぇよ」

OH砲の刈龍怒炸裂するも……

プレデターを“刈龍怒”で刈り、逆十字勝機を掴んだが、ハワードがカット。果てしない場外乱闘の末両者リングアウト！　破壊王は「長野にもう1回来て責任取るゾ！」とマイク

えば、両国では「アメリカ倒すぞ！」っていう大胆な宣言をしてましたけど（笑）。
橋本　今の日本人って勝つ負けとか、その部分だけこだわってるんだけど、要はその大国に立ち向かっていく昔の日本人みたいな魂のないヤツが多すぎるんだよ。もう韓国に抜かれちゃってるだろ。サッカーでわかるじゃん、サッカーで！　日本がいくら熱くなったって韓国の比じゃねぇんだよ。日本人は、ベッカムとか、外人とかばっか追いかけてどうするんだよ、バカかって！

——ワールドカップといえば、ベッカムもそうですけど、ドイツのハシフ・カーンという……。

橋本　ハシフ・カーンはオレだよ（笑）。

——ハシフ・カーンは橋本さんが海外で使っていたリングネームでしたね（笑）。

橋本　そうや。

——武藤さんが武道館大会で三変化するみたいですけど……。

橋本　（さえぎって）武藤ちゃん、怖すぎ。

——体調的にってことですか？

橋本　違うよ。あの新しいムタがだよ。

——あ、新しいヤツですね（笑）。あれは、お客さん引いちゃいますかね。

橋本　あれは引く！　チビッコとか怖がるやろ。言っといてよ。

——リアル過ぎますもんね（笑）。

橋本　「キャー」とかいう次元じゃなくて、怖い（かわいらしく）。前のムタだったら、なんか神秘的なものがあったけど、あれはただの化け物だよ！

——アハハハハ！　橋本さんもそれこそ、カーンブームに乗ってハシフ・カーンに変身しようとか考えてないんですか？（笑）。

橋本　ハシフ・カーンは実態を見せたらダメなんだよ。

SHINYA HASHIMOTO

破壊王＆組長とスリーショットに収まるナナチャンチン。本文中に出てくる札幌での火事の話は、この写真を撮影した数分後の出来事。ナナチャンチンも火事は目撃したものの、破壊王の人命救助は見られなかったという。

——そうなんですか（笑）。

橋本　それにな、今とたいして変わらないからな（苦笑）。オレは海外でも自分を通してきたからこそ嫌われたんだから。

——ああ、海外ではっていうことですね。

橋本　これからも変わんねえよ。オレがもう一つできるとしたら、白覆面しかないよ。

——アハハハハ！（笑）。じゃあ、橋本真也は引退するまで橋本真也しか、できないしやらないってことですね。そういえば、今回の札幌遠征中に人命救助をしたらしいじゃないですか？

橋本　いいよ、そんなの。人に言う話じゃねぇよ。

——それは凄い美談ですよ。聞いた話なんですけど、橋本さんの口から聞きたいですよ。

橋本　人助けして、自分で言うの嫌だろ。なんか自慢話みたいで嫌じゃねえか。

——そうかもしれないですけど、知らない人の方が多いんで、お願いしますよ！

橋本　（しょうがなく）カニ屋のスポンサーのところにメシ喰いに行ったんだよ。それでカニ屋に入った瞬間に「火事だ！」って言うからさ。カニ屋が火事だと思ったら隣だったんだよ。それで見に行ったら、5階あたりから火が出てたんだよ。でも周りのマンションの住人は気づいてなかったんで、オレらも藤原さんと一緒に「火事だー！　火事だー！」って大声で叫んでたの。まだ消防車も来てないし。そしたらみんな窓からちょろちょろ顔を出し始めて、「うわー！」ってことなったんだよ。でっかいマンションだったから。エレベーターも動かないし、これはマズイと思って、下から早く教えてやらないと思って、これはイカンと思ってオレも走って入って行ったんだよ。そしたら中が思ったより広いんだよ。走り回って、各部屋をバンバン叩いたら、ぞろぞろ人が出てきてさ。警察もやっと入ってきて、もう大丈夫やろと思って帰ろうとしたら、なぜかおばあちゃんが戻って来て、なんかを取りに来たんだよ。

——大事な忘れ物があったんでしょうね。

橋本　その、おばあちゃんが「足が悪くて歩けない」って言うから、「オレがおぶってってやるから」って。そしたらまた、「どこどこの誰々さんがいる」って言うから、これはイカンと思って。「耕平！　一緒に行くぞ！」って言って、藤原さんも来てくれて、行こうとしたらそのおっさんも外にいたらしいんだよ（笑）。

——すでに脱出していたと（笑）。

橋本　それでもうこれ以上無理だろうって思って。それにオレら目立つから、「帰るぞ！」って。それだけのことだよ。あとのことは何も知らないし。

——でも、さすが破壊王って感じですね。火の輪くぐりどころの騒ぎじゃないですから（笑）。

橋本　そうそう（笑）。小笠原が火の輪くぐりなら、こっちは火ビルくぐりだよ！

——アハハハハ！　一歩間違えれば危ないところだったんですよね。

橋本　まあ、いいことしたなっていう気持ちだけで、スッキリしたよ。ホント相当凄い業火だったからな。その後、藤原さんは冗談で、「カニはあそこで焼けば良かったな」って言ってたけど（笑）。

——組長も組長らしくて素敵ですね（笑）。それで、この間の後楽園では、また大仁田さんが入門を直訴しに来てましたけど、橋本さんはずっと笑いを堪えてたのが印象的だったんですけど（笑）。

橋本　大仁田にも申し訳ないと謝りたいんやけど、なんだか笑えちゃうんだよな（笑）。アイツが真面目にやれば真面目にやるほど、おかしくてしょうがないんだよ。「橋本さん！」って見られた時点でもうダメなんだよな（笑）。あれはドリフだよ。

——大仁田さん的には真剣なんでしょうけどね（笑）。

橋本　ダチョウ倶楽部の上島が大仁田のマネするじゃん。なんか上島に見えちゃうんだよな

7・6 新潟市体育館

コリノ、初マイク！

WWFから声がかかっていたのは事実だが、オファー内容はアナウンサーだったというコリノ。意外にもこの日が初マイク、言った言葉は「ニイガタ、ヒャクショ～、イナカモノ～！」。

小笠原 ヌンチャクを披露

休憩時間、突如リングに上がりヌンチャクを振り回した空手家、小笠原和彦。「明日は橋本真也の最後の日になります」と宣言!!　観客が唖然とする中、疾風の如く去っていった

小川、初のフォール勝ち

ＯＨ砲の「オレごと刈れ－！」が炸裂し、小川がジョーンズをフォール！　小川はプロレス初のフォール勝ちの余韻にひたる間もなく、またもプレデターのチェーンで絞首刑に!!

ウチは両国も終わったんで、次いってみよう!って感じだな

7・7両国大成功!
ゼロワンダブル

（笑）。

──橋本さんは生理的に笑っちゃうところがあるみたいですけど、坂田さんとかは昔から「嫌い」って言ってて。

橋本　オレだって嫌いだよ。オレ、触れたくないもん。毒霧浴びてからね、あんな臭いのはね、ホント気持ち悪い。

──それで思い出しましたけど、初来日のスメリーっていうのは、日本語に訳すと臭いとか匂いなんですけど、話を聞いたら風呂とかに入らない人らしいですね。

橋本　ホントに？

──富豪2さんから聞いたんですけど。

橋本　じゃあもう呼ばない（キッパリ）。だって臭いのやだもん（かわいらしく）。

──ベイダーとかも有名ですけどね（笑）。

橋本　ベイダーの匂いは、まだアレだけど、ちょっと前まで蝶野と組んでたガイジンいたじゃねぇかよ。誰だっけ？

──蝶野選手と組んでた外人ですか？

橋本　でっかいヤツ！……タイタンじゃなくて……。

──あぁ、タイトンですか？

橋本　そうや、タイトン！　あっれは異常よ。本気で臭い！

──どんな匂いなんですか？

橋本　体臭や！（キッパリ）。闘うとワッキーがね、付いちゃうんだよ。二回洗っても取れなかったもん。タッチされんの嫌だったから。ヤツの脇の汁は勘弁やな！ベイダーとかの比じゃなかったもん。まあベイダーも臭かったけどな（苦笑）。

──そういう理由で闘いたくないっていうのもあるんでしょうね。

橋本　もう嫌だ、ホント、嫌！

──じゃあ、大仁田さんは大谷さんとかと絡んでいく分には勝手にやってくれという感じなんですか？

橋本　勝手にやってくれとか無責任なことは言えないけどさ。

──できれば勘弁願いたいという（笑）。

橋本　あんまりそういう言い方したら、失礼かな？　ていうか、どこまで真面目なのか真意を計りかねるという部分が正直な気持ちだよ。あの人のやってる行動が、文章にしても何にしても冗談としかとれないから。だからこそ、自分が出るっていうだけの場所にして欲しくない。みんな頑張ってやってんだから。そう考えたら腹立ってくるよ。真面目なのか、アレが素なのか、素だったらしょうがないと思うけどさ。

──大仁田さんが来ることに対して拒絶反応をする人も多いのは事実ですからね。

橋本　まあ議員として来られるんだったらしょうがないけど。ホントの気持ちはどうなのかっていう。体を切り刻んで千針縫うくらいまでやってきたアナタの腹はどこにあるのっていう、それを見せてもらわないと、オレはシングルでやることはないよ。それは書いといてよ。

──わかりました。そういえば、橋本さんがトークショーでポロッと言っちゃったミスター高橋問題でえらい大騒ぎになってましたけど（笑）。

橋本　全然知らないんだよ。

──言った覚えがないということですか？

橋本　そうじゃなくて、騒いでたってみんなが言うけど、雑誌とかオレは見なかったから全然知らないんだよ。

──それは橋本さん的にはギャグじゃないですけど、具体的な話があって言ったわけではないんですよね？

橋本　いや、こっちが言って高橋さんがノッてくれれば考えてやろうかなと思っただけの話で、要はフレッドみたいなインチキレフェリーに対してコンチクショーと思ってるだけだよ。

──アハハハハ！　それで8月はUFOの『LEGEND』や、国立競技場での『Dynamite!』とかビッグマッチが目白押しですけど、ZERO─ONE的には火祭りで勝負をかけると？

橋本　火祭りっていうか、みんなで盗みあいしてるんだもん。国立で最初にやりたいって言ったのは猪木さんじゃない？　それをK─1が盗んだようもんでしょ。

──逆にプロレスでは国立に進出するくらいのものが提供できなかったという。

橋本　プロレスはバラバラだからな。でもK─1自体だって話題ねえじゃねぇかよ。ホントつまんねぇな。まぁ、好きにやってちょうだいって感じだよ。

──そうですか（笑）、でも柔道出身の橋本さんから見て、国立競技場でデビューする吉田（秀彦）さんは、どう思います？

橋本　なんか明治大学って問題児ばっかりだもんな（笑）。

──小川さんもそうですしね（笑）。

橋本　大仁田もだよ。坂口さんもでしょ？

──ある意味、凄いですよね（笑）。ホイス戦は道衣マッチになるみたいですけど。

橋本　道衣だけでやったら吉田の方が上に決まってるよ。柔道着持っちゃったら強いよ、金メダリストは。

──金メダリストはやっぱり違いますか。

橋本　ただし裏技使うからな、アイツらは。

──グレイシーの方がってことですか？

橋本　そうや！　グレイシーは裏技ばっかり練習してるから。裸絞めとか怖いだろうなきっと。まあでも道衣で普通にやったらホイスは勝てないよ。

──そうですか。まあZERO─ONEでも両国は何回かやってますし、ゆくゆくはドームや国立競技場大会を期待してます！

橋本　夢だね、それは。まぁ今すぐはオレらだけの力ではそれは無理だけど、今度はどことケンカできるか探していくから。まあ、ZERO─ONE的には両国も終わって、次いってみよう！って感じだな（笑）。

【7月11日／ZERO─ONE事務所にて収録】

ZERO-ONEは聖家族
だから破壊王大好き

常に笑いが絶えないゼロワン事務所。ちなみにボーナス（もちろん、かき氷）は翌日も出たという。さすが太っ腹の破壊王！

ZERO-ONE　8月シリーズ
〜Improvement〜

8.22（木）　岐阜産業会館　18：30〜
8.23（金）　テクスポート今治　18：30〜
8.24（土）　博多スターレーン　18：00〜
8.25（日）　醍醐グランドーム　17：00〜
8.31（土）　後楽園ホール　18：30〜
【お問い合せ】ZERO-ONE　03-5730-3401

マット界の救世主!?

誰もが恋い焦がれる“プロレス”がここにある

“管理のズサンなサファリパーク”の魅力に迫れ!

7・7天の川決戦大総括 ZERO-ONE座談会

〜あるいはゼロ族の集い〜

構成/ジャン斉藤

designed by matsu 「Two three」

7・7両国大成功！ ゼロワンダフル

今年に入ってから、その〝揺るぎないプロレス〟で爆走を続けてきたZERO―ONE。破壊王の魅力もさることながら、大熱狂の地方サーキット、幻想溢れるガイジンたち、アツいヤツラが集う日本勢と、見どころは数多い。その面白さを座談会で徹底分析！　読者の皆様、お忙しいなか座談会に〝参列〟して頂いて有り難うございます（両国での破壊王調）。ごゆるりとお読みください！

チョロ　ウヒャッ、突然ですが、ZERO―ONEマニアの名称は、〝ゼロ族〟に決まりましたッ！　よろしくお願いします！

山口　はぁ？　いきなり何？

ささきい　前号の読者ページで、ZERO―ONEファンの名称を募集したんですよ。元々、〝ゼロ中（ZERO―ONE中毒患者）〟って破壊王が付けてたらしいんですけど、吉田さんが「ゼロファン」って略してみたり、女の子限定で「ONEギャル」って言ってみたり、会長（山口日昇のアダ名）だって〝ゼロ患（ZERO―ONE患者）〟という案を出して遊んでたじゃないですか。

山口　ズバリ言って、まったく覚えてません（笑）。

チョロ　でも、最終的に破壊王が、「ゼロ族や。語感がいいやろ！」って決めてました（笑）。

豪　センスがホント、「みゆき族」レベルですよね（笑）。

チョロ　でも、破壊王自らゼロ族と決めたのに、8月31日に行われる後楽園大会のタイトルは「〝ゼロ中〟祭り」ですからね。いい加減ですよ、本当に（笑）。

山口　ガハハハ！　相変わらずだね（笑）。で、今日はZERO―ONEの話？

スモー　そうですね。7・7両国決戦を振り返りつつ、ZERO―ONEの魅力を語るというか。それにしても、両国大会は面白かったですよね！

豪　WWE（元WWF）ファンのノブ的にもOKなんだ？

スモー　ええ、もうバッチリですよ！　久々に会場でプロレス観戦して、興奮しましたからね。

チョロ　久々って、バトラーツの再旗揚げ戦（6・9後楽園）を観に行ったばっかりじゃないですか（笑）。

スモー　バトォ？　あんなのは観たうちに入らない。

山口　ガハハハ！　オマエはホント、ヒドイこと言うね。いまの発言は生かすように（笑）。

スモー　（逆ギレして）だ、だ〜って、あの日は、ワールドカップの日本vsロシアがあったんで、記憶が全部リセットされちゃったんですよ！　バトの再生は嬉しいですけど。

山口　どうせオマエはワールドカップがなくても、覚えてないだろ（笑）。

スモー　（さらに逆ギレして）そ、そんなことないですよ！

それで、皆さんの両国の感想はどうだったんですか？

豪　メイン以外は、最高だったよ……というか、オレはそんなにちゃんと観れなかったんだけどね。破壊王の子供たちや親戚と一緒にいたんだけど、試合を見ようとすると破壊王ジュニアが目の前で邪魔したり、「ミニモニ。描いて」とか言ってきたりしてさ（笑）。

山口　さすが破壊王のお子さまだね（笑）。

チョロ　さすがの破壊王も、子育てには悩んでるらしいですよ。協調性がないらしくて（笑）。

山口　ガハハハ！　あ、そういえば、札幌での、まさに破壊王級の素敵なエピソード知ってる？

チョロ　破壊王が火事の中から、お婆ちゃんを助け出したんですよね。

山口　そうそう。すすきので、破壊王が藤原組長＆佐藤耕平とカニ食いにいったら、そのカニ屋の前のマンションだかビルだかが燃えてる！

スモー　ほう！

山口　しかも、建物の右と左の両はじから業火が上がってるんだけど、建物の真ん中に住んでる人たちは気づきにくい状況！　ヤジ馬たちも「おーい、逃げろぉ！」とか下から叫んでも全然気づかない！　消防車も到着する前だ！

スモー　ほう！

山口　そこで破壊王は着ているシャツをバッと脱いでタンクトップ一丁になって水をバシャッとかぶった！

スモー　ほう！

山口　で、建物の階段を一気に駆け登っていったわけよ！

チョロ　まさに迷う間もなく、ひと足踏み出したんですよね！

山口　破壊王は建物の真ん中に住んでる人たちの部屋のドアを片っ端から叩いて回って、逃げさせた！　でも、足の悪いお婆ちゃんがノンビリとエレベーターを待って降りようとしてるのを発見してしまった！

スモー　ほう！

山口　破壊王はヒザが悪いのにも関わらず、お婆ちゃんをおぶった！　4階だか5階から階段を脱兎の如く駆け降りた！　で、下に着いたら、佐藤耕平に「なんでオマエはボサッと見てるんやァ！」と一喝した！

チョロ　それは耕平の名誉のために言っておきますけど、耕平も行こうとしたら、組長が「オマエまで行って二次災害に巻き込まれたら大変だ。ここは橋本に任せとけ」って言ったからなんですけどね。で、お婆ちゃんを助けた破壊王は、ヤジ馬に囲まれたりするとまた騒ぎになるから、すぐ現場から引き揚げたらしいです。

『PRIDE』、K-1など、格闘技勢力の進撃に揺れるプロレス界において、唯一〝揺るぎないプロレス〟を構築しているのが破壊王だ。小川の8・8UFO出陣は、ZERO-ONEに何か変化をもたらすのだろうか？

●座談会出席者●

山口日昇（本誌鬼畜編集長）
吉田豪（本誌スーパーバイザー）
スモーノブ（営業力士）
松澤チョロ（「火祭り」実行委員）
堀江ガンツ（鬼軍曹）
ささきい（女）

ガンツ　「名乗るほどの者じゃあございません」ということですか！　男ですねぇ。

豪　誰がどう見ても、破壊王なんだけどね（笑）。まさに「ひとり火祭り」だよ！

山口　まぁ、いまの話は俺なりの「物語」も多少入ってるけど、大筋では事実だから。（P36からの破壊王インタビューを参照）

チョロ　いまいちばん熱い男なんだから、破壊王も『火祭り』にエントリーされるべきですよね（笑）。あと火の輪くぐりの小笠原も。

豪　でも、マット界で火事の中へ迷いもなく救いに行けるレスラーなんか少ないと思うよ。

山口　それはマット界に限らずだよ。

豪　だって、猪木さんや馬場さんしか現場にいなかったらとか、考えるだけで怖いでしょ（笑）。

山口　ガハハハ！　猪木さんなら、「もうちょっと盛り上がってから助けに行こうかなと思います。燃え盛ってからが俺の出番というか。燃えてるかーッ！」とか言い出しそうだしね（笑）。

豪　もし助けたとしても、絶対に「アントニオ猪木です！」と名乗るはずだし（笑）。破壊王の場合、そこで名乗らないダンディズムと不器用さがZERO―ONEにはプラスになってると思いますよ。

山口　実にカッコいいよ、破壊王は。いつ何時でも、見て見ぬフリはしない。見て見ぬフリするやつ全盛のいま、そんなやついないよな。その話を聞いたときに、オレはZERO―ONEの本気度の正体がわかった気がした（笑）。小笠原戦も、破壊王にとっては本気も本気だったでしょ。プロレスの範囲内での異種格闘技戦なんだけど、破壊王はやっぱり本気だよ。

豪　お互い、どこまで本気なのかレベルがまったくわからないですからね。小笠原との抗争が勃発しときも、マスコミがすっかり踊らされて

いたわけじゃないですか。ブチ（中村カタブツ君）もチョロも完全にガチな出来事だと思っていたし（笑）。
チョロ　でも、最初の乱闘（1・6後楽園）を目の前で見たらガチだと思いますよ（笑）。何の関係もないデンプシーが、小笠原の門下生をブッ飛ばしてるんですから！
豪　だから心の部分はガチなんだよ。要は、単なるヤオガチ論を完全に超えてることをやってるんだよね。
山口　「常在戦場」と「常在演劇」が裏腹というか、境目がホントに紙一重だからね。昔の武将なんかも、命がけなんだけど、たぶんに演劇的要素を持ってたと思うんだ。それに近い匂いを感じるよ、破壊王には。だから小笠原戦後の破壊王の涙はたまんなかったよなぁ。あそこで泣ける破壊王の素晴らしさにもっと気づいてほしいな、プロレスファンも。
豪　でも、小笠原戦後の、そんな感動的なシーンのときに、破壊王の子供たちは元気に遊び回っていたんですけどね（笑）。
チョロ　……ボクは、純プロレスでは久々に、もらい泣きしましたからね！
豪　なんでだよ！（笑）。
チョロ　まあ、試合内容はともかく、2人の最後のやりとりで、完全に持っていかれましたね。
ささきぃ　たしかに、破壊王が「やられてもやられても立ち上がってくる（小笠原の）姿が、一時期のオレとダブって見えた」というコメントを聞くと、入り込むものはありますよね。
スモー　でも、何の想い入れも持たずにあの試合を見てると、単なる太った人が痩せてる人をイジめてるようにしか見えなかったんですけど（笑）。
豪　ここまで小笠原戦を引っ張ってきて、この一方的な試合内容はどうだろう？っていうのはあったけどね（笑）。ノブはあの試合、ダメ？

ゼロワンとは〝元気が出るテレビ〟である（チョロ）

スモー　いや、オレはずっと笑って観てましたよ！（なぜか偉そうに）。
山口　（冷たく）ノブはWWFの見方に毒されてるよ。プロレスは笑いながら見るもんだっていう先入観に毒されてる。
スモー　（ムキになって）い、いや、見方によっては笑える要素もあるってことですよ！
ささきぃ　ただ、ZERO─ONEのことを〝お笑い〟と言う人もいるけど、一番〝プロレス〟という言葉というか概念に近いとわたしは思うんですよ。
山口　それは、闘いと演劇的要素が、グルッと一周まわって、〝本気〟という部分で重なってるからでしょ。
豪　そもそも、プロレスってもともとお笑いの要素は入ってるものだからね。最近、気づいたんですけど、みんな猪木イズムを追求しようとしてストロングスタイルを標榜したり、「猪木さんこそアメリカン・プロレス」とか言ったりしてるけど、猪木さん自身は何も考えないでやってただけだと思うんですよ。
山口　ガハハハ！　物事を立ち上げてから考えるから、猪木さんは。
豪　ただ世間をビックリさせたいというだけで、それが釘板デスマッチであったり、異種格闘技戦であったり、ストロング小林戦であったり、ストロング・マシーン戦であったり、TPGであったり、巌流島であったりしただけなんじゃないかなって。要は〝何でもあり〟だったんですよ。そういう意味で、全てを含んでいるZERO─ONEは正しいプロレスをやっている団体だと思いますね。
山口　破壊王も両国の最初の挨拶で「プロレスのいろんな引き出しを味わってください。俺たちがプロレスを守ります！」って言ったけど、プロレスの引き出しは味わえたよ。

最後は正座でお互いを讃えた破壊王と小笠原の〝異種格闘技戦〟。翌日、破壊王が小笠原道場を訪問。両雄ともステキな笑顔を見せた。小笠原の次期シリーズ参戦も決定し、〝日本vsアメリカ〟の図式に小笠原が飛び込むのは確実だ！

豪　いまのところ批判的な意見は、ボンちゃん（元『紙プロ』ボンボン編集者）ぐらいかな。まぁったくダメでした……全女の大田区体育館の方が良かったですぅ……」って（笑）。
チョロ　ボンちゃんは、全部の試合にダメ出ししてましたね（笑）。
ガンツ　結局、彼は笑いのない感動が好きなんですよ。言うなれば、ノア的な「小橋建太、奇跡の大復活！」みたいなのに泣けるんですよね。
豪　まあ、ミスター・フレッドがいたら泣けないよな（笑）。
山口　いや、ボンちゃんには、フレッドがいるのに泣けるという凄みをわかってほしいな。あと、ターザンにも（笑）。
豪　ターザンは「いまZERO─ONEが一番面白いですよォォォォ！」と言ってた割に、両国では見かけませんでしたよね（笑）。
ガンツ　CIMAの単行本を出すから、闘龍門の神戸大会に行ってたらしいですね（笑）。
豪　それなのに『生ゴン』（『サムライTV！』）のZERO─ONE特集には出てたから、話がわからず会長&浅草キッドに潰されて、うろたえまくるターザンが久しぶりに見れましたよ（笑）。
チョロ　すっかりフリーズしてましたからね、ターザンは（笑）。
豪　挙げ句の果てには、「両国に行くヤツはバカですよォォォ！」って炎上したせいで、ZERO─ONEまでも敵に回したっていう（笑）。
山口　ガハハハハ！　それを伝え聞いた破壊王も「あのオヤジは、いい加減すぎる」って激怒してたらしいね（笑）。
豪　ZERO─ONEはリング外でも次々とドラマを生んでくれますよ！

▼7/7（日）両国国技館
『〜IMPOSSIBLE TO ESCAPE〜〝CAGE〟』
観衆8800人（超満員札止め）
※小川vsプレデターはP6からの小川インタビュー、橋本vs小笠原はP42からの橋本インタビューを参照してください）

○星川尚浩［15:41 彗星キック→片エビ固め］日高郁人●
ZERO-ONEvsFECという団体抗争以前から幾度も闘ってきた2人。空中戦・打撃・グラウンドと全ての面で互いの得意技を出し切った好勝負の末、星川の彗星キックが日高を打ち抜いた。まだまだ抗争は続きそうだ

○高岩竜一［12:55 雪崩式デスバレーボム→片エビ固め］ディック東郷●
札幌で痛めた高岩のヒザを、さらに執拗に狙う東郷のセントーンがモロにサク烈。誰もが東郷勝利を思ったが、ここから高岩が大反撃。試合後は互いに再戦を要求した

○佐藤耕平&崔リョウジ［14:29 スタンディングアームロック］金村キンタロー&黒田哲弘●
「インディー中のインディー」サバイバル飛田をひきつれて、ブリブラダンスで入場した金村&黒田組が佐藤と崔を翻弄するが、最後は耕平が黒田を極めて勝利した

7・7両国大成功！
ゼロワンダブル

山口　火事の件でもわかるけど、破壊王は、破壊王の理想とする像に近づこうとすることに本気だからこそ、渦を生み出せるんだよな。

豪　やっぱり、テーマは本気だってことなんですよね。両国の小川にしても、試合後のマイクに本気が見えたから面白かったわけじゃないですか。

スモー　ああ、「政治力には絶対負けない」ってやつですね。

豪　「俺たち2人がいる限り、ZERO―ONEは絶対に潰さない」とかもそうですけど、あそこだけ明らかに本気なんですよね。

山口　試合後のコメントでもさ、オーちゃんにしては珍しく素直で、ある種感極まってたように感じたね。柔道時代から孤立することに慣れてる人だけど、ふだんはみんな考え方はバラバラでも、ZERO―ONEの旗のもとでプロレスを組み上げていこうとする方向性に、仲間意識を感じれた喜びみたいなものがあるんじゃない？　破壊王は破壊王で、極真を破門されてまでやってきた小笠原に対して、新日本を飛び出して団体を創った自分を重ねて見てる。で、プロレスに収斂されていくなかで、「またひとり、思いきりやり合っていくうちに仲間ができた」と本気で思ってるだろうし。だから、試合後に泣いたんでしょ。

豪　それって『夕やけ番長』や『男一匹ガキ大将』なんかに始まる、昔ながらの番長マンガですよね（笑）。

山口　ホント、昔の番長マンガなんだよ、ZERO―ONEって（笑）。

ガンツ　倒した敵が仲間になるのは、昔の『週刊少年ジャンプ』的ですよね。

豪　友情・努力・勝利ね（笑）。

山口　その友情・努力・勝利にしても、火事で迷いなくお婆ちゃんを助けに行ける破壊王が、いつ何時でも本気だから滲み出てくるわけでしょ。まあ、その友情の部分に関しては、いつ壊れるかわかんないんだけど（笑）。

豪　「いつか別れるのはわかっているから」と破壊王が言ってたのに、小川は敢えてZERO―ONEを選んだわけですからね。恋愛ドラマでもありそうなんだけど（笑）。

ガンツ　金銭を超えた繋がりになってますよね。実際、破壊王と小笠原との関係も素晴らしいですよ！　両国の翌日に、破壊王が小笠原の道場に表敬訪問で訪れたんですよ。その会見が終わって破壊王が帰ろうとしたら、小笠原が鬼気迫る表情で追いかけてきて、「橋本さん！　ウチの家内です！」と、記者陣の前でもおかまいなしに奥さん紹介してるんですから（笑）。

山口　それも実にいいシーンだね（笑）。

ささきぃ　奥さんも「もう覚悟してますんで、好きなようにやらせてやってください」と破壊王に言ってましたし（笑）。

ガンツ　それで破壊王は「イバラの道かもしれませんが……」って奥さんに言い出して（笑）。あれは、アングルなんてチンケな言葉を超えた素晴らしいシーンですよ！

豪　いまの日本のマット界は、試合の裏を出さないレベルの話をしてるわけでしょ？　でも、ZERO―ONEはアングルが一人歩きしてるんだよね（笑）。

スモー　『週プロ』での武藤と内舘（牧子）さんの対談で、武藤が「キャラがあれば、シナリオは後からついてくる」と言ってましたけど、その典型ですよね。

山口　しかもそのキャラは、それぞれの人格の核の部分が昇華する形でキャラになってるからね。

豪　ZERO―ONEの選手は、みんな素ですよ。荒川さんもあのまんまだし、大谷だってあの通りだし、坂田だって本気ですからね（笑）。

チョロ　こないだの大仁田のZERO―ONE入門直訴のときも、明らかに坂田の発言は本音でしたよね（笑）。

山口　ああ、坂田がいつの間にか現れて、大仁田に向かって「殺すぞ！」ってマジで言ったやつね（笑）。

チョロ　大仁田がキョトンとしてましたからね（笑）。

格闘家がナメずにプロレスをやるのは、あまりないことですよ（ガンツ）

豪　あれは最高だよ！（笑）。坂田だけじゃなくて、みんな大仁田に本音をブチまけてたでしょ。田中将斗が「頼むから、ちょっと出ていってください」と1人だけ神妙な顔をして、金村が「絶対に許さんから！」って怒鳴って、坂田がキレる。それなのに、肝心の破壊王はずっとニヤニヤしてるんですよ（笑）。

チョロ　破壊王曰く、大仁田を見てると、なぜだか笑ってしまうらしいです（笑）。

豪　大仁田と絡んでも喰われない、初めての団体ですよ！　新日だって大仁田と絡むことで喰われちゃったわけじゃないですか？　最初の『猪木祭り』だって、大仁田の表敬訪問は裏で一番盛り上がったわけだしね。

山口　ZERO―ONEだと、大仁田でも霞むもんなぁ。

ガンツ　あの大仁田の乱入が、ヌカにクギですからね。〝それがどうした！〟みたいな（笑）。

山口　恐るべし、ZERO―ONE！（笑）。で、いま大仁田の名前が出たから言うけどさ、一部でZERO―ONEは初期のFMWみたいだという言われ方もされるじゃない？

豪　レオン・スピンクスが異種格闘技トーナメントに出たりしていた、フロンティア・マーシャルアーツ・レスリング時代のFMWですね。

山口　うん。地方巡業でのOH砲への熱狂ぶりと大仁田への熱狂ぶりが比較されたりもしてる

【NWAタッグ選手権試合】○大谷晋二郎&田中将斗［17:43 ドラゴンスープレックス→体固め］坂田亘&横井宏孝●　横井＆坂田が大健闘するも、チャンピオンチームがプロレスでは一枚上手。熱い男をまた見つけて大喜びの大谷は、試合後早速横井の火祭り参戦を呼びかけた

●石川雄規&臼田勝美［5:50 右フック→TKO］ジョシー・デンプシー○&ショーン・マッコリー　石川が猪木-アリ状態を見せるものの、デンプシーの右フックが1発で石川を完全KO。試合後デンプシーは「FU●K！」と連呼し暴れながら控室へ消えていった

スティーブ・コリノ&●ラピッド・ファイアー［9:11 アルゼンチンバックブリーカー］トム・ハワード&ネイサン・ジョーンズ○　地方で大活躍してきたコリノ＆ファイアー組だが、この日はUPWタッグが強さを見せつける試合に。フィニッシュの合体技に会場が大きく沸いた

●黒毛和牛太&富豪2夢路［11:08 ワキ固め］藤原喜明○&ドン荒川　新日本時代によく組まれた藤原＆荒川の名タッグが復活。4年振りのマットに大ハッスルの荒川が、若手2人を完全リード。最後は組長のワキ固めが勝負を決めた

ネイサン・ジョーンズ

人を殺したことのあるような目をしたガイジンが3人はいると思う(笑)。（豪）

けど、オレは大仁田と破壊王には厳然とした違いを感じるんだよな。

豪　大仁田はドサ回りの演劇人としてはかなりのレベルだと思うんですけど、たぶん破壊王には「演劇」みたいなことをやってる自覚がないと思うんですよ。とにかく、みんな本気というか。そこが、大仁田の涙との違いですよね。破壊王は本人が一番感動しちゃってるし（笑）。

山口　オーちゃんが、いまひとつ〝純プロレス〟から浮いて見えるとしたら、プロレスでは演じなきゃいけないという意識がまだ働いてるからでしょ。

豪　こないだTVでやってた、破壊王の寝起きを襲うドッキリ企画とかでは面白いんですけどね（笑）。ブッチャーのハゲヅラ被って、破壊王のサングラス懸けて、楽しそうにしてる小川直也には好感が持てるじゃないですか？（笑）。

山口　素を出して一歩踏み出せば、オーちゃんはもっともっと面白くなると思うよ。そんな素敵なバカの見本が、ZERO―ONEには揃ってるんだから（笑）。

スモー　それにしても、みんな個性が強いですよね。

山口　それも役割として演じてる個性じゃなくて、個性が背中にベッタリ張りついちゃって、役割を超えて背中から個性が滲み出てくるような人が多いよね。

豪　破壊王じゃなきゃ創れない団体だよね。団体というのは普通、押さえつけるシステムにしないと統率は取れないわけじゃない。でも、ZERO―ONEは何でこんなに押さえつけないのか不思議なくらいだから。強要するのは、せいぜいリングネームぐらいだし（笑）。

ささきぃ　黒毛和牛太とか富豪2夢路とかですね（笑）。

ガンツ　そんな空間だからこそ、横井や坂田も格闘家としての個性が殺されないんですよ。

ささきぃ　横井にしても、やるたびにプロレスが好きになってきてるみたいですからね。

ガンツ　ハッキリ言って、格闘家がプロレスをナメずにやるなんて、あまりないことですよ。小川や小笠原の例に漏れず、闘いを通じてどんどん仲間になっていってるんですよね。

山口　仲間を増やすというのは、オレのプロレス観からすると、〝何を甘っちょろいこと言ってるんだよ〟って、ふつうなら思うんだけど……やっぱり「常在戦場」と「常在演劇」がグルッと一周まわって重なってるのが見えるから許せちゃう（笑）。

ガンツ　小川の不格好でギコチないホーガン・ポーズも、微笑ましいですからねえ（笑）。

豪　小川なんか、これまでプロレスやってもブーイングばかり飛んで、大声援が集まるのは『PRIDE』に出るときだけって状況だったのに、ようやくZERO―ONEで声援が飛ぶようになったわけでしょ？　そりゃあ、嬉しいに決まってるよなあ（笑）。

チョロ　でも、プロレスラーとしての認知度は上がってきてるとはいえ、両国のプレデター戦の小川には、あまりいい評判は聞かれないですよね。

豪　金網を組むのに時間がかかればかかるほど、観客が期待するハードルもどんどん高くなっていっちゃうからね。

山口　たしかに金網の意味はあんまりなかったね。ふつうの3カウントルールだったし（笑）。セミが橋本vs小笠原というフタを開けてみないとわからないカードということもあって、小川のシングルがメインというのは、ちょっと心配ではあったんだけど。

豪　やっぱりメインはOH砲の方が良かったですよ。

ガンツ　しかし、あのプレデターを両国のメインにまで使えるように、よく売り出しましたよねぇ（感心しながら）。3月の両国でブロディのテーマで入場してきてから、わずか4ヶ月ですよ！

ささきぃ　小笠原も絡んでから半年しか経ってないですし、試合だって数試合しかしてないですよね。

スモー　レスラーのプロデュースの仕方がウマいということですよね。

山口　破壊王は、単にキャラをつくるのがウマいとかのレベルじゃなくて、その人間の人格の〝核〟にあるものを見抜いてる気がするね。

スモー　その核の部分をうまくデフォルメしてると。

山口　図らずもね（笑）。ああ見えて破壊王は、人間観察の達人かもしれない。それと、最後の日本勢とアメリカ勢の大乱闘で客席から「ニッポン」コールが起こったでしょ。ZERO―ONEを観るノウハウがWWEほど浸透してないなかで、観客を能動的に観させる空間にさせた力は凄いと思ったね。

スモー　しかも即座に起こりましたからね！

山口　プロレスで「ニッポン」コールだもん、素敵だよ（笑）。あの大乱闘は、ハチャメチャ過ぎて、何が何だがわからなかったのにさ（笑）。

スモー　破壊王の言っている「日本vsアメリカや！」なんて、誰も何のことなのかピンときてないと思うんですよ。

山口　オレもきてないもん（笑）。とても国家の威信を賭けた闘いには見えないけど、破壊王は本気だから。

スモー　勢いだけで乗っけるんですから、凄いですよね。

豪　あの乱闘で不満なのは小笠原が来なかったことなんだけど、いなかった理由がまたいいんだよね。デンプシーはK―1（7．14／武蔵戦）が控えていたんで、今回だけは暴れないように関係者が必死になって止めていたらしいけど。

チョロ　でも、どうしても小川を殴りたかったみたいで、止めていた関係者ごと振り回して暴れてましたけどね（笑）。

山口　狂ってるなぁ、デンプシーは（笑）。小笠原は何で出てこなかったの？

ささきぃ　小笠原は腕の筋が切れていて、自分で繋げていたらしいですよ。

豪　それも、いちいちいい話だよなあ（笑）。

山口　他団体だと、そういう乱闘の輪に入るときは、考えすぎて躊躇する選手のほうが多いと思うんだよ。でもZERO―ONEは、我れ先にとリングに上がっていくじゃない。さっきの破壊王の火事の話じゃないけど、迷わず踏み出す人格が多いというか（笑）。

豪　とにかくみんなが目立とうとするんですよ。このチャンスを逃すなとばかりに（笑）。旗揚げ直後に破壊王をインタビューしたとき、「やっぱり、選手が『俺が、俺が』って行けるような場所をつくってやらないと」って言ってたんですけど、それがZERO―ONEのテーマなんで

ゼロワンとは"胆力の集合体"である（山口）

しょうね。

ガンツ 日本人の若手も、率先してガイジンにぶつかっていきますからね。ガイジンの入場でも若手がブン殴られたりするのは昔のプロレスではよく見た光景ですけど、いまのマット界にはないことですよね。そんな若手がいるのが、ZERO―ONEの強いところでもあると思いますね。

豪 崔（リョウジ）も相当なトンパチなんでしょ？

チョロ 崔のいい話はいっぱいありますよ。オーディエンスもいないのに、急に思い立って大阪の淀川を泳いで横断したとか、そんなエピソードは腐るほどありますからね（笑）。

山口 ガハハハハ！ あの破壊王が、付き人をハズすほどだからね（笑）。崔クンはいい。あれは伸びるよ。きっかけがあれば。

豪 崔は、トンパチキャラで『探偵ナイトスクープ』みたいな番組に何度か出ていて、関西ローカルでは有名な素人だったらしいね。

ガンツ まあ、素人時代にオランダのゴルドー道場に修行に行くぐらいですから変わってますよ。ふつうは行かないですからね！（笑）。

山口 そういったバカな勢いが、アングルや小ネタを超えちゃうんだよ。いまのマット界は、アングルや小ネタを考えるのが精一杯で、そこで力尽きちゃうでしょ。でも、ZERO―ONEは、本番でアングルを超えちゃうもんな。そこにレスラーたちの胆力を感じるね。

豪 だからZERO―ONEは、ある程度裏側を見せても大丈夫な団体なんですよ。

山口 揺るぎがないよね。

チョロ 破壊王は、「ミスター高橋を呼ぶ！」って自分で言ったことだって覚えちゃいないですからね。

山口 ガハハハハ！ 自分で言っといて、ファンに「ミスター高橋に何ができるんやッ！」って怒鳴ってたからな、後楽園で（笑）。

豪 言動や行動が、とにかくズサンなんですよね（笑）。

チョロ 花くま先生も昭和新日の例えで言ってますけど、ホント、管理がズサンなサファリパークですよね。牛がいるわ、グリーンベレーはいるわ、インディアンはいるわで（笑）。

破壊王の師であるドン荒川が、遂にZERO-ONE参戦！ とても57歳とは思えない体つきだ。現役最長記録した樹立した、61歳のラッシャー木村を上回るコンディションである。破壊王と荒川のトンパチ師弟は、はたしてリングで見られるのか？ 藤原組長も加わり、"昭和・新日"トリオも見たいものである。

山口 オマケに、チキン&ポークが控えてるから（笑）。ビジネスモデルではK―1や『PRIDE』に絶対勝てないけど、実験場として解放感を感じるのはZERO―ONEなんだよな。だって、K―1や『PRIDE』は手が出せないだろ、あの世界は（笑）。

豪 ヘタに手を出したら、絶対にヤケドしますよ（笑）。

スモー ズサンという意味では、これまでのインディなんかでも創り得た団体じゃないんですか？

豪 いや、インディは経営こそズサンだけど、システムとしてはズサンじゃないんだよ。押さえつけるとこは押さえるし、ちゃんと計算もしてるし。でも、ZERO―ONEは計算してないでしょ、明らかに（笑）。

山口 途中までは計算してるけどね。

豪 それも破壊王レベルの計算だから、絶対に答えは合ってない。でも、それが結果オーライなんですよ（笑）。

山口 10のうち3つは計算して、あとの7割は偶然に身を任せて、それがうまく転がっちゃう（笑）。前号でも書いたけど、ZERO―ONEは"たたき台"をつくっては壊し、つくっては壊してるでしょ。

スモー "たたき台"が「日本vsアメリカ」ですからね（笑）。

ガンツ 破壊王がブチ上げた、「天下一武闘会」だって、まだ何も考えてないですよ（笑）。

山口 でもさ、一番重要なのは、その"たたき台"を作ることに、躊躇してないというところだよね。新日本はその辺は躊躇しまくりでしょ？ 「明るい未来が見えませ～ん」とか言ってるんだから（笑）。破壊王の場合は「未来なんか見えないもんなんや！」と、その"たたき台"がダメだったら壊して、またつくる。これは、人間力というか、胆力の成せる業だよ。ZERO―ONEとは胆力の集合体だよ。

スモー ZERO―ONEとは胆力の集合体！ 個人的には、どうにかこの渦の中に長州に入ってもらいたいですね。

豪 誰とやっても夢のカードが実現だよ！ 最初はどういう役割になるのかわからないけど、まずは石川社長のようにデンプシーとか危険なガイジンを当てていけば、それだけで文句なしでしょ（笑）。

ガンツ プレデターと闘ったら相手にしてもらえなくて、あのブロディ戦の悪夢が蘇りそうですね（笑）。

チョロ 同じ両国で（笑）。

豪 うかつに手を出したら、大変なことになるガイジンが揃ってるよなあ。人を殺したことのあるような目をしたガイジンが3人はいるという（笑）。

ガンツ ハワードは……ホントに殺してる可能性がありますからね！

スモー エ!? ホントに？

ガンツ 元グリーンベレーですから。だからハワードは、昔の話はあまりしたくないって言うんですよ。アメリカでグリーンベレーの経歴を明かさないのは、アメリカ人はグリーンベレーがどういう職業か知っていて、詳しく聞いてくるからなんですよ。日本人と認識が違うんですよね。

豪 ギミックじゃないホンモノが、エンターテインメントをしてるわけね。

山口 ハワードはプロレスもウマいし、強いし、あれは凄い逸材だよね。

スモー 両国のハワード（&ネイサン・ジョーンズvsスティーブ・コリノ&ラビット・ファイヤー）の試合は、最後はスタンディング・オベーションでしたしね！ 昔の全日本もガイジン天国とか言われてましたけど、あれほどガイジン勢で沸く試合はなかったですよね。

チョロ プロレスがヘタクソだったジョーンズも両国大会はよかったですよ。短期間でホント、成長しましたよね！

山口 ガイジンがデカくて強そうというのは、ZERO―ONEにとってかなり大きいと思うよ。他団体にはないことじゃん。

豪 地方巡業にも、久しぶりに幻想が持てる団体ですよ。

ささきぃ 地方の盛り上がりとかも凄いですからね。

山口 こないだの新潟でも、OH砲の入場時に、椅子に立ち上がったおばちゃんが興奮して倒れて頭を床に打ちつけてたくらいだから。ショーン・マッコリーが心配してた（笑）。

スモー 地方でそれほど熱狂するのは、小川人気が大きいんですかね？

ゼロワンとは"さっきビデオで見た20年前のプロレス"である（ガンツ）

ささきぃ　それはあると思います。それに乗せられて来た人が他の面白いところを観て、満足して帰っていくんですよ。

山口　会場から帰るファンもいい顔して帰ってるよね。地方に行くとね、昔ながらのプロレスの風景が見れるんだよね。新人の……炭谷（信介）だっけ？

ささきぃ　そうです。

山口　その選手はまだ頭はボウズっくりで、第一試合で昔の前座スタイルの試合をやるんだけど、「♪思い〜こんだ〜ら〜」っていう『巨人の星』のテーマ曲に乗ってガーッと走ってきて、リングインしたらウサギ跳びをやるの（笑）。

豪　ダハハハ！　できれば入場時にローラーも引いてきてほしいところですけど。

山口　でも、単なるキャラづくりじゃなくて、それをやることによって、炭谷が新人だということが観客の脳裏に植えつけられるわけ（笑）。昔のプロレスの見せ方のいいところやノウハウのいい部分を、躊躇しないでやってる。

豪　ホント、日本プロレス時代みたいなシステムですよね。大山倍達みたいな空手家がいて、木村政彦みたいな柔道家がいて、力道山みたいなプロレスラーがいて、悪いアメリカ人と闘うっていう（笑）。

山口　ホント、カバーなんだよな。いま音楽の世界でも、カバーアルバムが売れてるでしょ。でも、ZERO—ONEは単なるカバーじゃないんだよね。

豪　ZERO—ONEは楽曲のカバーじゃなくて、コンセプトのカバーなんですよ。

ガンツ　そこに単純にプロレスのあるべき姿というか、プロレスが長年培ってきた興行のノウハウがあるんですよね。

ささきぃ　破壊王も自分でやりたいからやってるんでしょうね。いいカバーアルバムって、自分が歌いたいから歌うわけですから。

山口　「これはビジネスになる」という動機じゃないもんな（笑）。

豪　「これは売れる！」なんて思えないですよ（笑）。で、いまふと思ったのは、ボクらは「ゴールデンタイム伝説」をやる前のバト（ラーツ）が好きだったわけじゃないですか？　「ゴールデンタイム伝説」には、〝昭和・新日〟というネタがベースにあったわけですけど、ZERO—ONEはネタじゃなくて本気でやってるんですよ。そこにバトとの差を感じますね。

山口　高山がどっかのインタビューで「プロレスを自信を持って打ち出さないと、大変なことになる」っていうようなことを言ってたじゃない。レスラーのほとんどが高山のような危機感は持ってると思うんだよ。ただ、それを打ち出す方法論が見つからない。そこで、自分が好きだった歌を思い切り歌うっていう〝たたき台〟に価値が出てくるんだよね。

スモー　他の団体は、どっかになびいちゃってる部分がありますよね。WWEの方法論になびくとか。

豪　だからこそ、自分に迷いがないZERO—ONEが強いんですよね。

山口　ただ、ZERO—ONEの最大の問題点は、それが全然、盤石じゃないところなんだよな（笑）。

豪　先がまったく見えないですからね（笑）。

ガンツ　ホント、「いま見なきゃダメだよ」というのは、声を大して言いたいですよね！

山口　このZERO—ONEの勢いはいつまで続くんだろう？（笑）。

スモー　たとえば小川とかいなくなったら、光は弱まるんですかね？

チョロ　……小川がいなくなっても小笠原がいますからね。新OH砲。ウヒャウヒャ！

スモー　（無視して）やっぱり小川が抜けるのが、一番ダメージ大きいんでしょうね。

豪　もしくは『PRIDE』がハワードを引き抜くとかね（笑）。

山口　デンプシーだって、このままK—1に行っちゃったりして（笑）。やっぱり、ZERO—ONEは、大いに先行き不安！（笑）。でも、8月22日の岐阜大会は大注目だよ。破壊王のお膝元だし、とんでもない騒ぎになると思うよ。

豪　あ、それは行きたいなあ。

ガンツ　8月の興行戦争で、一番面白いかもしれないですよ（笑）。

スモー　東京ドーム、国立競技場を差し置いて、岐阜が最大のクライマックス（笑）。

山口　8・8UFOで小川が勝ったら、岐阜は間違いなく爆発するよ。

豪　8・8でダメな試合をしたら、一気に鎮火しちゃうかもしれないですけどね（笑）。

ガンツ　だから8・8UFOでは、小川のセコンドにZERO—ONE軍団が付いてほしいですよね！　崔がZERO—ONEの「戦」旗を振り回して入場して（笑）。

チョロ　小笠原やゴルドーも付いたら完璧ですよね（笑）。

豪　結局、UFOは実体が混沌としすぎてるから、小川はもうZERO—ONEの選手なんだろうしね。そう考えると、ZERO—ONEは夢が拡がりますよ！

山口　妄想だけで、ZERO—ONEは十分語れるな（笑）。

豪　で、今日はいつものように会長の難しい話はないんですか？

山口　難しい話は必要ない団体、それがZERO—ONE！……ダメ？（笑）。

チョロ　生マジメには考えられないですよね。この間、ZERO—ONEの事務所に行ってフロントのスケジュール表の中村部長のところを見たら、8月中旬に「アフリカ出張」って書いてありましたからね（笑）。

ガンツ　ワハハハ！　いまどき南アフリカのマット界に目をつける団体ないですよ（笑）。

山口　いや、ZERO—ONEは、アフリカでも北極でも宇宙でも、どこにでも目を向けてほしい、本気で！（笑）。

スモー　でも、ブッ飛び回るのはいいけど、墜落する可能性も大なんですよね。

山口　ガハハハ！　オマエは最後まで冷たいね（笑）。でも、きっとZERO—ONEは墜落する姿も面白いぜ（笑）。とにかく、今年後半もZERO—ONEは見る価値大アリ！　そういうことです！

【02年7月13日収録／敬称略】

崔リョウジ

橋本は、昔のプロレスの見せ方のいい部分やノウハウを躊躇なくやってるよ（山口）

ゼロワンとは〝大谷晋二郎の団体〟である（ささきぃ）

DEEP INTERNATIONAL 2004

3 美田

豪傑 高山善廣が

6・23『PRIDE.21』ドン・フライ戦で

3つの命題に答えを出した!

ノールールとは何か? プロレスラーとは何か?

そして日本人とは何か?

帰ってきた 青春の大発見 シリーズ

日本武道傳骨法創始師範

堀辺正史の活字バーリ・トゥード講座

お久しぶりこの上ない、堀辺師範の活字バーリ・トゥード講座
今回はもちろん、プロレス・格闘技を超越した、ド迫力の試合となった高山vsフライを大分析! 高山の玉砕は、なぜあれだけ人々の心を打ったのか、堀辺師範がズバリ解き明かします!

聞き手/山口日昇
構成&撮影/堀江ガンツ
designed by matsu (Two three)

ささきい　それ
れて来た人が
て帰っていく
山口　会場か
るよね。地方に
の風景が見れ
介）だっけ？
ささきい　そう
山口　その選
一試合で昔の
ど、「♪思い〜
星』のテーマ
ッと走ってき
したらウサギ
（笑）。
豪　ダハハハ
場時にローラ
ほしいところ
山口　でも、
くりじゃなく
ことによって、
ということが
えつけられる
プロレスの見
ろやノウハウの
踏しないでや
豪　ホント、
代みたいなシ
大山倍達みた
て、木村政彦
がいて、力道
レスラーがい
カ人と闘うっ
山口　ホント、
世界でも、カ

7・7両国大成功
ゼロワン

高山vsフライは、あのハンセンvsベイダーをも遥かに超えてしまったんです！

——先生！　今回の『PRIDE・21』のことはどこかで語ってますか？

堀辺　いや、全く語ってないです。だから『紙プロ』専用御用達って感じです（笑）。

——先生はウチの御用達ですか。ターザン山本は『SRS・DX』の犬になったらしいですけどね。自分で言ってましたけどね（笑）『PRIDE、21』は観に行ったんですか？

堀辺　久しぶりに会場で見ました。いい席で見させてもらいましたよ。

——『PRIDE、21』では衝撃的な出来事が二つありまして、まず一つは高山vsドン・フライ、もう一つは田村vsボブ・サップですね。

堀辺　はい。日にちが経っちゃうと、この二つ意外まったく記憶にないんですよォォ。

——ガハハハハ！　確かにそうなんですけどね（笑）。やっぱり先生でもそうですか。で、なぜそうなったのかということを今日は解き明かしてもらいたいんです（笑）。

堀辺　わかりました。

——まず、高山vsフライっていうのは、いろんな意味で衝撃的だったと思うんです。

堀辺　も〜う、これは衝撃なんてもんじゃないですよね。

——衝撃なんてもんじゃない！（笑）。

堀辺　衝撃って言っちゃいけないね、「もんじゃない！」って付けないと。まぁ、もんじゃ焼きっていうのはありますけど。

——ダハハハハ！　誰がそこでダジャレを言えって言ったんですか（笑）。

堀辺　いやホント、あの試合はもんじゃ焼き以上なんですよォォ！（バンバン机を叩く）

——もんじゃ焼き以上！（笑）。

堀辺　『PRIDE』全体のイメージで言うと、人間の体でいう背骨みたいな部分。それはどういうことかと言うと、「高山死すとも『PRIDE』は死なず」ってことなんです！

——簡単に言うと、高山が『PRIDE』を救ったっていうことですか？

堀辺　そういうことです！　あの興行を高山一人で救ったってことですよね。もちろんドン・フライがいたからできたことなんだけども、やはり『PRIDE』を救った栄光は高山一人に与えていいと思います。

——なぜこの試合を先生に語ってもらいたかったかと言うとですね、昔、ターザン山本全盛期の『週刊プロレス』で先生が連載してた頃に、ベイダーvsハンセン戦のスーパーヘビー級のド突き合いを観た先生が、「これをやられたら格闘技側はかなわない」と言ってたんですよね。

堀辺　ありましたね。あの闘いは凄いですよ。

——で、高山vsフライを観た時に、真っ先に先生のその言葉が浮かんだんですよ。「これをやられたら格闘技側はかなわない」というものが、時空を越えてリアルに、『PRIDE』のリングにも立ち昇ってしまったんじゃないかと思ったわけです。

堀辺　それはもう全くその通りで、高山vsフライというのは、あのハンセンvsベイダーをも遥かに超えてましたね。だから今回は「超える」っていうのがキーワードになるね。それと三つの「何であったか？」っていうのがあるんですよ。

——三つ！　今日は多いですね（笑）。

堀辺　多いでしょ（笑）。一番最初に言ったことと、それプラス三つあるんですよ。

——はい（笑）。

堀辺　一つ目の「何であったか？」っていうのは、「ノールールとは何であったか？」ということに対して、高山が凄い答えを出したんですよ。

——「ノールールとは何か？」ですか。

堀辺　ええ。それともう一つは、「プロレスラーとは何であるか？」。それから三つ目は「日本人っていうのは何なのか？」っていうことに答えを出してくれたんですよ。そして、この三つの「何か？」っていうことが絡まって、三つの軸になっているのが一番最初に言った「高山死すとも『PRIDE』は死なず」となるんです。つまり高山選手が今回出場したことによって、危うくダメになるところだった『PRIDE』、あるいはノールールっていうものを見事に救ったということが話の大筋ですね。

——重層的に絡まってるっていうことですね。

堀辺　絡まってますね。だから、それを説いていくと今回のことは凄く明瞭に出てくるようになってくるわけです。

——なるほどぉ。じゃあ、高山vsフライ戦から、一つ目の「ノールールとは何か？」が、どう見えたんでしょうか？

堀辺　まずね、最近ノールールが面白くない！（ドンッ）。

——お、面白くないですか！（笑）。

堀辺　『PRIDE』でやってるノールールが、高山vsフライ以外、全部面白くなかったですよね？　何で面白くなかったかっていうと、ノールール＝総合格闘技になってきてるんですよ。でも、高山がやったことは必ずしも総合ではないですよね？　寝技なんかほとんどやってないし、関節技なんかも出さないし、締め技もほとんど出さない。まったくいま流行りの総合なんていうものを「なんじゃこんなもん！」っていうような感じで、違う闘いを示してくれたんですよね。ノールール＝総合格闘技ではない、言うなればノールールの原点を示したんですよォォ！

——原点！

堀辺　そうです！　結局ノールールが求められているのは、技をいっぱい出し合うことではないんですよ！　つまり自分のホントのプライドを賭けて、「お前と俺のどっちが男なのか？」、「どっちがホントに根性があるのか？」っていうね。ゲームにあらず、スポーツにあらずという決闘、決着の闘いなんですよォ！

——〝どっちが凄いか〟っていうことですね。

堀辺　そう！　どっちが凄いかっていうことですよ、簡単に言えば。それを見せつけるための試合の方式がノールールのはずなんですよ！（ドンッ）

——まったく、そうですね。

堀辺　だから、何もいろんな技とか、いろんな局面が出てきたからいいというわけじゃないのに、いつの間にかノールール＝総合格闘技になっちゃったんですよ。それがまた『PRIDE』っていうものを一種のゲーム化、競技化、あるいはスポーツ化してしまった。それに対して、一矢報いたわけですよ！

——今回、高山が一矢報いましたか？

堀辺　報いた！　結局、ノールールっていうのは何も技を出し合うだけじゃないでしょう、と。「男が極限の闘いをすりゃあいいんだろ？」とい

90年2月10日、伝説の新日本vs全日本東京ドーム大会。そこで行われた新日のエース外人・ベイダーと全日のエース外人・ハンセンの一戦は、81年の“田コロ決戦”ハンセンvsアンドレと並ぶ超ド迫力マッチとなった。今回の高山vsフライはこれらを超えたか。

？ 美田

「PRIDE男塾」というタイトルに恥じない、男と男の意地と意地がぶつかった、格闘技史上に残る壮絶な一戦となった高山vsフライ戦　試合後、高山は〝PRIDE〟への欲を深め、フライは完全燃焼し、ＶＴ引退を口にした

う、このシンプルな心意気を持って臨んだよね。

——それは見事に立ち昇りましたね。

堀辺　それがああいう試合展開に出てるわけです。観客はあれを見て別にね、いろんな技が見れなかったからって誰も不満を言わないわけですよ。それは結局、潰し合いをやったからなんです！

——要するに、猪木さんがよく言ってた「お互いのプライドがルール」っていうことですよね。

堀辺　そうそう。ゲーム化したり、あるいはルールに則った勝ちを求めるんじゃなくて、それこそルールなんてどうでもいいと。自分が潰れるまで、相手を潰すまで、何でもいいから勝ってやるという形でぶつかった。よく「ガチンコ」っていう言葉が出てきますけど、まさにノールールって「ガチンコ」じゃないですか？

——本来の意味でのガチンコですよね。

堀辺　そのガチンコを転化したんですよォ！

——それは先生が見てきた中で、『PRIDE』史上初めてですか？

堀辺　初めてですね。こういう単純でシンプルな死闘を挑んだっていうのは、ノールールってものが持っている本質を暴きだしたね。

——暴きだしましたか！

堀辺　だから、みんなノールールという闘いがどんなものか、忘れかけてたじゃないですか？

——どんどん闘いが洗練されてきてますからね。

堀辺　よくプロレスラーが「潰す！」という言葉を使いますよね。これは考えてみたら凄い言葉なんですよね。

——ガハハハハ！　そういえばそうですよね。

堀辺　潰すってことはさ、骨格があってね、筋肉で守られている人間がグチャグチャになっちゃうということだからね（笑）。でも、普通は潰さないでしょ？

——ちっとも潰しません（笑）。

堀辺　ところが高山選手は「潰す」っていう表現にピッタリの勝負を展開した。ノールールの本質っていうのはそこにあったわけですね。

——つまり、お互いの存在を潰しにいくということですよね。言い古された言葉でいうと、〝心の折りっこ〟。

堀辺　そう！「ガチンコ」っていうことはそういうことです。そこに闘いの原風景というか、ノールールの本質があるんです。そういうものを彼が試合で引き出してくれたんですよ。そういう闘いを観たときに、男はシビレるんですよォォォ！

——先生は現場で見ていてシビレましたか？

堀辺　もう、ビリビリ来ました！

——ガハハハ！　ビリビリ来ましたか！（笑）。

堀辺　それが一点ですよね。それで二番目は「プロレスラーとは何か？」ということですよね。この答えも彼は明確に出したんです。さっきも言ったとおり、最近のノールール系っていうのは総合格闘技化されてきましたよね。だから当然のこととして、格闘技の「技」を主体にして勝負を決するという風になってきたんですよ。でもね、プロレスラーっていうのは本来は技で闘ってはいけないんですよォォォ！

——技で闘っちゃいけない！

堀辺　こざかしい技で闘うのは本来はプロレスラーと呼ばないんですよ

ォ！（キッパリ）。技で闘うのは格闘家っていうんですよ。プロレスラーっていうのはこざかしい技を超えた体力。まず体力ですよ！　体力、怪力、それと腹の力、胆力ですね。それと度胸。こういうものが人並み外れた人間として、プロレスラーってものは存在したわけですよね。

——大山倍達なんかが、プロレスラーに見えてしまうのは、その胆力でしょうね。

堀辺　そうですね。とにかく人並み外れた体力があり、そのデッカイ体の中に人並み外れた度胸というものを持っている。その上とんでもない怪力があると。こういうのがプロレスラーだったはずなんですよ。もっとわかりやすく、日本人の言葉に直すとプロレスラーっていうのは、「豪傑」っていうことなんですよ。

——豪傑！　久しぶりに聞きました。

堀辺　例えば昔の三好清海入道とか、こんな連中は剣術なんか練習してないんですよ。

——練習してないんですか（笑）。

堀辺　練習しなくても強いから豪傑と呼ばれると。とにかく二十貫、三十貫の鉄棒をブーンッと振り回せばね、そこにぶつかったみんなはノビるわけです。ところが剣豪とか宮本武蔵っていうのはそうじゃないわけですね。普段からそれこそ地道にこつこつと技を磨いて、その技で勝つっていう。

——要するに、ストイックな部分を磨いていくということですね。

堀辺　そう。でもプロレスラーっていうのは豪傑だから。こざかしい技なんて使う必要ないわけです。それでも勝てるっていうのが豪傑だったんですよね。だから、我々がプロレスラーに抱いたイメージっていうのはまさにそういうものだったわけですよ。しかし、残念ながらこざかしい技に勝てるだけの体力、怪力、胆力っていうもの持ってるプロレスラー像っていうものが、特にアルティメット以降にどんどん崩れたわけですよね。

——見事に崩れましたね。

堀辺　そして「プロレスラーっていうのはホントに強いのかよ？」って世間中から言われるようになってしまった。その時に高山選手の素晴らしいのは技らしい技を使わないで、首根っこ掴まえて、ただひたすら渾身の力を込めてブン殴る。自分の肉体的特徴である足の長さ、そこで膝蹴りを出すと。だからパンチと膝蹴りしか出してないんですよね。

——タックルにもいってないですからね（笑）。

堀辺　でも、そこに格闘家というものとは違うプロレスラー像、豪傑的イメージっていうものがあの試合の中で彷彿とさせたわけですよね。

——ホントにお互い、真正面から顔に向かって行ってましたもんね。

堀辺　防御なんかしてないですからね。その防御なんてしないことに我々はシビレたわけですよ。しないところの凄さっていうのがあの試合に出てきたんです。まして、それがノールールという舞台なら、本来そういう試合をみんなが見たがってたんじゃないかと。豪傑として、こざかしい技を木っ端微塵にするっていう、そういうものに挑んだことによってプロレスラーのイメージっていうものを彷彿とさせたってところに偉大な功績があったんですよね。「ああ、そうか！プロレスラーってああいうもんなんだ」って思わせたんですよォォ。

——あれをやられたら、なにも文句は言えないですよね。

堀辺　文句は言えないです！　そもそもね、それをプロレスラーが云々

プロレスラーは豪傑である。それを高山は思い出させてくれたんですよォ！

と言うと、また格闘技だけにこだわってるアホな人間はね、「何か違うんじゃないの？」っていうようなことを言うんですよ。

——それは出てきますよね（笑）。

堀辺　必ず出るんですよ。その人たちに敢えて言っておきたい！「お前たち、勉強不足だよ！」って。そういうことを言うこと自体がね、そもそも格闘技っていうものがどうしてこの地上に誕生したかってことに対して理解がないバカなんです！

——ガハハハハ！　言い切りますね（笑）。

堀辺　格闘技っていうものは歴史上、そういう豪傑に勝つためにどうしたらいいかっていうことで生まれてきたんですよ。

——豪傑に勝つために技を磨いたと。

堀辺　だから、ここで二番目のプロレスラー像っていうものが出てきたついでに言いたいんだけど、ジャイアント馬場の偉大なところは「ちっちゃいヤツはプロレスラーになっちゃいけない」ということを言ったところなんです。

——「でかくてこそ、プロレスラー」が持論でしたからね。

堀辺　この思想はプロレスの原点なんです。なぜかというと、プロレスラーは豪傑じゃないといけないから。だからタッパの小さいヤツは入っちゃいけない。でもいまはね、インディーだけじゃなく、新日本だってもうチビッ子だよね。

——チビッ子、多いですね（笑）。

堀辺　ハッキリ言って、平均的国民と同じくらいのヤツがうようよしてるわけ。これが増えたってことは、プロレスラーという豪傑の世界、別の言葉で言うと神話的な闘いっていうものを壊してきたわけですよ。これはいまさら忠告しても遅いかもしれない。だから本当はプロレスラーになれる人っていうのは常人より絶対に体力があること。身長があること。今後は、もうちょっとそういうことを厳選して選ぶべきですよ。そしてやむをえず、どうしてもプロレスラーとして取りたいっていう場合は、そこで初めて、豪傑の条件を満たしてない人間、プロレスラーの条件を満たしてない人間は、格闘技をやれ！ってことなんですよ。

——技を磨いとけと。

堀辺　そうです。体力、怪力、胆力のある豪傑に勝てるだけの技を磨けと。でも、プロレスの一つの危機として、そういう豪傑じゃない人間をプロレスの世界に引き込んじゃったんですよォォ。

——そう考えると、いまはいかに豪傑がいないか、プロレスラーがいないかということですよね。

堀辺　そうなんです。だから格闘技っていうものはね、そもそも豪傑っていうものを前提にしなければ成り立たない世界だったんですよ。神話的な怪物とか、そういう人たちをいかにして凌いでいくかっていうことが前提にして作られてきたのが格闘技なんだから。それなのに格闘技の人たちは「プロレス」っていう一つの世界を切り離そうとするんですよ。

——いまは特にそうですね。

堀辺　切り離そうとするんだけど、格闘技そのものがそういう豪傑の世界とか神話的な巨人の世界とか、そういうものを想定して生まれてきたんだから、この絡み合いっていうのは切れないんですよ。

——切っても切っても切れない。

堀辺　それを切って考えるっていうことはそもそも無理なんです。だから切ってくれって言う人たちがいるけどね、ハッキリ言って、切ったら科学的に考えてないよって。

——でも、そういうことを言う人たちは、科学的に考えているつもりなんですよね（笑）。

堀辺　つもりなんだけど、逆に最も非科学的に陥っているただのバカな

DEEP INTERNATIONAL 2004

3 美田

日本人屈指の長身、分厚い胸板、そしてプロらしい面構えと、"豪傑""プロレスラー"の要素をすべて満たしている高山。全日本プロレスに入団した際、入団会見で故・馬場さんが笑顔で同席したことからも、いかに高山がプロレスラーとして期待されていたかがわかる。

んですよォォ！

――ガハハハハ！　ただのバカ！（笑）。例えば、そういう非科学的な陥穽に陥った人たち、つまり格闘技バカというかマニアからは、どんな声が出てきやすいですかね、高山vsフライを見て。「あそこには技術も何にもない」「ノールールがせっかくここまで進化してきたのに元の寄り戻し現象」だとか言うんでしょうかね。

堀辺　そういう答えがまず出てきますよね。でも、それは非科学的なんです！（キッパリ）。だから格闘技側の人も高山vsフライみたいな試合は現実として認めなければならない。それを受けとめられない人は、知性として格闘技を科学することはできない人ですね。

――知性として（笑）。

堀辺　自分の三倍くらいの身体の人に対して、技でどうやって対抗するかと。それを考えるのが真面目な格闘家なんだから。

――イコール武道家でもありますよね。

堀辺　ありますね！

――そして、三番目が「日本人とは何か？」です。

堀辺　これは一番最初に言ったことと関わってくるんだけれど、今回の試合でね、一番凄いって思ったのは、高山選手が日本人の精神、心を持っていたっていうことなんですよ。彼はそれを自覚していないのかもしれないけどね。

――洋楽好きですからね（笑）。

堀辺　自覚してないからこそ、かえって偉大なんです。演出したり、こうしようと思ってやったことじゃないんだけど、やっぱりそれは日本人であれば彼の闘い方というものに対して涙ポロポロっていう感じになる感動なんですよ。なんで感動ものかっていうと、おそらく彼はあの日の一試合目からの流れをわかってたと思うんですよ。

――客席が盛り上がっていないことがわかっていたわけですか。

堀辺　そう。それで「こんなんじゃダメじゃないか！」と。金払って来た人がブーブーものだよって、彼の感性で受け止めたと思う。それがああいう試合をしたというモチベーションを強くした要因としてあったと思う。

――メインイベンターとしての努めを果たそうとしたと。

堀辺　しかも、あの闘い方っていうのは、いわゆるこざかしい格闘技の理論から言うと、格闘技の定説とかそういうものを全部無視した闘い方。つまり、ガイジンの言うところの「神風」ですね。

――またデカイ神風ですね（笑）。

堀辺　アメリカ人的、合理的な考えでいったら「神風なんて価値がない、ただ突っ込んできただけだよ」と言うかもしれない。またそういう風な形にして否定したがるんですよ。でも、その否定っていうのは、実は恐れと裏腹な言葉なんですよね。本当は怖くて怖くてたまらないんですよォオォ！

――そう来られたらたまらないと。

堀辺　現に、神風は片道燃料で簡単に突っ込んでくるわけでしょ。あれでアメリカの兵士で気が狂った人がいっぱいいるわけですよ。一説によると、あれがあと一週間続いてたら、沖縄に攻めるのをやめようかと考えたくらいだという話も出てるくらいに、自分たちの想像を越え、合理性を越えた。その"合理性を越える"っていうことが英雄なんですよ！

――合理性を越えることが英雄！

堀辺　英雄です！　そして英雄っていうのはいつも、大多数の人が「そんなバカな！」ということをやるんです！　例えば、源義経という人は、平家が「まさかこんなところから攻めてこない」と思っていた崖の上から、馬が転げ落ちるような崖を自分から突っ込んで攻めていった。英雄とか豪傑っていうのは、実は科学性を越えるんですよォォ！

――猪木さんもよく「人をビックリさせることが使命だ」と言いますからね（笑）。

堀辺　そうそう。だから科学性を越えた非合理。でも時として、その非合理性が物事を解決したり、狂気と言われるようなものが人を感動させるんですよ。高山選手の闘い方は、普通の格闘理論から言ったら、顔を防御もしないでね、打たれるまま突っ込んでいくという。日常的な判断をする人からするとバカバカしい行為なんです！　まさに神風なんですよ。神風をやっても自分がやられてしまうかもしれない。でも、それよりも凄い試合を展開するっていう彼の情念！　これがあの会場を救ったんです。

――実に見事に救いましたね。

堀辺　しかも、驚くべきことに、スープレックスを出そうとしたんですね（笑）。あれだけ打たれていて、さらにやられながらも、もう一つ何か、客を沸かしてやろうって投げにいっちゃったわけですよ。さすがに相手はアマレスでも百戦錬磨の人間だからバランス崩してマウントを許しましたよね。それは常識がある人から考えたら、あんなところであんな技を出すもんじゃないと。

――アホか！と（笑）。

堀辺　そういう声が出てくるんです。でも、それを「アホか？」と言ったら、その人間は日本の長い歴史を築き上げてきた、「日本の心」をわかってないことの証明です。日本人が愛する英雄というのは、「これをやったら負ける」とわかっていても突っ込むところ、負けるとわかっていても自分の信念を貫こうとする。その男気に我々はシビレきっちゃうんですよ。

――シビれちゃいますか（笑）。

堀辺　我々が新撰組の土方歳三に心酔するのもそうです。これは男だけじゃない。女どももそうなんですよォオォオ！

――女ども！（笑）。

堀辺　男の心がわからない女どもも日曜日になると土方歳三の家に集まって来るんですよ。墓場には線香が絶えない。徳川幕府が潰れるとわかっていながら、最後の最後まで行動を共にしていく彼のバカさ加減。そこにシビれるわけ。それは利害を超

我々が愛する英雄は〝素敵なバカ〟なんです 高山はそれになれたんです

越して、合理性を超越して、簡単に言うと日本の英雄、豪傑はすべて自分の身を犠牲にして何事かを成し遂げた人なんです。だから勝利者側が必ずしも英雄になってないでしょ?

——そう言えばそうですね。

堀辺 大久保利光よりも我々は西郷隆盛を愛するんです。日本の歴史を見ると、日本人の好きな英雄っていうのはどっちかというとみんな敗北した側なんですよ。

——坂本竜馬しかりですね。

堀辺 みんなそうです! 我々は敗北したその人たちを深い哀惜の情をもって尊敬するんですよ。「負けてまでやろうとした精神はなんだったのか?」という思いを汲み取った時に、その人を貶したりできなくなるんです。高山選手も『PRIDE』っていうリングの中で、観客から「何だよ、ノールールってこんなもんかよ!」とか、「プロレスラーが出てきてこんな闘いしかできないのかよ!」っていう声を出させなくすることを、自分の勝ち負けよりも優先したんですよ。

——実にいい、プライドの持ち方ですね。

堀辺 だから狭い狭い勝負論だけで格闘技を語ってると人間性を見ることができないんですよ。いまの格闘技っていうのは勝った負けただけをジャッジメントするんです。私はその考え方っていうのは武道的じゃないと思ってるんで、「用・美・道ジャッジメント」っていうのをやったんですよね。ホントの凄い試合になればなるほど、勝った負けたを超えた勝負っていうのがあるんです。高山の今回の試合は勝った負けただけでジャッジメントしてはいけない試合なんですよォォォ!

——まさにその通りですね。

堀辺 「用・美・道」の中の、「美」とか「道」とかっていう部分で彼は勝ってるんです。勝負に負けて、言うなれば高山は死んで、プロレスラーと『PRIDE』を救ってるんです。それが英雄じゃなくて何が英雄なんですか! それを「投げなんかやるからマウント取られた」なんてバカにするヤツは、英雄の心わからずですよォォォ!

——某格闘技雑誌がつまらないのは英雄の心がわからないってことですね(笑)。

堀辺 はい(笑)。そしていまの格闘技の一番陳腐なところは、男のロマンがわかってない! 男のロマンっていうものは勝負を超えたところにあるんだと。最後に負けたから、くだらなかったのか? 義経が負けたから、くだらなかったのか? 土方歳三は敗北したからアイツは何も価値がないのか? そういう勝負結果主義だけで見てるんだったら、人間性なんて何も見えてきませんよォ! 私は現代の格闘技のそういうジャッジメントって大っっっっ嫌いなんだ! 人間の一面しか見てないようなね。その格闘技論で今回の試合を見たら高山は救われない! (ドンッ)。

——プロレスの歴史でも悪いところはあるんですよね。男のロマンを安易に武器にしようとしてるのに、全然武器になってない(笑)。

堀辺 なってないですね。

——その歴史があるから、観客のほうも、「もう騙されないぞ!」と醒めてみちゃうわけですよ(笑)。

堀辺 そういうことも含めてね、高山選手はプロレスも超えたんです! (キッパリ)。

——でも、図らずも高山は自分でプロレスを追い込んでしまいましたね。いい追い込み方ですけど(笑)。

堀辺 追い込んだと同時にプロレスラーっていうものはこういうものじゃないか、ということを自分の身体を張って見せたんですよね。そして、彼が豪傑だなぁと思うのは、聞くところによるとすぐに病院に直行しないで、打ち上げパーティなんかに出てきたらしいじゃないですか。これはもっと凄いことですよォォ。

——打ち上げでも酒飲んでたっていいますからね(笑)。

堀辺 あんな顔になったら、骨折していないか? とか、網膜剥離になってないか? とかで、すぐに病院に直行して、検査しますよ。それがパーティーに出てきて、「俺は元気だぞ!」って示したっていうのはね、彼の心の中には男の生き方として、プロレスラーの美学っていうものがハッキリ確立してるね。それなのに最近のプロレスラーで「そんなことしちゃダメですよ!」って言ってる人もいるんじゃないですか?

——きっといるでしょうね。

堀辺 きっとプロレスの世界でも「そんな無謀なことしちゃいけませんよ!」と言うプロレスラーが出たところにも問題があるんですよ。あんだけ打たれて、打ち上げパーティにまで出てきて、酒飲むというのは、確かに危険ではある。でも危険なことを敢えてするのが豪傑じゃないですか!

——だからこそ銭が取れる。

堀辺 そうなんです! 普通の人だったら当然できないことを成し遂げてくれるからこそ英雄であり、豪傑なんですよ。よく戦場の物語を聞くと、相手が機関銃とかで撃ってきてね、普通の人間は頭を引っ込めるわけですよ。

——弾に当たらないようにですね。

堀辺 その時、わざわざ相手がボンボン撃ってくる方にケツを向けて、ウンコするヤツがいるんですよォォォ!

——ガハハハハ! 実に素敵な〝バカ〟ですね(笑)。

堀辺 弾が飛び交う中でケツ丸出しになってるんですよォォォ!(笑)。でもねぇ、結構当たらないっていうの。そういうことをするヤツがいるわけですよ。それこそがまさにバカというけれども、我々はそういう〝バカ〟をこよなく愛するのよ。なぜかと言うと、そういう〝バカ〟にはなかなかなれないから。高山は「なりたくってもなれない〝バカ〟」に、その打ち上げパーティでなってたんですよォォォ!

——ガハハハハ! つまり今日の先生のお話を聞いてると、日本人っていうのは元々〝バカ〟が大好きということですね?(笑)。

堀辺 そう、〝バカ〟なんです! (キッパリ)。我々はこよなく〝バカ〟な人間を愛するんですよォォォ!

——その「〝バカ〟」っていう定義がわからないのが一部の格闘技雑誌&マニアですね(笑)。

堀辺 そういうことです! (キッパリ)。あれは日本の武士道とか日本の英雄っていうものの心が全くわからない、ヨーロッパ産直輸入の格闘技観なんです! 日本産の文化っていうものが全~然わかってない! そういうインタビュー意味で、私は高山に日本人を見たと言うんです。

——つまり、実に〝素敵なバカ〟を見たということですね(笑)。

堀辺 そういうことです! 英雄っていうのは〝素敵なバカ〟なんですよ。簡単に言ってしまえば。

——やっぱりプロレスラーでも格闘家でも、なかなか〝素敵なバカ〟って出てきづらいですよね。

堀辺 きづらいです。そういうものをまた、貶すことによって素敵なアホが出にくい世の中をつくってるわけですよね。せめて少ない〝バカ〟はみんなで褒め称えなければならない! 「お前、〝バカ〟だったなぁ! 凄い〝バカ〟だったなぁ!」って。「お前、〝バカ〟だからいいんだよ!」ってみんなで温かい拍手を送ってやら

2 美田

格闘家でありながら“豪傑”の名に相応しい、“暗黒大魔人”ボブ・サップ。いまプロレスラーでサップ以上の怪物が見あたらないのが寂しいところだ。(写真・右) 豪傑でいながら、技術もピカイチというヒョードルも凄い (写真・右)。

なかったらね、こんなつまらない世の中に英雄、豪傑は一人もいなくなっちゃう。

――しかもそれが、普段クレバーだと言われてる高山選手がやったというところが凄いですよね。やっぱりクレバーじゃないと“バカ”になれないんでしょうね。

堀辺 なれないです!

――なるほど! ところで『PRIDE・21』にもう一人“バカ”がいたと思うんです。170キロのボブ・サップに向かっていった田村潔司という名前の男です(笑)。

堀辺 いままでの話ともダブるんですけども、彼の試合もまさにプロレスラーなんです。でも、いわゆる馬場さん的に言うならば、彼はプロレスラーの条件を満たしてないんですよね。

――しかも豪傑というイメージではないですね(笑)。

堀辺 豪傑ではないでしょ。従来のプロレスラー像から言うとプロレスラーに入らない人なんです。だから格闘技をやりだしたと言えるんです。

――豪傑になれない代わりに、技を磨いたと。

堀辺 そうです。だからあの試合は格闘技の技をもって、ゴリラと言われる男をどういう形で制することができるかというのがテーマだったんですよ。でも、あえなくその技が通用せずに負けてしまった。ただし、そこに一点だけ取り上げれば、ああいうマッチメイクを田村選手が自分で受諾したっていうところにすべての意義があるんです! なぜならば、負ける可能性はかなり高いですよね。

――倍の体重差ですからね。しかも相手は、ただのデクの坊じゃなくて、モーリス・スミスの下でしっかり練習してる怪物ですからね。

堀辺 だから、それを受けたっていうところが、彼にやはり「プロレスラーの遺伝子」っていうものが残っていたということが見てとれた。そこに興味があったと。

――結果はともかくですね。

堀辺 純粋に格闘技の分野で育ってきた人だったらば、そういう試合自体まず避けるんですよ。

――それこそ「アホか!」の世界ですよね(笑)。

堀辺 「アホかの世界」っていうものに挑んだっていう点では、彼も「プロレス」っていうものの何らかの影響を受けてた人間だなっていうことが見てとれるんです。高山選手と彼との違いは見えるけれども、ある種の共通の部分というものが見てとれたっていうことが、私にとって興味深かったですね。

――田村はあの試合、真正面から技で挑みにいきましたね。あれがもし、猪木vsアリ状態のように、寝っ転がって闘ったりとかしてたらどうなってました?

堀辺 やっぱり長く闘えたでしょうね。あの時に自分から寝ちゃってもよかったんですよ。ヒクソンなんかだったら、あんなにデカいヤツには意外と最初から寝ちゃうかもしれないですね。グレイシーなんかはまさにそういう意味では合理性の極地にいる連中だから。そしてもし、ヒクソンがサップと闘って、最初から寝たらブーイングが相当起きると思う!

――ああ。

堀辺 でもブーイングが起きても、「ここで立ったらやられる」とわかったら、ヒクソンなんか絶対に立たないと思うんですね。凄いブーイングが起きても寝て、自分の世界に引きずり込んで闘うわけです。これはやっぱり格闘技っていうものに徹するという姿勢に関しては、試合が面白かろうが面白くなかろうが、とにかく自分の勝負を目指すという、これは日本の英雄と違う、西洋合理主義の極地みたいな格闘家ですよね。

――正反対だからこそ、ヒクソンはまた面白いんでしょうね。

堀辺 面白いんです。でも、田村がそれをやらなかったっていうのは、やっぱりプロレス集団の中で生きてきたっていう遺伝子が彼の中で残っていて、自意識としてそういう選択ができない、というところにあの試合のすべてがあったような気がするんですよね。

――プロレスラーであるが故にオファーを受け、真正面から闘ってしまった、と。

堀辺 そうなんです。受諾した部分と、受諾したんだから、どんなせこいことをやっても勝てばいいんじゃないかっていう論法も成り立つんだけども、それもしなかった。そういうところに彼の現在置かれている立場っていうものが、プロレスラーの魂と格闘家っていうね、つまり「合いの子」状態に彼がいるんだっていうことが凄くよく見えて、興味深かったですね。

――合いの子ですか。

堀辺 はい。彼の今後の試合っていうのは「合いの子」っていうことがすべてキーワードになると思うんですよ。混血児なんですね。だから混血、輸血された人間ということが今後の運命を決していくと思う。だから彼自身も、これは自分の哲学を吐き出さなければならないところにきてるね。

――プロレスラーなのか格闘家なのかハッキリさせろ、と。

堀辺　そう。それによって試合展開も変わってくるだろうし、どういう試合を組まれたら「ノー」って言うか、受諾するかっていうことまで含めて、自分のアイデンティティっていうものを混血状態にいつまでも置いておいてはいけない時機にきたんじゃないかと。混血状態でいくと、いつもいい結果が出せないと思うんです。

――でも、彼の身体のサイズからいくと豪傑タイプには行けないですよね。

堀辺　豪傑ではないですからね。やっぱり格闘家という道を選ばざるをえないのかな？　という気がしますね。

――そうすると余計苦難の道を歩むことになりませんか？　彼の根っこはプロレスラーですからね。

堀辺　苦難の道が凄い待ってるんですよね。そういう意味で高山選手と田村選手の試合っていうのは対照的な運命を分けてたなっていう意味で、非常にコントラストで印象に残りましたね。しかも二人ともUっていう場所にいたと。

――桜庭なんかも、ある種、合いの子ではありますよね。

堀辺　そうですね。

――桜庭はこれから格闘技のほうに道を進めるのかというと、ミルコっていう相手を見つけられる。田村も桜庭的な方向を選択するべきなんでしょうかね。

堀辺　だと思いますね。

――でも結果的に、最近はUで育った選手しか記憶にないですね。

堀辺　だからよくね、「プロレスラー」という言葉が出てくるでしょ？　日本人が考えてるプロレスラーというものは、先ほど言ったように豪傑であり英雄であり"素敵なバカ"なんですよ。つまり常人ではない稀人であり、怪人なんです。

田村の今後はプロレスラーと格闘家の"合の子"であることがキーポイントとなる

【ほりべせいし】1941年茨城県水戸市生まれ。通称「喧嘩トキ」。50年試行と命懸けの求道の末に平成10年、遂に武者相撲、骨法98手、骨法柔術の3種目、3段階武者教育試合と武者制試合を完成させた。また、これまで多くのレスラーに技を伝授。猪木、船木、ライガー、藤波、コブラ、飛鳥など錚々たるメンバーが骨法の門を叩いた。著書も多数。

――高山は、まさに『PRIDE』の怪人！（笑）。

堀辺　そういった異常なものを格闘技の世界では取り扱えなくなってしまってるんですよ。いまの日本の格闘技マスコミっていうものには。あるいは格闘技に携わってる人たちが。実はホントの闘いっていうのは、そういうものを過程に組み込んでるものを構築しない限りは『PRIDE』とかノールール系っていうものを誘導することはできないんですよ。

――ホント、だから『PRIDE』が高い壁になってしまいましたよね。

堀辺　そうですね、高い壁になりましたね。実はその『PRIDE』そのものが凄い問題を抱えているんです！

――はぁ、何ですか？

堀辺　これ言っちゃっていいのかなぁ（かわいらしく）。

――ガハハハハ！　ぜひ教えてください！（笑）。

堀辺　『PRIDE』は問題ありですよ！

――『PRIDE』は問題あり！！

堀辺　『PRIDE』とかUFCとか、アメリカと日本で二つやってるわけだけれども、このノールールっていうものは大問題なんですよォ！　なぜかっていうと、ノールールっていうのは、そもそもスポーツの考え方で試合を組み立てていたら絶対行き詰まるんですよ。ノールールっていうものは武道の競争原理を作り出さなければいけない。でも、この武道の競争原理っていうものをわかっている人がいないんです！　私がこれを喋っちゃうとまた大変なことになるんですけれど。

――ガハハハハ！　大変なことになりますか！（笑）。

堀辺　大変なことになります！（キッパリ）。これを体系的に言うと「なるほどそうか、ノールールってこうだったのか！」「『PRIDE』ってこうなるのか」ということの全部が見える基礎理論があるんですよ！

――そ、それは興行的なことですか？

堀辺　全部含めてです！　マッチメイクからルールからいろんなことを含めて、『PRIDE』っていうものも「合いの子」なんですよ。スポーツっていう専門分化してきた中から生まれた理論をノールールっていう開放した中で使っているんですよね。これはそもそも無理があるんですォォ！　それを関係者も興行やってる人もマスコミも誰も気づいてないんです。私がそれを喋っちゃうとまた大波紋が起きるんですよォォォ！

――ぜひ起こしてほしいですね（笑）。

堀辺　これ観客が知ると、「なるほどこうなんだ、こうしなければいけないな」っていう一大ムーブメントが起きるくらいの問題提起ができるんですよォ！　特にノールール系っていうものに対してドッカーン！　とね。

――ドッカーン！　と、きますか（笑）。

堀辺　大金槌をブチかますことができるんですよ！　でも誰も気づいていないから、私のところに聞きに来ないし。

――ガハハハハ！　来ないですか（笑）。やっぱり「合いの子」っていうのがキーポイントなんですよね？

堀辺　キーポイントです！　これをやると……でも、いまはちょっと喋れないんですよねぇ（笑）。

――もったいぶりますねぇ（笑）。

堀辺　やっぱり喋るなら全部喋らないと誤解されちゃうから、これはまたじっくり話します。

――実に楽しみですね。じゃあ、いつかそれはゆっくり聞くということで！（笑）。今日はありがとうございました！"素敵なバカ"、バンザイッ！

堀辺　バンザ～イッ！

【02年7月16日／東中野・割烹「大はし」にて収録】

DEEP INTERNATIONAL 2004

佐伯ドリーム遂に実現!
9.7 DEEP 有明コロシアム
田村VS美濃輪 決定!

田村潔司が美濃輪育久戦を受諾した3つの理由

KIYOSHI TAMURA INTERVIEW

倍以上の体格差がある"暗黒大魔人"ボブ・サップ戦で、我々を驚かせた田村が、今度は方向性を180°変更して、なんとパンクラスの美濃輪育久と9・7 DEEP有明大会で激突することが決定した! 他団体の成長株と同一線上で向き合う、田村の真意とは何なのか?

聞き手/堀江ガンツ
撮影/松本崇　試合写真/吉澤晃
design by ZERO graphics

坂田が俺の仇を討つ？ 売名行為はやめてくれって！

田村　ごめんごめん、遅くなりました。（店員に）唐揚げカレーとタラコスパゲッティーください。

――相変わらず食欲は旺盛ですね（笑）。

田村　食べないとね、体重が落ちちゃったから。こないだの試合（ボブ・サップ戦）のとき、練習しすぎて83・5キロになっちゃって。

――83・5キロ！　そんなに少なかったんですか!?　じゃあ、ボブ・サップとの体格差は倍以上だったんじゃないですか。

田村　そう。実は倍以上あった、と。

――へ～、そこは改めて強調しておきましょう！　でも、倍以上の体重差があったとはいえ、先日のボブ・サップ戦では見事に前科二犯になってしまったわけですが……。

田村　もうね、そういうのはやめてよ（笑）。一犯で止めとこうよ。

――これ以上、犯罪歴を増やしたくないですか（笑）。

田村　もういい、じゃあいっそのこと五犯ぐらいまでいこうか？

――そんなにいかなくていいです（笑）。シウバ戦では「前科者になってしまった」みたいな話をされてましたけど、今回はどんな感想ですか？

田村　感想は……なんかもう、巨大な台風が上陸して、すぐ去ったような感じだったから。試合が決定してからも早かったでしょ？　試合自体も早かったし……って放っといてよ、それは！

――ダハハハ！　自分でボケといてツッコまないで下さい！

田村　もうね全然疲労感もなくて、ただいたまアリーナにドライブに行ったような感じだから（笑）。

――楽しくないドライブですね（笑）。

田村　楽しくないねぇ。ま、そういう浮き沈みがあっていいんじゃない？　もう、そういうふうに開き直るしかないから。これを悪い方に考えて「もう俺はダメだ、ダメだ」ってなると、前向きじゃなくなっちゃうから。

――田村さん以前と比べて、ずいぶんポジティブ・シンキングになりましたよね。

田村　うん。開き直ってるっていうの（笑）。うちのジム生とかも試合やって負けると落ち込むのよ。だから俺まで落ち込んでらんないでしょ。

――プロは精神的にタフじゃないとやっていけないでしょうからね。もの凄く賞賛されたかと思ったら、逆に谷底に突き落とされたり。

田村　ひどいよね。いい例ですよ、俺が（笑）。でもね、負けたとはいえ、ああいう大きな舞台でやれること自体がいいことだと思うから。

――今回セコンドにU-FILEの上山選手と大久保選手が付いてましたけど、ああいう雰囲気を体験させたいとか、そういう部分があったんですか？

田村　それはもちろん。大久保はいま俺の付き人みたいなことやってもらってるし。来るだけでも勉強になると思うから。

――あの入場の緊張感っていうのは相当なもんじゃないですか？

田村　いや、全然。緊張しなかったよ、こないだは。緊張感なかったってことはないけど、いい感じでリラックスはできた。

――でも、試合直前は結構ナーバスになってたって話を聞いたんですけど。ルール問題とかで紛糾したり、「セントーン禁止」になったりとか（笑）。

田村　フハハハ！　あれなんでそうなったのかなぁ？

――田村さんが主張したんじゃないんですか？

田村　してないしてない。俺はルールに関しては一切触れてないから。たぶんね、俺のマネージャーが俺以上に心配してくれてルールを交渉してたんだろうけど、そのとき冗談で言った話がそうなったんじゃないのかな。

――「セントーン禁止」の真相はマネージャーさんの冗談でしたか（笑）。

田村　たぶんね（笑）。

――実際に闘ってみて、ボブ・サップの圧力やパワーは、想像してた以上でしたか？

田村　うん、想像以上っていうか、体重が倍違うって筋肉だけで大きい奴だから、想像通りって言ったら想像通りなのかな。

――でも、あんなに打撃に怯まないとは思いませんでしたよね。田村さん、ローキックもかなり手応えというか、足応えはあったんじゃないですか？

田村　足応えはあった！　蹴ってる俺が痛かったもん。たぶん、向こうは痛いと思うよ、次の日。

――でも、試合中は微動だにしませんでしたよね（笑）。

田村　まぁ、しょうがないよ、それは。もともと無理があるから。でも、可能性はゼロじゃないからやったんだけどね。その時点では勝てない相手じゃないって思ったんで。あれで関節技の防御とか覚えられたら、もう勝てるてんでしょ。そういう意味で、勝っておきたかったんだけど。

――そんな中、坂田選手が田村さんの敵討ちを宣言してますけど、それについてはどう思いますか？

田村　もういいよ、それは（笑）。売名行為はやめてくれって。

――売名行為ですか！　坂田さんは「兄貴の仇を討つ」って言ってましたけど、「兄貴」って呼ばれてるんですか？（笑）。

田村　そう。あいつ最近ね、電話かけてきても「兄貴」って言うんだよ。……っていうかもういい！　坂田の話題はいい！　最近、俺のインタビューでレギュラーになってるから、たまには外さないと。まぁ、彼はいま充実してんじゃないのかね、自分でジムも持ってるし、ZERO-ONEも出てるし、格闘技もやってるし。

――しかも小池栄子さんをも魅了してしまいましたからね。

田村　それがおかしいんだよ！（ドンッ）。世の中間違ってるよ！　間違ってると思わん？

――ま、まぁ……そうですね。

田村　思うでしょ？　ガンツが「世の中間違ってる」って言ったって書いといてよ（笑）。

――なぜだ（笑）。

田村　いや、ホント間違ってるよ！　でもあいつ、なんでああいう運があるかなぁ？　ホンッッット世の中間違ってるよ！

――ガハハハ！　そこまで強調しなくていいです（笑）。それは置いといて、坂田さんは最近、ZERO-ONEでの試合が非常に評価が高いんですけど。田村さんから見て、坂田さんのプロレスはどう思いますか？

田村　逆にどう思う？

――素晴らしいと思いますよ。

田村　なにが素晴らしいの？

――緊張感があって、プロレスと格闘技のいい部分を合わせた感じで面白いですよ。でも、田村さん的にはまだまだですか？

田村　うん、俺の方が面白い試合する（キッパリ）。だからZERO-ONEに出して！

――出たいんですか!?　すぐに叶いそうですけどね（笑）。でも、ZERO-ONEとはいろいろあったか。

田村　いや、ZERO-ONEとはないよ。『真撃』とはあったけど。でもね、

KIYOSHI TAMURA INTERVIEW

6.23 BOUT REVIEW

ゴツンと当たった右フックでダウンした田村に、大魔人がパンチを振り下ろす！　ロープを掴んでのパンチは厳密には反則だが……。

ゴング直後、田村は思いきって踏み込んで、内股にローを入れるが、サップはお構いなしに突進。さらに右フックを浴びせても微動だにしなかった。

○ボブ・サップ
（1R11秒　レフェリーストップ）
●田村潔司

比較的リラックスした表情で入場してきた田村（小太刀のお守りはナシ）セコンドには、ＴＫ、坂田、上山、大久保がついた。

見てみ、この体格差！　身長差20㎝、体重差実に86㎏はやはり無理があったか……。

わずか11秒でレフェリーに止められ、ダダッ子のように不機嫌な顔を見せる田村。その後、ビジョンのリプレイを見て敗戦を認めた。

横井とかはプロレスの巧さはないだろうけど、ああいう素人受けするような試合っていうのは新鮮で面白い。

――素人受け（笑）。

田村　素人受けって言っていいのかなぁ？　ちょっと表現の仕方が難しいんだけど、まぁ、技術うんぬんじゃなくて、単純に見て面白い試合ではあるよね。でも、俺は素人の人が見ても面白いなって思わせるし、玄人の人が見たら「あ、巧いな」って思わせる試合はできるから（キッパリ）。

――言い切りますねぇ！

田村　……これがダメなんだよね、自分で言うから俺はいやらしく思われるんだよ（苦笑）。いまのはガンツが言ったように書いといて。

――いや、自己申告にしてください（笑）。でも、田村さんといえば、「Uインター時代に新日本との対抗戦に出なかった」みたいなことが繰り返し言われますけど、いまだったらプロレスと真っ向からやってみるっていうのも自分の中ではありなんですか？

田村　うん、レギュラーで出ようとは思わんけど、お祭り的な、プロ野球のオールスター戦みたいな、ああいう感じのイベントであれば面白いかな、と。

――では、実際にオファーがあったら話を聞く準備はあるんですか？

田村　う～ん……そこから先はオファーがあったときに考えるけど。

――そうなると、いまは『PRIDE』が主戦場になってますけど、田村さん的には別に『PRIDE』一本というふうには考えてないんですか？

田村　うん、それは全然。『DEEP』さんも個人的に佐伯さん（DEEP社長）にはお世話になってるし、ウチの選手を出させてもらってるから、俺も出たいと思うしね。

――一部新聞紙上では、「9月の有明大会に田村潔司決定」と出ましたよね？

田村　カマかけてんの？

――かけてないですよ。

田村　これいつ出るの？

――25日です。そのころにはもう発表してますよね？

田村　発表してるでしょ。

――やっぱり決まってるんじゃないですか（笑）。

田村　……やられた！（笑）。

――アハハハ！　では、出場を前提に聞きますけど、『DEEP』にはもともと興味あったわけですか？

田村　興味があるっていうか、去年からずっと話はもらってたのよ。でも、俺はそのとき怪我もしてたし、「もうちょっと待って下さい」、「ウチのジム生使ってもらえないですか？」って逆に返して。そこで普通は「田村さんが出ないんだったら」ってジム生も使ってくれないんだけど、佐伯さんは「わかりました、ぜひ使わせて下さい」って前向きな返事をもらったんで。

――それでU-FILEの選手が毎回出場していたんですね。

田村　それと平行して俺に対しても、毎回毎回「出てくれ」っていう出場の依頼は受けてたんだけど、『PRIDE』の話もあったりして、なかなかでられなくて。だけど、今回はちょっとタイミング的にこっちも前向きに考えて。「俺を含めてU-FILEで試合枠を下さい」っていう形でお願いしたの。

――田村さんと佐伯社長のつき合いっていうのは、結構古いんですか？

田村　いや、古くない。2～3年ぐらいかな。佐伯さんって、テレビゲームショップを経営していて、最初に坂田経由でプレステをもらったのよ。坂田が俺に気を遣って、「僕の知り合いの社長さんがあげるって言うから使って下さい」って。で、お礼の電話入れて。

田村潔司が美濃輪育 3つの理由

俺がプロレスをやったら、素人が見ても玄人が見ても面白い試合をする自信はあるから。

そこから連絡取るようになったの。

——プレステが取り持った仲なんですか（笑）。

田村　プレステに釣られた仲（笑）。まぁ、その部分だけ捉えればそうだけど、付き合ってくうちに、人間味も素晴らしい人だったから。その人間性だよね。

——で、有明の話に戻りますけど、対戦相手はパンクラスの美濃輪選手が噂されてます。

田村　これはどこまで喋っていいのか……。ちょっとマネージャーに電話させて。（電話に向かって）もしもし、田村です。『紙プロ』のインタビューやってんだけど、どこまで喋っていいのかね？　うんうん。……とりあえずOKみたい。

——ということは、美濃輪戦で間違いない。

田村　はい、そういう話をいただいてます。

——田村さん的には美濃輪選手との対戦っていうのはOKなんですか？

田村　うん。

——美濃輪選手との対戦を受諾した理由はなんなんですか？

田村　やっぱりそれは美濃輪選手に魅力を感じたから。それ以上もそれ以下もないね。

——それはいままでの闘いぶりを見て？

田村　うん。色分けするとしたら、俺となんか似てるよね。どこか同じ匂いがするでしょ？

——わかります、わかります。

田村　まぁ、それに実現したら話題にもなるだろうし。俺もファンの立場から見たら、見たいかなっていうカードでもあったし。たとえば三つ要素があって、その三つとも俺のやりたいことと一致したから。

——そのやりたいことっていうのは？

田村　まず魅力ある選手でしょ、あと俺と色が似てる。そして俺がファンだったら見てて面白そうな試合。これが一つでも欠けてたら、たぶんやってなかったと思う。

——でも、他団体の若い選手ですから、リスクは大きい試合ですよね？

田村　う〜ん、リスクは大きいけど……負けてもいいかなって思うからさ。

——負けてもいいんですか!?

田村　もちろん試合だから勝ちを狙いにいくよ。でも、今回はやることに意義があると思うし。見てる人も、それで一つの夢が買えるわけでしょ？　俺も夢を買った一人の人間として、勝ち負けは二の次でいいかなって。そんな感じかな？

——言い方を変えると勝敗を超越した試合ということですね。

田村　そうそう。いままでリングスでやってきたときは、ホント勝たなきゃいけないって使命感でやってて、それで追い詰められて、シウバのときもそうだったし。ホント、精神的に持たなくなるのよ。だけど今はやれるときにやって、試合を楽しみたいなって気持ちにちょっと切り替わってきたから。負ける怖さはもうないんだよね。

——田村さんの場合特に、リングス時代から自分をかなり追い込んでた部分ありますからね。

田村　ホンットにひどいよね。一番輝いてた時期だね、俺が（笑）。

——ダハハハ！　過去の栄光みたいに振り返らないでくださいよ（笑）。

田村　だってね、あれは凄いことよ、ホントに。怪我してても5年間皆勤だからさ。だからこれは田村潔司が田村潔司を誉めてんじゃなくて、違う第三者の目で見ると、あの頃の田村潔司は凄い選手だなって思うよね。責任も果たしてるし。で、またこうやって自分で言うから嫌らしいんだよね。これガンツが言ったことにして。

——またですか（笑）。で、これからは夢のある戦いの方を考えて。

田村　そうだね。

——ある意味、いまは価値が揺るがないぐらいの存在にはなってますよね。

田村　ありがとう。腐っても田村潔司です……腐ってんのか！

——ダハハハ！　だから、もちろんリングスのエースとしてやってた頃は、今回の美濃輪戦みたいなカードはまず受けられないですよね。

田村　上でストップされるだろうね。

——いまの田村潔司だからこそ見られるようになったカード。

田村　うん。いまの状況で最大限できるカードじゃないかなって思うけど。だからファンの人は俺がシウバに負けて、ある意味「これでよかったんじゃないかな」って思って欲しいよね。あそこで勝っていたら、違う流れだったんだろうけど、負けてもこういう新しい流れって生まれてくるから。

——前向きですねぇ。

田村　そうだね。美濃輪選手はいい選手だからね。ある意味認めてるのかな。

——田村さん自身、これは面白い試合になるんじゃないかって予感みたいなものはあります？

田村　う〜ん……まぁ、試合は水ものだからね、やってみんとわからんね。格闘技はわからん！　高山 vs フライがいい試合になったぐらいだから。

——そ、それはいい試合にならないと

DEEP 1stでは、田村がアブダビで一本負けを喫したリボーリオとVTで引き分け、DEEP 3rdでは、田村の付き人・大久保から一本勝ちを奪うなど、DEEPマットでの美濃輪は、何気に田村との因縁がある。

美濃輪のセコンドにおそらくつくであろう鈴木みのる。かつて田村と鈴木は根深い因縁があったが、鈴木はこの試合でどんな反応を示すのか？

思ってたってことですか？

田村　そう！

――ダハハハ！　ズバリ言いますねぇ（笑）。

田村　だってそうでしょ？　いい選手同士がやったらいい試合になるのかっていったらまた違うから。それが難しいよね、格闘技は。

――美濃輪選手はパンクラスの選手ですけれども、それは頭にあったりしますか？

田村　ないない。パンクラスの象徴みたいな人とやるんなら、そういうことも考えるだろうけど。いま、パンクラスのイメージって誰？

――いまは尾崎社長ですかねぇ？

田村　じゃあ、俺と尾崎さんがやるようになったら、そういう意識は生まれてくると思うけど（笑）。

――田村vs尾崎ですか！

田村　そうなったら俺はもう前田さん背負ってやるから、これは面白い試合になるよ（笑）。

――ガハハハ！　それは究極のドリームマッチですね（笑）。

田村　でも、美濃輪選手に関しては、そういう意識はないから。ホント、楽しみたいね、試合を。

――でも、美濃輪選手のセコンドっていうのは、おそらく鈴木みのる選手が付くと思うんですけど、それについては何かありますか？

田村　鈴木さん？（突然）あぁ～失敗したなぁ……失敗した！

――なんですか（笑）。

田村　失敗したよ！　失敗した！

――なにが失敗したんですか！（笑）。

田村　あのさぁ、鈴木みのるvs上山って面白くない？

――アハハハ！　いいですねぇ！　それをお願いするのを忘れて「失敗した」と（笑）。

田村　うん（笑）。

――でも、田村さんが鈴木さんの弟子である美濃輪選手と闘うから、鈴木さんも田村さんの弟子の上山選手とやって下さいっていうのは、交換条件としては間違ってないですよね。

田村　ねぇ。上山は失礼な相手でもないだろうしね。

――DEEPのミドル級チャンピオンですからね。これはキャッチ・レスリングでもいいから実現して欲しいですね（笑）。

田村　いいねぇ。これで俺がまたゴネるかもしれないよ（笑）。

――「上山vs鈴木やらないと出ない」って（笑）。

田村　そう！　そしたらガンツのせいだから（笑）。

――なぜだ！　せっかく取材拒否が解けたのに、また「『紙プロ』が余計なこと煽った」って言われちゃいますよ（笑）。ところで、パンクラスでは他に気になる選手っていないんですか？

田村　気になる選手……いないことはないけど、別に俺の口から言う必要もないから。

――去年あたりなんかだと、近藤選手とか、鈴木選手とか、菊田選手とかとの対戦なんか取り沙汰されましたけど。今後、そういう興味とかは？

田村　今後は……美濃輪戦が終わってみんとね。まぁ、他にやることがたくさんあるから。視界に入ってないとかいいようがないね。だから、視界に入るような選手になってくれればいいし、視界に入るような発言をしてもらえると、それはそれで嬉しいけど。でもね、パンクラスさんは、団体で言えば今いい感じだよね。あの団体が理想といえば理想かな。

――これからのU-FILEの形として、理想とする団体ということですか。

田村　そうそう。ただ、俺にはいろんな構想があるから、プラスアルファの部分でパンクラスを追い抜きたいなっていう気持ちはあるから。

――おお！　打倒パンクラス計画を密かに進行中でしたか！

田村　そうね。まぁ、U-FILE団体としたら、パンクラスがやってることをいま真似してるから凄い楽だよ。

――ダハハハ！　ノウハウを盗めばいいわけですからね（笑）。

田村　そう、真似すりゃいいんだから。だから、一番苦しいのはパンクラスじゃないですかね？　今はパンクラスさんの足元くらいだけど、U-FILEは凄く可能性があるんですよ。1年後、2年後はわからんよ！

――いろんな計画があるんですか？

田村　うん。美濃輪戦後は……まぁ、年内にもう一試合できればいいかな。で、来年はまたちょっと違うことを仕掛けて行こうかな、と。ここ三年間ぐらいは、いま考えてる構想でいっぱいいっぱいなんで。まず第一歩として来年、また新しい流れができるようにと思っているところだから。具体的にはまだ言えないけどね。まぁ、その前に美濃輪戦を楽しみますよ。

――わかりました！　では、まずは美濃輪戦期待してます！

［02年7月15日／登戸「Uカラ」にて収録］

俺が美濃輪戦を受ける代わりに、鈴木みのるvs上山龍紀戦を要求したい。

野武士 中野巽耀

"真"男の中の男がドスJr.と対戦！UWF戦士の宿命を背負い、バーリ・トゥードに挑む！

ルチャの気骨と"U"のプライドが交錯する！　前号での本誌の報道通り野武士こと中野巽耀が、9・7DEEPであのドス・カラスＪｒ.と異色の対決をはたす！　圧敗に終わったヤーブロー戦以来、4年ぶりのバーリ・トゥードになる中野。UWF戦士として、そしてプロレスラーとして、再び立ち上がったその胸中を激白した！　ほとばしる汗と共に、中野の熱き言葉を飲み込め！

聞き手／堀江ガンツ
構成／ジャン斉藤
撮影／森鷹博
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

燃えるぅ～　燃えるぅ　燃えるぅ　俺の心がぁぁぁ～

血と汗にそまった白いマットにぃ～

俺の青春はぁ～戦いの道ぃ～

まばゆいライトに浮かんだリングを

墓場と決めて

泪橋を渡って来た俺さぁ～

この拳にかけた　あしたを俺は信じてぇ～

【中野巽耀入場テーマ・劇場版「あしたのジョー2」／ジョー山中「明日への叫び」より】

中野　……『紙プロ』で、俺のこと煽ってるんだってな。

――あ、ご存知でしたか（笑）。中野さんにとってはヤーブロー戦以来の4年振りのバーリトゥードで、しかも相手はドスJr.ですからね！　大注目ですよ（笑）。この大一番は、どういう経緯で決まったんですか？

中野　最初にあちらさん（DEEP）から、「今年の3月（30日／名古屋大会）にどうですか？」って話があったんだよ。

――本来は3月に参戦の予定だったんですね。

中野　でも、2月に俺の興行（2・24埼玉・越谷スタジオ）があっただろ？　そのためにいろいろ動いて心身ともにクタクタだったんだよ（笑）。

――タイミングが悪くて、流れてしまったわけですか。自主興行というと、中野さんも営業で回ったりしてたんですか？

中野　チケット捌かないといけないからな。興行やって、観客ガラガラだったらみっともないしな。

――自主興行ともなると、いろいろ責任が掛かってきますし大変ですよね。

中野　変な選手を出すわけにはいけないし、自分の試合もあるわけだからな。ホント、大変だったよ。

――1人何役もやるわけですからね。いまになって、前田さんや高田さんの気持ちとかがわかったりするとかします？（笑）。

中野　わかるよ！

――わかりましたか！（笑）。

中野　わかる（笑）。昔は先輩たちにはハラが立っていたときもあったけれど、あの人たちも大変だったんだなあって思うよな。試合と練習だけじゃないんだってな。

――団体の広告塔になって歩いていたわけですからね。

中野　でも、オレにはそういうの似合わねえだろう？

――中野さんはそれこそ野武士じゃないですけど、雇われて仕事をバッとやるアウトロータイプですからね。

中野　そうそう。自分で興行をやるタイプじゃないんだよな。だからホント、疲れたよ（苦笑）。

――お疲れさまでした（笑）。今回はドスJr.が相手ですけど、3月のオファーのときもそうだったんですか？

中野　いや、あのときはメキシコの誰かという話だったんだよね。もしかしたら、わけのわからない選手だったかもしれないな（苦笑）。

――もしかしたら、ソラールだったかもしれませんね（笑）。鈴木さんのように中野さんが急所を蹴られていたら、あんな乱闘じゃ済まなかったと思いますよ（笑）。

中野　ワッハッハッ！　いやぁ、ホント出なくて良かった（笑）。

――心の底から言ってますね（笑）。

中野　（腕組みをして考え込んで）ウ～ン、ハッキリ言って、ピンとこなかったよね。メキシコの選手はやっぱり飛んだり跳ねたりとかだからさ。でも、今回のドスJr.はアマレスのオリンピック出場候補だったし、ちゃんとした選手だと思ったからやっても構わないと思った。

――ドスJr.の試合はご覧になったんですか？

中野　ビデオで一応、目を通したけど。クスリを使わないナチュラルなカラダ

最近は変なレスラーが多いだろ？覆さなきゃいけないよな

で、しかもデカイよな。

――中野さんとカラダのサイズは違いますよね。

中野　（頷きながら）技術は荒削りなんだけどちゃんとしたモノを持ってる。バーリトゥードも3戦目だし、かなり研究してると思うよね。

――3月の謙吾戦も、一回目の謙吾戦より段違いに強かったですからね。で、以前のインタビューで中野さんは、「バーリ・トゥードには興味はあるけど、ヤーブローに負けてるから自分からは口にできない」と言ってましたよね。いつかはもう一度バーリ・トゥードをやって、ケジメを付けなきゃという気持ちはあったんですか？

中野　もちろん。要所要所でそういう闘いをやっておかないと、自分を甘やかすことになるしね。やらなくちゃいけないと思っていた。

――"UWF戦士"の中野さんのスタイルからすると、バーリ・トゥードは避けて通れない部分はありますよね。今回は、どんな試合をしたいと思ってるんですか？

中野　試合が面白いとか面白くないに関係なく、とにかく負けるわけにはいかない、負けたくない！　その一点！　つまらない試合になるかもしれないけどな。自分が良ければそれで良いと思ってる。プロレスラーはバカにされてる部分があるから。俺は他の変なプロレスラーと一緒じゃないってとこ見せないといけない。だから、とにかく勝たないと。

――プロレスラーとしてなめられちゃいけない気持ちが強いんですね。

中野　最近は変なレスラー多いだろ？　覆さなきゃいけないな。

――ヘタしたら、プロレスラーは"格闘技をやらない人"というイメージもありますからね。

中野　リング上で、踊り踊ってるやつらもいるからな！　アレでプロレスラーなんて、信じられないよな。

――最近のプロレスは多様化してるし、しょうがない部分もあるとは思うんですけどね。でも、以前に中野さんも所属していたUインターの選手たちがバーリ・トゥードで活躍してますよね。レフェリーの和田さんまでもがデビューしちゃったわけですけど。そういった後輩の影響はあったんですか？

中野　（即座に）関係ない！　まったく意識してない。俺は俺。彼らは彼らだから。特に和田は関係ないね。

――そうですか（笑）。最近の格闘技界はUインターを中心に動いていると言っても過言じゃないんで、てっきり刺激を受けたのかと思ったんですよ。

中野　高山が『PRIDE』でドン・フライと殴り合いやったとか、そういうのは視界に入るけどな。なかなかできないよな、あんな試合はさ。見てるほうはいいけど、やってるほうは大変だよ。

――でも、UWFのころの中野さんの試合は、あんな激しい試合ばっかりでしたよね。グローブじゃなくて掌抵ですけど、前田さんや高田さんら先輩に対して遠慮なくシバキ合いを挑んで（笑）。

中野　そうだったよなあ。俺も久々のバーリ・トゥードだし、あのころの一番気性が荒かったときの俺に戻るよ。

――是が非でも勝つために、"中野龍雄"（改名前の名前）に戻る、と。

中野　性格も含めてな。周りの人間にさ、「性格が悪い」とか「腹黒い」って言われてもいいから、全てに荒かった自分に戻す！

――荒々しい試合になりそうですね！　いまはどんな練習をしてるんですか？

中野　内容は言えないよ。体型では、ドスJr.が勝ってるわけだから。言ったら、余計に不利になってしまう。

――不利と言えば、ドスJr.はルチャの誇りに懸けてマスクを付けて闘いますけど、中野さんも同じハンディとしていつものレガースと黒タイツを履いて闘ったりしないんですか？

中野　それは無理！　レガースはジャマだから（笑）。

――ジャマですか（笑）。

中野　動きにくいし履いてらんないよ。それでなくても体格でハンディがあるんだからさ。

――やっぱりレガースとかは、動きづらいもんなんですね。

中野　レガースって見た目より動きづらいんだよ。時間が経つと、汗が染み込んできて重くなるんだ。細かい話になるけど、金も掛かるし（笑）。

――それほど今回は勝負に拘るわけですね。いつものテーマ曲で赤いタオルを首にぶら下げて、中野さんにノッシノッシと入場してほしかったんですよ（笑）。

中野　テーマ曲と赤いタオルは一緒だけどさ。

――あのテーマ曲には何か由来はあるんですか？

中野　Uインターで大怪我して復帰するときにたまたま劇場版「あしたのジョー2」を見てさ。こりゃいいなあと思ってたんだよ。

――イメージ的に、ジョーが復活するシーンが自分とダブったんですか。

中野　いや、歌詞はどうでもいいけど、音楽が良かったんだよな。

――たしかに良い曲ですけど、歌詞が中野さんのイメージにピッタリなんですよね。

中野　……お世辞で言ってんじゃねえのか？

――い、いや、ホントにカッコイイですよ！　あの当時、歌詞付きのテーマ曲のレスラーっていなかったじゃないですか。当日もあのテーマ曲が聞けるを楽しみにしてますし。

中野　ホントかよ？　まあ、何でもいいけどさ、最後に一言だけ言わせてくれ！

――はい、よろしくお願いします！

中野　俺はファンに媚びるつもりはないし、それ以上にマスコミなんかにも媚びるつもりはない。だから、俺を応援してくれる人には応援してほしいし、応援したくねえやつは応援しなくて結構！　以上だ！

――わかりました！　肝に銘じておきます！

中野　……『紙のプロレス』だから、もっと面白くしたほうが良かったかな？

――いや、十分です（笑）。あ、そういえば、ドスJr.戦の話とは全く関係ないですけど、中野さんの自主興行のタイトルは「DYNAMITE」でしたよね。今度、8月28日に国立競技場で行われる『PRIDE』vsK―1の対抗戦のタイトルも「Dynamite!」なんですよ（笑）。

中野　ホントに!?　じゃあ、今度から俺は使えねえのか？

――いや、表記も違うし、あっちは「!」が付くんで大丈夫だと思いますけど、勘違いするファンは確実にいますね（笑）。

中野　どうしようかな（ポツリと）。

――本家はこっちだと、アピールでもしときますか（笑）。

中野　そうだな。これから使えないと困るしな。

――本家「DYNAMITE」は、野武士・中野だ！……ということで、ドスJr.戦でもダイナマイトの如く、爆発することを期待してます！

●

9月7日の中野の入場時には、71ページに記されている中野のテーマ曲をDEEPファンには合唱してもらいたいものだが、映画版「あしたのジョー」のテーマもゼヒとも心で口ずさんでほしい！

〜男なら闘うときが来る
誇りを守るためにいのちを賭けて〜

いまの中野には、この曲も痺れるほどにハマるのではないだろうか？

もはやUWF戦士の宿命ともいえる、避けては通れないバーリ・トゥードというイバラの道。4年ぶりに、中野が挑まなければならないときが来たのである。自分が思い描く〝プロレスラー像〟を守るためにだ。

しかしその信念は、ルチャの誇りを懸けて闘うドス・カラスJr.にも通じることなのだ。

〝U〟とルチャ。この一戦は信じるものは違えど、熱き魂を持った漢同士のぶつかり合いだ。試合の勝ち負けよりも観てもらいたいのは、信じれるモノを持った両者のその姿なのだ。

それでは皆さん、歌でも口ずさみながら、9月7日を待ちますかーッ!?　コブシを込めて、ご一緒に！

♪燃えるぅ〜　燃えるぅ　燃えるぅ
俺の心があぁぁ〜　血と汗にそまったマットにぃ〜・・・。

【02年7月8日／狛江「牛角」にてインタビュー収録。撮影協力／シュートボクシング協会「シーザージム」】

【なかの・たつあき】昭和40年6月16日 茨城県出身。昨年、中野龍雄から現在の名前に改名。旧UWFの第1回新人公募に合格し入門。旧UWF崩壊後は新日本に参戦し、前座戦線を大いに沸かせた。新生UWFでは荒い性格をそのままリングに叩きつける激しいファイトを展開。Uインターでも、ベイダーを迎え撃つなど巨大なバケモノに悠然と立ち向かっていくその姿勢で、"闘いのロマン"を体現した。バーリ・トゥードにおいても、シュートボクシングのリングで絶望的な体重差のあるヤーブロー相手に真っ向から勝負した。敗れたものの、バーリ・トゥード2戦目となるドスJr.戦で勝利をモギ取り、プロレスラーとしてのケジメをつける。

佐伯代表がまたやってくれた！ ルチャ、U戦士、元リングス勢、パンクラス、修斗も参戦！

佐伯代表による佐伯代表のための大会

※正式名称ではありません。

9・7DEEP「SAEKI-BOM-BA-YE」

ディープなカードでファンの心をワシ掴みにしてきたDEEP佐伯代表が、大勝負に出た！

常に佐伯代表自身が観たいカードがマッチメイクされ、毎回が「佐伯祭り」の様相を呈していたDEEPは、今回は有明コロシアムという大会場で開催。その大舞台に相応しいカードを揃えてくるのは確実なだけに、「佐伯〝大〟祭り」となるのは間違いない！

正式に発表されているカードは、『PRIDE』でも実現困難と言われる田村vs美濃輪と、Uとルチャの遭遇となる中野vsドスJr.。そして、髙阪剛も参戦する。髙阪の相手にはブラジル系ファイターが有力とされているが、いずれにせよ世界のTKが、ペドロ・ヒーゾ戦以来となる日本でのバーリ・トゥードには大注目だ。

正式には発表はされてないが、和田さんの仇を討つべく滑川康仁のMAX宮沢戦が噂され、そして今大会の〝隠し玉〟として修斗上位ランカーの参戦も内定したというから東西奔走した佐伯社長には「社長、ご苦労様です！」と絶叫せずにはいられない。

DEEPは発足当初から〝DEEPにしかできない〟と言われる異色のカードを連発してきたが、様々な団体や異なるスタイルを持つ選手が一堂に会す今回も、これまた〝DEEPにしかできない〟ビックマッチ。

東京ドーム、国立競技場と続く格闘技大戦の最後は、佐伯代表が締めることになった！

DEEP 2001 6th IMPACT in ARIAKE COLOSSEUM

【日時】　9月7日(土) 17：30〜
【決定カード】
美濃輪育久
ドス・カラスJr .vs 中野巽耀
【会場】有明コロシアム
【チケット】
VIP ￥30,000　SRS ￥20,000　RS ￥10,000
スタンドS ￥10,000　スタンドA ￥8,000　スタンドB ￥6,000
※当日は全席種500円増し
【お問い合わせ】
DEEP2001事務局　TEL. 052-339-0303

どんな毒にもそれに対抗する
毒があるものだ。
それがノゲイラにとっての
ヒョードルなんだよ。

（パコージン代表）

"R"の逆襲が遂に始まった!

INTERVIEW

RUSSIAN TOP TEAM

ヒョードル衝撃の『PRIDE』デビュー!
パンクラス王者シュルトを完封!

旧リングス・ネットワーク最強集団「リングス・ロシア」が、「ロシアン・トップチーム」と名前を改め、遂に『PRIDE』に参戦！ 6・23『PRIDE.21』では、その第一弾として、"ハンの秘蔵っ子"ラバザノフ、そして"リングス二冠王"ヒョードルが出撃。「リングス」と「ロシア」"R"の逆襲がいま始まった！

聞き手／堀江ガンツ
撮影／松本崇　試合写真／吉澤晃
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

——まずは、ヒョードル選手、みごとな『PRIDE』デビューおめでとうございます！ ボクも日本デビュー当初からヒョードル選手を追っている人間として、昨日は自分のことのように嬉しかったですよ！

ヒョードル ありがとう（微笑）。『PRIDE』のような大舞台で、みなさんの期待の大きさをヒシヒシを感じていたので、とにかくいまは勝ててホッとしています。私の顔（の傷）をみてもわかるとうり、相手も非常に強い選手でしたからね。

——ラバザノフ選手も結果は判定負けでしたけど、グッドリッジ相手に互角以上に渡り合っていたので、評価は上がりましたよ。

ラバザノフ そう言っていただけると嬉しいですね。今回は1ヶ月という非常に短い準備期間しかなかったのですが、とにかく最善を尽くして自分の力を出し切ろうと考えていたので、悔いはありません。ロシアに帰ったら、いままで以上に『PRIDE』用の練習を積んで、次回は日本のファンに喜んでもらえるような試合をして勝ちたいと思います。

——では、まずはこれまでリングスで活躍されていた皆さんが、今回初めて『PRIDE』に参加してみた感想を聞かせていただきたいんですけど。ボスであるパコージンさんは、どう感じましたか？

パコージン 非常にレベルの高い選手が集まった、試合内容的にもレベルの高い、そしてイベントとして大変確立された大会だと感心したよ。そういった意味で、今回、初めて『PRIDE』の会場に来てみて、なぜ『PRIDE』がこれほどまでに注目されているのか

終始不利な体勢を強いられたシュルトだが、下からでもそのパンチの威力は強大。ヒョードルの顔が血に染まった。

シュルトの上で自由自在に動き回ったヒョードルは、隙を見て一気に腕十字へ。しかし、これはシュルトがなんとか凌いだ。

エメリヤーエンコ・ヒョードル vs セーム・シュルト

試合後、マイクを握り「ノゲイラと闘わせて下さい」とアピールしたヒョードル。実現すればこれこそが最強決定戦だ。

アントンとヒョードルという、半年前では考えられなかった2ショットも実現。実に日明兄さんが激怒しそうなカットだ。

とにかく面白いようにシュルトの巨体をテイクダウンしたヒョードル。なんとフロント・スープレックスで投げる場面も。

○エメリヤーエンコ・ヒョードル
（3R　判定　3-0）
●セーム・シュルト

ノゲイラの技術は素晴らしい。闘える日が来るのが楽しみです（ヒョードル）

がよくわかった。ただ、ひとつだけ私が個人的に「これはどうかな」と疑問に感じたのが、グラウンド状態で寝ている相手への顔面へのヒザ攻撃がOKだというルールだ。これはスポーツとしてやっていいものなのか、そういう思いはいまだに持っているよ。しかし、基本的にレベルの高い、素晴らしい大会だという感想を、私だけでなく我々のチーム全員が持っているし、それだけに、この大会に備えて特別にこれからも練習を積んでいく必要があるだろうな。

――コピィロフ選手は『PRIDE』についてどんな感想をもちましたか？

コピィロフ　…………。

パコージン　アンドレィ、起きてるか!?（笑）。

コピィロフ　あ、すまんすまん。午前中は頭が動き出すまで時間がかかるんだ（笑）。

――そうですか（笑）。

コピィロフ　正直な感想として、私も大会自体が大変気に入ったよ。今年の2月に我々がもっとも愛したリングスがなくなってしまい、私自身非常に大きなショックを受けていたが、今回、初めて『PRIDE』の会場に来てみて、リングスに勝るとも劣らないぐらいの大会であることがよくわかった。それから今回私が自分の目で『PRIDE』の試合を見てみて、PRIDEルールというのは我々にとって大変有利だと思ったよ。

――ロシアにとって有利ですか。それはどういった部分で感じました？

コピィロフ　リングスのルールでは、グラウンド状態が長引いた場合、ブレイクがかかりスタンド状態にもどされるが、『PRIDE』には、グラウンドの時間制限がないということで、思う存分寝技ができる。だからこそ、エメリヤーエンコは今回、完勝することができたが、これがリングスルールだったら、シュルトはさらに危険な相手だっただろうな。

――あ～、なるほど。

コピィロフ　だから、ルール面も含めて、非常に気に入ったよ。ただ、ルールの過激さが原因なのか、期待していたより女性の数が少なかったのが残念だがね（笑）。

――ガハハハ、何を期待してたんですか（笑）。実際に試合をしたヒョードル選手とアフメッド選手はいかがでしたか？

ヒョードル　私も大会自体、大変気に入りました。試合のレベルの高さはもちろんですけど、大会を運営されている主催者側のプロフェッショナルな仕事ぶりに驚きましたね。

ラバザノフ　ボクはまず会場の大きさに驚かされたね（笑）。自分自身、こんな2万5千人近く入る大会場で初めて試合をしたので、その大きさに圧倒されまったし、大きさだけでなく、私が試合をしている最中も、四方に大きなビジョンがあって、試合しながらでも自分の顔が目に飛び込んでくるような感じで、不思議な感じだったよ（笑）。

――どれもリングスの会場にはないものですからね（笑）。

ラバザノフ　リングスの会場の雰囲気ももちろん大好きだけど、ボクは『PRIDE』の入場の仕方が凄く気に入ったんだ。格闘技をひとつのショーととらえ、選手のプロとしての気持ちを高めてくれる。「リングで絶対にいい試合を見せよう」と思わせるような、考え尽くされた演出には、リングに向かって歩いているだけで感動してしまったくらいだ（笑）。それから観客の皆さんが格闘技というものを大変よくわかっていて、ひとつひとつ細かい技や細かい動きに拍手を送ってくれて、そんなファンが2万人も集まっていたことにはホントに驚いたね。

――でも、今回の『PRIDE』はワ

意外にもグッドリッジ相手にスタンドで互角以上の攻防を展開したラバザノフ。これって何気に凄いことだ。

スタンドとは逆に、グラウンドではグッドリッジが予想以上の上達ぶりで、ラバザノフの攻めを許さなかった。

ラバザノフ・アフメッド vs ゲーリー・グッドリッジ

『ヴォルク・ハンのテーマ』に乗って登場したラバザノフ。セコンドはコピィロフとパコージンがついた。

自らの代名詞であるアキレス腱固めで勝負を掛けるも、体勢を入れ替えられてしまった。

結果はフルラウンド闘って判定負け。しかし、ゲーリーは「自分は負けていたかも」と発言するなど、その実力を認めていた。

○ゲーリー・グッドリッジ
（3R　判定　2-0）
●ラバザノフ・アフメッド

ールド・カップ期間中ということもあって、いつもより観客が少ないくらいだったんですよ（笑）。

パコージン　（突然）またワールド・カップが原因か！　ワールド・カップのおかげで私は気分を害されっぱなしだよ！

──え!?　ど、どうしたんですか？

パコージン　ワールド・カップでロシア代表が負けたことで、ロシアでは暴動が起きたりとか、いろいろ問題が噴出しているんだ。それから今回、ヴォルク・ハンが来日できなかったのもワールド・カップの影響だからな。

──ハン選手はワールド・カップのお陰で日本に来られなかったんですか!?

パコージン　そう。今回は我々だけでなくハンの航空券も押さえてあり、ハン自身もこの大会に訪れたいという大きな希望を持っていたんだ。しかし、ハンは基本的に普段はビジネスマンとして活動しているのだが、いま日本の商社との大きなビジネスがあって、その契約を6月12日にロシアで結ぶハズだったのが、またしてもサッカーのせいで飛行機のチケットが取れず、日本の商社マンがロシアに来るのが20日に延びてしまったので、残念ながら今回は来れなかったんだよ。

──は～、そんなところにもワールド・カップの影響が出ていましたか（笑）。

パコージン　ホントにロシア代表がワールド・カップで負けて以来ロクなことがないよ！　早く終わってほしいね。

──理由はともかく同感です（笑）。そういえば、ヒョードル選手はロシア国歌での入場でしたが、「ロシア代表」としてのプレッシャーになりませんでしたか？

ヒョードル　国の代表だという意識はもちろんありました。でも、それはプレッシャーにはならずに、逆に勝負に集中できて、いい結果をもたらしたと思います。

ラバザノフ　ボクも師匠ハンのテーマでの入場だったから、凄くプレッシャーはかかったけど、「ハンのテーマで下手な闘いはできない」という思いがいい方に作用したと思う、ある種ドーピングみたいなモノだよ（笑）。ましてやヒョードルは国歌だから、その効果がより多く出たんじゃないかな。

パコージン　ロシア人にとって、国旗や国歌に対する気持ちというものは、アメリカや他の国と比べてまたちょっと違った感じがあるんだ。アメリカ人は、非常に愛国心というものを表に出すが、ロシア人の場合は表面に出すことはそれ程ないが、国家に対する責任感は人一倍感じ、自分の肩にロシア国民の期待がかかっているということを心の中で強く感じているんだ。だから我々は今回も国家を代表して『PRIDE』に来たつもりだよ。

──リングスのファンもたくさん応援に来ていたと思いますけど、国の代表であると同時に「リングスを代表して闘う」という意識もありましたか？

ヒョードル　もちろん今回、リングスからのファンが多数駆けつけてくれたことは感じました。みなさん凄く応援してくれて、感謝の気持ちで一杯です。彼らのためにも負けられないと思っていました。

パコージン　リングスでは第1世代として、コピィロフ、ハン、ズーエフ、ミーシャらが活躍して、その次の若い世代としてヒョードル、ラバザノフ、アターエフがいて、本当に多くのロシア人ファイターがリングスで活躍させてもらって、私たちにとってリングスというのは、故郷みたいなものだ。そんなリングスが残念ながらなくなってしまったときに、私たちからリングスファンに「リングスがなくなっても、我々のことを見捨てないで欲しい」というメッセージを送らせてもらった。そして今回、その言葉の通り、リングスファンの方々が私たちを見捨てずに今回も応援し続けてくれたということに、チーム一同大変感謝、そして感動しているんだよ。

──そんな中でパンクラス王者のセーム・シュルトに完勝できたわけですけど、試合内容についての満足度はいかがですか？

ヒョードル　勝つには勝ちましたが、内容は決して100％満足できるものではありませんでしたね。自分が思っていたような試合ができませんでした。テイクダウンは思った通りできたのですが、関節を極めるにいたらなかったことが反省点です。

パコージン　今回のヒョードルの闘いぶりが、本当の意味でファンを満足させるにいたらなかったのは、我々自身わかっていることなんだ。しかし、今回は試合序盤に目尻をカットしてしまったということで、もう一度パンチを同じ所に浴びたら、ドクターストップがかかってしまう。それを回避するためには、非常に慎重に闘わなければならず、こういう内容になってしまった。本来ならヒョードルはスタンドも優れた選手なのだが、今回ばかりはどうしても勝たねばならなかった。そこは『PRIDE』のファンにも理解してほしい。

──コピィロフ選手はお二人の試合を見てどんな感想を持ちましたか？

コピィロフ　今回の試合でヒョードルもアフメッドも非常に緊張していたと感じたよ。なぜ緊張していたかと言えば、二人の肩に大きな責任がかかって

ハンが『PRIDE』や全日本プロレスに参戦する可能性は大いにあるよ（バコージン）

いたからだ。リングスから来た選手ということで、リングス自体の評価が問われるということがあったし、それプラス自分自身のためにいい試合をみせなければという、ふたつの責任があったと思う。そんな中で、ヒョードルに関しては、素晴らしい試合を見せてくれたと思う。アフメッドは今回残念ながら、いい結果が出せなかったが、その原因として『PRIDE』ルールについて、我々は細かいニュアンスまでわかっていなかったことが大きいと思う。

―それはどんな部分ですか？

コピィロフ　例えば寝技に持ち込み、相手がガードポジションを取った場合、下の者に対してレフェリーが積極性を求めるか、ブレイクを命じるものと思っていたが、そうではなかったということをわかっていなかった。そういう細かい部分がわからなかったことで、彼自身、失敗してしまったことがあるのだけれど、彼は自分の失敗がよくわかっているし、次回は絶対にいい試合が見せられると思うよ。

―確かにヒョードル選手もアフメッド選手もガード・ポジションに苦労していた印象がありますけど、やはりあそこから抜け出すのは困難でしたか？

ヒョードル　困難ではありませんでしたが、私も上のポジションにいる側に積極性が求められるとは知らなかったので、安易にガード・ポジションを許してしまったのは失敗でした。しかし、後半はその反省を踏まえて、常にサイド・ポジションやマウント・ポジションをキープしたつもりです。もちろんシュルト選手の守りの堅さには苦労させられましたけど。

コピィロフ　とにかく二人の試合については、私自身大変満足している。アフメッドも結果は残念だったが、試合内容自体は対等だったと思うしね。そしてこの試合において、ヒョードルもアフメッドも多大なる知識と経験を得たのではないかと思うので、ゼヒ次に期待してほしい。

―ヒョードル、ラバザノフ両選手以外の試合で、今回、特に印象に残った選手はいますか？　これは皆さんにお聞きしたいんですけど。

バコージン　私はスギウラと（ダニエル・）グレイシーの試合が大変気に入ったね。あの試合はテクニック、パワー、スピリットすべてが揃って、しかも両者共に勝ちに行く姿勢がよく現れていた素晴らしい試合だった。こんなにいい試合は私も長い間見ていなかったよ。とにかく私自身、スギウラ選手の勝とうという執着心に非常に驚かされたし、その闘いぶりに感動したよ。

ヒョードル　残念ながら、自分の試合の準備があったので、ひとりで精神統一をしたり身体を動かしたりしていたので、見ることはできなかったのですが、観客の歓声などで、いい試合が行われているのだな、とは思っていました。ロシアに帰ってからゆっくりビデオで見てみたいと思います。

コピィロフ　私は今回セコンドだったので、全試合じっくり見せてもらったよ。非常に素晴らしい試合がたくさんあったと思うが、いま思い出そうとすると、あの素晴らしいコスチュームを着たラウンドガールの姿しか頭に浮かんで来ないんだ（笑）。

―アハハハ！　一番印象に残ったのがラウンドガール（笑）。

コピィロフ　ラウンド毎にあのような姿で現れるんだから、試合どころじゃないだろう。あれを見て私は『PRIDE』が大好きになったよ（笑）。

―では、ゼヒ出場したですか（笑）。

コピィロフ　もちろん！　試合に集中するのが大変そうだがね（笑）。

―『PRIDE』には「寝技世界一」と呼ばれる選手が何人かいるのですが、それについてはどう思いますか？

コピィロフ　誰が「寝技世界一」なんて呼ばれてるんだ？

―ホドリゴ・ノゲイラやアブダビで優勝した菊田早苗選手ですけど。

コピィロフ　ノゲイラとはリングス時代に一度対戦し、彼の判定勝ちになってしまったが、ゼヒ再戦してみたいとは常々思っていたよ。あの時の自分はノゲイラに対してツメが甘かったと思う。今度は最後までキッチリ極めてみたいね。ただ、彼に限らず昨日の試合を見ても、『PRIDE』には大変レベルの高い選手が集まっているので、それぞれの選手に対して特別な対策を立てて闘わないといけないのではないか、と思う。甘くは見てないよ。（『紙プロ』菊田インタビューページを見ながら）キクタというのは初めて聞く名前だが、この選手ですか？

―はい。そうですね。

コピィロフ　体重は？　それからどんな格闘技をやっていた選手ですか？

エメリヤーエンコ・ヒョードル
1976年9月28日、ウクライナ共和国出身。柔道とサンボでロシア選手権を制すなど、輝かしい実績を引っさげ「ヴォルク・ハン格闘術」に入門。リングスデビューと同時に快進撃を続け、リングス2冠王となる。182cm、105kg。

ウラジミール・バコージン
リングス・ロシア代表を長く務めた、ロシアン・トップチームの総監督。本国ロシアではスポーツ省格闘技委員会副委員長を務めるエリート官僚。V・ハンらが全幅の信頼を置くロシアのボスである。

ノゲイラとはゼヒ再戦したい。“寝技世界一”を名乗る男の名前は覚えておくよ（コピィロフ）

――93キロぐらいの、柔道と柔術の選手ですね。

コピィロフ　なるほど。名前を覚えておくよ。私を極める自信があるのなら、ゼヒ闘ってみたいね。

――今回、「ロシアン・トップチーム」と名前が変わりましたけど、どうしてこの名前に決定したのですか？

パコージン　基本的に私たちはロシア語で自分たちのチームを「ロシア代表チーム」や「ロシア選抜チーム」と呼んでいるが、『ＰＲＩＤＥ』がそれを「ロシアン・トップチーム」という英語に訳したのでしょう。『ＰＲＩＤＥ』に出場している選手たちは、自分たちの練習チームにいろいろ特別な名前をつけているようですが、我々にとって最も大事なことは試合に勝つか勝たないか、ファンを満足される闘いができるかどうかだけで、名前に拘っているわけではないんだ。だから、リングスが存在していたときは、我々はロシアにあるリングスだから「リングス・ロシア」。それがいまはリングスが存在していないから、リングスが取れて、「ロシア選抜チーム」となっただけなのです。

――そのロシアン・トップチームから、これからも強い選手がどんどん『ＰＲＩＤＥ』に参戦してくるんでしょうか？

パコージン　もちろん可能性として、イリューヒン・ミーシャ、コーチキン・ユーリー、ヴォルク・アターエフらの名前が挙げられると思う。しかし、『ＰＲＩＤＥ』の試合というのは、とてもシビアな闘いだ。『ＰＲＩＤＥ』のための特別なトレーニングが必要になる。ただ、出たいから出るということは言えないので、参戦希望のある選手に十分なトレーニングをさせて出場させるつもりだ。

――『ＰＲＩＤＥ』以外では、ヴォルク・ハン選手に全日本プロレス出場の噂があるんですけど、それはあり得るんでしょうか？

パコージン　これはハンだけでなく、コピィロフにも言えることだが、二人とも旧ソ連時代から闘い続けてきた、本当に闘うことが大好きな人間なんだ。それと同時に「観客にいい試合を見せる」ということに大きな情熱を持っている男なので、どんな試合にでも挑戦したいという気持ちを持っていると思う。だから、全日本プロレスという可能性もあるし、もちろん『ＰＲＩＤＥ』という可能性も大いにあるだろう。

――ありますか！

パコージン　ただ、他の国の人々と違ってロシアの選手は格闘技だけに集中するわけにはいかないのが現状なんだ。家族を養うために、ハンもコピィロフもさまざまなビジネスをしている。ですから、もちろん具体的な日程が決まっている試合であれば、ビジネスを犠牲にしてトレーニングに集中しているんだが、こういう事情があるため、常に闘いだけに集中するわけにいかないんだよ。しかし、本当に闘うことが好きで、ファンの皆さんに喜んでもらえる試合がしたい、そういうことを寝ても覚めても考えている人物だということを覚えておいてほしい。

――わかりました。では、ハン選手とコピィロフ選手の近い将来行われるであろう試合を楽しみにしてます！　あともうひとつの楽しみとして、ヒョードルvsノゲイラの頂上対決がありますけど、遂に昨日リング上でアピールしましたね。

ヒョードル　昨日の試合後、アピールさせてもらった通り、もちろんノゲイラ選手と対戦したいという気持ちは大いにあります。ノゲイラ選手の技術は本当に素晴らしいと思っていますので、私と闘えば本当にいい試合になるのではないでしょうか。私自身、対戦する日が来るのが楽しみですね。

――ズバリ、勝つ自信はありますか？

パコージン　（突然大声で）我々がノゲイラに勝てないことはない！　どんな強者でもいつかは敗戦の日が必ず来るんだ。それは、あのアレキサンダー・カレリンでさえも例外ではなかった。ノゲイラだって人間だ。ヒョードルが勝てないことは絶対にない！　どんな毒にもそれに対抗する毒があるものだ。それがノゲイラにとってのヒョードルなんだよ。そうだよな、ヒョードル？

ヒョードル　は、はい。頑張ります（微笑）。

――何か強引に言わされてる気もしますが（笑）、今日はどうもありがとうございました！

パコージン　ドーモ・アリガトー！

［02年6月24日／都内・某ホテルにて収録］

ラバザノフ・アフメッド
78年タゲスタン共和国出身。ロシア版アルティメット、ロシア白兵戦大会で優勝の経験を持つ、ヴォルク・ハンの秘蔵ッ子。ヴァレンタイン・オーフレイムを3分で破ったアキレスは強烈。190cm、94kg。

アンドレイ・コピィロフ
65年ロシア・エカテリンブルグ出身。元サンボ全ソ連王者が肩書きを持ち、その極めの強さはリングス時代にノゲイラと互角以上の攻防を展開するなど。すぐ切れるスタミナは気になるが一度は『ＰＲＩＤＥ』に上がる姿が見たい。

7.7横浜 “一夜限り”のリングス復活

7.7 シュートボクシング『S-cup』横浜文化体育館

もう我々はリングスに癒されながら時代の砂漠をさまよってはいられない!

文／堀江ガンツ
試合写真／吉澤晃
design by ZERO graphics

今年2月15日、横浜文化体育館でその11年の歴史に一旦終止符を打ったリングスが、7月7日、七夕、シュート・ボクシングのリングで一夜限りの復活を遂げた。

『キャプチュード』に乗って現れた前田日明は、リングス復活に合わせたかのように、CEO時代のトレードマーク、「高貴なヒゲ」を再び蓄えている。

「ただいまよりッ！　リングス・スペシャルマッチを行います！」いつもながら力みすぎなコールは、もちろん古田リングアナウンサー。聞き慣れたリングス・オープニングのテーマが流れ、レフェリーは平直行と和田良覚だ。

最終興行から、まだ半年も経っていないのに、何もかもが懐かしい。と同時に、リングスは過去の物であることを改めて実感させられた。ここで一夜限りの夢の続きを見せてくれたのは、リングス末期において、ヒョードル共に「明るい未来」を感じさせてくれたヴォルク・アターエフ。

いまやハン、コピィロフすら名乗らなくなった「リングス・ロシア」として登場したこの男は、得意の打撃ではなく、ハン直伝の絞め技で一本勝ち。この確実に成長したアターエフの闘いぶりこそが、夢の続きだった。

試合後、『PRIDE』、K-1への興味を口にしたアターエフ。この発言に対して「お前もか」と感じるリングス・ファンも少なくないだろう。しかし、2月15日に幕を閉じ、前田総帥が口にする「第2部」は、「第1部」とは全く違った形態になると予想される今、我々が愛した“リングス”は、すでにこの世には存在しないのだ。

いまや、アターエフ、ヒョードル、金原、高阪、滑川、横井、その他、多くの元リングス戦士が、様々な舞台で活躍することこそが、本当の意味で「リングスの未来」なのである。

かつてのリングス戦士たちは、もうすでに未来に向けて歩き始めている。ならば、我々も「リングス」を求めてさまよってはいられない。リングスの欠片を携えて、いまこそ旅に出よ！

“最後のリングス・ロシア”ヴォルク・アターエフ圧勝!

そして試合後、『PRIDE』、『K-1』への参戦意志を表明!

古田リングアナウンサーがコールを努め、レフェリーは和田“最強”良覚と平直行。まさにリングスそのままの雰囲気に包まれた。

前田の元へ挨拶に来たアターエフ。これが最後の“リングス・ロシア”となるのか？

高貴なヒゲまで一夜復活していた前田は、改めて「リングス第2章」実現を宣言。正式発表が待たれる。

相変わらず強烈な打撃を繰り出すアターエフ。最後は「寝技で勝負しろ」というハンの指示通り、ネックロックで極めてみせた。

7.7 S-cup TOPICS

オーストラリアのナーコウ・スパイン相手に、KOKルールへのリベンジに挑んだSBの緒方健一。立ち技、寝技とも真っ向勝負の末、3Rフルに闘い判定でドローとなった。

「S-CUP」トーナメントに参加した日本人2人はどちらも決勝進出ならず。K-1中量級で魔裟斗と激闘を展開した後藤は1回戦でD・ドーソンにダウンを奪われ判定負け。SBのエース、“キラーロー”土井は優勝したサワーに準決勝でKO負けを喫した。

今大会を最も盛り上げたのは、準優勝のジョン・イーゴ。異常に伸びるサイドキックとタックルからの投げを武器にあれよあれよという間に決勝進出。散打幻想遂に爆発だ！

優勝はK-1中量級王者、アルバート・クラウスの兄弟子でもあるアンディ・サワー。強烈この上ないボディーアッパーを武器にKOの山を築き、見事栄冠に輝いた。

全身プロレスラー 高山善廣

6・23『PRIDE.21』でドン・フライと歴史に残るドツキ合いを展開！

今こそ、高山のプロレス観を聞きたい！

ノア、新日本、そして『PRIDE』。プロレスと格闘技の境界線をその長い足でリングインよろしく、ひとまたぎする男・高山善廣。どこのリングに上がっても、これぞプロレスラーと賞賛される闘いぶりを見せるその姿は、まさに全身プロレスラーだ。そんな高山のプロレスラーとしての凄みが爆発したドン・フライ戦から1週間後、改めてそのプロレス観を話してもらった

聞き手／堀江ガンツ
撮影／菊池茂夫
designed by hisa(Two Three)

――ケガの具合はいかがですか……というか、見た目はスッカリ治ってますね（笑）。

高山　トカゲ並の回復力でだいぶ良くなりました（笑）。

――まだ試合から1週間しか経ってないのに、ハンパじゃない蘇生力ですね。

高山　ホントはもっとボコボコな顔を期待してたんじゃないですか？　撮影する前に治っちゃって残念でしょう（笑）。

――いえいえ（笑）。それにしてもドン・フライ戦はもの凄いインパクトでした。周囲の反響も凄いんじゃないですか？

高山　そうですねぇ。土曜日の昼間に『PRIDE』の地上波放送があったじゃないですか。その放送が終わったくらいの夕方出歩いていたら、絶対プロレス見そうもない女の子が、すれ違ったあとに走って戻ってきて、「プロレスやってる方ですよね？　テレビ見ました。頑張って下さい」なんて言ってきたんですよ。「これ絶対、さっきの放送見たんだろうな」と思いましたよね。

――格闘技を普段見ない人にも衝撃を与えましたか。やはり地上波の影響力は大きいですね。

高山　大きいでしょう。スギ（杉浦貴）なんかも『PRIDE』出場が決まったはいいけど、テレビ局同士のかね合いもあって地上波で放送されるか微妙だったんですよ。それで『PRIDE』出ても地上波に映らなかったら、キャバクラでモテねぇぞ」なんてからかってたんですけど（笑）、結局出られるようになって、「嬉しいっスね」なんて言ってましたけどね（笑）。

――高山さんはもともと今回は、その杉浦選手の練習相手として一緒に『PRIDE』の練習はしていたみたいですけど、それを差し引いても1週間前のオファーを受けたというのは、なぜだったんですか？

高山　……なんでだろう？（笑）。

――自分でもわからない（笑）。

高山　まぁ、相手がドン・フライだっていうのが、やっぱり大きいんですよね。相手が誰でも受けるかっていうと、それは絶対違うんですよ。やっぱりドン・フライっていう、やってみたかった人にたまたま当ててもらうチャンスだったから、というのは大きいですね。

“プロレスラーだから!! 急なオファーを受けたという部分は全然ない

――そのやってみたい何人かの中のひとりがドン・フライだったと。

高山　何人かって言うより、何人もいないんですよ。もうシュルトとやった後は、次の焦点っていうのはぼやけていて。それがケン・シャムロックとドンの試合（2・24『PRIDE・19』）を見て、「あ、俺が闘う相手はドン・フライだ」って、人には言いませんでしたけど思ってたんですよ。

――じゃあ、「今年の後半ぐらいに、体調整えてフライとやれたらいいな」とか思ってたら、突然叶ってしまったと（笑）。

高山　ワハハハ！　そうなんですよ。コールマンとフライの試合は純粋に楽しみで、「ここでドンが勝ってくれたら、ボクも体調万全にして、ドリーム・ステージに『やらせてくれ』って頼もうかな」とか考えてたんですよ。そしたら準備する間もないまま向こうから頼んで来ちゃって（笑）。

――嬉しいような困るような（笑）。

高山　でも、もしここで蹴ったら今後ドン・フライとできそうもないじゃないですか。やっぱりボクは『PRIDE』で勝ち星ないですし、結果だけ見れば二連敗だから、普通に考えたらフライに挑戦できないでしょ？　だから「やって」って言われた時に喰いついていかないと、チャンスを逃すような気がしたんですよ。

――なるほど。でも負けるリスクって考えなかったんですか？　『PRIDE』なんていう舞台だと、ホント一敗というのがすごい重くのしかかるじゃないですか。

高山　そう言われるとそうですね。忘れてた（笑）。でも、ボクの中では（フライとは）相性はいい方だと思ってたんですよ。

――グレコの動きは自分にとって好都合だと言ってましたよね。

高山　そうそう。まぁ、グレコの選手が相性いいって言うんじゃなくて、順序だてるとフリースタイルよりはグレコがいいっていうだけで、ホントはグレコもやってなかった方がもっといいんだけど（笑）。

――ガハハハ！　フリースタイル・レスリングは最悪だけれど、それよりはまだグレコローマンの方がいいだろうと（笑）。

高山　もっと言えば、打撃しかできなくて、しかも自分よりリーチが短い相手が一番いいんですけどね（笑）。でも、今回も金原さんと宮戸さんにセコンドお願いしたんですけど、二人とも「これはいけるかもしれないよ」って、ボクと同じ考えだったんですよ。しかもビッグネームですからね。

――これはチャンスだと。

高山　そう。ピンチであると同時にビッグ

全身プロレスラー高山善廣

チャンスでもあると。でも、観てる方はビッグピンチにしか思わないでしょ（笑）。

——正直言って、1週間前のオファーで「よくやるよなぁ」としか思えませんでした（笑）。

高山　まぁ、でも「よくやるよな」っていうことをやるからこそ、高いお金をお客さんから取れるっていうのはあると思うんですよね。

——そういう発想はさすがプロレスラーならではですね。

高山　いや、単純にプロレスラーだから受けたとか、そういうのはないんですよ。やはり自分がやりたいからOKであって、しかもコンディションも悪くなかった、そういう条件が合った上でのOKですから。

——では、「『PRIDE』を助ける」みたいな部分はあまりなかったんですか？

高山　う～ん、そういう部分もなくはないですね。でも、やっぱりボクは完全な正義の味方ではないんで、「やってあげるからこうしてね」っていうのは絶対あるわけですね（笑）。だから「今度ボクが何かしたい時には、協力してもらえればありがたいです」ぐらいのことは言いたい、と。

——なるほど（笑）。でも、6・23さいたまアリーナは、結果的にホントの意味で高山選手が『PRIDE』を助けた形になりましたよね。セミファイナルまでは、正直言って普段の『PRIDE』と比べて盛り上がりが少なかったじゃないですか。セミまで、そういう流れできた中で、メインイベンターとしての使命感に燃えて殴り合ってしまったみたいな部分はありました？

高山　みんなそういう風に言ってくれるんですけど、それは全然ないですね（笑）。

——あ、ない（笑）。

高山　自分のためにいい試合をしたいっていうのは確かにありますけど、やっぱりあのリングではそういう雑念じゃないけど、勝負以外のことは考えないですね。それに「お客のため」とか、人に媚びることを考えると鼻につくと思うんですよ、『PRIDE』に限らずどこのリングでも。

——それは確かにありますよね。

高山　だから「俺はこうだからテメエら見とけよ！」ぐらいの気持ちでやるから今んとこ支持されてるんじゃないかなと。今回、特に誉められるからフト思ったんですよね。

——では、あの壮絶な殴り合いは「テメエら見とけよ！」という部分ではなかったんですか？

高山　あれはなんかね、殴られたら殴り返さなきゃイカンという、そっちに気持ちが行っちゃったんですよ。だから冷静に見れば、殴ってくるところに首ひっつかまえて、ヒザ蹴りを連打した方がいいんじゃないかと思ったんですけど……っていうか、最初の作戦がそうだったんですよ（笑）。

——作戦通りやってたら、あんなに顔が腫れることもなかったかも知れない（笑）。

高山　「とにかくヒザだよヒザだよ、高山君！」って、金原さんにも宮戸さんにもずっと言われて、相手が来たら捕まえてヒザ、そればっかり考えてたんですけど……。

——それなのに、あんな首相撲に持ち込む絶好のチャンスで、なぜか殴りまくってしまった、と（笑）。

高山　ズバリ作戦が当たってたのに、みすみす逃してるんですよね（笑）。やっぱり途中で（殴り合いを）やめたら、根性だめしで負けたみたいでイヤじゃないですか。だから特にあの連打のときは「俺は先にはやめないぞー！」みた

ドン・フライ相手に「PRIDE」史上に残る壮絶すぎる殴り合いで顔を腫らせた高山。実はその約2週間前、6・7新日本の武道館大会で、中西学とこれまた壮絶なチョップ合戦で大きく胸を腫らせていたのだ。どちらもプロレスラーならではの、凄みの迫力に満ちている。

いな、そっちのほうに気持ちがいっちゃいましたね（笑）。

——ガハハハハ！　でも、そういう男の意地の張り合いというか、勝ち負け以外に根性の優劣の競い合いも見れたから、あの試合は観客の心に届いたんじゃないですか？

高山　かもしれないね。

——元々、プロレスってそういう部分が結構ありましたよね。勝敗じゃなくて強弱を見るみたいな感じで。これはどっちが精神的に有利なんだと。

高山　そうそう、だからチョップの打ち合いでもどっちが先に嫌がるかみたいな、それとちょっと似てるかな。まぁ、でも勝負ってそういうもんでしょう。プロレスに限らず。勝敗とはまた違った勝負ですよね。

——よく「プロレスと格闘技は地続きだ」とか言うじゃないですか。でも、それを体現するのって凄く難しいことだと思うんですけど、今回、高山さんは見事にそれをやり遂げたなって感じたんですよ。それはなぜかっていうと、今回高山さんが見せた凄みって、顔と胸という腫らす部分が違うだけで、その前に新日本でやった中西戦とベクトルは一緒じゃないですか（笑）。

高山　ワハハハハ！　そういえばそうですね（笑）。

——だから中西戦を見て感じたのは、あれだけ胸を腫らしながら、お互いにチョップを打ち合い受け合う凄みというものこそプロレスラーならではの闘いであって、それが『PRIDE』みたいなリングが存在する今のこういうご時世の中で、プロレスラーが見せるべき一つの答えなんじゃないかと思ったんですよ。

高山　それは違うと思う（笑）。

——アッサリ否定されちゃいました（笑）。

高山　このご時世だから何を見せるというんじゃなくて、ボクはそういうことを考え過ぎるからプロレスがどんどん落ちると思うんですよ。この間、一般誌のインタビューでも「今、プロレスは何を見せればいいんですか？」って聞かれたんですけど、今何を見せればいいじゃなくて、僕らが中学か高校の時に熱狂したプロレスをそのまま出せばいいんですよって。それを自信持って出さないで、変に『PRIDE』の真似をしたりとか、客に媚びた面白おかしいことをやったりするからどんどんマニアックな方向にいって、潰れていくんじゃないのって。だからホントに昔見たような、バチバチ殴りあったり蹴ったり叩きつけたりして、迫力を見せればいいんじゃないのかなと、そういうふうに言ったんですけどね。それが多分、中西戦だったんじゃないかな。

僕らが中学高校時代に熱狂したプロレスをそのまま出せばいいだけですよ

——そういったプロレスの迫力や凄みは普遍的なものということですね。確かに中西戦にしても『PRIDE』のフライ戦にしても、そういった意味でまぎれもなくプロレスの凄みに溢れてましたよ。

高山　それで『格通』みたいなお堅い雑誌からもお褒めの言葉をいただきましたからね（笑）。

——アハハハ！　でも、こうやってお堅い『格通』までもが褒めている中で、宮戸さんだけ「ダメだ！」って言ってたというお話を聞いたんですが（笑）。

高山　そうなんですよ（笑）。でも、宮戸さんが「ダメだ！」って言うもわかるし、僕があとで「悔しい」と思っているのと同じだと思うんですよね。

——勝てる試合だったっていう。

高山　そう、勝てる試合を落としたって。なおかつ宮戸さんが言ってたのは「負けてこれだけ褒められるってことは、お前は最初からみんなに『負けるよあのバカ』くらいに思われてたんだよ」って。確かにそうだなって思いますよ。こっちはやっぱり「勝算あり」と思ってあのリングに上がってるわけだから、それを負けて褒められるということはそういうことだと。それはボクも思います。宮戸さんみたいにテンション上がりませんけど（笑）。

——その一気にテンションが上がるところが宮戸さんらしくていいですよね（笑）。

高山　いや、でも宮戸さんだからっていうんじゃなくて、高山陣営の中にいたらそう思うんじゃないですかね。ボク自身やっぱり悔しいし、それと同時に『PRIDE』に対して欲がでてきましたね。ホントに勝つ可能性があったから。

——では、高山さんにとって、フライ戦の次に来る『PRIDE』の欲っていうのはどんなものなんですか？

高山　う〜ん、欲はあるんですけど、いま誰とやりたいとかはないんですよね。

——ボクの個人的な予想だと、きっと次はボブ・サップあたりのオファーがくるんじ

6.23 PRIDE.23 BOUT REVIEW

○ドン・フライ
(1R6分10秒 レフェリーストップ)
高山善廣●

ノーガードでひたすらお互いの顔面を大男が殴り合うという、有無を言わさぬド迫力で、観客の度肝を抜いたこの一戦。試合は高山がヒザ蹴りで勝機を掴みかけたが、2度目の投げを潰され万事休す。しかし、その壮絶な散り際はまさしく今大会のMVPに相応しかった。

○アンデウソン・シウバ
(1R1分23秒 ドクターストップ)
アレックス・スティーブリング●

桜井"マッハ"速人を破り、修斗王者にもなったアンデウソンの『PRIDE』デビューの相手は、スティーブリング。イズマイウ、ゴエスらを破り"ブラジリアン・キラー"を名乗るスティーブリングだが、打撃系相手だと勝手が違うのか、シウバの鮮やかなハイキックでTKO負けを喫した。

○ダニエル・グレイシー
(3R 判定2-1)
杉浦貴●

ノア所属選手として、初の『PRIDE』参戦をはたした"怪物"杉浦は、ヘンゾの隠し球、"イケ面グレイシー"と対戦。自衛隊仕込みのパンチでダウンさせる場面もあったが、ダニエルの柔術地獄からハマり攻めあぐね判定負け。杉浦、もう一丁！

○ジェレミー・ホーン
(3R 判定3-0)
ギルバート・アイブル●

リングスマットでやっていそうでやっていなかったこの一戦。アイブルはバカでかいイエローカードを掲げて、「シマダ、フ●●ク！」を連発するゴキゲンな入場シーンを見せたが、試合はジェレミーのポジショニング地獄にハマリ、イエローをもらうほどの、暴れっぷりは見せられずじまい。

○大山峻護
(3R 判定3-0)
ヘンゾ・グレイシー●

今大会、もっとも物議を醸した一戦。ヘンゾとの寝技勝負をことごとく嫌がり、スタンドの打撃と挑発パフォーマンスに終始する大山にヘンゾが激怒。バッドボーイの本性でツバを吐きかける場面もあったが、終始攻めの姿勢を見せ続けたヘンゾがなぜかストレートの判定負けを喫してしまった。

ゃないかなと思ったんですけど（笑）。

高山　……それ活字にしないでよ。ホントにオファー来ちゃうから（笑）。

——ガハハハハ！　さすがにボブ・サップは考えちゃいますか（笑）。

高山　本音を言えばね（笑）。いや、だから田村さんは凄いですよ。あれを受けたっていうのは。

——準備期間一週間でドン・フライ戦を受けた高山善廣でもそう思いますか！

高山　だって相手は自分の倍の体重ですよ。しかも（エマニエル・）ヤーブロウみたいなただのデブじゃないですからね。田村さんがやるべき相手じゃないですね。

——高山さんは、いま誰を相手にしたらおいしいと思いますか？

高山　わかんないですね。でも、きっとまた、流れの中でやりたい相手が出てくるんでしょうけどね。毎回毎回そうですから。一回やったら次は誰とやったらいいんだろうって、ホント相手が見つからない状態で。ピンとこなくても「こいつとやって」って言われた時に「あっ！」って思う時もあるだろうし。

——それを楽しみにって感じですかね。

高山　そうですね。

——では、当面はプロレスのスケジュールが立て続けに入ってるみたいですけど、実はもう今週末（7月5日）からノアの巡業がスタートするんですよね？

高山　スタートしますね。

——これは全戦参加ですか？

高山　いや、全戦じゃないです。途中で消えて、新日本の札幌大会に出て、最後にまたノアに戻るんですよ。

——しかもその後にすぐ『G1クライマックス』に出場するんですよね？　なぜそこまで生き急ぐんですか？（笑）。

藤波さんとは実は僕が大学1年の頃からの因縁があるんですよ（笑）

高山　ワハハハハ！　何ですか、生き急ぐっていうのは（笑）。

——いや、わずか1ヶ月の間に『PRIDE』、新日、ノアを股に掛けるわけじゃないですか。そこまで欲張るのが高山善廣なんですかね？

高山　いや、欲張るわけじゃなく、何て言うんでしょうかね……欲張っているように見えます？

——普通、『PRIDE』みたいな大仕事をしたら、一ヶ月くらいは「何もしたくねー！」っていうふうになるのかなって思うんですけど。

高山　それはありますよ。でも『PRIDE』は急に入ったから（笑）。

——ノアも新日本も先に入っていた仕事なんだからしょうがない、と（笑）。

高山　そうそう（笑）。

——さすが元サラリーマンですね（笑）。そういえば、高山さんは今年から新日本にも上がっていますけど、そもそも新日に参戦するにあたっての野望というか目的みたいなものはどなんだったんですか？

高山　野望……目的……何だっけ？（笑）。

——アハハハハ！　なんだかわからないけど闘ってるんですか（笑）。

高山　そうじゃないですけど（笑）う〜ん、元々フリーになったのは『PRIDE』に出るためだけを考えてたんですけど、藤田選手とやって世界観が変わったというか、広がったというか。『PRIDE』とノアの往復だけではもったいないと、もっと面白くしたいなと思ったんですよ。それでいろいろ考えて、『真撃』に出たりとかもしたんですけど。

——そういえばありましたねぇ。

高山　新日本というのもその時、頭に芽生えたんですけど、秋山準が新日本のリングでGHCのタイトルマッチとかやったのを見て、「所属選手がやってんだから、フリーの俺がやらないわけにはいかん」くらいのことはずっと思っていて、そのタイミングをうかがってたんですね。だから、新日本でも野望というより、「すべてのリングを股にかける」というのが野望なんですよ。昔の海賊の7つの海を股に掛けるみたいな（笑）。

——いいですねぇ（笑）。そうなると、マット界の太平洋だか大西洋である新日本っていうのは避けられないですよね。

高山　そうですね。もちろん新日本のトップの人と試合をして勝つとかタイトルマッチだとかそれももちろん一つなんですけど、それだけじゃなくて、『PRIDE』も含めた格闘技界全体の中で「俺はこうありたい」っていう野望はありますね。

——新日本で暴れるっていうのはその中の手段というわけですね。でも、それにしてはタイミングが絶妙すぎますよね。何と言っても新日本30周年大会の事実上のメインイベントをかっさらっていくという（笑）。

高山　ホントね、昔ボクと一緒に新日本プロレスを観に行って、猪木コールをやってた高校の同級生が、興奮して電話をかけてきましたからね（笑）。

——逆にその同級生のほうが重要度がわかってるみたいな感じもしますけど（笑）。

高山　そうそう。「お前、ドームのメインの意味をわかってんのかよー！」とか言って、「テメエよりわかってるよ！」って（笑）。

——今度はさらに、新日本の看板シリーズであるG1クライマックスの出場も決まりましたけど、意気込みのほどはいかがですか？

高山　G1クライマックスはやっぱり、昔の全日本のチャンカン（チャンピオン・カーニバル）みたいなもんだから……今のじゃなくてね（笑）。

――今じゃなくて（笑）。

高山 だから、そういう意味ではやっぱり「やったるぞ！」というのはありますよね。

――一週間ブっ続けシングルマッチみたいな感じですよね。

高山 いや、でも三日やって一日休みとかでしょ。蝶野さんが「7連戦できるのか！」って言ってたけど、「テメエの体を心配しとけよバカ！」って（笑）。

――一番心配なのはお前だと（笑）。

高山 アンタと藤波さんだよって（笑）。

――ガハハハ！ 確かに（笑）。そういえば、二人とも勝ち上がれば、藤波さんと当たる可能性もあるんですよね（笑）。

高山 あ、嫌だなぁ！

――嫌なんですか？ 因縁の相手じゃないですか。あのIWGP調印式は最高でしたよ！

高山 実は、ボクと藤波さんの因縁はもっと過去に遡るんですよ。

――え、どういうことですか？

高山 すごい因縁があるんですよ。あれはボクが大学一年生の頃ですよ。

――大学一年生！ いったい何があったんですか？

高山 藤波さんが大学の講演会に来たんですよ。そのとき質問コーナーがあったんですけど、ボクは手を挙げて。質問コーナなのに質問じゃなくて「卍固めかけさせて下さい！」って言ったんですよ（笑）。

――ガハハハハ！ 「かけて」じゃなくて、「かけさせて」なんですか？（笑）。

高山 そう！ やられるのはイヤなんですよ。やりたいんですよ！（笑）。

――ひどい！（笑）。

高山 それで、藤波さんは人がいいから、「よく『かけて下さい』って言うのはいるけど、それは危険だから断ってるんだけど、「かけさせて下さい！」だったらいいかな」とか言って（笑）。

――ガハハハ！ ドラゴンスマイルで（笑）。

高山 それで藤波さんが「どうぞ！」とか言って、卍固めかけましたよ！ でも、その時に「うわ！ ごっつい」と思って、これは力で絞ってもこの人には効かないんじゃないかと思ったんですよ。そっからの因縁ですからね（笑）。

――凄い因縁だ（笑）。でも確かに、レスラーのブ厚さには驚きますよね。

高山 そうそう、すごいビックリした。

――当時からタッパは高山さんの方が藤波さんより全然あったんですよね？

高山 背は今と変わんないですから、ボクの方が全然大きいんですよ。しかも素人にしては鍛えてゴツかったんですけど、卍固めかけたときは、「この人には勝てないな」って思いましたからね。ボクの気持ちの中では、あの時に負けてるんですよ（笑）。

――では、実現すればそれから十何年の歳月を経てのリベンジマッチになるわけですね。ゼヒ実現してほしいなぁ（笑）。

高山 あ、もう一つ追加のエピソードがあるんですよ（笑）。

――どうぞどうぞ！（笑）。

高山 翌年、同じ講演会に今度は前田さん来たんですよ！（笑）。

――今度は前田さんですか！（笑）。

高山 でも、前田さんには怖くて「卍固めかけさせて下さい」とは言えなくて、黙って聞いてました（笑）。

――ガハハハ！ いいオチになりました（笑）。では、G1クライマックスでの大暴れ期待してます！

【02年7月1日／新宿・京王プラザホテルにて収録】

高山善廣vsドラゴン実現なるか!?

G1 CLIMAX

2002.8.2-8.12

今年もやってきました、新日本プロレス夏の本場所、G1クライマックス。

すっかり新日本を見なくなった、というファンでもG1だけは欠かさないという人がいるほど、そのブランド力は根強いものがある。今年は武藤一派の離脱があったにも関わらず、団体外からの参戦が高山ひとりと、少々話題性に乏しいものがあるが、その分、試合内容で見せてくれそう……いや、見せてほしいなぁ、見せてくれることを祈ろう！

注目はやはり高山絡み。Aブロックは初対決揃いで、どの組み合わせも興味深い。中でも8月4日の天山戦、そして鈴木とのVT戦を決意した健介との対戦（8・3）は注目。

Bブロックはやはりドラゴンにつきる。この原稿を書いている19日早朝現在は、安田との入れ替え戦の結果はわからないが、G1を盛り上げるためにも、ゼヒとも出場してもらいたいものだ。そして、まさかの決勝トーナメントに進出して、高山戦が実現したら最高！

G1 CLIMAX 2002 組み合わせ日程

Aブロック	Bブロック
8月3日（土）大阪府立体育会館 PM6:00試合開始（PPV）	
佐々木健介 VS 高山善廣	永田裕志 VS 蝶野正洋
吉江豊 VS 天山広吉	中西学 VS 西村修
越中詩郎 VS 棚橋弘至	藤波辰爾 VS 鈴木健想
8月4日（日）大阪府立体育会館 PM3:00試合開始	
天山広吉 VS 高山善廣	藤波辰爾 VS 中西学
佐々木健介 VS 棚橋弘至	西村修 VS 蝶野正洋
越中詩郎 VS 吉江豊	永田裕志 VS 鈴木健想
8月5日（月）高松市総合体育館 PM6:30試合開始	
佐々木健介 VS 吉江豊	中西学 VS 蝶野正洋
越中詩郎 VS 天山広吉	永田裕志 VS 藤波辰爾
棚橋弘至 VS 高山善廣	西村修 VS 鈴木健想
8月7日（水）福岡国際センター PM6:30試合開始	
佐々木健介 VS 越中詩郎	永田裕志 VS 中西学
吉江豊 VS 高山善廣	藤波辰爾 VS 西村修
棚橋弘至 VS 天山広吉	蝶野正洋 VS 鈴木健想
8月8日（木）広島グリーンアリーナ PM6:30試合開始	
佐々木健介 VS 天山広吉	藤波辰爾 VS 蝶野正洋
越中詩郎 VS 高山善廣	永田裕志 VS 西村修
吉江豊 VS 棚橋弘至	中西学 VS 鈴木健想

FINAL HURRICANE G1 CLIMAX 2002

8月10日(土) 両国国技館～準決勝
8月11日(日) 両国国技館～決勝

8月11日

8月10日：Aブロック1位 vs Bブロック2位
8月10日：Aブロック2位 vs Bブロック1位

［得点勝ち］2点負け：0点 引き分け：1点
同点の場合は直接対決で勝っている選手を上位とする。

G1 CLIMAX 2002 各ブロック出場選手

Aブロック	Bブロック
佐々木健介	永田裕志
越中詩郎	藤波辰爾
吉江豊	中西学
棚橋弘至	西村修
天山広吉	鈴木健想
高山善廣	蝶野正洋

修羅場の渡世人

FRYE

ドン・フライ

聞き手／ジャン斉藤
designed by matsu(Two three)

オレのポケットにはいつも
1ドルしか入ってなかった。
そんな人生を変えるために
オクタゴンで闘うことにしたんだ。

Changing My Life

「オマエも入るか、『PRIDE』男塾!」。
そんなナレーションがかかった『PRIDE21』のメインイベントで、
バックギアをブッ壊して闘いに臨んだ高山を、
心と身体でガッチリと受け止めたドン・フライ。
バーリ・トゥード復帰後の幾多の試合でも、
魂を感じさせる闘いを繰り広げたきた好漢が歩んできた道とは?
そして、闘いに駆り立てる精神とは何なのか?
高山戦の翌日、修羅場の渡世人が全てを語った!

DON

——フライ選手、昨日(6・23『PRIDE.21』)の高山選手との殴り合いは、モノ凄かったです!

フライ タカヤマが殴ってきたから殴り返しただけだ。やられたらやり返す。男として当然だろ?

——さすが『PRIDE』男塾塾長ですね! 今回の『PRIDE』は膠着試合が多かったせいか、あの試合はファンも大喜びでしたよ!

フライ それは嬉しいな。(左目の青タンをさすりながら)男前が台無しになった甲斐があったというものだ。ガーッハッハッ!

——高山選手の顔は、もっとトンデモナイことになってますけどね。

フライ タカヤマは本当にタフな男だったよ。リスペクトに値するファイターだね。

——フライ選手は試合後のコメントでは、バーリ・トゥードを引退するということでしたけど、それは本当なんですか?

フライ いまが一番いい逃げときじゃないかなと思ってね(笑)。

——何をおっしゃいますか(笑)。「今後のことは妻と話し合ってから決める」とも言ってましたけど、実は決定権は奥さんにあったりするんですか?

フライ (隣にいる夫人を気にしながら)まるでオレがワイフの尻に敷かれてるみたいじゃないか! そういう言い方はやめてくれよ(笑)。

ドン夫人 フフフ(笑)。

——そ、それはすいませんでした!

フライ ガッハッハッ! MMA(ミックスト・マーシャル・アーツ=総合格闘技)に専念すると、そのファイトに向けてのトレーニングで家族と一緒に過ごす時間が大幅に失われるからな。オレには2人の子供がいるし、自分だけの意志で闘い続けることはできない状況なんだよ。だから、オレにMMAで唯一の黒星をつけたコールマンと闘って、区切りをつけようと思っていたんだけどな。

——それではコールマンが相手だったら、バーリ・トゥードにとどまってもいいわけですか?

フライ コールマンにはケジメをつけたいし、『PRIDE』にはノゲイラというグレートチャンピオンもいる。まだまだMMAで闘いたい気持

ちはあるのもたしかだ。まあ、今後のことも含めて、ワイフとじっくり話し合って決める。いまはそれしかコメントはできないな。
——わかりました！　それで今日はですね、フライ選手の過去のキャリアについて語ってもらいたいんですよ。
フライ　オレの過去を振り返る⁉（再びドン夫人を気にしながら）頼むから、別れた最初のワイフの話はよしてくれよ（笑）。
——自分から言わないでください（笑）。
フライ　ガッハッハッ！　オレが新日本で結成していたチーム「CLUB245」は、ミネソタのストリップハウス「CLUB247」にちなんでいることも内緒だぜ！
——と、とにかく、よろしくお願いします！　まずはアマチュア・レスリング時代のことについて教えてください！
フライ　OKだ！　アマレスはハイスクールのときから始めたんだ。88年のソウル・オリンピックのトライアウトでは、フリースタイル、グレコローマンのどちらでも勝ち残った。最終的にはゴールドメダルを取った選手に負けてしまったけどな。
——かなり優秀なレスラーだったんですね。
フライ　奨学金をもらって、オクラハマ大学に通っていたぐらいだからな。スペイン語のコースが取れず卒業はできなかったけどな（笑）。
——学業は優秀じゃなかったわけですか（笑）。ボクシングもやってたという話ですよね。
フライ　レスリング時代のスポンサーの紹介さ。でも、ボクシングの下積み時代はずっと勝ち続けないといけないもんだろ。オレは5勝2敗1分けという戦績だったから、優秀なボクサーだったとはいえなかったな。
——ボクシングでは芽がでなかったわけですか。
フライ　それでファイヤーマン（消防士）になったのさ。
——フライ選手が消防士に就いていたのは、日本でも有名ですよ。
フライ　昼間は遊んでられる楽な仕事で、オレにピッタリだと思ってな。毎日、酒を浴びるように飲んでいたよ。ガーッハッハッ！
——ワハハハ！　そんな理由から消防士になったんですか（笑）。映画の「バックドラフト」じゃないですけど、フライ選手にあの勇ましいイメージを重ね見ていたファンも多いんですよ。
フライ　死にかけたことも何度もあったよ（サラリと）。火事になった家の中に飛び込んだんだけど炎の回りがモノ凄くて、無線で外の仲間に「F●ckin'!　ホースに水を流せ！」と何度も叫んだけど、全然伝わらなくてな。
——ウワッ、それはデンジャラスですね！
フライ　結局助かったけど「F●ckin'!　ホースに水を流せ！」というオレの怒鳴り声が、無線によってなぜか町中に流れていたんだよ。それで〝F●ckin'と叫びながら水を求めるファイヤーマン〟として有名になっちまった（笑）。

ガキのころ、イノキサンはオレのアイドルだったんだ

【○アントニオ猪木（4分9秒／グランド・コブラツイスト）ドン・フライ●】1998年4月4日、東京ドームに7万人の大観衆が押し寄せた、アントン総帥の引退試合。フライは挑戦者決定トーナメントを勝ち上がり、アントン総帥と対戦した。この試合はゴールデンタイムでも中継され、実況席の山本小鉄氏が、「古館さん、フライはね、コブラツイストなんて知らないんですよ！」と、フライの敗因を衝撃解説したのだ！

——ワハハハ。それにしても、命懸けの職業ですよね。
フライ　あんまり知られてないが、馬の蹄を造る専門学校にも通っていたんだよ。職人になろうと思ってな。
——それは意外な過去ですね！
フライ　おかしな話だけどな。ファイヤーマンだけじゃ喰っていけなくて、かなり貧しかったんだ。あの時代のオレのポケットには、1ドルしか入ってなかったことはザラだった。
——かなり極貧だったんですね。
フライ　そうさ。そんな人生を変えるために、オクタゴンで闘うことにしたんだ。オレは、あの生活から脱出したかったんだよ（しみじみと）。
——自分の腕に人生を賭けたわけですか。そしてチャンピオンに輝いて、金と名誉を掴んだんですね。
フライ　それだけじゃないぜ！　いまのワイフも手に入れたんだ（笑）。その当時に知り合って、オレがオクタゴンで闘っているときに彼女が応援していたんだよ。負けるわけにいかねえだろう（笑）。
ドン夫人　わたしのおかげで勝てたようなものね（笑）。
——内助の功でUFCを制したんですね（笑）。UFCは体制がSEGからズッファに変わりましたけど、いまの現状についてはどう思ってるんですか？
フライ　こないだ、オレにシットな対応をしやがったよ！　奴らはオレに、3勝したらチャンピオンシップをやらしてやると言いやがったんだ。やらしてやる、だぜ⁉　オレを誰だと思ってるんだ！　これはアメリカでよく言われてることなんだが、『PRIDE』はファイターの言うことを良く聞いてくれるグッドカンパニー。逆にUFCは、ファイターを無視してやりたいようにやりやがる。ちっともマネーにならないし、あのカンパニーには問題がありすぎる！
——UFCは規模が縮小されるらしいですし、曲がり角にきてる感がありますよね。
フライ　知ったことじゃねえな。聞いた話によると、ケン（・シャムロック）がUFCにカムバックするらしいな。
——ティト（・オーティス）と闘うみたいですよ。フライ選手と『PRIDE.19』で激闘を繰り広げた戦友は、ティトに勝てますかね？
フライ　いや、親友として、勝敗を予想するのは控えておくよ（笑）。
——ケンシャムとは、本当に仲直りしたんですか？（笑）。
フライ　オレは仲直りしたと思ってる。ケンがどう思ってるかは知らないがな（笑）。
——わかりました（笑）。それでですね、UFCからは多くのファイターが日本にやってきましたけど、フライ選手ほどファンの心を掴んだファイターはいないんですよ。他の選手と違う点はどこだと思います？
フライ　やっぱりイノキサンの影響が大きいんじゃないか？　闘魂を伝授されたというかな。
——闘魂伝承！　フライ選手は猪木さんの引退試合の相手を務めましたもんね。
フライ　光栄なことだよ……（感慨深げに）。オレの人生で三つだけ心に残ったことを挙げろと言われたら、最初の子供が生まれたこと、二番目の子供が生まれたこと、そしてイノキサンとのファイトになる。
——それほどの想い入れがあるんですか。昔から猪木さんをご存知だったんですか？
フライ　もちろんだ。オレは子供のころからプロレスファンで、リック・フレアー、テリー・ファンク、AWAエリアでファイトしていたマサ・サイトー、そして、イノキサン。この4人がオレのアイドルだったんだ。
——猪木さんだけじゃなく、マササンも（笑）。
フライ　マササンにはプロレス入りしてからもお世話になってるよ。イノキサンのことは、アリとのグレートファイトで興奮して観ていたもんだよ。初めてイノキサンに会ったときに、「あ、この顔は⁉」って感動したからな！
——そんなフライ選手なら、プロレスに転向するのに躊躇はなかったわけですよね。
フライ　ノープロブレム。オレは大学時代にアリゾナのインディアン地区で、4回だけプロレスにトライしたこともあったしな。
——あ、プロレスデビューの方が先でしたか！

アントン総帥の引退相手を決めるトーナメントには、小川直也、藤田和之、山崎一夫、藤原喜明、B・ジョンストン、I・メインダート、D・ベネトゥーがエントリー。決勝で優勝候補だった小川を沈めたフライが、その席を手中に収めた。フライは準決勝で、メインダートのセコンドについたゴルドーと、一触即発のシーンも。

修羅場の渡世人～MMA全戦績～

96.2.16『UFC18』トーナメント
○トーマス・ラミレス【8秒 右フック】（1回戦）
○サム・アドキンス【45秒 グラウンドでのパンチ】（準決勝）
○ゲーリー・グッドリッジ【2分4秒 顔面蹴り】（決勝）

96.5.17『UFC19』
○アマウリ・ビテッチ【23秒 グラウンドでのパンチ】

96.7.12『UFC10』トーナメント
○マーク・ホール【10分21秒 グラウンドでのパンチ】（一回戦）
○ブライアン・ジョンストン【4分36秒 グラウンドでのヒジ打ち】（準決勝）
●マーク・コールマン【11分42秒 マウントからの頭突き】（決勝）

96.12.7「THE ULTIMATE ULTIMATE '96」トーナメント
○ゲーリー・グッドリッジ【11分18秒 戦意喪失】（一回戦）
○マーク・ホール【20秒 アキレス腱固め】（準決勝）
○タンク・アボット【1分22秒 裸締め】（決勝）

01.9.24『PRIDE.16』
○ギルバート・アイブル【1R7分27秒 反則勝ち】

01.12.31「INOKI BOM-BA-YE 2001」
○シリル・アビディ【2R34秒 裸絞め】

02.2.24『PRIDE.19』
○ケン・シャムロック【3R判定】

02.6.23『PRIDE.21』
○高山善廣【1R6分10秒 マウントパンチ】

DON FRYE

フライ　リングネームはJR・オースチン！（笑）。ジム・ロスとストーンコールドを足したみたいだ（笑）。

フライ　ガッハッハッ！　87年のころの話だよ。カウボーイハットを被ってな、テキサスからやってきたバットガイというキャラクターだったよ。あのときは、ギャラをプロモーターだったインディアンにピンハネされたり、プロレスについていろんな意味で勉強になった（笑）。

――そんな経験までしましたか（笑）。新日本でも、プロレス界特有の問題があったと思うんですよ。激しいファイトをするとマサさんに褒められて、逆に長州さんに怒られるとフライ選手は戸惑っていたらしいですよね。長州さんとの関係が、よろしくなかったこともあったのですか？

フライ　別にナイーブな関係だったわけじゃないけどな。チョウシュウは、そもそもオレに限らずガイジンが嫌いだったんじゃないかな。

――昔ほど新日本のガイジンレスラーが光っていなかったのは、ブッカーだった長州さんの影響があったんですかね。

フライ　そんなことはない。オレはイノキサンの引退相手をやったんだぜ。ニュージャパンには最高のプッシュをしてもらって大感謝しているよ。

――フライ選手はいきなりトップポジションでしたからね。

フライ　でもな、時が経つにつれて、〝ドン・フライ〟という名前が埋もれてきたと感じたんだ。

――レスラーとしての価値が下落してきたと感じたわけですね。

フライ　そうだ。もう一度〝ドン・フライ〟の名前をアップさせるには、『PRIDE』に上がるしかないと思ったんだよ。

――『PRIDE』出場は、UFC同様人生の賭けだったんですね。そして見事、その賭けに勝ったと。

フライ　負けたらワイフに怒られて、家に入れてもらえなくなるからな。それはもう、一生懸命ファイトしたよ！（笑）。

ドン夫人　やっぱり、わたしのおかげなの？　フフフ！

――猪木さんの闘魂より、奥さんの存在のほうが影響力ありますねえ（笑）。そのバーリ・トゥ

ード復帰戦となった『PRIDE．16』では、相手のアイブルがサミングを仕掛けてきて、かなり危険な試合になりましたよね。
フライ それがファイトというものさ（キッパリ）。ゴングが鳴ったら何も文句は言えない。闘うしかないんだよ。
―な、なるほど。あの試合の直前には、新日本で開催されたガイジン版G1『G1 WORLD』（9月6〜17日／8名参加・優勝ドン・フライ）に参加してましたし、スケジュール的には大変だったんじゃないですか？
フライ あのリーグ戦で（スコット・）ノートンにおもいきりブン投げられて、脚を負傷してしまってな。そのせいで練習もロクにできずにアイブルと闘ったんだ。
―直前にプロレスをやることで負傷の可能性は考えられたわけですし、よくまあリーグ戦出場を決意しましたよね。
フライ もともとオレが出る予定はなかったんだけどな。ブライアン・ジョンストンが脳溢血に倒れてしまって、急にオレにオファーがきたんだ。ニュージャパンも困っていたし、友人のジョンストンのためでもあったよ（語気を強めて）。『PRIDE』に備えてケンスキー（佐々木健介）と一緒にトレーニングして身体もできていたから、関係ねえって思って出ることにしたんだ。
―男気ありますねえ。それで、話はちょっとずれるんですけど、その当時一緒にトレーニングをしていた健介さんが、コロラドで行われた「グラジエーター・チャレンジ」というMMAの大会に出場して、ダン・チェイスという柔術家を秒殺しましたよね。あの試合は日本であまり情報がないんですけど、一体どういう試合だったんですか？ ズバリ言うと、日本のファンはかなりネガティブな言い方をしてるんですよ。
フライ そんなこと言い始めたらキリがないさ。あんまり情報がないのはローカルな大会だったからだよ。オレもUFCに出る前は、ノーギャラでローカルのMMAに出場していたもんだぜ。相手は身体のゴツイ海軍の兵士。シロウトだけどな（笑）。そんときのオレに比べたら、ケンスキーの相手は7勝3敗の戦績を持つ柔術家だし、勝ったんだから立派なもんだよ。悪くいうのはヒドイんじゃないか？
―そ、そうですか。わかりました……。で、いまはフライ選手の他にも、プロレスとバーリ・トゥードを並行する選手が多いですよね。以前にフライ選手と抗争を繰り広げていた小川選手が、久しぶりにバーリ・トゥードに討って出るんですよ。フライ選手から見て、小川選手の格闘家としての評価はどうなんですか？
フライ 格闘家としてのオガワァ？ ……オレからは何とも言えないな。
―小川選手の『PRIDE』での試合を見たことはあるんですよね？
フライ まったく見てない。だから、何も言えない。レスラーとしてはオレよりマネーを貰ってるんだろ？ だったら、プロレスラーとしてはスゴイんじゃないかな（嫌味たっぷりに）。
―仲がよろしくないみたいですね（笑）。新日本から『PRIDE』に登場している選手についてはどう評価してるですか？
フライ （一転して嬉しそうに）みんなスゴイ頑張っているな！ ヤスダはヒーローになったし、フジタは一敗しかしてない。カシンは1回目は準備不足で負けたけど、2回目は勝った。ナガタだって今度やれば絶対に勝つだろう。全員仲間として誇りに思うよ。
―でも、日本には彼らのような〝プロレスラー〟がMMAに出るのを嫌がる人が多いんですよ。
フライ Sour Grape（腐ったブドウ）なヤツらだな！ たくさんのファンを集めてヒートさせて、何の文句があるというのかな？ たぶんMMAの連中は、プロレスラーが人気があるからジェラシーを抱いているんだろうな。
―格闘技側からすれば、そう思ってもおかしくはないですよね。
フライ MMAの連中はそんなやつらばかりさ。オレもアメリカで有名なMMA雑誌に取材されたことがあったけど、ホントくだらない取材だったよ。オレはプロレス・マガジンのほうが性に合っているな。
―性に合ってますか（笑）。話は戻るんですけど、新日本の選手が『PRIDE』に出場することで、新日内部でトラブルが起こりましたよね。
フライ そうだけど、それはイノキサンがMMAのビジネスが上向きだからやっていることだからな。
―でも、武藤さんや小島さん、カシン選手が猪木さんの路線に反発してか新日本を離脱してしまい、団体の基盤自体が揺らいじゃったわけじゃないですか。
フライ ムタがやめたのは、最初はアングルかなと思ったんだけどよな（笑）。実はシュートだと知らされてビックリした！
―ドンもビックリですか（笑）。新日本も30周年を迎えた歴史のある団体ですから、一つのイデオロギーだけで成り立つというのは難しいですし、しかもそんな現状に加えてWWEのように日本のプロレスも情報公開すべきだということで、新日本の元レフェリーが本を出したんです。ある意味プロレスの裏側を暴く内容の本で、ベストセラーになってるんですけどね。
フライ 裏側を暴く!? 裏側もクソもねえ。プロレスはプロレスだ。つまりそいつは、プロレスでマネーを稼いだくせに、今度は裏切ってまたマネーを稼いだわけだろ？ 何かを主張するのは結構だがな、人としておかしいんじゃないか？ きっと、頭が腐っているんだろうな（キッパリ）。そいつもSour Grapeだ！
―高橋さんもSour Grapeですか（笑）。WWEのエンターテインメント路線に関しては、どう思ってるのですか？

DON FRYE

8・8UFO東京ドームでは、アントン総帥との一戦も浮上するなど、話題にこと欠かないフライ。8・28「PRIDE」vsK－1国立競技場決戦での活躍も期待され、今後も観客をヒートさせるファイトをしてくれるのは間違いない。今年で37歳になる。

闘うことで、人生は良い方向に変えられるんだよ

フライ オレはWWEでファイトしても全然構わない。あのスタイルでもやれる自信はある。
―スタイルには拘らないわけですね。
フライ まあ、ストレートな言い方をすると、オレはカンパニーからマネーを貰って、ワイフや子供がいる家に無事に帰れればそれでいいんだ。でもな、安定した位置に甘んじてるつもりはサラサラないぜ。オレがUFCに挑戦したり、プロレスに転向したり、またMMAにカムバックして人生を好転させてきたように、今後もアグレッシブに闘い続けるよ。
―常に挑戦し続けるわけですね。
フライ その通りだ。人生は良いときもあれば悪いときもあるものなんだ。頑張れば良い時間を過ごせるものだよ。ニュージャパンも選手がたくさんやめて大変だけど、頑張ればきっと良い状態に戻れるさ。オレも力になる。まだまだ稼ぎたいしな。ガーッハッハッ！
―銭ゲバ宣言（笑）。最後に個人的に聞いていいですか？ フライ選手の新日本でのテーマ曲（「Chaos B.C.」SEPULTURA）は、『PRIDE』では使用されてないですよね。何か理由があるんですか？
フライ いや、別に深い理由はないよ。アイブル戦のときはテロがあった直後だから、アメリカ国歌を希望したけど、いまは『PRIDE』側に任せてるんだ。
―拘って下さいよ！（笑）。あのテーマ曲が『PRIDE』で聞けなくて、残念がってるファンが多いんですよ。
フライ そうなのか。あの曲は、イノキサンが選んでくれたんだ。
―猪木さんですか！ SEPULTURAはブラジル出身のバンドですけど、そんなブラジル繋がりがあったとは（笑）。
フライ （時計を見ながら）オッ、もうフライトの時間だ！ 悪いがこれでお終いにさせてくれ。乗り遅れちまうぜ！
―OKです！ これからも「猪木軍」のドンとして頑張ってください！

【02年6月24日／成田空港にて収録】

BOB SAPP

田村を11秒KO!!

この男には
もはやお手上げ

田村潔司の『PRIDE』へのリベンジ戦を、わずか11秒で
粉々にしてしまったのが“暗黒肉弾魔人”ボブ・サップ。田村戦の翌日、
都内某所に潜伏中のサップを捕獲(30分限定)し、田村戦、
ベールに包まれているWCWでのプロレスラー時代、さらにK-1での中迫戦後、
うっかり激写されてしまった『FRIDAY』の話までサップに肉薄!

“暗黒肉弾魔神”
ボブ・サップ

聞き手/松澤チョロ
撮影/松本崇
designed by matsu (Two three)

――ボブさん、田村戦での11秒KO勝利おめでとうございます！

サップ　OH～センキュー！（満面の笑みで握手を求めるサップ。本人は無意識だが、かなり痛い）。

――内容的には満足してますか？

サップ　試合の前から、とにかく「勝つぞ」ってことばかり考えてたんだ。それに内容はともかく早い時間で勝てたんで満足してるよ。

――セコンドのモーリス・スミスは過去に田村さんと対戦経験もあるんですけど、何か具体的なアドバイスは受けていたんですか？

サップ　もちろん。モーリスからはタムラは動きも素早いし、凄くいい選手だって聞いていたんで、とりあえずタムラの動きを止めるような試合運びをするように言われてたんだ。それに沿ったトレーニングも充分積んできたし、まあ結果的にはモーリスに言われた通りの動きが出来たんで勝てたんだと思うよ。

――意外と謙虚なんですね。同じようにセコンドに付いたジョシュ・バーネットからは、どんなアドバイスを受けました？　バーネットは田村さんが前に所属していたUWFインターナショナルの頃からファンだったみたいなんですけど。

サップ　そうらしいね。ジョシュはタムラのことをよく知ってて、左ミドル、足関節に気をつけた方がいいってアドバイスしてくれたんだ。

――さすがオタクだ（笑）。でも、いいセコンドに恵まれましたねぇ。

サップ　そうかもしれないな（笑）。

それで、ボブさんは試合はもちろん、表情や入場パフォーマンスも素晴らしいですけど、ゴールドバーグみたいに鼻からスモークをフガーッ！って出したりしながら入場するのもバッチリ、ハマるんじゃないかなって思うんですよ。

サップ　フォッホッホッホッ！　まあオレもプロフェッショナルとして試合以外の部分でもガンガンアピールしていきたいと思ってるんだ。自分でも今よりも、もっともっと野獣らしさを出した方がいいかなと思ってるし、ゴールドバーグのようなパフォーマンスが、オレに、しっくりくるって言うんなら考えておくよ。

――絶対しっくりきますよ！

サップ　そうか（満更でもなさそうに）。まあ実際、オレがスモークをどれだけ鼻や口の中に溜めて吐けるのかやってみないとわからないんで練習してみるよ（笑）。うまく出来るんだったらやってみるけどな。

――次の入場を期待してます！

サップ　もし、やらなかったら、オレには、そのパフォーマンスは出来なかったと思ってくれ（笑）。

――あ、そうですか（笑）。

サップ　入場テーマとかも変えた方がいいかなって思ってるんだけど、どう思う？

――入場曲は、そのままでいいと思いますけど。でもホント、自分の見せ方をよく考えているんですね。肉の塊かと思ったらプロ意識の塊でもあると（笑）。

サップ　そりゃそうだよ。だって、ただの暴れん坊なんていうのは腐るほどいるだろ？　こっちはプロの暴れん坊だからな（笑）。

ただの暴れん坊なんて腐るほどいるだろ？
こっちはプロの暴れん坊だからな

その圧倒的な肉体だけではなく、テクニック面でも日増しに大魔人化しているサップ。一流選手を多数育成しているモーリス・スミスのもと、ジョシュ・バーネット、マット・ヒューム等、世界のトップどころからバーリ・トゥードのノウハウを吸収しているのだ。

――まあそうですね。それで、ゴールドバーグもボブさんと同じようにプロフットボールの世界からプロレスラーに転向した選手なんですけど、フットボール時代に何か接点はあったんですか？

サップ　ゴールドバーグがフットボールをやってた頃はオレは大学に通ってたんで、よく知らないんだ。WCWに入ってからチョコチョコ会ったぐらいだな。7ヶ月ぐらい前に話したのが最後だったかな？　その時はゴールドバーグは入場の時のスモークの吸いすぎで、ちょっと身体の調子が悪いって言ってたよ（笑）。フォッホッホッホッ！

――何ごとも吸いすぎは良くないんですね（笑）。そのゴールドバーグは『PRIDE』参戦の噂も出てますけど、もし闘ったら勝つ自信はありますか？

サップ　そんなもん、ありまくりだよ！　まあゴールドバーグに、その気があるんだったら、『PRIDE』のリングだろうがK－1のリング

BSAPP

ゴールドバーグ？　ヤツにその気があるなら、いつだって闘ってやるよ！

だろうが闘ってやるよ。

――頼もしいですね。ボブさんは小さい頃からプロレスファンだったということですけど、それは本当なんでしょうか？

サップ　本当だ。オレのアイドルはハルク・ホーガンだったからな。

――NFL（アメフトのプロリーグ）時代にジェシー・ベンチュラ（元プロレスラーで現ミネソタ州知事）に「レスラーにならないか？」ってスカウトされたという話を聞いたことがあるんですが？

サップ　あぁ、それも本当だ。ベンチュラから「お前は身体もいいし、腕っぷしも強そうだからプロレスに向いてるんじゃないか？」って熱心に誘われたんだよ。

――NFLは何が原因で辞めちゃったんでしたっけ？

サップ　アキレス腱を切っちまったんだよ。もうなんともねえけどな。

――アキレスつながりということで日本のビーストこと藤田和之さんとボブさんの試合も見たいですね。

サップ　フジタ？　オレはいつだってかまわないぜ。どっちが本物のビーストか決めればいいだろ（ニヤリ）。ビーストは2人もいらねえよ。

――で、ですよね。WCW時代は何試合ぐらい闘ってるんですか？

サップ　たくさん試合をしたんで数なんて覚えちゃいねえよ。たぶん、46～47試合はしてるはずだよ。

――最近はK―1でも『PRIDE』でも素晴らしい試合が続いてますけど、プロレスラー時代のボブさんの試合を見た人は、みんな〝しょっぱい〟って言ってるんですよ。やっぱりプロレスっていうのは難しかったんですか？

サップ（急に目つきが厳しくなり）オレの試合が、しょっぱいだと？

――ボクは見たことないんですけど、そういう人が多いんですよ。

サップ　そうなのかぁ（デカイ肩を落として）。WCWでは、これからTVマッチにガンガン出られるっていう話が決まってたんだけど、直前になって潰れてしまったからな。

――それは残念でしたね。

サップ　まあ、そんな感じだったからオレのプロレスの試合を見たことのあるヤツっていうのは貴重な存在だぜ（笑）。確かに、当時はサム・グレコやタンク・アボットとかと手探りなプロレスをしてたんで、そう思われてもしょうがなかったかもしれないけどな（苦笑）。

――タンク・アボットとも闘ってるんですか？

サップ　何回か闘ってるよ。まあ、しょっぱいなんて言うヤツも、今のオレの試合を見たら評価も変わるはずだ。それがたとえプロレスの試合でもな（ニヤリ）。

――いまは試合内容だけでなく、試合前のコメントとか表情とかもいちいち素晴らしいですからね。

サップ　OH～センキュー！（嬉しそうに再び握手を求めてくるサップ。本人は無意識だが、当然痛い）。

――やっぱり、表情とかパフォーマンスはプロレスをやっていた経験が活きている部分は大きいんですか？

サップ　そうだな。プロレスから学ぶことはたくさんあったよ。キャラクター付けということもそうだしな。それに、そこで学んだことは『PRIDE』やK―1でも求められることだからプロレスをやってて良かったと思ってるよ。

――今後、プロレスの試合をする可能性もあるんですか？

サップ　もちろんだ。

――猪木さんとの関係で新日本に上がる可能性もあるというようなことを言ってたこともありましたけど。

サップ　今は『PRIDE』とK―1の試合に集中してるが、イノキさんから話があればプロレスルールの試合をしたいという気持ちもオレは持ってるんだ。

――それはぜひ実現して欲しいですね。ボブさんの意識の中では、今はバーリ・トゥーダーなんですか？　それともK―1ファイターなのかプロレスラーなのか、その辺は、どう思ってるんでしょうか。

サップ　う～ん、難しい質問だな。まあ、しいて言うなら、オレはボブ・サップだってことだ！　フオッホッホッホッホッ！（なぜか笑いが止まらないサップ）。

――まあ村田英雄さんみたいなもんですかね（笑）。

サップ　ムラタ？　そいつのことは、よく知らないが、自分はそういう区別はしてないよ。オレは全てにおいてマルチで闘えるファイターを目指している。そうだな、ユニバーサル・ファイターとでも呼んでくれよ。フオッホッホッホッ！

――ユニバーサル・ファイターですか！　ちょっと聞きづらいんですが、この間、『FRIDAY』に撮られちゃったのは、ご存知ですか？

サップ　知ってるよ。マッサージのヤツだろ？（笑）。

――そうですそうです（笑）。富山での中迫戦の直後に性感マッサージに行ってるところを撮られちゃいましたね（笑）。

サップ　昨日、今日と会うヤツ会うヤツ、みんなニヤニヤしながら、その話をしてくるんだよ（苦笑）。「あの時のマッサージの女はどうだったんだ？」とかな（笑）。オレは、まだそのマガジンを見てないんで、なんのことか、よく理解してないんだ。そのマガジンを持ってるなら見せてくれ！（サップが載った『FRIDAY』を手渡すと興味深そうにじっくり眺めて）OH～～～～～!!（と大きな声で叫び恥ずかしそうに頭を抱える）。

坂田亘がサップ退治に名乗り！

ボブ・サップ戦で田村のセコンドに付いていた坂田亘が6・27ゼロワン後楽園大会の試合後、兄貴分の田村の仇討ちとばかりにサップ退治に名乗り出た。地元・名古屋で開催される『PRIDE.22』で実現を目論んでいる坂田にサップ戦の可能性はあるか？　そして8・28国立競技場での「Dynamite!」に参戦予定のサップの相手は一体、誰になるのか？　この男から目を離すな！

BOBS

——そんな恥ずかしがることないですよ。試合で大暴れした直後に性感マッサージに行くなんて、さすが肉弾大魔人って言われてるだけありますよ！（笑）。

サップ　フオッホッホッホッ！　やっぱりオレのキャラ的には、そうじゃなきゃいけないだろ（笑）。

——全くその通りです！（笑）。

サップ　でもな、あれは違うんだよ！（必死に）。オレは試合で疲れてしまったんで普通のマッサージを受けに行ったつもりだったんだ。まさか〝抜き〟があるマッサージだとは知らなかったんだよ（苦笑）。

——ホントですかぁ？（笑）。

サップ　いやいや、本当だよ！　そういうサービスがいきなり始まったんで、オレは驚いて逃げて帰ってきたんだから！

——ボブさんも驚くぐらいのサービスだったんですね（笑）。

2m、171kg巨漢が大暴れの後に〝フゴフゴ〟
〝K-1乱闘男〟が反則負け直後にエステ美女ともう「一戦」

これが前号でも紹介したボブ・サップの「フライデー」（6月27日号）デビュー戦。エッチなサービスは受けていないと必死に弁解するサップだったが、暗黒大魔人らしく試合後恒例の行事としてもらいたいものだ。次の試合後も元気よくイキますかーッ！

BOB SAPP

オイオイ、やめてくれよ！オレはそっちの世界は興味ないぜ（笑）

サップ　だから違うって！（笑）。そこの女の子から日本語で説明されたんで、よくわからなかったんだけど、身振り手振りを見たら、これは、ちょっと違うマッサージだなと思って逃げたんだよ。

——別にボブさんは女嫌いってワケじゃないですよね？

サップ　オイオイ、やめてくれよ！　オレは、そっちの世界は興味はないぜ（笑）。オレは独身だし、街を歩いててカワイイ子を見かけたら声を掛けたりすることもあるし、それにマッサージしてくれた彼女もベリー・プリティだったよ（笑）。惜しいことをしたなぁ（悔しそうに）。

——まあ信じちゃいないですけど（笑）。

サップ　フオッホッホッホッ！　でもな、この時、写真を撮られたのをオレは気づいていたんだよ。それでカメラマンをギロッと睨んだら、すっかりおびえてたんだけどな。

——おびえさせても、写真が載っちゃったら意味ないですよ（笑）。

サップ　こっちもそういうマガジンのカメラマンだとは思わなかったからな（苦笑）。知ってたらフィルムを没収してたのに（残念そうに）。

——詰めが甘かったんですね（笑）。でも田村戦も、わずか11秒で終わってしまいましたし、ダメージは、それほどなかったとは思うんですけど、まさか試合後は……。

サップ　（さえぎるように）NO～～～～！（笑）。試合の後はヤキニクをたらふく食べて、そのままホテルに戻っておとなしく寝たよ。

——それじゃあダメですよ！（笑）。

サップ　オレのキャラ的には、行った方が良かったっていうのか？（笑）。

——もちろんです！（笑）。それで、まだまだ試合数は少ないですけど、サップさんが世界最強なんじゃないかっていう声も挙がってるんですが、それについてはどう思ってますか？

サップ　いや、まだまだだろ。まあでも、オレは最強って言われるに相応しいファイターになるために、これからも最善を尽くして練習を続けていくよ。

——今はまだまだですか。

サップ　やっぱり、現在のヘビー級のトップのノゲイラやジョシュ・バーネットはテクニック的にも素晴らしいものを持っているし、オレも尊敬してるからな。そういったファイターたちと練習したり闘っていくことで、自分も頂点に少しでも近づいていけると思っているよ。

——その辺は謙虚なんですね。

サップ　まあでも、オレが彼らに勝てるようになるのは、そんな遠い日じゃないさ。フオッホッホッホッ！

——そんなボブさんでも何か怖いものってあるんですか？

サップ　（小声でポツリと）クモ。

——アハハハハ！　さすがの暗黒大魔人でもクモは怖い？（笑）。

サップ　笑うんじゃねえ！　怖いもんは怖いんだ。あとはハチとかブスって人のことを刺しやがる虫も怖いしな（苦笑）。

——へぇ～、ボブさんにも意外な弱点があるもんなんですね。

サップ　オレは犬とかウサギとか動物が大好きなんだけど、同じ動物好きの中にも犬とか猫を何百匹も飼ってベッドで一緒に寝てるような気の狂ったようなヤツがいるだろ？　ああいう連中は理解に苦しむよ。変な意味で怖いよな（笑）。

——それは怖いですねぇ。

サップ　あとは『FRIDAY』のカメラマンだ！（笑）。

——今度は、もうちょっと、いいネタで『FRIDAY』に載るよう、活躍を期待してますよ！（笑）。

サップ　オッケー！（笑）。でもなんで、オレと一緒にいた女の子の顔にはモザイクが掛かってるんだ？

——ボブさんと違って素人ですしプライバシーもありますから（笑）。

サップ　そういうことか（笑）。でもオレにはプライバシーはないのか？

——ないかもしれません（笑）。どっちみち身体が大きすぎるんでコソコソできないじゃないですか？

サップ　フオッホッホッホッ！　自分の写真を見て、改めてオレはベリー・ベリー・ビッグな人間だなって思ったよ（笑）。

——その巨体を活かして、これからも、大暴れしてください！

【02年6月24日、都内某所にて収録】

ぼぶ・さっぷ■1973年9月22日、アメリカ出身。かつてはＮＦＬのプロ選手として活躍。その後、プロレスラーとなりＷＣＷで活躍を夢見るも団体崩壊。友人でもあるサム・グレコの紹介でＫ-１プロデューサー石井館長と出会い総合格闘家に転身。「PRIDE.20」での山本憲尚戦でプロデビューを果たした暗黒肉弾魔人。200センチ／160キロ

サップだって人間だもの

プロレス人生一直線
実録! 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

2002年版

女子プロレス崩壊 危機一髪

女子プロ界の"黒幕"ロッシー大激白!!

どうなる女子プロレス!?

この写真を見て、「誰? このプエルトリカンは?」とか思った失敬な人も多いだろう? 無理もない、これが5月にプロレスデビューしたアルシオン社長・ロッシー小川の10年以上前の姿なのだ。この頃デビューしてたら素晴らしいレスラーとして大成していたのではないだろうかとも思うが、まあそれは置いといて。ちなみに横の金髪はメドゥーサだ。「有望な若手がすぐ辞める」「マンネリ」「出てる選手がベテランばかり」「未来はない」などネガティブな声ばかりが聞こえてくる女子プロレス受難の時代をロッシーはいかに乗り切ろうとしているのか? 豊田真奈美vs伊藤薫の壮絶ケンカマッチが導火線となり、様々な怨念にも近い感情が一気に噴出し始めた感もある最近の女子プロレス界をロッシー小川が斬る!

アルシオン代表取締役

小川 宏

聞き手/吉田豪 構成/スモーノブ

designed by matsu [Two three]

――いきなりですが、ぶっちゃけた話、いまアルシオンの経営状態はどうなんですか？

小川　その話題から入りますか（笑）。まあ、良くはないんじゃないですかね。

――最近、「女子プロレス自体がかなり危ない」みたいな話はよく聞きますけど。

小川　女子プロ界全体で言ったら、こぢんまりしてきちゃったかな？

――ちょっと前までは、ＧＡＥＡが独り勝ちって言われてましたよね。

小川　別に勝ってないでしょ？　だってＧＡＥＡがそんなに大金つかんで潤ってるわけじゃないだろうし。ただ、ＧＡＥＡは企業の論理ですよ。他の団体と比べたらね。他の団体はみんなまずプロレスが好きで（笑）、それを職業としてやってるっていう。最初にプロレスがきて、次に職業がきてると思うんですね。ＧＡＥＡっていうのは、最初に会社というか組織があって、その組織がプロレスをやってるから全然違うんですよ、他の団体とは。あそこは外部参入みたいなもんだから。

――でも、好きでやってる人たちが、そんなに儲かってないっていうのは切ない話じゃないですか？

小川　う〜ん……。儲からない仕事でしょ、プロレスっていうのは（キッパリ）。

――ダハハハ！　そうなんですか（笑）。でも、確かによくファンが選手以外の人に対して「プロレスを食い物にしてる」だとか言いますけど、儲かってる人なんていないでしょう。

小川　いないでしょ？　だって雑誌で潤ってる人もいないでしょ？

――いないですねぇ。

小川　そういう意味では、かつては「プロレスは不況知らず」って言われたのが、いまはもう世の中の不況にリンクされちゃって、もがいちゃってるっていう感じでしょうね。

――小川さんの場合は全女の内情を見てるから、「あれと比べればまだまだ」みたいな思いはあるんじゃないですか？

小川　そういう意味では全然。まだ子供みたいなもんだね（笑）。背負ってるものとかが違うから。ウチは全然身動き取れる状況じゃないですか？　ＦＭＷの状況だとか、表沙汰になってるところなんかと比べるとね。

――小川さんは全女時代に、荒井（昌一）社長ともいろいろ接点がありましたよね？

小川　……それはちょっとナーバスな問題になっちゃうけどね。

――喋りづらい話だとは思いますが。

小川　……美化されちゃってるじゃない？　荒井さんの死が。

――確かにそうなんですよね。

小川　ホントは美化しちゃいけないんだよね。だって経営失敗したんだもん。そのことについては美化されちゃいけないんじゃない？

――冷たい言い方だけど、人は良くても経営者としては失格っていうことですもんね。

小川　ただ、大仁田厚と冬木が握手しちゃった姿を見て、荒井さんはショックだったんじゃないの？　「俺は冬木を選んだのに」って。でも、それもまたプロレスなのかもしれないし。プロレスの世界の中にいると、現実とプロレス的なものが、どっちがどっちだかわかんなくなっちゃうときがあるでしょ？

――本当の揉めごとなんて存在しないような気がしますもんね。

小川　たぶん、どこの団体もいっぱい揉めごとはあると思うんですよ。

――ただ、そんな確執もプラスにして、後にプロレスへ取り込んでいったりするし。

小川　みんなプラス思考なんですよ、プロレス界の人って。普通だったらさ、揉めたら二度と取引しないけど……みんな優しいんだよね。そういう意味では、社会人として許されない（笑）。

――自分が辞めた団体とビジネスするっていうのも凄いですよね。アルシオンと全女にしても、かつて小川さんが内部告発した団体と、平気で「またやろう」みたいな展開になってるなんて、普通はあり得ない話じゃないですか。

小川　こうやってまた全女と関わるようになって、全女の良さも悪さも知ってるから……。たまに会場行くと、選手から「こうでこうで」みたいな話を聞いたりするわけですよ。

――また生々しい話を（笑）。

小川　うん、あとスタッフからもね。「それは、みんながそこ（＝全女）を選んだんじゃないの？」ってとこだから。そうやって聞く立場だからね……。助言もできないよ。

――小川さんが堀田（祐美子）さんと絡むっていうのもね、正直、想像もつかなかった流れでしたよ。

小川　うん、想像つかなかった。

――ダハハハ！　本人でも（笑）。

小川　だから、堀田も含めて全女も懐が深くなった。そういうものも受け入れちゃうんだもん。

――小川さんが全女を退団したときに書いた『女子プロレス崩壊危機一髪』は、ホント面白かったですもんね。

小川　面白いかなぁ？

――特に堀田さん絡みのエゲツない描写とか（笑）。

小川　これはね、全部真実だから。でも、もっと生々しいことがあったと思うな。結構売れたんですよ、これ。

――でしょうね。いまになって、またクローズアップされてますけど（笑）。これに書いてある全女が倒産する直前の話とか、凄いですもんね。

小川　あれはホントにね、荒井さんの本の描写以上のものだと思う。

――全女の広報で、『レディゴン』でライターをしていた田中（正明）さんも、お金を借りに走り回ったこととか告白してましたよね。

小川　でも、俺は金策はしてないよ。松永会長1人。別にお金のことのブレーンがいたから。俺、いま松永会長と会うじゃないですか。そうするとやっぱりね、お金の話ばっかり、お互い。あの人もなんでも喋っちゃう人だから（笑）。全女に対しては、構えなくっていいかな。腹に一物持ってことはないから、お互いに。でも、全女は全女、アルシオンはアルシオンで、なんかそこに夢なり希望なりがあるから、みんなやってるんでしょうからね。

――小川さんが全女を辞めるときって、何に対する不満が一番だったんですか？

小川　俺が辞めるときの……不満っていうか、二世が会社の中にどんどん入って来るでしょ？

――ファミリー企業ですからね。

小川　その中で我々っていうのは、どこまでいっても外様だから。俺は19年8ヶ月いたんですけどね、外様なんですよ。自分でも外様になるようにしちゃってたし。でも最初は全女が倒産するか、松永会長が亡くなるまでは、全女を動くつもりなかったんですけどね。ただ、仕事的にそういう状況ではなくなってしまって。

――そして98年2月にアルシオンを旗揚げするわけですけど。

小川　やっぱり身銭を切ってやったら、プロレス観が変わりますよ。

――プロレス観、変わりました？

小川　変わりましたよ。すべてが大事になってくるんじゃないのかな？　一つ一つのことが。だって、すべてお金がかかってるわけだから。それを身に染みて感じますよ。

――簡単に他団体を批判しにくくなるとか、あるだろうなとは思いますけどね。

小川　う〜ん……痛みがわかるよ

プロレス人生一直線
実録！豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

身銭を切ってやったら プロレス観が変わりますよ お金がかかってるわけだから

ね、痛みが。アルシオン始めて、やっぱり痛みが……痛、痛、痛……。

——ダハハハ！　痛いですか（笑）。

小川　凄く痛んでるから。全女のときはあんまり自分自身は痛んでなかった。でも、俺はやってよかったと思う。やらないと、やっぱり責任感ないんですよ。俺はハッキリ言って無責任人間だったから（笑）。

——アルシオンって、始めるときのコンセプトと、いざやってみた後の出来の違いが大きかったんじゃないかなと思うんですけど。

小川　大きかったですよ。だって最初は従来の形の中で、いかに流血や反則というものを使わないでやるかってことがテーマだったから。その当時はスポーツライクなスタイルに傾倒してたんですよ。

——ボクが見てて思ったのは、田中稔スタイルみたいな団体にしようとしてるのかなって。

小川　新日本ジュニアですよね。ただ当時、パンクラスとかと付き合いがあったり、いろんな影響を受けてましたね。それはそれで最初のインパクトはあったと思うんですよ。従来のどの団体とも違うもの、つまり空家をやってるから。でもやっぱり、それって凄くコアな世界だったんですよね。それで飯が食えればいいんだけども、そうじゃないってところに気がつくわけですよ。自分がやっていきたいものはコアな世界じゃないんだなって。だから、2年目から方向転換しなきゃいけなかった。

——アルシオンが標榜していたビジュアル重視路線は凄く良かったと思うんですけど。旗揚げ当初は、各団体からビジュアルのいい選手を集めてきて話題になりましたよね。

小川　やっぱり商売に直結する選手を集めなきゃいけないっていうのがあったし、もう一つはまだ上り詰めてない子もターゲットだった。上り詰めちゃった子を加工していくのは、なかなか厳しいんですよ。自分のポジションがあるから。そうじゃなくて、まだまだ未成熟な、発展途上の人を集めて。そういう子たちも、商売に直結するんですよ。グッズだったり、観客動員だったり。だから、強い団体じゃなくって、強くなりたい団体っていう……表向きに言うとね（笑）。

——見ててちょっと引っ掛かったのは、そこにアジャさんが入ってることでイレギュラーを起こしたんじゃないかなっていう。

小川　それはよく言われましたね。「アジャいらないんじゃない？」って。

——強さの面でもそうですよね。地方興行とかではお客さんを呼ぶには必要なんだろうとは思いましたけど。

小川　だから、そういう意味では、アジャは「お客さんを呼べる選手」ではないんだよね。「お客さんが知ってる選手」っていうだけで。いろいろ迷走しましたよ。いまでもしてますけど（笑）。ただ、だんだん初期のコンセプトからはズレてきたのかなぁ。ビジュアル系のレスラーいなくなっちゃったもん。

——どんどん抜けましたね、ビジュアルの良さそうな人たちが（笑）。

小川　そう……アジャが抜けたとか、浜田文子が抜けたとか、アルシオンはイメージ的にどうなっちゃうんだろうっていう瀬戸際まで来てるんだけど、なぜか持ち返しちゃうパワーがあってね。

——ハイパービジュアルファイティングのリングに小川さんが上がるとは、誰も思ってなかったですよ（笑）。

小川　ねぇ？　でも実は、「浜田文子がいなくなったし、アルシオンは終わりだろう」と誰もが思ってたと思う。

——ぶっちゃけた話、こないだのビッグマッチが入らなかったら終わりだとかって噂が業界内で流れてたみたいですからね。

小川　マスコミの人とかに、大会が終わってから言われたよ（笑）。だけど、その都度力が出ちゃうんですよ。まさか自分がその力の一端を担うとは思ってなかったけど。そういうパワーはあるんですよ。いままで4年5ヶ月やってきて、常に山あり谷ありで、落ちそうなんだけど落ちないの。だから、俺がとどめ刺されなければアルシオンは終わらないよ（笑）。俺はそう思ってる。っていうか、アルシオンが潰れそうだったら、他はもう潰れてるって感じだよね、他の女子の団体は。

——規模で言えばもっと小さいJWPとか。

小川　あれ団体じゃないから（キッパリ）。JWPというイベントにみんなが集まって来てるだけでしょ？

——選手を抱えてないですもんね。

小川　いまね、抱えてない団体が実は女子団体の過半数を超えてしまったでしょ。出場したらギャラいくら、みたいな世界で、要するにフリーと一緒だよね。

——抱えるリスクが大きいから、どんどんそうなっていくのはわかるんですけどね。

小川　それは、看板を維持するための策でしょ？　でも、それだったら俺はやりたくない。その考え方はもう古いのかもしれないけど。やっぱり束縛したいじゃん！　束縛しないと選手の価値がなくなっちゃうもん。

——それが松永イズムなんですかね。

小川　「お前は俺の真似ばっかりするな」ってよく言われるんですよ、会長に。でも、そうしないとやってる価値ないかなって思う。全女の内部事情は別としてね、自分の中でメジャー意識があるんですよ。何をもってメジャーっていうかわかんないけどね。アルシオンは決してメジャーじゃないけど、メジャー意識だけはあるんです。自分の中にメジャー

5月11日、アルシオン有明コロシアム大会でロッシー小川が遂にリングに上がって試合をした！　あの暴露本をネタにして試合を煽るのも驚きなら、流血の末にロッシーがスクールボーイで勝利を奪ってしまうのはさらに驚き！　アルシオンが、エンターテイメント化の扉を力強く開け放った瞬間だ。

これがロッシーの女子プロ暴露本だ！

ロッシー小川は今まで3冊の著書をリリースしているが、「全女がイチバーン！」「やっぱり全女がイチバーン！」（ともにベースボールマガジン社）は対抗戦時代や全女ドーム大会で業界自体が勢いに乗った頃のエピソード集。対する「女子プロレス崩壊危機一髪」（ぶんか社）は、頂点を極めた全女が階段を転がり落ちて倒産を迎えるまでのドキュメント。ストライキの音頭を取って決行するも一向に首脳陣と話し合わない堀田が、見かねて堀田の代わりに直訴しに行った村山大値レフェリーを裏切るあたりの描写、最高ー

意識の基準っていうのがあるから、それから落っこちたくないんで、だから必死になってやるしかない。

――自分がリングに上がってでも、やるしかない、と。でも、小川さんの試合は面白かったですよ。ボクは『生GON』（サムライTV！）で見ただけですけど、凄まじい顔してましたもんね（笑）。

小川 流血すると恥ずかしくなくなっちゃうんですよ、顔が隠れちゃうから。ホントね、緊張してる。気ぃ抜いたら怪我するなっていうか、やってるときは常にそういう思いがあるんですよ。ふとした瞬間に、我に返っちゃいけないんですよ。怪我するもん。堀田なんか、俺の頭を3回椅子で殴ってきたんですよ！ 俺なんか首鍛えてるわけじゃないから、一歩間違ったら大怪我するじゃないですか！ それでもやっちゃうんだからね、その神経も凄いなと思うけど。ああいう場になっちゃうと、やらなきゃいけない自分がいるわけでしょ？ 「もうこれは勘弁してくれ」と思いながら、終わったときはホッとした。

――「小川ごと刈れ」も決まって（笑）。

小川 あれはダメだね（笑）。

――橋本さんも、「オレの許可なく使うな！」って言ってましたけどね（笑）。あの試合って、小川さんが自分で「やりたい」って言ったんじゃないんですか？

小川 それはない。乗せられちゃったんだもん。全女が悪い（キッパリ）。

――あ、全女が悪い（笑）。

小川 やらざるを得なくなっちゃった。ホントは有明大会に堀田って名前なかったんだよね、最初考えたときに。でも、なんか知らないけど堀田がどんどん絡みだして、新聞が煽ったり、雑誌が煽ったりするうちに、こんなことになっちゃった。

初期のコンセプトからズレてきたかな？ ビジュアル系レスラー、いなくなったもん

プロレス人生一直線 実録！ 豪傑一代記 紙のプロレス スーパースター列伝

アルシオンは各団体のアイドル選手やアイドル候補生をヘッドハンティングして、「ビジュアルファイター」として売り出した。しかし、キャンディーは引退、府川は結婚、浜田は離脱、藤田と玉田はビジュアル系を脱線……残ったのは大向だけ。今後はビジュアルの再強化を期待したいところだ。ちなみに府川引退の頃、アルシオンは府川を店長にして恵比寿でカフェを経営するプランも立てていたという。修斗とアルシオン、同じ方向を見ていたというのが興味深いちょっといい話。

――いちいちシュートな確執のあるエンターテインメントですよねぇ（笑）。

小川 で、全女サイドが「これ、やるしかないでしょ？」っていうようなこともあったんだけど、。「いや、俺はやらないよ」って言って。でも今度は、俺がやらなかったら堀田も出ないみたいになっちゃって（笑）。

――長州vs橋本とかリアルな確執のある2人だとなかなか試合として成立しない中で、よく試合が成立しましたよね。

小川 懐が深かったんじゃないですか、お互いに（笑）。

――ダハハハ！ お互いに。

小川 堀田を見直したよね。懐深かった。あの能天気なところがいいのかな。こだわりのないところが。

――自分から暴露本ネタに煽ったっていうのが、また凄いですよ！ それをきっかけに、いま暴露本読んだ人がどう思うかっていうのを考えれば、裏目に出るのは堀田さんの方ですからねえ（笑）。

小川 でも、堀田はプロレスラーだよ。自分でそういうものをちゃんと見つけたんだから。見つけらんない人がほとんどなのに。

――自分からアングルを作ることが出来る選手は少ないですよね。

小川 普通の選手は抵抗があったりとか、プライドがあったりとかするわけですよ。その中で、そこを突破したわけだから。それはいいんだけど、ただ全女自体、そういうストーリーがない団体でしょ？ リアルなものしかない団体だから。

――リアルな確執なら、山ほどあるんですけどね（笑）。

小川 うん。だから……どうなのかな？ もっと煮込んだ方がいいですよ、全女は。

――後日の報道とか見ても、あの大会では小川さんの扱いが一番大きかったですね。

小川 うん。そりゃ俺が社長だからですよ。

――なるほど（笑）。選手としては複雑でしょうけど、まぁ、そういうものですからね。

小川 だって、そこで一番面白かったり、インパクト残した者が、お客さんにとって語る材料なわけだから。だってお客さんは、試合を見た後に語りたいわけでしょ？ 「ああだった、こうだった、つまんない、面白い」とか。その語る材料としてはよかったんじゃないの？ だってクソ真面目になったところでさ、なんにも残んない試合なんていっぱいあるじゃないですか。

――小川さんが試合に出たことで、アルシオンはよりエンターテインメントな方向に向かって行くわけですかね？

小川 結局ね、エンターテインメントっていっても、やっぱり上を見たらWWEというものがあって、あれと同じ規模のことをやるっていうのは絶対的に無理なわけじゃないですか。でも、俺はあれ好きですよ。面白いもん。

――乱入とか反則とか、アルシオンが否定しようとしたものの宝庫なんですよね（笑）。

小川 だから、あれは一つのとてつもなく大きな作品なわけだから、我々がそれをやろうと思ってもできないじゃないですか。だから、ウチは中途半端に真ん中にいるんですよ、いま。エンターテインメントのプロレスと格闘技の真ん中に。

――その真ん中だったのが、小川さ

マスカラスを通して見るロッシー三変化

んが試合に出たことによってエンターテインメント方面にズレ出したのかなって気がしますけど。

小川 それはアリかなと思ってます。だから、やるんだったらデッカくやりたいんですよ。板橋産文ホールとかでそんなことやりたくない。それがロッシー小川じゃなくてもね、誰が出るにしても。スキルがある程度ない人間がやってもダメかなって思うし。

――ちなみに、ミスター高橋さんが暴露本を出したりしてる状況に対してはどう思いますか?

小川 う〜ん……現役中にあれを書いてくれよって思うよね。だって辞めてから「昔はこうでした」とか言われても、困るよね。リアリティーがない。確かに面白いんだけど、卑怯だなっていうか。俺がいまのこと書けるかっていっても書けないわけでしょ? 俺はプロレスを肯定していかなきゃいけない立場の人間だから。

――あれによって、ファンの見方も徐々に変わってきたりはすると思います? 実際、新日はかなりのダメージを受けて、お客さんが目に見えて減ってきてるみたいですけど。

小川 どうなんだろうねぇ? でも、そういうものを超えたものでしょ、プロレスは。

――「超えたもの」という見方ができるファンは一部というか、成熟したファンだけですよね。

小川 だけど、いまのノリで来てるファンってそこまでの情報見てないんじゃないの?

――それが10万部ぐらい売れちゃったことで、その層にどういう影響を与えるのかってことなんですよ。

小川 10万部じゃそんなに影響ないでしょ……あるかなぁ? それがね、じゃあミスター高橋さんの言ってることが事実でね、試合前にそういう告知がお客さんにあったんだったらね、こりゃ問題だと思うんだけど(笑)。勝敗だけで語ってる人なんか、誰もいないでしょ? だってプロレスだけだもんね、ビデオで見たいのは。

――昔から、プロレスは勝敗を超えたところに価値があるっていう部分がありますよね。

小川 だってプロレスは試合の内容を見たいんだから。

――内容プラス、リアルな人間関係とかですよね。

小川 他のスポーツはみんなTVも生放送でしょ?

――ビデオで見るもんじゃないですからね。

小川 別に内容なんかいいんだもん、応援してる方が勝てばいいんだから。でもプロレスにもそういう部分がないと、お客さんは引っ張れないでしょ。勝ち負けがどうのこうのって試合もないと、誰も見たいと思わないし、会場にも集まらないと思う。ただ試合が面白ければいいっていったらちょっと違うかな? それは当たり前なんですよ、試合が面白いっていうのは大前提で、やっぱり勝敗への興味がないと。

――WWEを見てると、圧倒的なスターが負ける場合には乱入や反則ぐらいだから、選手のイメージを守るのが上手いと思いますよね。

小川 やっぱり選手を独占してやってるから、レスラーを使いたい放題でしょ。だからあれができるんじゃない? 主役グループは常に一緒かもしれないけど、でも次から次へとスターが出てくる。それと比べたら、やっぱり日本のプロレスはマンネリしてますよ。だってメンツがいつも一緒だから。ウチは1年に1回ぐらい誰か抜けてくれることによって、長い目で見ればマンネリを回避してるんですよ(笑)。俺はプロレス団体をやってる限りは、人が抜けたり入ってきたりっていうのは常にあると思ってるから。

――ただ、女子プロ界は入ってくる人が圧倒的に少なくなってきてるじ

(上)詳しい日付は不明だが、まだ全女に入社したばかりのロッシー小川。細い! かろうじて日本人であることはわかる。(中)ロッシーの脂の乗り切った表情から全女の全盛期ではなかろうか?と思われる。カリブ海の香りを漂わせる無国籍なロッシー小川。存在感でマスカラスを圧倒している!(下)ロッシー、少しヤツれた? ごく最近の写真。今度はマスカラスの輝きが眩しい。

——そんな
ですよ。試合
性感マッサ
すが肉弾大
けありますよ
サップ　フオ
っぱりオレの
ゃなきゃいけ
——全くその
サップ　で
よ！（必死に
てしまったん
受けに行った
さか〝抜き〟
は知らなかっ
——ホントで
サップ　いや
ういうサービ
んで、オレは
きたんだから
——ボブさん
ビスだったん

K-1乱闘男が

これが前号でも紹介
（6月27日号）デビ
いないと必死に弁解
らしく試合後恒例の
の試合後も元気よく

やないですか。女子格闘技団体も出来て、そっちにも人が流れてますからね。

小川　でもさあ、女子格闘技の子がプロレスやってもいいんじゃないの？　マァ☆ティンとかさ（笑）。宇野薫がプロレスをやったんだから、次はマァ☆ティンがやるべきだよ！　俺は全日本に宇野薫が出たの見て、「あ、これをマァ☆ティンがやったらどうかな？」って思っちゃったもん。ウチに上がったら面白くなるよ。

——マァ☆ティンに限って言えば、果たしてプロレスができるのかっていう不安はありますけど（笑）。

小川　できる、できる！　格闘技の素養があって、センスがあればいいだけだから。マァ☆ティンを中西百重と対戦させたら面白いかなと思って。

——ああ、それはスイングしそうですよね！

小川　相手は絶対上手い選手じゃないとダメですよ、タッグでもなんでも。でも、俺そういうのやりたいなぁ……。いま、プロレスのいろんな情報を見ながら何が面白いのかなって考えるんですよ。その中にそれがある。

——女子格闘技はご覧になってます？

小川　ＳＡＭＵＲＡＩ！でチョコッと。だって、やったところで先がないじゃないですか。

——地上波が付くだのなんだのって噂だけはあるんですけどね（笑）。

小川　付かないでしょ（キッパリ）。あれをやってて先に何があるの？　いや、やるのはいいんですよ。やらせときゃいいんだから。もっと高いステージにはプロレスがあるんですよ。プロレスの方が光れると思う。

——底辺的なものは、格闘技の方が広がってきてると思いますけどね。その中には「将来的に格闘技経験を活かしてプロレスやりたい」っていうようになればいいんですけど。

小川　じゃあ、プロレス団体は頑張らないとね。

——小川さんは全女時代から結構格闘技的な試合をやろうとしてたじゃないですか？　女子格闘技で武道館大会までやった男としては、女子格闘技団体を見て「やられたな」って思いとかはなかったですか？

小川　……実は俺の中でね、格闘技に限らず、ジェラシーが凄いんですよ。女子団体にしても、男子団体にしても。

——男子にもですか！

小川　常にジェラシー持ってるから、女子プロ団体の人間の中では情報を一番チェックしてると思うんだよね。だって毎日新聞見て、どこの団体は誰と誰がやって、お客さんは何人入って……って頭に入れて。記事読みながら、『生ＧＯＮ』見ながら、「こういうことやってんのか、あいうことやってんのか」って常に入れてますよ。なぜかというと、ファンの人の方が絶対的な情報量は多いから、それを越えるものを作んなきゃいけないじゃないですか。よく「ファンのためにやる」とかって言うけど、ファンのためにやらなくていいんですよ。だってファンの想像力を超えてなかったら、作り手側としては面白くないじゃないですか。自分の思う通りになったらファンもつまんないでしょ？　「あっ、こう来たか！」とか驚かせるくらいじゃないと。

——いま、どのへんの団体にジェラシーを感じたりしますか？

小川　全部に感じますよ。たとえばＪＷＰ見に行けば、１００人しか入ってなくても、「どうして１００人がここに来てんのかな？」とか思うし。……さっきからＪＷＰのことばっか言ってるけど（笑）。

——男子だと、いまＺＥＲＯ—ＯＮＥが一番わけのわからない勢いがありますよね。

小川　あの吸引力は凄いんじゃないかな？　ないない尽くしの状態から始まったような団体だから。あとは、大きな力を持ってる団体といっても、全日本、新日本、ノア、あとＺＥＲＯ—ＯＮＥくらいでしょ？　女子団体は、もう都落ちしちゃってる。ＧＡＥＡですら、その規模ではない。昨日もね、知り合いと話してて、「あと何年したら女子プロ界の図式変わるかね？」って聞いたら「あと10年経たないと、いまの一線はいなくならない」って言ってましたよ。５年じゃなくて、10年かかるんですよ。

——10年経っても、みんなやってそうな気がしますけどね（笑）。

小川　いやぁ、10年はさすがにできないでしょ？

——10年経っても、引退してるのはデビルさんぐらいかもしれないですよ（笑）。

小川　……いや、だって10年経ったら長与千種は48歳ですよ？

——現役やってそうだなぁ（笑）。

小川　じゃあ10年経っても変わんないじゃん（笑）。そういう意味では絶望的でしょ？　10年しないとメンツが変わらない状況って。

——25歳定年制がなくなったことがこんなに大きく響くなんて思いもしませんでしたね。

小川　体に優しいプロレスをやってりゃいいんだからね。

——ＧＡＥＡは、新人がイキイキと闘う団体だったはずなんですけどねえ……。

小川　いまや、ベテランが異常に住みやすい団体になってしまったっていうね。でも難しいですよ、新人を育てていくのは。やっぱり希望者がこれだけ少ない中で、従来のやり方をしてたら残らないと思うんです。っていうのは、いま女子プロ界に夢がないから、そこまで耐えてやるほどのものがないんですよ。だって、下の人は上を見て育つわけだから、「トップでこんなもんか」って思ったらおしまいでしょ？　それには、ある程度夢を与えなきゃいけないから。そうすると、ただ封建的な縦の関係だけじゃ成り立たないと思うんだよね。ＧＡＥＡとか全女はいまだにそういう部分があるから。

——昔みたいにクラッシュギャルズとか、そういう明確な成功例があれば憧れて集まるんでしょうけどね。

小川　どうなっちゃうのかね、女子プロ界は。

——10年周期でスターが出るはずだったんですけど。

小川　もう出ないですよ、恐らく（キッパリ）。ビッグスターは出ない。

——「女子プロじゃ儲かんないだろうな」ってことは、篠社長も言ってましたけど。

小川　でも、篠さんはこの世界にいろんなものを持ってきたけど、やっぱり受け入れられなかったよね。

——ブリザードＹＵＫＩ（長谷川咲恵が扮したマンガのキャラクター）とかも篠さんが持ち込んだものなんですよね？

小川　それだって内部の反発があったでしょ？　でもなんか……俺は古い考えかもしれないけど、こういうスタイルを維持していかなきゃいけないのかなって。松永会長から比べたら、まだ借金も子供みたいなもん

ロッシー写真館

カメラ脳でも確かなロッシーは記念撮影も大好き！　テリー・ファンクとの思い出深いツーショット写真。どっちも若い！

まだ髪の毛のあるジェラルド・ゴルドー（！）と、ソウルフルな髪型のロッシー小川。じつに濃厚なツーショットだ！

マット界全体に目を配るロッシーならではのツーショット。ヒクソン・グレイシーとだってツーショットにおさまる。

プロレス人生一直線
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

いま、吉田万里子は全女で最高に嫌われている。痛いから!!

でしょ。

——個人では全然借金してないんですか？

小川　個人は家のローンだけ。ウチは銀行からも借り入れしてないし、街金と言われるものからも借り入れしてないし。借り入れってものがほとんどないんですよ。初期に国民金融公庫にあっただけで、それも残債もだいぶ減ってるし。あとは税金を滞納してるくらいのもんで。

——ああ、それは基本ですね（笑）。

小川　基本、基本（キッパリ）。

——ターザンからウチの編集者まで、そういう人は多いですよ（笑）。

小川　俺の借金は●千万ぐらいかな？　まだまだ全然大丈夫でしょ？　ただ呑気にはしてられないから、どんどん手を打たなきゃいけないけど、いまはちょっとエアポケットかなっていう段階ですね。

——女子プロ界に、この先そんなに明るい未来が見えないのがちょっと怖いんですけどね。

小川　欲望を持たなければ未来はあるんじゃない？　可能性はどこもあるんですよ。ただ、そのためには高いステージを常に自分たちで望んで行かないと。現実的なことばっかり考えてもつまんないでしょ？　プロレス的な面白いことを自分の中で考えていかないと、やってらんないですよ。

——次に小川さんがどんな試合するとか。

小川　う〜ん……そうじゃないものを（笑）。でもね、女子プロの世界を見てると何もやってないんだよね、男子の団体から見ると。実はやってないことがいっぱいあるんですよ。だから、まだまだ芽はあるから。もっと全女なんかはストーリーを作った方がいいんじゃないかな？　だってリアルなものばかりなんだもん。

——ずっとリアルな対立を相当見てきたわけですよね。

小川　そうだねぇ。ただやっぱり会社がいい状況のときは、どんな対立でもそれが好転するんですよ。会社の状況が悪くなるとグジャグジャになってくるから。今度の豊田対伊藤（7月6日・大田区体育館）なんていうのも、ある意味楽しみだけどね。どうなっちゃうのかなって。マジでお互いに顔も見たくない関係でしょ？　これは試合後どうなるか必見ですよ！　今回の対立は生々しすぎる、ホント（キッパリ）。俺も注目してるんですよ。

——今後、全女とアルシオンが抗争していく中で、個人的には貴子さんと吉田万里子さんの絡みもちょっと期待してるんですけどね。

小川　ああ、なるほど。これもホントの因縁だからね（笑）。

——貴子さんは吉田万里子さんの人間性を全面否定するぐらいの勢いでしたからね（笑）。

小川　やっぱり時が経ちすぎちゃうと、怒りの炎も消えてっちゃうのかな？　井上貴子がウチでやりたかったら、昔のワガママぶりを持ってきてもらいたいね。そういう対立概念がないと。いま、吉田万里子は最高に嫌われてますよ、全女には。「やりたくない」「ふざけるな」って言われてる。

——原因はどのへんなんですか？

小川　痛いから（キッパリ）。

——ダハハハ！　痛いからですか！

小川　痛いからって表現おかしいな（笑）。ある意味、一線を超えてやっちゃうから、みんな「ふざけるな！」って言ってるよ。吉田万里子は何も考えずにそういうことやっちゃうからね。豊田真奈美や堀田もカチンときてるぐらいだから。

——そういうの聞くと、ワクワクしてきます（笑）。

小川　だから、吉田みたいな人間がいきなり神取とやったら面白いかもしれない。神取の存在を否定しちゃうかもしんないもんね。

——ギラギラした悪意もなくそういうタチの悪いことするっていうのが、一番面白いかもしれないですね（笑）。

小川　そうそう（笑）。だって、アルシオンの中でも評判悪いんだもん（キッパリ）。

——ダハハハ！　でも、プロレスにそういうのは絶対必要ですよ！　これで吉田万里子幻想が膨らみましたから！　実際は凄く大人しくて自己主張のない人じゃないですか。その彼女に、アルシオンで「強さ」というキャラを与えたのにもビックリしましたけどね。

小川　あれは自分が望んだんだよ、そういうキャラを。

——貴子さんに対して、何の悪意なくタチの悪い強さをアピールして欲しいですね（笑）。

小川　俺は誰よりも吉田万里子が

（上）心なしかロッシーの笑顔はひきつり、豊田の目の奥には鋭い光が感じられるのは、すべて吉田万里子のせいなのだろう。（下）クラッシュ・ギャルズのマネージャーとして、狂乱の時代を共に駆け抜けたロッシー小川。長与千種とは、いずれどこかで遭遇するのだろうか？

プロレス人生一直線
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

可能性はどこにもある!!
そのためには高いステージを
常に自分たちで望むこと!!

全女イズムじゃないかとも思ってるんですけど（笑）。だから全女にも出せないし、オファーも来ない。あいつのことを知らない人は使うと思うけどね、知ってる人は使わないと思う。でも、本人は一番全女の試合に出たいんだよ。

――それも吞気ですねぇ（笑）。

小川　でも、そういうものもあって面白いんだよね、プロレスは。みんなが全部手を取り合ってやっちゃうプロレスじゃ、面白くないよ。

――一歩踏み越えるぐらいのプロレスをして欲しいっていうのはありますからね。小川さんがいままで見てきた中で、人間関係がそのままリング上に現れた殺伐とした試合ってどんなのがありました？

小川　う～ん……今回の豊田対伊藤には敵わないと思うな。

――団体対抗戦時代は何が面白かったかというと、団体交流戦じゃなかったからですよね。明らかに対抗してましたから。

小川　うん、潰すか潰されるか。俺は「潰せ！」って、先頭に立って選手にハッパかけてたもんなぁ。

――そりゃ面白くなるに決まってますよ（笑）。

小川　これはいまでも言われるけど、駒沢で風間ルミ対北斗晶の髪切りマッチをやったとき、その前に4試合ぐらいあったんですよ。アジャ対半田美希とか、井上京子対二上美紀子（現・GAMI）とか……。

――ああ、ありましたね！　秒殺ラッシュ！

小川　そう、ほとんどの試合が秒殺。あれなんか典型的な「やれ！」って試合でしょ？　やられた方は悔しかったみたい。風間さん、悔しくってその日泣いたらしいからね。あれはこっちが仕掛けたんです、全員秒殺をね。力関係が強いから、そうなっちゃうでしょ？

――そうだったんですか！　あれって技から何から、ホントに屈辱的な試合でしたもんね。

小川　「こいつらなんかに負けるわけねぇよ」とか、「やっちゃうよ」っていうのが全女の中であったから。それはプロレス内の出来事なんだけど、そこまでしちゃうんですよ。「受けられない方が悪いんだよ」って。それが全女イズムだよなぁ。アルシオンだとそういう試合はないから。強いて言えばアジャ・コングが離脱したとこぐらいかな？　……ふ～（と重いタメ息）。なんかもっと面白い話をしましょうよ！

――少し話題が重いですか（笑）。じゃあ、小川さん自身が将来どうなってるか、思い描いてたりします？　「目指せ、ビンス・マクマホン」みたいな。

小川　ないですよ、そんなの（笑）。俺はタレントになれないもん。

――でも、プロレス団体のフロントとして小川さんほどキャラ立ってる人は少ないですよね。ビジュアル的にもインパクトあるじゃないですか。

小川　悪そうで？

――ええ。無国籍な感じが（笑）。

小川　全女の会場でも、ウチの会場でも、最近ね、俺がなんかちょっとやるだけで凄いんですよ、ブーイングというか、怒声が。やっぱり、お客さんは権力のある人を一番恨みたくなるわけじゃないですか。ただ、俺はまだまだプアーですから。ビンスぐらいリッチだったら、言ってることも説得力あるんだろうけど。俺はいまドロ沼から這い上がってるところですね（笑）。どうなんでしょうね、アルシオンをどう思います？

――いや、アルシオン以前に女子プロっていうジャンル自体が崖っ淵だなって印象があるんですよね、正直な話。女子プロは、さっきみたいな内情をある程度出しちゃった方が、見る側も面白くなると思いますけどね。ズバリ言って、いまのアルシオンとは何なんでしょう？

小川　……う～ん、何だろうねぇ？

――そこで悩まないで下さい（笑）。

小川　大向ゼネラルマネージャーとロッシー小川社長の対立じゃないですか？　あと、そこに絡んで外人勢が出てきたりとか。

――ゼネラル・マネージャー対悪の社長。中間って言いながら、思いっ切りエンターテインメント化してるじゃないですか（笑）。

小川　そうかなあ（笑）。だけど、最近の大向美智子はいいと思いますよ。ビジュアル的にも良くなってきたと思いますよ。

――最近の試合写真見てビックリしましたよ。「うわっ、全然違う！」って。

小川　今後、そういう選手を1人ずつ作っていきたいなあって。

ろっしー・おがわ■本名・小川宏。1957年5月1日、千葉県千葉市出身。新日本初期の映像を見ると、カメラ片手にロッシーがリングサイドにへばりついているのが確認できる。78年、東京写真専門学校卒業。在学中から全日本女子プロレスで働き、最終的には取締役企画広報部長として辣腕を振るう。97年、全女を退社。98年アルシオン設立。仕事は女子プロレス、趣味はルチャリブレ。右は親戚（ウソ）のエンヘンドロさん。

――小川さん的にはビジュアル重視の団体を率いる社長として、選手にある程度の強制はしないんですか？　「日焼けはするな」とか。

小川　しないですよ。

――その髪型は勘弁してくれとか（笑）。

小川　藤田（愛）とかは……たまにね（笑）。

――最初のキャラのままだったら、もっと人気が出たのに……とか思いませんか？

小川　もう、外れちゃったね（笑）。藤田のあのスタイルにファンが付いていけないもん。どっかでプロレスファンって、やっぱりまだウブなところがあるから、清純なものを求めてるんじゃないかな？（笑）。

――ビジュアル面の革命は、今後期待したいですよ。女子プロはこのままじゃダメですよ、ホントに！

小川　ダメだと思う。オレも凄くわかってる。

――フジテレビの『めちゃイケ女子プロレス』はもの凄く評判いいですからね。試合内容もいいんですけど、やってるのがタレントさんなんでビジュアルも当然いいし。単純にビジュアルのいい人がプロレスをやると熱中できるものなんだなって思いましたから（笑）。

小川　それは基本ですよ（キッパリ）。

――集中力が違いますよね、見る側も（笑）。

小川　だって見たいもん（笑）。

――頑張ってください！　というわけで、今日はありがとうございました。

小川　……なんか、今日の話題はあんまり面白くなかったなぁ。

――話の内容が重かったですか？（笑）。小川さん、再婚の予定とかないんですか？

小川　あ、そっちの話題（笑）。ないねぇ。モテないもん（キッパリ）。

――小川さんって選手と浮いた噂とか出たことありましたっけ？

小川　ない（キッパリ）。オレ、選手は商品としか思ってないもん。

――なんかビッグサプライズが欲しいですよね！　政略結婚でもなんでもいいから、堀田さんと結婚とか長与千種と結婚とか、そういうニュースが聞きたいですよ（笑）。

小川　レスラーと結婚することは、まずないだろうなぁ。

――GAEAの杉山代表さんでもいいですけどね（笑）。

小川　杉山さん、オレと同い年なんですよ。

――見た目は若いですよね、杉山さん。

小川　見た目はね。ジュディ・オングみたいだけど（笑）。

――ダハハハハ！　というわけで、団体経営と再婚、両方頑張ってください（笑）。

【7月3日／都内・アルシオン事務所にて収録】

プロレスはもうやりません。私は女子格闘技で超・有名になりたいんです!

GAEAを退団した元クラッシュJrが総合格闘家へ転身! 期待の大型新人に一体何があったのか?

昨年12月、GAEA川崎大会で、いきなりのセミファイナルデビューを飾った桜井亜矢。彼女はクラッシュギャルズの指導のもと新しい女子プロレスラーを育てるというコンセプトで始まったクラッシュJrの第1号なのだ。しかし、今年5月の後楽園大会でクラッシュの口から桜井の退団が発表された。その後、桜井が表舞台に登場したのは総合格闘技のリングだった!

桜井亜矢(米里倶人満)

聞き手/松澤チョロ　撮影/丸山剛史　designed by Tani-Yan〔Two Three〕

桜井　（資料のプロレスラー時代の写真を見ながら）私、変わりましたか？
――プロレスラー時代より、活き活きしているってもっぱらの評判ですよ。
桜井　あ、ホントですかぁ（嬉しそうに）。私、プロレス何試合やってるんですか？
――12試合ですね。
桜井　そんだけなんですか？
――結果は0勝12敗です（笑）。〝スーパールーキー〟と言われてガイアでクラッシュJr.としてデビューした桜井さんが、総合格闘技に挑戦したわけですけど、やってみてどうでした？
桜井　私って普通に練習してプロになった人じゃないじゃないんで、だから試合をやっちゃっていいのかなって（笑）。
――技術的に、まだ未熟なのに試合に出るってことがですか？
桜井　はい！　一応、プロレスだってプロとして出てたわけじゃないですか？　だから、それなりの試合をしないとダメだし、自分でも納得できないじゃないですか？　でもなんか、チャンスだからみたいな感じでDDTの橋本さんが凄い推してくれたんで。出るっていうのは考える暇もなく電話で即答しちゃったんですよ。それからスッゴイ悩みましたけど。
――オファーがあった時点では相手とかは決まってない状態だったんですか？
桜井　なんか「柔術で強い人なんだけど、立ち技は普通よりうまいぐらいだから大丈夫だよ」って言われて（笑）。
――それが全然大丈夫じゃなかったわけですよね（笑）。
桜井　そうですねぇ（笑）。
――この間の試合後に、ガイアを辞めた後はしばらく家でダラダラしてたって言ってましたけど。
桜井　ダラダラっていうか、なんか今まで夢があったけど、夢っていうかやりたいことが急になくなっちゃって、辞めたはいいけど、どうしようとか思って。で、やりたいこともなくて、ずっと家にいたんですよ（苦笑）。
――たまたま格闘技戦に声が掛かったときっていうのはタイミングが良かったって部分も大きいんですね。
桜井　あぁ～、そうですね。
――格闘技以外にやりたいことが見つかってたら、そっちの世界に行ってた可能性も高かったと？
桜井　はい！
――となると、格闘技がやりたくてプロレスを辞めたっていうわけじゃないんですね？
桜井　でも、声掛けられたときに、凄い悩んだんですよ。もう、この世界に戻ってくる気はなかったから。
――この世界っていうのは？
桜井　格闘技とかプロレスとは縁を切ろうと思ってて。なので、凄い悩んで、言われた時も断ろうと思ってたんですよ。
――さっき即答したって言ってたじゃないですか！（笑）。
桜井　あ、そっか（笑）。なんか、声掛けてもらった時にホメられたんで、じゃあやろっかなって感じで（笑）。
――ホメられて調子にノッちゃったと（笑）。でもプロレス時代の桜井さんは、物怖じしないとか評判でしたけど、『AX』での試合も、緊張はしなかったんですか？
桜井　あ、試合前は、ちょっとしました。控室とかで、すんごい緊張して、順番が来て行くじゃないですか？　その時から、あんまり記憶ないんですけど（笑）。
――記憶が飛んじゃったと（笑）。
桜井　はい（笑）。名前呼ばれて入場するじゃないですか？　その時になって緊張しなくなりました。それから、リングの上では全ッ然緊張しなかった（笑）。
若林（桜井を指導しているパレストラの番頭）入場式とかすんごい緊張してたんだけど、リングに上がったら、こっちに向かって「やっぱりアピールとかした方がいいんですかね？」って。ビックリしましたよ。いろんな選手のセコンド付いたけど、そんなこと気にするヤツは初めてですよ（笑）。
――プロ意識が高いんですね、無意識のうちに（笑）。それで対戦相手のエリカの第一印象がなんでしたっけ？
桜井　黒い！（笑）。

私は格闘技とかプロレスとは縁を切ろうと思ってたんですよ！

柔術ムンジアルの青帯で優勝経験もあるエリカ・モントーヤと対戦した桜井。開始早々、パンチをブチ込んだものの、その後はエリカのグラウンドテクの前に防戦一方。三角絞め&足首固めという複合技まで掛けられた桜井は、しばらく粘ったものの、最後は腕十字でタップ。「ミラクル起こせばどうにかなるかと思ってたんですけど無理でした（笑）」とコメント。

『AX.vol.4』6・26後楽園大会プチレビュー

この日の「AX」は国際戦を3試合を組み勝負に。観衆は680人発表と寂しい入りであったが、白熱の好試合が連発！　次回大会は7月26日、場所は同じく後楽園ホール。全員集合ッ！

最近はプロレスラーとしてだけではなく総合の技術も学んでいるドレイク。セコンドの若林番頭の指示に従いながら試合を優位に進め、最後はドレイク魂爆発の逆片エビ固めでフィニッシュ

この日が総合デビュー戦となる元シュートボクシングチャンピオンの角田紀子。同じく打撃系の岡裕美相手に女子総合の中で屈指の大打撃戦を展開。角田が判定で総合デビューを飾った。

――それも凄い話ですよね（笑）。柔術のトップクラスの選手の第一印象が「黒い」。でも、ガイアの後楽園大会って毎回満員になってますけど、『AX』の後楽園は、正直寂しい客入りでしたよね？
桜井　そうですよねぇ。やっぱりガイアの時ぐらいにお客さんが来てもらえるようにしていきたいですね。いっぱい入ってた方がいいですから。やる気も出るし。

クラッシュJrに入る前、後楽園ホールで行われたスマックガールに出場していた桜井。「プロレスをやる前に、何かやっておいた方がいいかなって思ってキックを始めたんです。プロレスに向けての練習のつもりが試合の1週間前に頼まれて出たんです（笑）」。試合は桜井が禅道会の佐々木亮子から判定で勝利。今のところ唯一の勝利だ。

結局、全12試合でガイアマットを去った桜井。本人にプロレス時代のベストバウトを聞くと「（即座に）ないですよ。印象深いのは尾崎選手との試合です。内容的に、なんか凄い印象深いですね」とのこと。唯一のタッグマッチは師匠のライオネス飛鳥とコンビを結成し、ラスカチョに挑んだものの最初で最後の流血ファイトとなった。

――それは頼もしいですね。それで実際のところ、プロレスの方は才能がなかったってことなんでしょうか？
若林　いや、根本的にやりたかったのは格闘技的なことなんだよね、たぶん。
桜井　いや、ドロップキックがやりたかったんですよ！　ていうか、中西百重さんのドロップキックがすっごいやりたかったんです。見てて凄い気持いいじゃないですか？
――なんとなくわかりますけど。でも、中西さんのようなドロップキックがやりたいというのがレスラーになるきっかけだったら、クラッシュJrじゃなくても良かったんじゃないですか？
桜井　それはですね、別に全女じゃなくても中西さんのドロップキックはできるじゃないですか？（笑）。
――まあそうですけど（笑）、やっぱり有名になるにはクラッシュJrが一番の近道だと計算してたとか？
桜井　あ、そうです！　普通に新人としてデビューするよりも、凄い注目を浴びられるかなって思って（笑）。
――わかりやすいですね（笑）。でも、世代的にクラッシュは、そんなに知らないんじゃないですか？
桜井　はい。あんまり知らなかったんですけど（苦笑）。
――やっぱり（笑）。
桜井　でも、プレッシャーが凄い分、途中で普通の新人としてデビューしたかったって思ったこともあるんですよ。最初は無名でデビューしてっていうのも考えたんですけど、でもやっぱり辞めてからは、クラッシュJrでデビューして良かったなって思います。
――でも、クラッシュJrは、もの凄い練習量だったって聞きますけど、よくデビューまでたどり着きましたよね。しかも1人で。
桜井　なんか同期が辞めた時とかも、自分は辞めようとは思わなかったんです。
――デビューするまでは絶対辞めないぞっていう気持ちが強かったと？
桜井　はい。あとなんか、私、高校生の時にスマックガールに出たじゃないですか？　それで一気に学校中で知られちゃったんですよ（笑）。
――学校では、ちょっとした有名人になったんですね（笑）。
桜井　ずっと照れながら（笑）。で、プロレスに入るのも学校中全員というほど知ってたんですよ。
――ガイアは、外出とか電話とかも制限が厳しいので有名ですけど、そういうのは気にならなかったんですか？
桜井　でも電話とかは、プロレス界に入って友達とかとメールもする必要もないと思ってたんで。かえって友達とかに「桜井は何してんのかな？」って不安にさせたかったんですよ（笑）。
――アハハハハ！
桜井　不安にさせたいっていうか、いま何やってんのかなぁって思って欲しくて（笑）。だってプロレス界に入ったのに、いつもメールしてたら親近感が出ちゃうじゃないですか？　それよりも突然ガーッとデビューして「私、あの人の友達なの」って言われるぐらいの人になりたかったんですよ（笑）。
――いやぁ～、気持ちいいぐらいわかりやすいですね（笑）。それで、せっかくデビューできたのに、わずか半年ほどで退団してしまったわけですけど、一番の原因は何だったんですか？
桜井　いやぁ～、なんか、なんて言ったらいいかわかんないですけど、ストレスが溜まっちゃって試合するような気持ちになれなかったんですよ。これじゃヤバイって思って。
――〝クラッシュ〟っていう名前の重圧に負けたっていうかプレッシャーに押し潰された部分もあるんですか？
桜井　う～ん、浜田文子選手とかも上がってきて……。
――浜田さんが来たら、私がスターになれないっていう直感とかもあったんじゃないですか（笑）。
桜井　いえいえ、浜田選手には、いろいろ教えてもらったこととかもあったし、凄くいい人だったんで、そんなことは思ってないですけどぉ（笑）。
――いまは格闘技っていう新しい道が見つかったからいいですけど、まだプロレスでは一勝もしてないじゃないですか。
桜井　でも、戻りたいとか、悔いが残るとかはあんまり思わなかったです。それよりも次に何かやらなきゃダメじゃないですか？　そういうのを探してました。プロレスに戻りたいとかはなかったし、じゃあ格闘技だとも思ってなかったし。
――何らかの理由で、プロレスはもういいやって思うところがあったんですかね。
桜井　なんか思ってたのと違ったっていうか、自分には合わないなって思ったんです。
――そう思ってしまったんだったら、決断は早い方がいいでしょうね。
桜井　そうですよね。
――でもやっぱり、0勝12敗っていう戦績は満足はしてないですよね？
桜井　あぁ～、それはあります（笑）。でも普通に考えて、文子選手とか広田（さくら）選手とは試合してないからあれなんですけど、一番下の人でも7年のキャリアがあったんですよ。
――大物選手とばっかり闘ってましたからね。団体側からしても、かなり期待してたと思うんですけど。
桜井　はい。だから普通にやったら勝てないわけじゃないですか？　そういう選手に勝つ方法を考える頭が必要じゃないですか？　プロレスは凄い難しいなぁって思って。合わないなって感じました。
――プロレス頭は、あまりなかったと。
桜井　あまりなかったですね（笑）。
――中西さんのようなドロップキックを出せた試合はあったんですか？
桜井　いえ。なんか……違ったんですよねぇ、自分がやると（笑）。
――違いましたか（笑）。でも総合のデビュー戦で見事な一本負けをして、これからも格闘技をやっていくって気持ちに火がついたんじゃないですか？
桜井　はい！　凄く強くなりたいと思いました。ドンドン勝っていって、エリカがやりたいって言ってくれるぐらいまで頑張りたいです！（笑）。

好勝負続出！　女子総合格闘技AX

セミでアメリカからやって来たヘッタ・ヨンと闘ったのがジェット・イズミ　フィニッシュは、この日一番のインパクトとなるジェットの右ハイがヨンをジャストミート！　見事、KO勝利！

メインは久保田有希がアメリカからの刺客・アンジェラ・レスタットと対戦。グラウンドで有利なポジションを取り続け、勝利も間近と思われた、その瞬間、アンジェラの腕十字が炸裂！

当初は今大会のメインとして組まれていた星野育蒔対ウィンティ智美戦。しかし星野のケガにより、この対戦は次回7月大会へ延期となった。「いつやっても結果は一緒です！」と自信満々のウィンティに星野はどう立ち向かうのか？　注目の一戦！

強くなってマッハさんと対談できるように頑張ります！

——あと、試合後、印象的だったのは「これから格闘技で強くなってドンドン名前とか載るようになりたい」っていう発言だったんですけど、桜井さんは基本的に目立ちたがり屋なんですね？

桜井　そりゃ有名になりたいですよ！

——有名になりたいんですか？

桜井　（若林氏に向かって）なりたくないですか？

若林　全然！（キッパリ）。

桜井　なんでぇ？（本気で驚いて）。そういう人もいるんだ。有名になりたいですよぉ！　だって有名になったら声掛けられるじゃないですか？

——声を掛けられたい（笑）。その方法として格闘技を選んだってことですか？

桜井　はい！　え、格闘技でですよ。格闘技で有名になりたいんです！

——ホントわかりやすいよなぁ（笑）。

桜井　でも、女子格闘技の世界で有名になっても、やっぱり今はサッカーほど凄くないじゃないですか、全然。

——まあ女子格闘技は、ここ最近始まったようなもんですからね。

桜井　ですよね。だから、もっと女子格闘技を有名にしたい！　そして私も有名になる！（笑）。

——最終的にはそこなんですね（笑）。マァ☆ティンとかも女子格闘技を盛り上げたいってよく言ってますけど、同じ様な気持ちはあるんですね。

桜井　はい！　ありますね。

——でも、桜井さん的には自分が有名になる方が大事なわけですね。

桜井　女子格闘技も有名にしたいですけど、でも有名になると、やる人も増えるし、ライバルも増えていくわけじゃないですか？

——当然、そうなりますよね。

桜井　そうなっちゃったら有名にならなくてもいいのかなって思うんですよね（笑）。でもやっぱり、私が有名になって、それで女子格闘技が有名になれば一番いいですね。

——格闘技もそうだと思うんですが、頭が悪くてはトップ選手にはなれないですよね？　桜井さんがバカって言ってるわけじゃないですけど（笑）。

若林　勉強が出来る出来ないの頭は関係ないですね。頭は悪くちゃダメですけど、桜井は頭がいいっていうか、なんか勘の良さみたいなものはあるんですよ。クラッシュも言ってるかもしれないけど、結構一回言ったことをパッとその場で出来るタイプの子なんですよ。

桜井　でも、すぐ忘れちゃうんです（笑）。

若林　すぐ忘れるんですけどね。でもね、忘れるのは全然いいんですよ。繰り返しやればいいだけなんで。感覚的につかめればいいと思いますよ。パッとできる感覚の良さっていうのは本人を目の前にして言うのもなんですけど、飛び抜けたものはあると思いますよ。

——ホメられてますよ、桜井さん（笑）。

桜井　エヘヘヘヘ（恥ずかしそうに）。

——でもクラッシュの2人も桜井さんの身体能力は飛び抜けてたって言ってましたからね。体格的にも恵まれてますし。

若林　そうですね。まあ気持ちも強いし、やる気もあるし、格闘技が強くなる才能っていうのは「やりたい」っていう気持ちですから。それは人一倍あるんじゃないですか？（桜井に向かって）お前、体格考えたら、ちゃんと身体作って3年後にはクーネンや石原美和子とか高橋洋子には勝たなきゃ。

桜井　あぁ～。若さで勝ちます！（笑）。

若林　そんなこと言ったらエリカ・モントーヤには一生勝てねえじゃん！（笑）。

——確かに17歳のエリカには一生勝てないですね（笑）。

若林　でも正直言って、桜井は、あれだけ練習させたら辞めるかと思ってた。

桜井　ホントですか？　そういうのって他がわからないからわかんないですよね。だって試合が決まってたし、痛かったけどやめられないじゃないですか？　それだけに集中してたんで、なんとも思いませんでした（笑）。

若林　キャリア考えたら耐えられるような練習やってないからね。たぶん彼女とエリカ戦の前にやった練習を他のプロシューターが見てて、「うわっ、イジメだ」って、きっと思ってたと思いますよ。あんなボコボコにして、容赦なく殴ってヒザ蹴りして、泣いたのなんて10回じゃきかないよな？

桜井　はぁ（苦笑）。

若林　星野なんかも泣きながら練習しますからね。その辺が星野との共通点。泣いても泣いても練習やりたがりだしな？

桜井　アッハッハッ。そんなことないですよぉ（恥ずかしそうに）。

——最後に、桜井亜矢の格闘技界での野望でも語ってください！

桜井　女子もそうなんですけど、男子の格闘技で有名な人とか……。

——例えば誰ですか？

桜井　魔裟斗さんとか、佐藤ルミナさんとか、この間、勝った五味さんとか……あと、桜井マッハ速人さん！

——マッハさんがどうしたんですか？

桜井　今日、私、マッハさんのTシャツ着てたじゃないですか？

——着てましたね。ファンなんですか？

桜井　そう！　ファンなんですよぉ！　いま名前を挙げた人みたいに、私も格闘技ファンだけじゃなくて、一般の人にも知ってもらえるような格闘家になりたいですね。

——桜井つながりで、マッハさんと対談できるぐらいの活躍を期待してます！

桜井　そっかぁ、桜井つながりで対談させてくださいよぉ！

——今はまだ、ちょっと難しいですけど。

桜井　そうですよね。1年後、もっと強くなって、マッハさんと対談できるように頑張りまぁ～す！（笑）。

——くれぐれも退団しないように格闘技の練習に打ち込んでください（笑）。

【7月4日／江古田『デニーズ』にて収録】

取材に訪れたこの日も若林番頭の指導のもと練習に励んでいた桜井。「キャリアを考えたら耐えられるような練習やってないから。正直辞めると思ってた」と驚く若林番頭に、この日も極められまくりながらも、何度も何度も喰らいついていった桜井。その恵まれた体格を武器に世界に通用する格闘家となってもらいたいものだ。

★PROFILE★

さくらい・あや

1983年1月17日、東京都出身。身長171センチ・体重71キロ　クラッシュJr第1号。2001年12月15日の川崎大会のセミでの永島千佳世戦でデビュー。今年5月6日の後楽園大会で長与&飛鳥両選手が桜井の退団を発表。その後6月26日のAX後楽園大会でエリカ・モントーヤと対戦。今後は星野育蒔と同様『米里倶人満』所属となり、総合格闘技を追求していく。

SMACK GIRL☺

～最強タッグトーナメント2002～

7・6ディファ有明

全日本の世界最強タッグといえば和田（京平）レフェリーだが、この日の最強タッグは和田は和田でも良覚レフェリーが務めた。この日、会場ロビーでは『紙プロ』前号でのインタビューが好評だった鈴木健ちゃんと和田さんの久々の再会も実現した。

女だって Oh! Dynamite!

SMACK GIRL☺ 7・6

ガチンコタッグトーナメント 大・爆・発♥

ブンブン唸りをあげて飛んでくる石原の豪腕パンチを恐れてか、自軍コーナーにも関わらず、のけ反ってタッチを拒む篠原光!?

構成／松澤チョロ　撮影／丸山剛史　designed by Tani-Yan（Two Three）

今月のオバチヨ

すっかりスマックの住人となった感がある小畑千代。この日もリングサイドから鋭い眼光を光らせていた。今回出場の選手で小畑さんが、べた褒めしていたのが玉井敬子だった。

一部では"にせマァ☆ティン"と呼ばれるほど、ファイトスタイルから、しぐさまで星野育蒔にそっくりの三晴塾の玉井敬子。パートナーがナナチャンチンということで、ほぼ1人で2人相手に奮闘したものの、判定で敗れた。玉井は7・26 AX後楽園大会に出場。

タッグならまかせなさい、とばかりに登場したプロレスラーの藪下めぐみ。モデル相手に先発をかって出た藪下はファーストコンタクトから一直線に勝ち狙い。腕十字が極まらないと見るや、気合い一発、ボディスラムでモデルを叩きつけた。そのタチの悪さ最高！

トーナメント形式では男子を含んでもプロ興行では日本初となる今回のスマック・ガール。大会タイトルは、ズバリ『最強タッグトーナメント2002』。

これまでもコンテンダーズや、つい先日も『CULB DEEP』で総合のタッグマッチが行われたが、いずれも単発で、総合のタッグマッチはありなのか、いまいちピンと来なかったが、この日のガチンコタッグは抜群に面白かった。

ナナチャンチンがひとたびリングに登場すると、客席からは一斉に「あ～ぁ」とため息が。プロレスのタッグマッチでも実力差のあるパートナーと組んだり闘ったりするのはよくあることだが、総合では、その実力差がより濃く見られ緊張感も段違い。しかもタッチプレーもないので、ナナチャンチンファンは、彼女がリングに入るたび、ヒヤヒヤしっぱなしで、ファンのクセに「引っ込めーッ！」なんて声援が飛ぶ始末。途中からトーナメントを勝ち上がるためには、自分が出ないことと割り切り、敵から必死に逃げ回るナナチャンチン。てめえはそれでいいや！　それもまたガチンコタッグの魅力なのである。

そんな中、圧倒的な強さで優勝したのが石原美和子と金子真理の禅道会コンビ。石原のあまりの強さに対戦相手もビビりまくりの腰砕け。アンタは強い！

◆格闘エンタテイメント SMACKGIRL ～SUMMER GATE2002～

8月4日（日）　ディファ有明

開場17時30分　開始18時30分

★彩丘亜紗子（158cm/60kg/PALM所属）vs 張替美佳（156cm/61kg/GF2所属）

★金子真理（150cm/52kg/禅道会所属）vs 渡邉久江（160cm/47kg/LIMIT所属）

★中山香里（150cm/57kg/ファイヤージェニック所属）vs Lay-ho（155cm/56kg/ボディプラント所属）

★ナナチャンチン（147cm/43kg/チーム南部所属）vs 熊崎愛子（155cm/54kg/禅道会所属）

★その他の出場予定選手　石原美和子、川又尚美、しなしさとこ、亜利弥'他

以上4試合他、全8試合を予定しています。

主催：スマックガール実行委員会（TEL:03-5545-4766）

【問い合わせ】オフィスT天王洲（TEL:03-5461-0276）

マット界にダイナマイト・ニュース！　入江、動く!!

ホイスが試合を承諾してくれましたあァァ～!!

RADICAL BOUT REVIEW 紙プロ的観戦記

6月22日　Z-ZONE　NAGAYAMA

『キングダムエルガイツ』

○入江秀忠（キングダムエルガイツ）（ポイントアウト）向山嘉紀●（キングダムサテライト）

ミドル級　グラップリングバウト
宮路功（IMN）（引き分け）小池秀信（フリー）
※グラバカ系の小池のセコンドにはパンクラス・グラバカの三崎和雄が付いた

荒井修（時間切れ引き分け）維新力

入江秀忠、大マジメに宣言！ ごくごく近い将来、道場破り敢行

M　オイ、今日はとびっきりのビッグニュースがあるんだよ！

S　なんだよ、朝っぱらから騒々しいなぁ。

M　聞いてビックリするなよ!?　行くぞーーッ!!

S　なんだよ、もったいぶらないで早く言えよ！

M　昨日、ある格闘技団体の試合を観に行ってきたんだけど、そこでとんでもない発表があったんだよ！

S　どこの団体だよ！

M　お前も知ってるんじゃないかな？　キングダム・エルガイツって団体だよ！　ウィー・アー・キングダムッ！

S　なんだよ、それ！　でもキングダムっていうのは聞いたことあるけど、エルガイツってなんだよ！

M　う～ん、たしかゴッチさんの言葉から取ったんじゃなかったかなぁ。ドイツ語で「闘魂」とかそんな意味じゃない？

S　誰がトップの団体なんだよ？

M　（小声でポツリと）入江秀忠。ダメ？

S　知らねえよ！　もっと有名な選手は出てなかったのか？

M　あ、そうだ。維新力って知ってるだろ？

S　吉祥寺で飲み屋のマスターかなんかやってなかったか？

M　なんか、最近はいろんなところでプロレスやってるみたいだけどね。でも、ジュリアナ詩子ちゃんは元気なのかなぁ。好きだったんだよなぁ。

S　なに思い出に耽ってるんだよ！

M　悪い悪い！　だから今日のビッグニュースの主役は、さっき言った入江秀忠なんだよ。この入江が、試合後に超爆弾発言をぶっ放したんだよ！　もうロケット花火級だよ！

S　そりゃ、しょぼいだろ！　どうせまた、「ボクはホモじゃありませぇ～～～ん！（号泣）」とかじゃないのか？　そのネタは昔の『紙プロ』に出てたぞ！

M　なんだよ、お前！　入江のこと知ってんじゃねえか！

S　ち、ちょっとだけ気になるんだよな。道場とか出稽古ではもの凄く強いとか、本人は否定してるけど、ホモ疑惑も（笑）。

M　確かに気になるけど、爆弾発言の紹介しちゃうわよ！

S　なんでオネエ言葉なんだよ！　早くしろって！

M　あ、思い出した。この日の興行はZ-ZONE　NAGAYAMAっていうプロレス＆格闘技初使用の新しい会場でやったんだけど、会場の中に、なんとカレーが売ってたんだよ！

S　そんなのディファ有明にだって売ってるよ！

M　ところがキングダムの凄いとこは、なんと会場で、卵ぶっかけごはんまで売ってるんだよ！　思わず買って食べちゃったよ。恥ずかしいから誰にも見られないようにして。

S　なんで爆弾発言から、卵ぶっかけごはんの話に変わってるんだよ！　クソぶっかけるぞ！

M　しょうがないな。あのな、入江は試合後にこう言ったんだよ。臨場感を伝えるため入江調で読むから、心して聞くように。

S　わかったから早くしろよ！　気になってしょうがねえよ！

M　「キングダム・エルガイツはぁ、脱退とかあってぇ、苦しかったです。でもスタッフやぁ、選手は、必ずボクが幸せにします！　あと、ボクが前から言ってるグレイシーの件なんですが、何回か向こうと交渉した結果、ヒクソンじゃないですけど、あのホイスがボクとの対戦に承諾してくれましたぁ～！」

S　ホイスが対戦を承諾したぁ？　おい、ホントかよ!?

M　静かにしろよ！　いいとこなんだから。「金額とかぁ、いろいろ問題もありますが、必ずやりますからッ！　ヒクソンとは決まっておりません！　マスコミとかには対戦の可能性は1%と言われましたッ！　しかし！　1つだけヒクソン戦が実現する方法があるんです！　ボクはアメリカに行きます！　キングダムの先輩・安生洋二さんのように直接、ヒクソンの道場に行って道場破りをしてきてぇ、UWFのッ、プロレスの借りを返しに行きますからぁ！（号泣）」。うっうっうっ（涙）。

S　なんで、お前までもらい泣きしてるんだよ！

M　これが泣かずにいられるかよ！　入江の一世一代の大勝負じゃねえかよ！　オレは思いっきり応援してやるよ！

S　だから、なにを応援するんだよ！

M　そんなもんホイス戦に決まってるじゃねえか？

S　ホイス戦がホントに実現すると思ってるの？（冷静に）。

M　えっ、しないのぉ？（真顔で）。でもオレは入江を信じるよ。ホイス戦が無理だっていうんだったら、道場破りでもいいからホントにヒクソンの道場へ行って来～～い！（号泣）。

RADICAL BOUT REVIEW

7月13日　イギリス　観客動員4657人

『UFC38』

〈ウェルター級タイトルマッチ〉
○マット・ヒューズ（王者）（4R4分37秒、TKO）カーロス・ニュートン●※レフェリーストップ。グラウンドでのパンチ、ヒジ連打
○エヴァン・タナー（3R判定3-0）クリストファー・ヘイズマン●
●エルヴィス・シノシック（3R判定3-0）レナート・ババル○
●レイ・レメディオス（2R1分38秒、スリーパーホールド）須藤元気○

元気に快勝！　UFCデビュー戦を須藤元気が白星で飾る！

見てきました、「UFC38」イギリス大会！　いやあ、いいですねえ、ロンドンは！　大会が開催された名門のロイヤル・アルバート・ホールは、クラシックとオペラの殿堂で建物の外観は上品そのもの。建物内にあるオクタゴンはかなり違和感がある、というか完全に場違い。これは日本でいうならば、歌舞伎座のなかにオクタゴンを入れたようなものなんだろうか。

そんな名門ホールの魅力を、「WOWOW」の生中継でボクは堪能しました！　ええ、『紙プロ』が行けるわけありませんよ、現地まで。とにかく須藤元気のUFC初参戦を見るために眠い目をこすりつつ、深夜3時からの放送まで起きていた。そして遂に須藤が登場！　どんなパフォーマンスが見られるかと期待していたら、須藤は天狗のお面をかぶって着物を着て入場！　試合でも、ジャイアント・スイングや飛びつき三角締めを狙ったりと観客を意識した動きをみせた元気。最後は、チョーク・スリーパーで一本勝ち。UFCでまたしても日本人スターが誕生する予感をビンビンに感じましたよ、画面から！　また、同じく初参戦のリングス戦士ヘイズマンの試合は放映されず。でも、金網に押しつけられ、エヴァン・タナーに殴られるシーンが一瞬だけ流れた……嗚呼。結果は皆さん、ご存知のように判定負け……。そして、メインのヒューズvsニュートンの因縁の再戦は、ニュートンが「ドラゴンボール柔術」というチーム名で見参！　しかし、ニュートンはカメハメ波を発することもなく、マットの怪力にしてやられた。『PRIDE』で会おう、ニュートン！　次回は空位のライト級トーナメントに宇野君が参戦!?　次回も見ますよ、「WOWOW」で！

（金網の鬼）

6月28日　後楽園ゆうえんち内ジオポリス

『Get Alive! 』

DDTvsWEW決勝戦＝サッカールール
（15分＋ロスタイム）
宮本三四郎&ミッカム&タノムサク戸田（3-2）黒田哲広&怨霊&新宿鮫
○佐々木貴（20分12秒片エビ固め）ポイズン澤田JULIE●
※佐々木が蛇界に拉致監禁されていた「昭和」子を無事救出。「昭和」子は涙ながらにレスラー転向を表明。

プロレスとサッカーの融合あっさりクリア!!

M　いやぁ～、それにしてもワールドカップは燃えたねぇ！
S　あっそう。オレはサッカー興味ないからどうでもいいなぁ。
M　キミみたいなプロレス好きでサッカー嫌いの人のために、今日は面白いものを見せてあげよう！　カモン！
S　なんだよ、プロレスなら見るけどサッカーは見ねえからな。
M　じゃ～～ん！　さあ、こちらへどうぞ！
S　なにが「じゃ～～ん」だよ！　DDTって書いてあるけど、オレ、DDTなら見たことあるよ。「ファイアー！」だろ？
M　そうそう。その高木三四郎がね、今日はサッカールールでプロレスをやるみたいなんだよ！　3カウントやギブアップ、あとKOを奪うと、得点として1点が各チームに与えられるんだよ。
S　1点もらって嬉しいか？　なんならやるよ、4点ぐらい。
M　オレはいらねえよ！　それで、制限時間の15分の間により多くの得点を獲得した側のチームが勝者となるんだよ。ほら、始まった。オッ、早速フリーキックだよ。これはチャンスだな。
S　なんだよ、フリーキックって？　プロレスっていうのは、もともとフリーキックなんじゃないのか。
M　フリーキックっていうのは、反則を犯した相手になんでも好きな攻撃が出来るんだよ。オレならタランチュラやるけどな。
S　あれ、他の選手が邪魔してるよ。しかも2人がかりで。
M　あの2人は壁になってるんだよ。あっ、建みさとだ！
S　エッ、マジかよ!?　なんでリングに上がってんだ？
M　今日からDDTのイメージガールをやるみたいだよ。
S　オレ、みさとの大ファンなんだよ。もう我慢できねぇ！　ウオォォ～～～、みさとぉ～～！（と彼女に向かって突進！）
M　あ～あ～。ヤツがフーリガンだとは思わなかったよ（笑）。

6月17日　渋谷ON AIR EAST

『J-DO』

○池田篤志vs金城旭●
ミスターJ-DO（だそうだ）池田篤志、圧倒的勝利
○大村裕之vs藤井啓太●
40のスタミナがないおっさん（大村本人談）見事フルラウンド闘って判定勝利

※TK、観戦に現る。今後の参戦に期待!?
※〆切直前、『J-DO』第2回大会が8月4日→10月に延期というニュースが！　がんばれJ-DO！（ささきぃ）

高き理想？　不思議な感性？　Mr J-DO・池田篤志に注目！

柔道を基盤とし、柔道最大の魅力である『投げ』に打撃を融合させた新格闘スポーツ団体『J-DO（ジェイ・ドゥ）』。吉田秀彦が観戦か？　という噂に引き付けられた報道陣のひとりとして行ってみた（吉田はいませんでした）。見終わって気になったのは、この団体を旗揚げし、メインにも登場していた池田篤志という人物である。「見せる柔道」を志す、というところからして、面白いところに目を付ける人だなぁ、と思ったが、まだ序の口だった。

マスコミ受付をすませた後「どれかひとつどうぞ」と係の方が指し示してくれたのは、沢山の針金のカードスタンドだった。ひとつひとつ形が違い、すべて違った言葉（私が選んだのには「根気玉」と書かれていた）の書かれたカードがささっている。見に来たお客さんもこれには結構驚いたのではないだろうか。しかもそれはひとつひとつ池田篤志が心を込めて作ったものだという。自分の団体が東京に初進出する前に、そういうものを用意しようと考える気配りは珍しい。しかもメインに自分が出るっていうのに。

これで試合がダメだったらどうしようもないところだが、池田は見事な投げを2回決めて勝利。写真を見ていただければ分かるように、完璧すぎる「一本！」だった。プラス、大会は入場や映像などに工夫がされていて、既に流れや演出などは完璧に近い。進行もほぼ文句なしだった。最後は出場選手全員が集合し、畳に正座して「礼ッ！」。あくまで終わり方も柔道。「柔道のプロ化」という、大きな理想と不思議な感性を持つ男・池田篤志。彼が送り出した東京初進出の大会は、思っていたよりもずっと面白かった。次回東京大会（土産付き？）は、情報ページをチェック！

（ささきぃ）

崖っぷちに立たされて見えた境地！ 富宅飛駈が闘う理由!!

7月6日（土） ディファ有明

『「TRIAL」～空手の逆襲～』

空手家vs総合格闘家の対抗戦は、2勝2敗2分けという結果に終わった。禅道会・百瀬善規がリングに登場。再戦となる近藤戦の抱負を述べ、秋山賢治がブロック割りを披露した。次回「TRIAL」には、この2人が登場か？

メインイベント
▲熊谷真尚（禅道会）【10分時間切れドロー】
富宅飛駈（パンクラス大阪）▲

古より実戦格闘の中で生まれた空手の深層にあるものは、〝なんでもあり〟ではなかったか？　いま、まさに空手の原点回帰を――。そんな謳い文句を基に、空手家が総合格闘技に挑む大会として発足したのが『ＴＲＩＡＬ』～空手の逆襲～だ。空手家の威信にかけて6名の猛者が、総合格闘家に挑んだこの大会。空手の原点を追求する心意気と、新しいことに挑戦しようという姿勢は評価できるのだけれど、出場選手にインパクトを欠いてしまったのが残念。コンセプトが明確にあり、イベントとしても演出面にも気を使っているなど、興行として確立して行く姿勢があった『ＴＲＩＡＬ』。それだけに一発目となる大会のカード編成には、もうちょっと充実してほしかったところだ。

そんな大会のなかで、印象に残ったのは、パンクラス大阪の富宅飛駈。ＵＷＦ戦士、パンクラス旗揚げメンバーというブランドを持つ富宅ではあるが、最近はアマチュアと言って等しい選手と闘い続け、そして無残にも散っている。

今大会にもひっそりと登場した富宅。前日にパンクラシスト御用達の廣戸道場を訪れたとき、「明日、試合なんで」と富宅が言ったところ、「あァ、そうか」と返答されたらしいから、取り巻く環境は寂しいかぎり。ドローに終わった試合後には「オファーがあれば、ロープにも飛ぶし、神（アントン総帥？）にも喰いつく」とコメント。後がない崖っぷちに立たされている悲壮感を感じさせた。しかし、「30歳を過ぎてから、難しいことを考えず気楽にできるようになった」と笑顔で話す富宅には、残り少ないと自覚している現役生活を心から全うしようする姿も感じられた。

現役と引退で狭間でもがき続ける富宅の闘いは、本人にしか感じられない激しさで揺れ動いているのだ。

（ジャン）

赤いマットに広げられた〝プロ意識〟は想像以上に高かった

6月23日 大田区体育館

『Style-U』

○大久保一樹vs中台宣●
まさしく「U」と言えるようなめまぐるしい攻防の末、大久保が見事ヒザ固めで勝利！

○白井裕一郎vs植村〝ジャック〟龍介●
ビーズラボ植村、惜しくもU-FILE白井にヒザ蹴りでKO負け

3月の『Ｓｔｙｌｅ-Ｇ（組技のみルール）』、4月の『Ｓｔｙｌｅ-Ｓ（立ち技ルール）』の2度のＵ-ＦＩＬＥ主催大会の集大成とも言える今大会。場所も大田区体育館分館から本館へ移動！　なんと言っても今回からは入場料が発生！　しかもメインを務めるはずだった上山は、2週間前の『ＤＥＥＰ』中量級トーナメントで負傷していたため欠場（本部席にはいた）！　翌日にボブ・サップとの対戦を控えた田村は来場せず（ＴＫがいた）！　大丈夫か、『Ｓｔｙｌｅ-Ｕ』!!　と、いうこちらの勝手な心配は杞憂に終わった。体育館にマットをしいて、その周りを観客が取り囲むという限りなく「発表会」に近い形式ではあったけれど、選手達の見せてくれた試合は、どれもアグレッシブだった。見ていて退屈しなかった。選手が負けを恐れることなく果敢に攻めてかかる姿勢が見える。今はまだ、きっと試合が出来ること自体が嬉しくて面白いのだろうな、と思って、見ていてほほえましかった。

しかし、今大会での大久保一樹はそんな呑気な心境ではいられなかっただろう。大久保はプロで、しかもメインでパンクラスｉｓｍの中台宣と闘ったのだから。

中台のセコンドには謙吾と石井大輔が付き、大久保にはジム生の仲間がズラリとつく。見た目からして非常に対称的な2人の試合は、互いに負けるわけにはいかないという意地が見える、膠着のないいい試合だった。互いに引かない攻防の末、大久保が中台をヒザ固めに極めた。ジム生が多くを占める観客が拍手を送る。いい終わり方だった。勝った大久保は、7月28日のパンクラス・ネオブラッドトーナメントに参戦決定！　この見事なステップアップの仕方も、すごくホメられるべき事だと思う。

（ささきぃ）

完成度は史上最高！ さらなる上を目指せ!!

7月7日 横浜赤レンガ倉庫1号館大会

『GCM THE CONTENDERS-7 NEXT』

○今成正和（2R判定40－38）所英男●
●北岡悟（2R判定38－39）小島弘之○
○小室宏二（1R1分12秒※袖車絞め）矢野卓見●
○門脇英基（2R2分33秒※チョーク）小谷直之●
○KEI山宮（2R判定40－39）矢野倍達●
○戸井田カツヤ（2R3分14秒※アンクルホールド）桑原幸一●

コンテンダーズDOUBLES
15分3本勝負
△佐藤光芳&佐々木有生（ドロー）宇野薫&光岡映二△

大半が服装には無頓着なプロレス・格闘技マスコミ陣が、会場に足を踏み入れるのが相応しくない、オシャレな空間を演出することでおなじみのコンテンダーズ。今回は、桜木町にある「横浜赤レンガ倉庫」なる雰囲気の良い会場で開催された。ちなみにこの日は同じ桜木町で男臭さ溢れるシュートボクシングが、文体で「Ｓ-ｃｕｐ」を開催。コンテンターズとは客層が被らないので興行戦争にはならないけれど、駅を挟んで対照的なイベントが行われていたのだ。

コンテンダーズではいつも、凝った選手紹介のプロモーションビデオがスクリーンから流されるのだが、今回はギャンブルをテーマにしたものだった。組み技限定だからこそ夢のカードが実現するとはいえ、判定決着が多いコンテンターズだけに「今回はギャンブルしてでも一本極めにいくぜ！」という姿勢を暗に示すプロモでは？　と、あとになって思うほどの衝撃的な一本勝ちが続出し、会場を大いに沸かせたのだ。ハイライトは、ビックリ仰天なヤノタクの失神劇！　柔道家・小室宏二に試合早々、袖車絞めで落とされてしまった。その劇的な事件を含む3試合が一本で決着がついたわけだが、〝足関十段〟こと今成正和は判定勝ちながら、その怪しげな風貌から繰り出す関節狙いで観客をどよめかせた。メインのダブルスも十分に客を楽しめる内容で、毎度変わらないソフトとして安定感を示した。観る側だけではなく、このやる側にとっても魅力的な場で培った経験は、修斗やパンクラス、ＵＦＣなど、それぞれ各個人の舞台に線として繋がって行く。そして、コンテンターズもそれらの勢力に劣らぬ魅力を持つだけに、安定感、完成度に比べイマイチ不足するダイナミックさを持つことで、求心力を深めていってほしいものだ。

（ジャン）

RADICAL BOUT REVIEW

7月14日

『片山ボン「高級クラブトーク」～あるいはボツ原稿という名の公園～』

語り／片山ボン　赤鬼／チョロ　青鬼／ジャン

「文章が書けたら、こんな楽しい仕事はない」というセリフを残して、編集部を去った片山ボン。母が大阪・新地で高級クラブを経営するというボンボンのボンちゃんはいま、再度編集者を目指し専門学校に通う日々。先月から“助っ人”として編集部にカムバックし、小橋健太が復帰戦を飾った7・26ノア後楽園大会の観戦記に挑んだが……。

混迷のマット界で、ボクは豊田真奈美しか目がいかないィイ！

また文章が書けない……とはいっても今回は、7・5ノア後楽園の原稿をちゃんと書いたんですよォ……。でも、「面白くない」ってチョロさんにボツにされちゃいました……。小橋が復帰したのに、ボクは復帰できなかってことですねェ（力なく笑って）。ノアはつまらなかったですけど、小橋の復帰戦は良かったですゥ。泣きましたよォオオ（小炎上）。小橋はボクにとって、三本の指に入る選手ですからね。残る二本は、大谷（晋二郎）と……あとはいないかァ……。あ、ZERO-ONE両国は行きました。全然ダメですゥ。だって、完成度の高い試合がなかったじゃないですかァ？ ミスター・フレッドなんて、存在自体が許せないですよォ。レフェリーが目立つなんて、選手がダラしないですよォォ！（この日一番の大きな声で）。（すぐ消え入りそうな声に戻って）あれだったら、7・6全女大田区体育館の方が良かったですよォ。豊田vs伊藤は、今年のベストバウトですッ……。伊藤のフッドスタンプを喰らって、うずくまりながら「ここには全女イズムがない」ってェ、マイクアピールした豊田には泣けましたよォ（再び小炎上）。いまのマット界、ボクには豊田しか目に入らないですね。……でも、7・26ノアでの浅子（覚）引退試合には大注目ですッ。ボク、心に決めてるんです……。ノアの選手でKENTAまでは引退試合を観に行こうって（遠い目で）。（鈴木）鼓太郎は想い入れがないから、行きませんけどね（ちょっと冷たく）。ノアには、また泣かせてもらいに行きます。よろしくお願いしますゥ（ペコリ）。これぐらいでいいですか？ 来月は、ボツにはなりませんよォ……。

（片山ボン・談）

7月6日　ディファ有明　SMACK GIRL

『最強タッグトーナメント2002』

一回戦――×高橋洋子（三晴塾）&渡邊久江（PALM）＜1R3分32秒　腕十字＞石原美和子（禅道会）○&金子真理（禅道会）　二回戦――篠原光（チーム南部）&亜利弥?フリー）×＜2R4分5秒　腕十字＞石原美和子（禅道会）○&金子真理（禅道会）　決勝戦――○石原美和子（禅道会）&金子真理（禅道会）＜1R1分3秒KO＞虎島尚子（RJW CENTRAL）×&照井和瑛（フリー）

ぶっちぎりで石原&金子の禅道会タッグが優勝！

格闘家美女列伝　石原美和子『最恐だもの』

石原美和子は美しい。……それは、ちょっと言い過ぎた。しかし彼女が日本人最強の女子格闘家ということは言い過ぎでも何でもない。日本のどこかには彼女より強い女性もいるのかもしれないが、今のところ表舞台に出てきている女子格闘家の中で、彼女より強さを感じた人にはお目にかかったことがない。

7月6日のスマックガール・最強タッグトーナメントに出場した石原は、同じ禅道会の金子真理と組んで、ぶっちぎりの優勝。初戦から対戦相手の心・技・体を壊しまくり、相手だけではなく、見ている者をも恐怖のどん底に突き落としたのだ。

石原の恐怖ショーは一回戦から惜しみもなく公開された。石原と同じく女子総合のトップクラスの高橋洋子を相手に、その他大勢の女子格闘家とは明らかに違う「ブンブン」音の鳴るパンチを振り回し近づいていく石原。それが恐くなくて何が恐いというのだろう。高橋と打撃でやり合い、その後、グラウンドに持ち込み腕十字の体勢に入るとスマック名物グラウンド30秒カウント・スタート！ 残り時間1秒となり、誰もがスタンドから再開の声が聞かれると思いきや、聞こえてきたのはグキッという嫌な音と右腕を押さえる高橋のうめき声のみ。

石原は準決勝では、さらなる恐怖を見る者に与えた。相手は前回のスマックで石原が何もさせず完封勝ちした〝東京喧嘩娘〟篠原光組。汚名返上とばかりに接近していく篠原に石原の容赦ない顔面パンチが炸裂すると、哀れ〝喧嘩娘〟は鼻骨骨折。喧嘩無敗の女も腰が引ける石原の恐怖。もう誰にも止められない。

石原の恐怖は決勝戦でクライマックスを迎えた。恐怖の洗礼を浴びたのは照井&虎島組。照井の歯は吹っ飛び、虎島はリングで泣きじゃくる。原因は、みんな石原。恐い者見たさ、肝を冷やしたい人、すべてまとめて石原が面倒を見ます！ 押忍!!

6月29日　渋谷ホール・ジ・エアー　ドッグレッグス

『第55回興行「アプローチ」』

ミラクルヘビー級
○愛人（3R判定　3-0）バトス森下●

障害者対健常者・異者格闘技戦　膝立ちタッグマッチ
○ウルフファング&鶴園誠（9分4秒　ストロングホールド・ウルフ）虫けらゴロー●&菓子パンマン

スーパーヘビー級
○アームボム藤原（3R判定　3-0）飯田100キロ●

涙と爆笑の実験興行は大成功！この距離感は圧倒的!!

「これはCGですよー、モー娘。の加護ちゃんですよぉ。加護ちゃんもメイク落としたらこんな感じですよぉ」そんな館内爆笑の場内アナウンスも子供たちには聞こえず、ただ父親にすがりつき泣き喚くだけ。そりゃ目の前でひとりで移動もままならぬ障害者同士がヒジ、ヒザでゴツゴツと殴り合ってるのだ。しかも片方はセーラー服で現れたかと思えば、加護ちゃん風のファッションで闘う「男」。幼稚園に行き始めたか、てな年頃のあの子たちには異形の存在以外の何者でもない。

いつもの下北から渋谷へと場所を変えた第55回興行『アプローチ』。北島代表自ら「実験的な興行」と言っていただけあり、会場はギャラリー程度の広さで中央に据えられているのはノーロープの小型リング。そして何より刺激的なのは最前列に座った観客のヒザからリングまで10センチあろうかという近さ。いわば「お客さんランバージャックルール」。それだけに試合の熱の近さもハンパ無し。特にセミのウルフ&鶴園組対ゴロー&菓子パンマン組は激烈のひとこと。障害王の貫禄十分な鶴園と、よりヒザに鋭さが加わり新技まで用意してきたウルフの障害者タッグは盤石。しかし膝立ちルールに苦しみながらも健常者組も覇気で対抗。互いのシングルでの活躍に期待がかかる熱戦だった。

思いっきりトラウマになったかもしれない子供たちには悪いけれど、痛みや激しさといった「格闘技としてのリアル」、細かく動くスタッフを身近に感じれる「手作り興行のリアル」、そして普段の生活で接しない人の方が多いであろうだけに気づく「障害者のリアル」、そんな様々な生々しさがホール興行以上に伝わって来た。

次回は9月20日、下北でのオールシングル戦。よりエンターテインに、よりガチになるであろう次回の興行はもっと泣けて（恐くない方向で）、もっと笑えるハズ！

（大坪ケムタ）

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

第8号 1994年1月号
特集 さらば新日本プロレス
仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが「紙プロ」初登場！ ２０ページにも及ぶ大特集！
¥700 ⇒ ¥350

第16号 1995年6月号
特集 新日本凸凹大学校
「紙プロ」的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！ 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！
¥780 ⇒ ¥390

2000年4月
情念～夢一途なり～石川雄規
「紙プロ」で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！ 情念とは何かがわかる一冊である。
¥2100（税金・送料込み）

第13号 1995年3月号
特集 道場破りとは何か？
安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦
¥780 ⇒ ¥390

第17号 1995年7月号
特集 実況パワフル北朝鮮
あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！ アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄規・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」
¥780 ⇒ ¥390

インタビューという名の鉄拳史
紙の前田日明
「紙プロ」、「リンタマ」、「紙プロRADICAL」誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！
¥2000（税金・送料込み）

第14号 1995年4月号
特集 神秘とは何か？
佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー
¥780 ⇒ ¥390

第19号 1995年9月号
特集 さようなら紙のプロレス
「紙プロ」を偲んで…ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会
¥780 ⇒ ¥390

パンクラス公式読本[矛]
９７年夏、横浜道場所属のパンクラシストを直撃！ 鈴木みのる／近藤有己／山田学／故・長谷川悟史／そして佐山聡、カール・ゴッチも登場だ！
¥1260 ⇒ ¥630

第15号 1995年5月号
特集 インディペンデントの逆襲
あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋ－とは何か？ 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー
¥780 ⇒ ¥390

極真魂溢れる16人を直撃！
極真とは何か？
松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／盧山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏
¥1530 ⇒ ¥800

パンクラス公式読本[盾]
９７年夏、東京道場所属のパンクラシストが語る！ 船木誠勝／パンクラス非公式座談会／ナぜか、故・ジャイアント馬場vsターザン山本が実現！
¥1260 ⇒ ¥630

No.46
PRIDE.LOVEをぶち壊す男!! 時は来た！ 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!
●さらばリングス！ 金原弘光／浅草キッドの「おつかれさんでした！」
●"ならず者"がDEEPで快勝！ーエル・カネック
●プロレススーパースター列伝・キラー・カン
●金メダルを落とした男・小林孝至
02年1月 ¥880

No.47
WWF日本侵攻5秒前！ 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!
●"天才"武藤敬司が「紙プロ」驚愕の初登場！
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る！
●第一次リングス閉幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛
大谷晋二郎／小笠原和彦／葛西純／K－1中量級／サスケ／ミスフィッツ
02年2月 ¥880

No.48
見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
●奇跡のメガトン対談実現！ 小川直也vsノゲイラ
●和田最強伝説が遂に現実に！ 語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場！ ジョー・サン
小川直也／武藤敬司／ミスターポーゴ／ウォーリー山口／ジョシー・デンプシー
02年3月 ¥880

No.49
この夏に究極の格闘技大戦争勃発!? マット界灼熱の噂！
●和田さん快勝記念対談！ 高山＆金原＆和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●凄！ 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行！ 破壊王も火のヤリ特訓だ！
レッスルマニア座談会／CIMAvsドス・カラスJr.／ウォーリー山口／小畑千代
02年4月 ¥880

No.50
早く試合がしたい!! サクが笑えば、世界が笑う!!
●「地方初世界」開始！ 小川直也＆橋本真也
●充電完了！ 桜庭和志が久々の登場！
●パンクラス取材解禁！ "尾崎の野郎"も初登場！
●I編集長が新日本に三くだり半！
菊田早苗／大仁田厚／小島聡＆NIGO／アレクサンダー大塚／リングスロシア軍団の軌跡
02年5月 ¥880

No.51
ZERO-ONEに願いを！ 7・7決戦迫る！
●両国国技館だよ、全員集合！ 橋本真也
●「PRIDE」の魅力をマン開！ 小池栄子
●天才が悩みに答える！ 武藤敬司人生相談
●"男の中の男"が本誌初登場！ 謙吾
小川直也／プレデター／田村潔司／鈴木健／小笠原和彦／ZERO-ONE中村部長／I編集長
02年6月 ¥880

紙のプロレス【常備店】
■アイドール新宿店
■新宿ファイター
■大山アメリカン
■プロレスマニア館
■チャンピオン
■リングスパレス
■バディスラム
■タコシェ
■レッスル渋谷
■レッスル池袋
■書泉ブックマート
■書泉ブックタワー
■書泉グランデ
■ワールドスポーツプラザKINGS
・池袋
・渋谷WEST
・新宿
・名古屋
・大阪
・札幌
・福岡
■グレートアントニオ
■東京イサミ

通販申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております。（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）。

【郵便振替】
00130-3-769154
（株）ダブルクロス
【現金書留】〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送　料
1冊＝310円　2冊＝380円
3冊～4冊＝450円　5冊＝520円
6冊以上＝700円

★『紙のプロレス』 NO.1～NO.7／NO.9～NO.12／NO.18／NO.21～NO.22 『猪木とは何か？』『猪木とは何か？キラー編』『大山倍達とは何か？』は完売!!

紙のプロレス RADICAL Back Number

このまま『紙プロ』読んでいたら、ダメ人間になるよ!

ミスター・コスプレこと「SRS-DX」編集長・谷川貞治さん。

マット界の有害図書!?

No.5 97年8月 ¥680

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集!
●ドン荒川vs藤原喜明“昭和新日対談”
●前田日明の大好評人生相談「人生は語らず」
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
長与千種&ライオネス飛鳥/ビクター・クルーガー

No.7 97年12月 ¥680

反骨の剣ー田村潔司 赤いパンツの頑固者、『紙プロ』初のロングインタビュー記念号
●プロレススーパースター列伝・木村健悟
●全女分裂!それでもローリングドリーマー松永会長
●オクタゴンの喧嘩屋・タンク・アボット
前田日明/T・ファンク/アジャコング/ジャガー横田/冬木弘道

No.10 98年6月 ¥680

大和魂は連鎖するー前田日明vsエンセン井上 各方面に波紋を投げかけたスクープ対談!
●松永高司vsザ・グレート・サスケ夢の経営者対談
●冬木弘道「プロレスを進化させるとWWFだ」
●元リングスレフェリー北沢幹之引退記念
谷津嘉章/桜庭和志/前田日明/ダイアナ/宮内美穂

No.15 99年2月 ¥780

目を覚ましてください!! 小川vs橋本“1・4事変”勃発!
●A旧戦犯か、それとも真の革命児か!? 佐山聡
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓!浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ・佐野なおき/Mr.K
A・カレリン/高阪剛/馬場さん追悼/語ろうマサ・サイトー/A・浜口親娘/北原光騎

No.16 99年3月 ¥780

格闘ノストラダムス'99 エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●環境問題を「紙プロ」で語る!?ーアントニオ猪木
●語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ・石川孝志
前田日明/高阪剛/坂田亘/M・コールマン/石川雄規/村上一成

No.24 00年2月 ¥840

頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE.GP』特集
●田村潔司がグレイシー討伐を公約!
●船木vsヒクソン座談会
●WWF大検証!
猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る!
●サスケ×矢追純一UFO超私極宇宙対談!
桜庭和志/堀辺正史/守山竜介/太刀光/嵐/中西百恵

No.25 00年3月 ¥840

格闘ロマン続行ーッ!! 猪木イズムを携えた藤田和之『紙プロ』初登場
●グレイシー撃破後の田村潔司を直撃!
●アニマル浜口は15年前から“火の呼吸”を研究!
●暴露本の原点はここにある! ミスター高橋
前田日明/小川直也/村上一成/サスケ/ダン・ヘンダーソン/ザ・ロック座談会/石川雄規&小路晃

No.26 00年4月 ¥840 完売間近

格闘ゴールドラッシュ! やっちゃってくれサク! 世紀の大一番ホイス戦直前!
●前田、田村にロレックスを贈呈
●ゴールデンタイムで破壊王をまたもや壊滅!小川直也
●あのミスター高橋が告白した!?
村浜武洋/TAKAみちのく/斉藤彰俊/山本宜久/大仁田厚/CRUSH2000/ReMix/エンセン井上

No.29 00年7月 ¥840

「格闘環境」は刻一刻と変化する! ノア解禁! 方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場!
●今度はホイス戦! 桜庭和志
●プロレススーパースター列伝・仲野信市
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
三沢光晴/ノア勢フルメンバー/村上一成/ボビー・ホフマン/TKおかん/里村明衣子

No.30 00年8月 ¥840

燃えよ! 闘魂の火種!! 小川、ヒクソン戦へ一直線!
●元祖日本人ユセフトルコがエンセン井上を激励!
●プロレススーパースター列伝・永源遙
●ケンドー・カシン暴言言ファイル
前田日明/金原弘光/高阪剛/滑川康仁/村上一成/秋山準/ジャイアント落合/桜庭あつこ

No.31 00年9月 ¥840 完売間近

真のストロングスタイルは「PRIDE」にあり!! 歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
●桜庭和志×高阪剛のトークバトル中継!レフェリーは浅草キッドだ!!
●川田利明語録
●プロレスという物語について・ダン・スバーン
小川直也/高山善廣/谷津嘉章/堀辺正史/永源遥/ユセフ・トルコ/島田裕二/田村潔司

No.32 00年10月 ¥840

本誌は“新プロレス”を独占します!! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!
●田村潔司に快勝!ーA・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!? 青柳政司×小路晃
●藤波辰爾語録
●プロレススーパースター列伝
前田日明/桜庭和志/山本喧一/金原弘光×滑川康仁/本田多聞

No.34 01年1月 ¥840

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!! 「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり!
●UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝・ミスターヒト
●修斗から「猪木祭り」へ! 宇野薫
小川直也/高田延彦/桜庭和志/藪下めぐみ/ボブチャンチン&オバチャンチン/田中正志/紙プロ大賞2000

No.35 01年2月 ¥840

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!! 「純プロレス」を考え倒せ! 500人アンケートも実施! 徹底検証号
●ZERO-ONE始動!橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●プロレススーパースター列伝・ジョー樋口
坂田亘/成瀬昌由/滑川康仁大仁田厚/小路晃/杉浦貴/堀辺正史/田中正志

No.36 01年3月 ¥840

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く! 純プロレス復興記念号
●ノアから独立「PRIDE」参戦!高山善廣を確認せよ!!
●桜庭和志初のシウバ戦ド直前!!
●KOKをしゃぶりつくせ! 5大企画で大総括!!
金原弘光/ノゲイラ/ヴォルク・ハン/レナート・ババル/TK/田村潔司
三沢光晴/橋本真也/前田日明/大山峻護/W☆ING/ザンディグ/ジニアス×ハリー・レイス/鍋野ゆき江

No.37 01年4月 ¥840

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001ー大探検記! 菊田早苗/田村潔司×ヘンゾ・グレイシー/シェイク・タルヌーン王子
小川直也/橋本真也/桜庭和志/成瀬昌由×山本憲尚/村上一成×小路晃/堀辺正史/石川雄規

No.38 01年5月 ¥840

高田の“忘れ物”は小川!!ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・阿修羅原
●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー
高田延彦/グンダレンコ・スベトラーナ/力皇猛/杉浦貴/丸藤正道/谷津嘉章/ジミー鈴木/高山善廣

No.39 01年6月 ¥840

どうなるんだ、リングス! 前田isデッド!? すべての“騒動”に前田日明総帥が答えた!
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光/滑川康仁
●怪物か!? それとも……藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
秋山準/山本憲尚/小川直也/成瀬昌由/田上明/石川×臼田×島田/DEEPとは何か

No.40 01年7月 ¥880

開戦間近! 猪木軍vsK-1に見たいものは“地上最強のプロレス”
●蘇れ! Uインター&キングダム伝説!高山善廣×金原弘光[前編]
●本当か? 本当なのか!? この叫びを聞け! 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・グラン浜田
小川直也/三沢光晴/橋本真也/サスケ/郷野聡寛/坂田亘/上山龍紀

No.41 01年8月 ¥880

Can you カミングアウト? “最後の黒船”WWF襲来! どうする「日本のプロレス」!!
●リングス10周年大会! ハンがリングスを振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭対談が実現!
●W☆INGの真実・茨城清志
小川直也/高山善廣×金原弘光//WWF座談会/辻よしなり/秋山準語録

No.42 01年9月 ¥880

猪木なら何をやっても許されるのか!? アントン総帥の言葉はマット界にとって“福音書”か?“テロ行為”か!?
●失われた“新日本”がここにある!ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●大反響!“ヒャッホー”辻よしなり
●蘇れ! UWFインター伝説!! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
高田延彦/谷津章嘉/カト・クンリー/マァ☆ティン/WWF上陸直前特集

No.43 01年10月 ¥880

サクと「PRIDE」のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K-1」にリンクを張った!!
●ブラジリアン・トップチーム3大柱インタビュー
●大谷普二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
小川直也/桜庭和志/谷津×グッドリッジ/中野巽耀/須藤元気

No.44 01年11月 ¥880 完売間近

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
●プロレススーパースター列伝・グレート小鹿
●その修羅場の数々! シーザー武志
●怪物伝承! 高山善廣&杉浦貴
ハンス・ナイマン&ディック・フライ/田村潔司/闘龍門大特集/E・ヴァラビーチェス

No.45 01年12月 ¥880

K-1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!! 「紙プロ」旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念号
●「ケーフェイ」以来の爆弾本投下!ミスター高橋本特集!
ミスター高橋独占インタビュー/前田日明、ミスター・ヒト、佐山聡が「悪魔の書」を語る!
●ジェラルド・ゴルドー人生相談
●葛西純/ウルティモ・ドラゴン/望月成晃/A大塚/金原弘光/矢野×須藤/グレート小鹿/語録で振り返るマット界2001

★『『紙のプロレスRADICAL』 NO.1~NO.4/NO.6/NO.8 NO.9/NO.11~NO.14/NO.17~NO.23/NO.27 NO.28/NO.33は完売!! 常備店で探しましょう!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする RADICAL情報局

>>>新格闘スポーツ『J−DO』第2回東京大会開催決定!!

柔道を基盤とし、柔道最大の魅力である『投げ』に打撃を融合させた新格闘スポーツ『J−DO（ジェイ・ドゥ）』。起案者であり、主力選手でもある池田篤志の夢見る「魅せる柔道」を目指す『J−DO』では、立ち技での打撃を導入し、組めるチャンスを少なくしたことにより、組んだ瞬間に「投げ」を仕掛けなければチャンスを逃すという一瞬の緊張感が生まれ、そこから「投げ」・「一本」といった本来の柔道の技が繰り出される。さらに、最大の特徴である「SKO（スローイングKO。1R中に一本に近い投げを2回投げた場合）」を取り入れたことにより、他の格闘技にはない「投げ」の魅力を存分に引き出すのだ。2001年に神戸で設立された『J−DO』は、過去4回の大会はいずれも超満員の大人気！　東京初上陸でこれまた満員だった6月17日の渋谷ON AIR EAST 大会に続き、来る8月4日にも第2回大会が開催される。次回大会は3分3ラウンドのワンマッチ、全9戦の予定だ。

10月に延期　決定しだい発表（詳細は次号で）

『J−DO　第2回大会』
8月4日（日）19:00試合開始
東京・Zepp Tokyo
入場料　SRS席35000円　RS席8000円
1FA席6000円　1FB席4500円
2FB席4500円　2FSTANDING 3000円
発売中
問：Iam（アイエーエム）　03-5464-5886
HPアドレス：パソコンから　http://www.j-do.jp
iモード・J-PHONE から　http://www.j-do/jp/m

>>>魔裟斗、復活の舞台はベルファーレ!

魔裟斗の復帰戦が8月6日・東京ベルファーレを舞台に行われる。1年2カ月ぶりのウルフ・レボリューション単独イベントとなる今大会はのテーマはズバリ『RESURRECTION（復活）』。今回はパンクラスismから石井大輔の参戦も決定している。

【決定カード】
★魔裟斗VSメルヴィン・マーリー
★（ISKA世界スーパーフェザー級王座決定戦）
大宮司進VSダン・ローリングス
★（パンクラスルール）石井大輔VS栗原強

8月6日（火）　東京・ベルファーレ
入場料：ロイヤルボックスVIP-A席30000円（魔裟斗オリジナルグッズ付）　ロイヤルボックスVIP-B席40000円（ペアシート）　スタンディングA席5000円　スタンディングB席5000円（シルバーウルフでのみ発売）
チケットぴあ他で発売中
問：シルバーウルフ　03-3498-7979
HPアドレス　http://www.silverwolf.co.jp

また、8月2日には魔裟斗の入場テーマ曲『SILVER WOLF』のプロモーションDVDがタワーレコードより発売される。その発売を記念して8月10日、ミニライブ&握手会イベントが開催決定。『SILVER WORF』の購入者を対象にタワーレコード渋谷・新宿・池袋・横浜モアーズ店で入場整理券を配布する。このイベントは8月10日（土）、午後3時よりタワーレコード渋谷店B1F『STAGE ONE』で行われる。詳しくは同店03-3496-3661まで問い合わせること。

イベント★GUIDE

>>>辻ちゃんサイン会実施! 禅道会石原&金子も来るぞ!!

真夏の須磨海岸で辻ちゃんこと辻結花がサイン会を行う！　修斗ライトヘビー級チャンピオンの須田匡昇・ミドル級の池本誠和の他、スマックガール最強タッグの石原美和子と金子真理も参加!!　水着メーカー主催のサイン会だけに、水着姿に期待!?

日時：8月11日（日）　13時〜
場所：兵庫・須磨海岸　海の家「はんなり」
問：水着メーカー「リュウナ」06-4868-6050
HPアドレスhttp://www.ryuna.co.jp

>>>田村潔司が北の町・函館でトークライブ!

エッ!!“こんな時”に『赤いパンツの頑固者』田村がトークイベント!?本人が語る“前科”『PRIDE』2戦についての生トークが聞けるのか!? これはファンならずとも聞き逃せない！このためだけに函館へレッツゴーだ!!

田村潔司トークイベント『UNLIMT×2002』
日時：7月26日（金）　21時〜
場所：函館・フライデーナイトクラブ（函館市本町32-35 ラビットビル3F）　チケット：2000円（1ドリンク付）
問：JAM函館編集部：0138-55-0800

ただ単に暑い、というより霧のサウナに入ったような陽気に、日本の夏の手強さを思い知らされる毎日です。読者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。ベタな名の情報ページですが、結構見逃せない情報満載です。担当はさ興きぃです。よろしくです。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

■高田道場が夏休み限定会員を募集中!

この夏、高田道場でレスリングを習ってみよう！高田道場では、７月１日から９月30日の３ヶ月限定の会員を募集している。この本が出るのは７月25日だが、１カ月ごとの月謝なので今からでも大丈夫！　「夏休みの間だけ道場に通ってみたい」「地方に住んでいるので、1週間だけ東京に来てレスリングを学びたい」など、普段なかなか通えない人が道場を利用するチャンス。期間は、７月１日から９月30日までの３カ月、前金、チケット制で料金は3回:¥5000、5回:¥8000、1ヶ月:¥15000、学生は1ヶ月:¥12000(全て税別)。入会時に写真(３×2.5、１ヶ月会員は２枚)、会費、印鑑、学生証(学生のみ)、20歳未満の人は保護者の同意書を持参すること。詳しくは、高田道場:03-5749-5030まで。

■グレートアントニオ in津田沼パルコ

昨年に続き、今年もグレートアントニオが津田沼パルコにやってくる!!
出張期間:8月11日(日)～21日(水)の11日間
会場:津田沼パルコ・3F連絡通路横特設会場(JR津田沼駅徒歩1分)
【開催期間中イベント】
「山田豊文先生の
ファスティング・ダイエット講座」
前号プレゼントも大好評だったファスティング・ダイエット。直接山田先生からその極意を聞くチャンス!
8月17日(土)時間未定
津田沼パルコB館4F
「毎日新聞カルチャーシティ教室」
参加無料!　先着50名!!
問:グレート・アントニオ
03-3219-9550
HPアドレス:http://www.great-antonio.jp
津田沼パルコ　047-478-4181

■KAIENTAI-DOJOがハウスショー値下げ!

K－DOJOでは、千葉のBlue Fieldにて行われれるハウスショーの料金が一部以下のとおり値下げされることとなった。

★CLUB-K500（火・木）
大人500円　小中学生300円
↓
大人500円　高校生300円
小中学生無料！

★CLUB-K2000（土）
大人2000円　小中学生500円
↓
大人2000円　高校生500円
小中学生無料！

値下げにともない、スタンプラリーシステムが変更。300円のチケットの半券は500円以上分まとめて提示すると、累計金額分のポイントがもらえる。

■ターザン山本「一揆塾」塾生募集中!

もう１年以上続いているターザン山本の「一揆塾」が、リーズナブルな月謝姓になり、新規塾生を募集している。毎週木曜日19:30～21:00、場所は水道橋駅から徒歩３分の「格闘技プロレス闘道館」。月会費は毎月8000円、入会金は5000円だ。体験入門として１回3000円で講義を受けられる。毎回、講義後はターザン塾長とともに飲み会が開かれる（自由参加）うえ、塾長との試合観戦や特別ゲスト参戦の可能性もアリ!?　プロのライターを目指す人はもちろん、プロレスを通してものの考え方を学びたい人、「日常に埋もれこのままでいいのか？　」と悩む人、ターザン山本に全人格をぶつけるチャンスだ！　ノリ遅れるな～。
詳しくは格闘技プロレス図書館
闘道館　03-3512-2080　まで。
ＨＰアドレス　http://toudoukan.hoops.livedoor.com/

■「市屋苑」TEL番号訂正のお知らせ

前号で大好評だったUインターの“黒幕”鈴木健インタビューですが、記事内のお店の電話番号が間違っていました。先日の取材後、当ページ担当のさささぃまでも図々しくお邪魔してご馳走になったと言うのに、鈴木健氏および市屋苑の皆様、関係各位には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ここに深くお詫びをさせていただき、以下のとおり訂正をさせていただきます。焼き鳥をはじめ、料理はマジでうまかったです!! プロレスファンならずとも、行く価値アリ!!　生ビール390円!!
「市屋苑」世田谷区用賀4-14-2　2F
(用賀駅北口より徒歩4分)
TEL　03-3707-3223
HPアドレス　http://ichiokuen.hoops.ne.jp/

■横浜に空手道禅道会が道場をOPEN!!　生徒を募集中!!

近藤を破った男・百瀬善規、秋山賢治、スマックガールでも活躍している石原美和子など、多数の強豪を続々生み出している空手道禅道会が、横浜道場を開設。指導員は指導力（特に寝技）に定評のある'00年全国大会優勝経験をもつ大畑慶高指導員。ゼヒ一度見学を!!
場所:東急東横線「綱島駅」徒歩4分
問:横浜事務局　045-591-1813

■ターザン&吉田豪の格闘技トーク最強タッグ!!

格闘技ファン絶対必見!!　ターザン&吉田豪のトークイベント。大物シークレットゲスト乱入予定!!
『ターザン山本と吉田豪の格闘二人祭!! vol.4』チャージ:2000円(ドリンク付)
8月6日(火)　19:30スタート予定
場所:ロフトプラスワン
(新宿駅東口徒歩5分)
問:ロフトプラスワン 03-3205-6864

■サスケ社長のもとで働くチャンス!

みちのくプロレスが現在、若干名のスタッフを募集している。

1.レフェリー　2.リングアナウンサー
3.営業、渉外　4.総務、経理、秘書

いずれも要普通免許。大型免許を持っている者は優遇。3については経験者、もしくは簿記などの事務資格を持っていることが望ましい。また外国語（特に英語、スペイン語）に堪能の者は優遇。希望者は履歴書及び志望動機を別紙（レポート用紙または原稿用紙１枚程度）に記入し、返信用封筒を同封の上　〒020-0063 盛岡市材木町9-8　みちのくプロレス　人事担当瀧澤宛まで郵送すること。

■セッド・ジニアス「ザ・セメント」情報

週刊Ｐの驚愕の情報公開記事に衝撃が走った７月１日発売「ザ・セメント３」。超大反響のシュプレヒコールを受けて、次回「ザ・セメント４」は８月１日（木）発売!!　予定内容は何と「哀悼・我が親愛なる師匠“鉄人”ルー・テーズ」。“鉄人”ルー・テーズの死去……しかし、セッド・ジニアス、アントニオ猪木等、故テーズ氏と深い関わり合いのあった人物のコメントはマスコミ誌上には一切掲載されなかった。その謎に迫ると共に、セッド・ジニアスから故ルー・テーズ氏への哀悼の言葉……。果たして何が飛び出すのか!?　乞うご期待!!「ザ・セメント４」購入希望の方は、現金書留に代金1000円、送料500円同封の上、下記住所まで。郵便為替でもＯＫ!!
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311　渡辺事務所「ザ・セメント」宛　03-3362-3014
(※この文章はセッド・ジニアス氏本人によるものです※)

大会★GUIDE

>>>『一撃』第2回大会、開催決定!

極真会館の対外試合イベント『一撃』の第２回大会が、プロデューサーに極真世界王者フランシスコ・フィリオを迎えて、８月10日東京ベイＮＫホールで開催されることが発表された。
同大会では極真戦士がＫ－１戦士を迎撃。森口竜（極真会館）グローブマッチでグレート草津（チーム・アンディ）と闘う他、レチ・クルバノフ（極真ロシア）とＫ－１のロイド・ヴァン・ダム（チャクリキ）が空手ルールで闘うなど、他流試合が多数組まれている。
Ｋ－１、『ＰＲＩＤＥ』が人気を博す中、武道精神をテーマにした『一撃』が、極真の象徴である世界王者フィリォをプロデューサーに迎え、どのようなインパクトを残せるか注目だ。なお、今大会は、日本テレビが大会２日後の12日（月）深夜２時から１時間枠で放送することが決定している。

『SANKYO PRESENTS “一撃”』
8月10日(土)　試合開始　13:00
千葉・東京ベイNKホール
入場料:SRS席(記念品付)20000円
RS席15000円　S席10000円　A席5000円　チケットぴあ他で発売中
発売&問:一撃実行委員会
03-5960-7522

>>>“一撃ショップ” OPEN!

東京・原宿に“一撃”オフィシャルショップがオープン！　好評の一撃グッズを通じて、極真空手や「一撃」などの格闘技イベントをはじめ、多くの人に格闘技に親しんでもらう場にしたいとのこと。是非一度、出かけてみよう。
営業日時　※月曜定休
【火～土】12:00～19:00
【日・祝日】11:00～18:00
問:一撃ショップ
03-5785-1608

>>>ヤマケンの弟子・梁正基が参戦!

パンクラスの７月28日昼夜興行、先月時点では交渉中だった“X”が正式決定！　ネイサン・マーコートと闘うのは、ヤマケンの弟子・梁正基！　そして、ネオブラッド・トーナメントには、中台宣から見事一本勝ちしたU-FILE CAMP.comの大久保一樹（横井宏考の永遠のライバル）が参戦決定!!　勝ち抜くのは一体誰か!?　そして、昼の部は禅道会・百瀬善規に、近藤有己がプレミアム・チャレンジのリベンジマッチを挑む！　もちろん謙吾VSコブラも見逃せない!!

『PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR』
7月28日(日)試合開始:DAY TIME 13:30　NIGHT TIME 18:00
東京・後楽園ホール
入場料金:(DAY TIME、NIGHT TIMEは同料金)
SS席12000円／A席9000円　B席6500円／C席4500円／D席3500円／立見3000円　チケットぴあ他で発売中
問:パンクラス　03-5792-0815

大会NEWS★ANOTHER

>>>バトラーツ『PASSION』

9月2日(月)試合開始19:00
東京・後楽園ホール
6・9後楽園大会で「再生」したバトラーツの、2002年2度目の後楽園大会に、K－DOJOからTAKAみちのくが参戦決定!!
チケットは8月2日から一般発売開始!

【決定カード】
★石川雄規vsカール・コンティニー
★原学vsTAKAみちのく
★真霜拳號vsサンボ大石

問:バトラーツ　048-963-0005

>>>r(アール)『r』

7月26日(金)試合開始19:00
6月9日、無念のKO負けを喫してしてしまった“最強”和田良覚が、“負かされた相手”MAX宮沢こと宮沢誠VS内藤恒仁の試合を載いてしまう!!
問:アール実行委員会　03-5365-2622
HPアドレスhttp://www.evm-jp.com/r.html

>>>ラスカチョ「We Love ラスカチョ」

9月29日(日)
試合開始14:00　パーティ開演18:00
東京・ホテルラフォーレ東京御殿山ホール
“ラス・カチョーラス・オリエンタレス”下田美馬&三田英津子が、デビュー15周年&コンビ結成10周年として放つ記念興行。多彩な人脈をフル活用した、超豪華メンバーの揃う大会になりそうだ!
詳細は次号!!
問:ロックウエスト　03-5459-7988

（埼玉県・中川雅博）
「ヘタでごめんなさい　何も思い浮かばねぇんです　来月は頑張ります　ささきぃさんも頑張って下さい　僕は中江有里と保田圭と福田明日香が好きです」⬇いえいえ、若いですしね　またリクエストしちゃったので、よろしくお願いします　保田圭と福田明日香……着眼点が流石です

APA
FAROOQ

祝★第3回！ ダイナマイトな元気でお送りする読者ページ

紙プロ元気大学

ん～ッ、ダイナマイッ!!　（時事ネタ）無事3回目を迎えた読者ページ担当・電気部のささきぃです。前号で爆睡姿をさらしたせいか、たくさんの「ガンバレ」「応援しています」「あれでも女か」「女らしく上品にしろ」「マタは閉じて眠れ」等の応援をたくさんいただいて、嬉しい限りです。ガンバレ、と言われずとも頑張る所存ですが、「女らしくしろ」に対しては、実の親に26年間言われ続けても治らないもんが、読者に言われたくらいで治るはずないよね～と、開き直ってみたもうすぐ27の夏。

校内巡回

【面白かった記事】

◎橋本真也インタビュー◎

★「バカじゃなきゃプロレスやるわけねぇじゃん！」今まで長い間プロレス・ファンやってきて、納得いかなかったことのすべてに一瞬で決着をつけてくれた名台詞。破壊王、サイコー!!

（和歌山県・山田雅巳・37歳・会社員）

⬇破壊王の迷いのなさは、いつもステキで、編集部から誰かがインタビューに行くたびに「どうだった？」とみんなで聞いてしまいます。

★「♪さーがしてるぅーいまもぉー（本当にCDを探しています）」。内容ももちろんのこと、服装が……!!　毎回ア然!!　反則王です!!　キャッコイイです!!

（足立区・匿名希望・23歳・自営業伝承）

⬇破壊王は服装だけではなく、サングラスのセンスも抜群ですが、このページに載ってる写真のサングラスはあんまり気に入ってないそうです。

★小川戦以降、ZERO-ONE旗揚げまでの橋本はひと皮ムケたと思ってましたが、ホントにひと皮ムケたのね。

（愛知県・たつつぁん・34歳・自営業）

⬇この件に関するリアクションは大きかったですね。イビキについても、手術したけどすぐに戻ってしまったそうです。破壊王のナチュラルパワーの成せる技でしょうか。

◎鈴木健インタビュー◎

★なつかしのジャイ子の顔が見れたから。でっかいジャイ子とちっちゃい健ちゃんのツーショットはすげえ不気味。つきあってんのかな？

（千葉県・内野さとし・35歳・無職）

⬇聞いた訳じゃないですが、多分、つきあってないと思う。

★UWFからUインター、キングダム……この流れは私の青春時代であり、私もUインター末期やキングダムの時は頼まれてもいないのによく友人、知人を連れて行き、経営に貢献しようと頑張りましたが、力が足りませんでした。スミマセン。

（台東区・神子えみこ・34歳・専業主婦）

⬇いやいやいや、謝ることなどないです。こちらこそ何だかスミマセン。よく頑張られたと思います。

◎武藤敬司人生相談◎

★次期社長の貴重な性春時代を聞けたから。

（神奈川県・片山洋志・20歳・学生）

⬇そういうアテ文字とかって、どういうところで覚えてくるんですか？

◎小川インタビュー◎

★小川選手は格闘技系（いわゆるガチンコ）の試合はもうしないのでしょうか。紙プロさんの方でそれとなく聞いてもらえないでしょうか。

（大阪市・難波正美・37歳・毎日が日曜日）

⬇うちは、それとなくじゃなくてかなりズバリと聞いていると思うのですが、それとなく聞いた方がいいでしょうか。

◎辻&横井対談◎

★面白い記事はたくさんありましたが、辻ちゃんがかわいすぎるので、辻ちゃんインタビューにしました。

（福生市・クラッシュ・22歳・会社員）

⬇辻ちゃんにクラッシュしてしまったわけですね。わかりやすい理由なので、私はいいと思います。

◎紙プロ元気大学◎

イラストが載ったから。ひっくり返ってたけど。ありがとうございます。

（墨田区・しげる・33歳）

⬇いやぁ、アレにゃぁ俺も驚いたよ（何故か男言葉）。ごめんなさい。

【つまらなかった記事】

◎ドン・フジイインタビュー◎

★ドン・フライが怒ってるよ！　単なるパクリって！

（香川県・木下富康・30歳・会社員）

⬇試合スタイルもフライとは似てないし、ドン・フジイのドンは、ドン・フライのドンじゃなくて、ドン荒川のドンです（本当）。あくまで、あんなふうになりたいという荒川さんへの尊敬の念から来たものなので、多分ドン荒川さんは怒らないと思う。

◎橋本真也インタビュー◎

★昔の橋本は好きだったけど今は、終わった…。だから話きくのもやだ!!

（東京都・高橋久美子・23歳・フリーター）

⬇えぇーっ（本気で驚愕）、なんで、なんで？

◎紙プロ元気大学◎

★「ハガキが増えて嬉しい」と言っておきながら、載っけてるハガキが少ない。

（中野区・ココナッツ"クラッシュ"娘。・26歳）

⬇よく気が付きましたね。えらい（開き直り）。今回は頑張ってたくさん載せてみました。デザイナーさん泣かせです。

【紙プロで実現してほしい企画】

★藤波辰爾と行く名城めぐり

（鳥取県・青戸渉・27歳・会社員）

⬇行きたいですねぇ。

★骨法の先生が最近載ってないので載せて下さい。

（愛知県・清野健徳・31歳・契約社員）

⬇がってん承知。ズバリ言って今月号に載せました。

★『紙プロ』主催のプロレス興行！　ワイは見に行かんけどな！

（大阪府・千本一博・19歳・学生侍）

⬇言ったなら来いよ！

★価格を本体＋税でポッキリ千円に値上げしてください。それで、ふろくをつけてもらいたいです。

（兵庫県・河合健治）

⬇値上げしろというのは珍しい意見ですね。『紙プロ』の値上げは是か非か？

★毎月毎月酒を買うか紙プロを買うかでギリギリなの。案外いのちがけなのよ～！　次号も命がけで買うからね。待ってろ～！　本屋

（熊本県・松本卓・25歳・元少年警察官）

⬇いのちがけですか。値上げは望まれていなさそうですね。でも次号も買うと約束していてくれるので、好感度大です。そしてあなた（その他、少数）のリクエストのおかげで電気部日記が1ページに戻りました。ていうか多分、ページの都合。嬉しい反面、なんてことを言ってくれるんだと思いました。

紙プロ51号・読者が選ぶ面白かった記事ベスト5

1位 橋本真也インタビュー
2位 蘇れUインター伝説　鈴木健インタビュー
3位 武藤敬司人生相談
4位 小川直也インタビュー
5位 小池栄子インタビュー

【ワースト記事】

1位 マット界をワールドカップから語ろう！　座談会

前号に続き、破壊王インタビューが第1位！　今月も面白いっすよ。僅差で2位はUインターファンの激烈な支持を受けた、黒幕・悪い方の鈴木健インタビュー（お店の電話番号間違えていて申し訳ありませんでした）。下ネタ大人気だった武藤敬司人生相談、小川直也インタビューに次いで小池栄子インタビュー。女の子が入るとやっぱり誌面が華やかでいいですね。6位以降、ＺＥＲＯ-ＯＮＥの黒幕・中村渉外部長インタビュー・プレデターインタビュー・ガイジン列伝と続きました。ワーストはブッチ切りで座談会、つまらないのではなく「谷川が気持ち悪い」という意見が爆裂。そんなに嫌いか。

イラスト部掲示板

常連さんにばかりリクエストするのも何だし（中川画伯はほぼスタッフだから別）、もしかしてテーマがあったほうが描きやすいのではないだろうか？　というアイディアが浮かんだので試してみましょう。**「ミルコを倒せ!!　桜庭和志」**なイラスト募集します。数が少ないとページとしても編集部内でも私が格好悪いので、どうぞご協力ください。頼むよ。裏テーマとして**「ダイナマイトな石井館長」**もよろしく。載せられるネタにしてね。もちろんテーマ以外のイラストも待ってます。

（埼玉県・中川雅博）
「リクエスト有難うございます。力不足で正直すまんじゅう（埼玉県小川町の銘菓）」。➡わーい久保田有希だ。アンジェラには負けちゃったけど、ガンバレ、久保田!!　いえいえ、勝手なリクエストでこちらこそすまんじゅうでした。「また良かったらリクエストしてください」とのことですが、私からばかりではもったいないので、画伯へのリクエストは、読者からも受付ましょう。とりあえず、今月は私から横井宏考と崔リョウジをお願いしますです。

（大阪市・英加直純）
➡わぁ、いざ人民肘（直訳）の切り絵ロック様だ。リクエストしてみるもんですね。答えてくれてありがとうございます。かっこええー。

（愛知県・たっつぁん）
「ハカイダーのコスチュームが分からなかったのでキカイダー01のコスチュームを破壊王に着せてみました」➡あ、先月に続いてこれも本来「ほんとにジョーク」行きのやつだ。

（東京都・ゼロキチ）
「幼稚園児のラクガキっぽくてスマンです」➡いや、カワイイのでいいと思います。ポークが似てる。

（埼玉県・宮田浩司）
➡前にも死人のような安田を描いてきてくれましたが、今回はちょっと生きている感じがしますね。頭がどう考えても陥没してるとは思うけど。

（埼玉県・小川徹）
➡これまた前号のリクエストに応じてくれた小川君。センキュー。7月20日のリクエストカード、カシンが自ら一票入れたという、カシン&ブッチャー組vsニセカシン&渕正信組は見たかった。

（青森県・青木雄大）
「プロレス活き活き塾ってのがあるらしいが、新日を飛び出した連中はみんなイキイキしてるなぁ。「脱退」ってより「亡命」って感じだよ」➡アントン会見に行った日に届いたイラストだったので、爆笑してしまいました。

（青森県・青木雄大）
「三方一両損ってのはこういう事なんですね。田村も『PRIDE』も客も全然得にならん試合。あれは田村の役どころじゃない。せっかくの商品価値を落としてどうすんねん！」➡思いは別としてイラストはネタで仕上げる青木画伯。どことは言いませんが田村の特徴をしっかり描いてあるのがポイントでした。

ZERO-ONEファンの名称は……

“ゼロ族”に決定や!!!

前号で募集した“ZERO-ONEファンの名称”に、たくさんの応募ありがとうでした。ZERO-ONEのオフィシャル携帯サイトを担当している吉岡さんによると、ZERO-ONE中毒、略して“ゼロチュー”って言うのは他ならぬ破壊王案だったのだそうです。無勉強で申し訳なしでした。まぁ、せっかくなので他に集まった意見から破壊王に選んでもらって、その中で正式に“ゼロチュー”になればそれはそれで……と思っていたら、なんと破壊王は自分が言ったということさえ覚えていらっしゃらなかったそうです。ありゃ。候補となったゼロファン・ゼロカン・ゼロキチ・ゼロ専・ゼロゲバ・神様・砲火魔・ゼロックス・ゼロトピア・デブ専・ゼロラー……等の言葉の中、破壊王自らのジャッジで、ZERO-ONEファンの名称は……兵庫県の河合健治さん案の“ゼロ族”に決定ーッツ!!　……何だか、私はとんでもないことをしてしまったような気持ちでいっぱいですが、破壊王は「これが定着したらTシャツ作るからな!!」とノリノリだったそうです。まぁ、破壊王がそういうならそれでいいや。今日から貴方も“ゼロ族”!!

元気が爆発しているお便り・投稿大募集!!

ん〜ッ、ダイナマイッッ!!（間が持たない時に便利）ZERO-ONEの乱闘といい、K-1福島大会といい、ガイジン勢の貪欲さは、日本人にはないものだなぁと思ってしみじみすることが多い今日この頃。アレを見てある種気持ちの良さを感じるのは、外国に毒されている証拠なんでしょうか。まぁ、それはそれとして、真夏の夜の打ち上げ花火のような、ダイナマイトなおたより絶賛大募集中です。全て編集部の皆で目を通しています。本誌へのご意見ご感想その他おたよりは、
メールは radical@kamipro.com
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部
紙プロ元気大学「口がすべって3万ドル」係まで。
（本名NGの方はペンネームを記入することを忘れないよーに！）

（東京都・片岡健太郎）➡ハガキのすみに描かれていたのですが、なんか気に入ったので勝手に掲載しました。組長（だよね？）とドン荒川さんとの7・7両国タッグはステキでした。

※投稿はなるべく8月5日頃までにお願いします。早いっていうそれだけで採用の可能性はそこそこ高くなります。

今月のEメール

拝啓、紙プロ元気大学々長様。
前読者ページの「読者病棟」ってタイトルを考えたあたしと、明らかに新しいタイトルを考えるのがダルくて、そのまま使って結果的に病気になった耳男さん&ガイ子さんを並列しないで下さい。あのタイトルに病気の原因はありません。で、医務室はどこですか？　……え？　……ねぇのかよ！

（千葉県・武田いづみ・22歳・パンチョ哀悼）

➡私、学長だったのか……（無設定）。元電気部、現・独り病気部の武田いづみさんからの抗議のEメールでした。紙プロ元気大学ご意見は厳粛に受け止めたいと思います。紙プロ元気大学には、担架と救急箱はありますが、医務室はないので自己管理を徹底して下さい。……ていうか、まさかと思いますが、いづみちゃん、ヒマなんですか？

今月の意味不明

➡編集部一同、たっぷり悩んだおハガキです。多分、バックナンバーが欲しいんだと思いますが、それを入金もせず、ハガキにウチの口座番号を書いてきてどうする。注文方法を確認するんじゃなく、いきなりハガキを送ってくる無鉄砲さが凄いです。ネタでしょうか？

（福島県・O・Mさん）

RADICALでおねがいします。
希望号数＝NO30 NO.29 NO.48 RADICAL
郵便振替．00三0-三-七大九一五四

※ZERO-ONEファンの名称は、ゼロ族に決定！　したのですが、なんと決定したことを破壊王が忘却!!　8/31後楽園の大会名が「ZERO中祭」に!!!
……次からは「ゼロ族集会」にしてくれる！　そうなので、「紙プロ」読者は、チケットを買うとき「ゼロ族集会のチケット下さい!」と大声で言いましょう！

ひとりでも　(株)ダブルクロス・IT事業部改め電気部のページ

電気ですか〜〜ッ!!

2月から始動した"IT事業部"は現在「電気部」として活動中です。仕事は主に携帯サイト「紙プロHand」の更新、「紙のプロレスRADICAL」公式HP発表！　さらにその先の極秘プロジェクトにむけての活動を主にしていますが、編集部のお手伝いとして読者ページやその他のページの作成もしたりしています。そんなひとり電気部・さささぃは、今月はZERO—ONE地方巡業に行きまくりでした。こんな感じで仕事してます。

6月27日（木）編集部→後楽園ホール→編集部

ＺＥＲＯ—ＯＮＥシリーズ「Creation」スタート。大仁田乱入、金村＆黒田が大谷＆田中を襲撃。好きな団体が地熱を使ってここまで盛り上がってきた大切な時に、外からの人達がたくさん入ってくる様を見て、いいようのない不安に襲われる。試合終了後、大慌てで速報アップ。

6月28日（金）編集部

橋本真也　殿

私、大仁田厚は貴殿率いる「ZERO—ONE」へ入門を希望し本日、お願いに参りました。次の条件を考慮の上入門の許可をいただきたい。

一　ギャランティーはその都度要相談のこと

二　大仁田グッズの会場販売を自由に実施する許可をいただくこと

三　体調は常に自己管理している為、道場での練習は不要であること

以上、貴殿の寛大な器量にてご英断いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成十四年六月二十七日

大仁田厚

これが現物なん邪〜

昨日のＺＥＲＯ—ＯＮＥ大会で配られた、大仁田の入門許可願いがあまりにご都合主義で面白かったので「これが邪道の"入門許可願い"邪〜!!」と題して「紙プロHand」の【団体別TOPICS】"アナザー"コーナーにアップ。もちろん、合わせてニュースも書いた。

6月29日（土）
羽田空港→新千歳空港→ラーメン寶龍→アイスクリームショップ→テイセンホール

ＺＥＲＯ—ＯＮＥ地方大会レポートのため札幌出張へ。札幌はカラっとしていていい季候だった。そして、この日のＺＥＲＯ—ＯＮＥは（別原稿で触れているけど）本当に"最高"だった。金村も黒田も大谷も田中も最高に熱くて、面白かった。後楽園で感じた私の不安は、異様に面白いこの試合が吹き飛ばした。インディーでもメジャーでも、志の高さが、その人の"立ち姿"を決める。くだらないにしても志が高い人間がそろっていた時代は、インディーズという言葉はとても有効だったと思うが、今はどうなんだろうか？
横井にド根性で向かっていった佐々木もとても良かった。星川＆高岩組とバチバチを繰り広げた石川＆臼田組も凄かったし、そして、コンサドーレＴシャツをストンピングした上に股間を拭いていたコリノも良かった。破壊王に「後ろだ、よく見ろ、耕平！」「逃げるな、耕平!!」とアドバイスされながらガイジンタッグにやられまくる佐藤耕平も良かった。仕事であっても、この空間に同席できて本当に良かった。札幌、というか、北海道には選手を熱くさせる何かがあるのだろうか。この街はトクベツだと思わせる何かがあるんだろうか。
終わった後は速報をアップ。メールマガジンの速報で、コリノがＴシャツで股間を拭いたことを伝えるという実験をやってみたが、実験すぎた。たまにはいいだろう（と思う）。夜は地元の友達と遊びに行ったのだが、その頃破壊王があんな美談を残しているとは……（破壊王インタビュー参照）。

夕張メロンの言いなりになっているさささぃ(女)

6月30日（日）味の三平→雪印パーラー→テイセンホール→新千歳空港→羽田空港

凄い試合の翌日、スポーツ新聞をチェックしてみたら昨日のＺＥＲＯ—ＯＮＥの試合のことがものすごく小さい扱いなのでガクゼンとする。スペースがないならまだしも「安田がＧ１出場するかどうかはワールドカップの結果で決める」という蝶野が事務所で話してる記事がデカデカ載っていた。事務所の会話がこんなに大きく出ていて、どうして、あんな凄い試合の記事が小さいんだぁぁと憤る。そういうものなんだろうけど、でも、やりきれない気持ちになる。ネイサン・ジョーンズとの不完全燃焼な試合後、２Ｆ記者席で暴れ回る大谷の姿に、勝手に自分のその苛立ちを重ねて見ていた。この日はディック東郷＆日高郁人のＦＥＣタッグが、高岩の右ヒザを痛めつける試合が強烈だった。黒使武藤登場の時、わざわざ東北まで出かけてみちのくを見に行ったときがある。あの時も折原を痛めつける東郷を見ていて怖ろしくさえなった。東郷の攻めは本当に怖い。見ている自分のヒザが痛くなってくるような試合に、お客さんが静まり返った後、高岩への大声援に変わった。その声に押されるように立ち上がった高岩が、日高をデスバレーボムに決め、３カウントを奪った。今までカッコイイと思ったことはない高岩だけど、試合後「このヒザのダメージで、ちょうどあいつらと実力は５分と５分だ。逃げるなよ、東郷」と語った高岩は、男前だった。
そして、この日とうとうバトラーツ・臼田がコリノ＆フレッドの急所攻撃→高速３カウントの餌食に。「ああいうのにも対応できなきゃしょうがないんだろうけど、オレはちょっと……」と、素でボヤく臼田。「次はボコボコにしてやる」。がんばれ、臼田！

7月6日（土）東京駅→新潟駅→新潟市体育館

いかにも街の体育館といった風情の、照明もない新潟市体育館。そんな所にテレビにもバシバシ出ているＯＨ砲がやってくる！　新潟の街でスティーブ・コリノが初のマイク！　「ニイガタ〜、ヒャクショ〜、イナカモノー!!」そんな日本語だけ覚えてどうする。小川・橋本の入場は、暴動でも起きるんじゃないかと思わせるほどの大フィーバーぶりだったが、イスの上に立つのは大変危険なので、気を付けましょう（イスから落ちた人がいた）。この日のメイン記事は会長こと山口日昇が書いた。小川直也、初のフォール勝ち！
地方が面白ければ面白いほど両国が心配でしょうがない。きっと初めてＺＥＲＯ—ＯＮＥを見に来る人もいる。両国がダメだったら、それだけでＺＥＲＯ—ＯＮＥがダメだと思うだろう。何とか、この面白さが少しでも届きますように。

7月7日（日）新潟駅→東京駅→両国国技館

開場よりも早く着いたので、お客さんが入ってくる様もずっと見ていた。入ってくるお客さんが皆今日の試合を楽しみにしている顔をしていて、嬉しくなった。祈るような気持ちで試合を見ていたが、こちらの心配など無用だというような、大成功の興行だった。地方でずっとバカをやり続けていたコリノ＆ファイアーを、ハワード＆ジョーンズが息を呑むような合体技でブチ倒した。そういえば、姫と彦星は会えたのだろうか。

今月は地方シリーズをほぼ網羅、というあまり出来ない経験が出来たので、その事をたくさん書こうと思ったら、電気部日記というより「地方巡業日記」とでもいうような内容になってしまいました。今は、北海道の加藤さんから夕張メロンをいただいて、すっかりメロンに骨抜きです。しあわせです。前号で軽く触れた電気部の募集については、下記をご参照下さい。手紙やメール、お電話などいただきましたが、再度のご応募をお願いします。よろしくっす。

『紙のプロレス』電気部スタッフ募集!

★仕事内容

携帯サイト『紙のプロレスHand』の毎日の更新作業と、紙のプロレスＨＰ作成、IT関係全般の仕事です。本誌『紙のプロレスRADICAL』の仕事もあります。

★応募資格

30歳位までのコンピューターに多少強く、「紙のプロレス」をWEB展開する情熱のある方。心身ともに健康な方でしたら、男女は問いません。

★待　遇

要相談。能力、経験に応じて優遇します。

★注意事項

- 仕事は異様に面白いですが、異様に大変です。その覚悟がない人は応募しないで下さい。
- 「試合結果速報」が電気部の大切な仕事なので、試合後の仲間との飲み会が何よりも大事、と言う方は、その楽しみを捨ててもいいか、よく考えてから応募してきてください。
- 『紙プロ』本誌・RADICALをできるだけ沢山読んでいる人を優遇します。

★応募要項

8月8日（木）行われる東京ドーム興行「LEGEND」を見て、800字で「多数の人に面白さを伝える文章」を書いて下さい。

（会場で見たのか、テレビで見たのかを別に明記すること）
この他、履歴書（写真貼付、好きな選手と『紙プロ』購読歴記入）を同封して８月15日（木）必着で郵送して下さい。書類選考の上、面接日時をお知らせします。連絡がいつまでたっても来ない方は、残念ながら予選落ちです。なお、履歴書はお返しできません。

★宛て先

〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷３-11-３-702
（株）ダブルクロス「電気部スタッフ募集」係まで
詳しいお問い合わせは　03-3403-5188
担当：佐々木まで

リニューアルのようで、そうじゃない。でもヤマヨシはじめました

BEST OF THE スーパー・ターザン・ワールドワイド 'ム

ヒザも笑っちゃうぐらいの面白さ!

第一撃！ 今月のお言葉だもの

国志草 山本宜久

題字&お言葉／【ペン字検定3級】山本憲尚

ノリノリ～♪ 山本宜久（現・憲尚）の『今月のお言葉だもの』第一撃！

©中川画伯

★今月のお言葉【国志草（こくしそう）】

なんか『紙プロ』って、勝手に人の名前使って『ノリノリ情報局』とかやってたみたいやん。それ訴えられるよ、ホント！　著作権とかで。そんでサップに負けたら、そのタイトルも断りもなしに変えますって、そんなの1人オ●ニーや！　ただの自己満足や。でしょ？　ほんならサップの『ボブボブ情報局』とかやればええやん！

まあいいや。『ノリノリ情報局』じゃなくて、もうちょっとカッコイイのとまでは言わないけど、泥臭いのがいいよ。『泥臭くってもいいじゃない』とか『寝言は寝て言え』でもいいけどさ。それか『勃たなくってもいいじゃない？』とか（笑）。でもね、バイアグラ使うと凄いんだよ。1・5倍大きくなるから。マジでビンビンなるんだって！　もうカッチンカチンで女の子に「ロボコップ」って言われたよ（笑）。そんなこと言わない方がいいよな。

次の試合？　まあ、いつも突然決まるんで次がいつなのかわかんないんだよ（笑）。でも、なんか8月のビッグマッチは『Dynamite!』っていうみたいだけど、キャッチフレーズ、オレがもう少し捻って、例えば『顔はダメだよ、ボディボディ』とかさ、それか『伝説』とかいいんじゃない？　あ、伝説は英語で『LEGEND』か（笑）。でもやっぱり、日本人だから横文字使わないで『伝説』とか、『旅立ち』、あと『船出』とか『炎上』その辺だね。カッコイイでしょ？

それでオレ、最近まで熱出してて、誕生日（7／4）もヘッタクレもなかったんよね。だいたいバレンタインのチョコレートももらってないんだよね。高田道場に入ってから来ないんだよ。『紙プロ』で募集してよ。写真付きで「私のヴァージンをもらって」とか、そういうのがいいね（笑）。

で、なんだっけ？

そうそう、この間までホント40度の高熱を出して練習休んでたんだよ。風邪っていうかね、原因不明のウィルスに掛かったんですよ。道場で練習して終わった後に、なんか寒気がして鳥肌立ってきたんですよね。その後、体温計で測ったら38・5度あったんですよ。「うわっやべぇ」って思って、それで夜になったら40度までバーッと急に上がっちゃって、すぐ緊急病院行って抗生物質もらったんだけど、それが合わなくて、ず～っと高熱でさ。食べるもんも食べれなくて、ポカリスエットとか水分しか採らなかったんですよ。やっぱり、高田道場は地下だし、人の出入りが多いから、誰かが風邪ひいたりすると、自分の場合、練習で追い込み過ぎるから体とか抵抗力とかいつも弱ってるんで、菌とか移されやすいと思うんですよ。それで、ずっと家に1人でいたんだけど、やっぱり寂しがりやだからさ。うさぎちゃんと一緒で優しくしてもらわないと死んじゃうんですよ。誰かにかまってもらわないと（笑）。かまってくれる人もいないんだけど（苦笑）。

それよかね、高熱で40度も出たでしょ？　だからキ●タマの精子あるでしょ？　キ●タマが死んじゃったらいけないんで、すぐ知り合いの先生に電話して、「ちょっとオレのキ●タマ、遺伝子残さなあかんけど大丈夫ですか？」って言ったら、「大丈夫だから、そんなバカなこと言わないで解熱剤飲め！」って言われちゃったよ（笑）。

なんか最近、体弱くなっているんだよ。なんでも〝し過ぎる〟から抵抗力がなくなってるんだよ。だから、最近は、し過ぎないようにしてるから。なんでもし過ぎるのが山本憲尚だと思われてるかもしれないけど、やっぱ、し過ぎると風邪ひいちゃうんだよ。何事もほどほどにね。なんでもそうやん。〝太く短く〟の方がいいでしょ。チ●ポも長きゃいいってもんじゃないでしょ（笑）。俺のあそこは太く長くだけどね（笑）。

それとね、いま思いついたけど、このコラムは本名の山本宜久として本音の部分で語ると。山本憲尚っていうのは等身大じゃないよ、と。

それに大体、俺＝下ネタって思ってるのが間違いなんだよ。中国の古語とかね、俺よく知ってるから。（突然）よし、タイトルは『山本宜久の今月のお言葉だもの』で行こう！　この、〝だもの〟がポイントだからさ（笑）。

それで、今月のお言葉はね、「国志草」や！（こくしそう＝〝継続は力なり〟の意味）。〝国志草〟っていうのは中国が唐の時代の物語でさ、ある男の人が女の人に恋をしてしまったと。でも、その人は位が高いわけよ。アナタとはつり合いが取れないからダメだと。でも、その男は諦めずに毎日、国志草っていう中国に伝わる、これをあげれば何でも願いが叶うっていう草があるんだけど、毎日その女の子の家の前に雨の日も風の日も置いてたの。それで一年、365日間ずっと贈り続けたら恋が実ったっていう話があってね。まあ簡潔に言うと〝継続は力なり〟ってことですよ。いい言葉でしょ。一発目はそんなとこかな。以上！

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

映画「ゴースト・オブ・マーズ」をおススメします。

単行本「メカ☆アフロくん」発売中 よろピク マガジンハウス刊

七夕の日は、目に見えない架空の短冊に想像でこう書いた、「8月8日のUFO東京ドーム大会、ガチで小川が試合しますように」って。

「オレはいまさらガチなんてやりたくねーんだ、プロレスしにきたんだよ！　オレはこの世界に!!」なオーラを最近過剰に出し続ける小川は、いまZERO-ONEでプロレス活き活き塾しまくっている。そのノリは、ホーガンになろうとしたデビュー時の北尾のよう。本人だけがノリノリ。一見みんなもノリノリのように見えるが、やっぱ違うと思う。たしかにゼロワンは面白くみんな満足でしょう、大谷は最高だし。でも小川に関してみんなは、あきらめた上で満足してるのではないか、「プロレス活き活き塾もいいけど、その前に一回でいいから寝技の強い人とガチで闘うとこ見たいんです」と。

だってさ、①小川vs大ノゲイラ、②小川vsプレデター、③小川vsK-1選手、この三つでホントに見たいのはどれよ？　①に決まってるでしょ？　それでも③て人は、よほど器がでかいのか、頭がおかしいのかどっちかだよ。小川のプロレスなんてこれから5年後でも10年後でもいくらでもやってけるけど、ガチでのvs大ノゲイラは今しかやれません。だから過剰にそれを望んじゃう。

「強くて体格もあう」と申し分ない相手である大ノゲイラが今存在している以上、小川にvs大ノゲイラを望むのは、日本の正常な普通の人間として当然の生理現象でしょう。それさえしてくれれば何も言うことはないが、これが実現しそうになく遠ざかる一方。前にこの試合を振られると「ノゲイラ？　誰それ？」ととぼける小川。その「誰それ？」が、あっというまに『PRIDE』で頂点に立ち、「誰それ？」ですまなくなってきたら、今度は接近して仲間みたくしちゃって、vs大ノゲイラの可能性を確実に潰していく小川。こっちの夢はしぼんでいく。そんな状況で小川にプロレス活き活き塾されても、ノレるわけがない。

そんな時、出てきたのが8・8ドームで、日テレもUFO川村社長も小川にガチを望んでるとなれば、こっちの夢もまたむくむく膨らむと思いきや、小川にその気はまったくなさそうなのでガックシ。小川がしぶしぶやる気になったとしても、どうせK-1選手とか打撃の人なんだろうなと、ちっともワクワクしない。小川がこれから何回もガチでやるんなら、その中のひとつとしてK-1選手でもいいけど、一回やるかどうかもわからないのなら、そのとても貴重な一回は是非とも大ノゲイラでお願いしたいね。

ちなみに年末のゴタゴタで本来「チキン」と言われまくるとこを、マスコミは小川に「銭ゲバ」って付けたのは失敗だと思う。小川にガチを望む風潮から、かえって逃げ道を与えたような感じ。「チキ

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の 業☆勝ちます

『健介軍のネーミングを改めて考えてみる』の巻

新日本プロレスの混沌常在の業深き定めに対してクーラーのきいた涼しい部屋から面倒臭そうに難クセをつけるオトコラム『業☆勝ちます』。だが、今は新日本プロレスのことよりも、吉幾三がお花畑のど真ん中から死んだ目で笑い黄泉の国チックに熱唱する『新日本ハウス』のテーマソングが脳内でエンドレスループしており、気になってそれどころではない。♪住み慣れた我が家に　花の香りを添えてリフォームしようよ　新日本ハウス♪　……ファミレスに飯を食いに行ってもイクゾー・ヨシのファンク節全開な歌声が頭を離れずどうしても注文が決められない。入店から30分後、これ以上オーダーを避けるとイビサ帰りの瞑想バカがドンギマリで来店したのかと怪しまれてしまう可能性大なので、必死の思いでウェイトレスを呼ぶ。「ドリンクバーとカレーライスでお願いします」とスマートに注文しようとしたものの、気がつけば頭の中の旋律にのせて、♪どりんく～　ばぁ～にぃ～　かれーらいすをそ～えて～♪　とメロディアスにオーダーしてしまう。あまりに恥ずかしいので何も食わずに退店。落研の新入生の度胸試しのようで最悪だが、そんなこと誰もしたくてしているわけではない。問題は新日本プロレスが新日本ハウスのテーマを超える刺激的なサムシングを与えてくれないのが悪い（明らかなすり替え）。テーマなき闘い……まさに新日の現状を言い表す一語である。健想がリング上で言い放った本物のバカにしか言えない名台詞「ボクは、自分の明るい未来が見えませ～ん！」も、キング・オブ・スポーツの呪縛に囚われてテーマなく迷走する現在の新日を代弁しているのだといえよう。

ン」だとイメージ悪いが、「銭ゲバ」だとそんな悪くないもんね、ダーティヒーロー入ってておもしろいい感じ。だから小川も自分から進んで「銭ゲバ」って言って、「チキン」て言われるスキをなくしているように見える。これはハゲる前にさっさとスキンヘッドにして「ハゲた」と言わせなくした松山千春方式か？ ちと違うか。

ニーノ

七夕といえば、その日行ったのはコンテンダーズ。だって、今成vs所、ヤノタクvs小室、小谷弟vs門脇、戸井田vs桑原と好カード勢揃いだもん。これにニーノvs高瀬もあったら最高だったんだけどな（ニーノvs高瀬をゲテモノ大会『THE BEST』でやるのはもったいない。あそこはウルトラマンで昔あった怪獣墓場ならぬVT墓場だ）。試合のほうですが矢野さん絞め落とされて残念、こうなったら次は今成・足関大明神vs小室でお願いします、プロデューサー宇野さん。

あとこないだの『PRIDE』、ジェレミー・ホーンうまかったなあ。この試合判定だったので、そこらの膠着試合とひとくくりにされてるが、ホーンの動きは見るべきとこがいろいろあって面白かったよ。

あとやっぱ高山！ あの顔の変わり様は凄すぎ。赤ちゃんみたいだった。まさに新しいなにかが、あの日あそこで産れた。でも入場曲は「悪魔を憐れむ歌」に戻してほしいな。ストーンズの曲で一番好きだから。僕も昔選手になった妄想するとき（みんなもするよね?）、あの曲でよく入場しました。

新日も高山にG-1優勝させるぐらいの器のでかさを見せてほしいな。

はなくま・ゆうさく■
バンバンビガロで花くまモンスター工場Tシャツ第3弾発売中！

今、新日本プロレスに必要なテーマとはなんだろうか。少なくとも新日本ハウスのテーマではないことだけは確かだ。建って日も浅い渋谷の社屋をいきなりリフォームして『闘魂SHOP』に花の香りを添えれば済んでしまうということではないだろう。多分そんなことをしても面白いとは思うが全然意味はない。だったら吉幾三に新日本プロレスのテーマを作詞作曲してもらい、倍賞美津子に歌ってもらうという手もあるが、テーマとは当然社歌の事ではないということぐらいわかりきっているのでこれも却下。テーマ無き闘いは吉幾三のダウナー極まりない歌のようにこれからも続くことだろう。

と、思っていた矢先、テーマ無き新日内でまたしても何のテーマもなくとりあえず組まされちゃいました的な急造寄せ集めチーム『健介軍』結成！ 佐々木健介を中心に、健想、棚橋、ブルーウルフといった、これといって何か共通の志を持つわけでもないのが4人、かなりとりあえずなカンジで同じコーナーに立つ姿はどう見てもしっくりいってないのが丸わかりで最高！ 総大将に収まった健介の発言も、やはりというか健想や棚橋のコメントに比べて一歩も二歩も腰が引けており、健介の人の良さと気弱さを同時に物語っていて船出からいきなり哀感漂いすぎ。気付いたときには『SWING-LOWS（一丸となってぶつかっていけ!）』なんていう思いきり最初から存在理由の曖昧ぶりを露呈するチーム名がついていた。チーム名が出来てはじめて一丸にならなきゃいけないみたいよ俺たち……って気付くの遅いんだよ！

そんな取って付けたようなチーム名ならば認めるわけにはいかない。ここらで一丁、健介軍の真・ネーミングを真剣に考えてみてはどうだろうか。一丸だとかフラットな関係だとか、そんなんじゃ新・俺たちの時代（当然それもなかったことになっている）のHERO・健介が報われない。

★『健介&ザ・クリスマス』……一丸となって何かにぶつかっていくのに必要なものはやはり志。しかし現代っ子の健想たちにそんなものは堅苦しく感じられて受け付けてはもらえそうにない。ならば志というより楽しい目標を掲げてあげたら？ そこで楽しいと言えばクリスマス。四季を問わずに一年中サンタのコスプレで健介が登場し、毎試合前にプレゼント攻撃で健想たちにいい思いをさせてやれば楽しくまとまること受け合い。

★『ラブ・ササキデリコ』……志なんてわかりにくいものよりも、ファンは常にカッコ良さをレスラーに求めるもの。そしてカッコいいものといえばやはりバンド。健想たちが好きなバンド名に近づけることでなんとなく一丸になる様な気がしてくるから不思議だ。『ササキー・ジェット・シティ』『ササキーディ・サービス』『ささき帝国』『健介階段』とかでも可。健想が紳助バンドが好きなら『健介バンド』とモロなネーミングでも構わない。

他にも『チェーホフ佐々木と桜の園』だとか『桃色健介&片思い』『シルバーベル・ドリーム（2部）』『ぬれ金玉系うらりんご』『ウィーケスト・リンク（すぐにバンクしたがるのを理由に川島なお美が健介を指名）』とか色々適当に思いついたので、改名して一丸となってぶつかっていけ！

おきて・ほるしぇ■
都内某所でドン・フライの生写真を購入！ その店にはノゲイラ兄弟オフショットとかミルコ・クロコップの通勤写真とか狂った写真ばかりが大量に存在！ プロレス業界は生写真商売御法度の世界なので、見つからないように営業していって欲しいもんです。

ザ・検証

今日は朝からリポビタンDを6本も飲んでしまった。飲み過ぎは良くないと言うが、それはホントだ。オシッコの色が、とってもいい感じ。そして昨日の夜からタバコは5箱も吸っている。吸いすぎは良くないと言うが、それはホントだ。締切前も手伝って頭が、とってもパーブリン。とりあえず元気ハツラツに『ザ・検証』いってみよう!

今月の検証 by 椎名基樹

窪田幸生巨根説＆ナナチャンチンを探せ!

パンクラスの窪田幸生選手が、先日『DEEP』ディファ有明大会のミドル級トーナメントで、2試合連続の金的攻撃をくらい、大悶絶地獄に堕ちてしまった。大事なところを押さえながら、うめき声をもらし、さらに「なんでこんなことするんだよ……」と泣き声でボヤくのまで聞き取れた。その姿はかわいそうを通り越し、何せ誰もが（金的→タマキン→おもしろい）とい回路を持っているために、滑稽ですらあった。恥ずかしさのあまり、怒りすら感じた女性客も、ちらほら見受けられた。

実は窪田選手、前回の『DEEP』でも、金的で悶絶地獄の住人になっており、これで3連続金的悶絶地獄巡りをしているのだ。ここでにわかに立ち上がっているのが窪田幸生巨根説なのだ。今、街は「窪田はデカイ」「窪田のは凄いらしい」「いや窪田のは、実はタマだけがデカくって、ファールカップからこぼれる形で収まっているから、凄く危険なんだ」とか「いや窪田のは何もかもがデカくって、何もかもがはみ出しているから、凄く危険なんだ」などと、噂しあっているらしい。

一体、本当に窪田のは凄いのか?見たことがある。触った。ドピュッまで!?等、情報をお持ちの方、『ザ・検証～窪田幸生巨根説～』係まで一報ください。

スマック・ガールで活躍中の北の最小兵器・ナナチャンチンを、1ヶ月前の夜9時頃、自宅付近で目撃した。家に戻り、ちょうど原稿催促で電話してきたチョロ氏にそのことを告げると「ナナチャンチンは、たくさん目撃情報があるんですよ」とのこと。俺は「ふ～ん、目立つからねえ」などと応え、チョロ氏の話にさして興味を抱かなかった。それから、夜中の12時頃になって、俺はお腹がすいて表に出ると、またナナチャンチンがいた。一体、3時間も何をやっていたのだ?彼女は。そこでチョロ氏の言葉を納得した。ナナチャンチンを見た。触った。ドピュまで!?等、情報をお持ちの方、『ザ・検証～ナナチャンチンを探せ～』係まで一報ください。

と、いうことで、先生は疲れておるので、今月はここまで!

本当かぁ?本当なのかぁぁぁ!?

現在の日本マット界で金的といえば窪田幸生と塩崎レフェリーの顔が浮かんでくるが、何かイイ情報をお持ちの方は「紙プロ」まで。

神出鬼没ナナチャンチン!!

"北の最小兵器"北海道に現る!

ナナチャンチン目撃情報はホント様々な人から入ってくる。今月は北海道に出没。空手の大会やZERO-ONEを観に行ったりしてたんだとさ。

今月の検証■■■ by せき詩郎

ミルコはどこまで進化するのか？

『ミルコ進化』。『東スポ』の一面を飾った文字。先日、福岡で行われたK-1ワールドグランプリ、ミルコ対なんだかスキー戦を伝える記事の見出しである。駅の売店で目にした人も多いのではないだろうか。小林綾子といえばおしん、武田鉄矢といえば金八、別所哲也といえばハムの人、スタローンといえば伊藤ハムの人というように、ミルコといえば左ハイキック、戦慄の左足！　といったイメージを多くの人が抱いていると思うのだが、この日のミルコは違った。ハイキックだけではない、それプラス左右のパンチの連続攻撃。最後は強烈なアッパー！　左ハイだけではない新しいミルコ、そう進化したミルコを見せつけたのだ！

　8月には桜庭選手との対戦が決定したミルコ。その試合に向けて、そしてそれ以後を見据えて、これからミルコはもっともっと進化していくに違いない。総合用の練習をきっちりと積めばとんでもない化け物になるはずだ。哀しみを身にまとえばラオウより強くなるだろうし、スーパーキノコを食べれば体が大きくなるだろう。そのうえファイヤフラワーを取ればファイヤボールが使えるミルコになる。スーパー木の葉を取ればミルコは空だって飛べるようになるし、カエルスーツを取れば驚くほど泳ぎが達者になる。そしてスター。このスターを手に入れればミルコは無敵状態になるのだ。

　このようにどんどん進化していくミルコ。一体ミルコはどこまで進化するのだろうか!?　今回の検証ではこのミルコの進化にスポットをあて、このまま進化を続けたミルコはどうなってしまうのか、どんな姿へ変貌するのかを考えてみよう。

こんなミルコ見たことない
ミルコ進化
左ハイキックだけじゃない
雨あられの超剛拳で圧勝
強烈アッパーでTKO
桜庭戦PRIDEルールOKだ

①頭が大きくなる
人間の脳は他の動物とは比べ物にならないほど発達してきた。そしてこれからもどんどん発達していくことだろう。脳の発達につれて頭蓋骨も大きくなっていき、約400万年後には現在の2倍の大きさになるといわれている。よってミルコが進化すれば彼の頭は大きくなっていくはずだ。ドラえもんに書いてたような記憶がある。きっと間違いない。

②鼻毛が伸びる
交通量の多い都会に限らず、最近では地方でもどんどん空気が悪くなってきている。環境汚染が進行している証拠だ。このままだと近い将来、地球上に新鮮で綺麗な空気など皆無になってしまうことだろう。そうなるとミルコもそんな悪環境に合わせて進化していくはず。汚れた空気を少しでも吸わないように鼻毛がどんどん伸びることだろう。そんなようなことがドラえもんに書いてあったから間違いない。

③手足が細くなる
未来は今とは比較にならないほど機械文明が発達してると想像できる。それにより筋力、体力が衰えるはずである。やがて筋力の衰えと言う範囲を超えて手足は退化していき、現代人より細く短くなっていくことだろう。つまりミルコが進化すると手足が細くなるに決まっている。ドラえもんに書いてあったから間違いないはずだ！

④体毛が薄くなる
猿から人間への進化を考えてもらえるとわかるように、進化が進むにつれ体毛は薄くなっていく。衣服を着用することにより体毛の必要性がなくなっていることが一つの理由であろう。そのことから予想するに、進化した未来人は体毛が全くなくなってしまうことだろう。よって進化したミルコは体毛が無くなるはずだ。ドラえもんに書いてあったはずだから間違いない。

　というわけで進化したミルコは宇宙人みたくなるはず。そんなことよりW杯燃え尽き症候群だかいう病気があるらしいじゃない!?　そういう便利な病気があるんだったら早く言ってよね！　私もW杯燃え尽き症候群で～す。だからこれ以上は書けませ～ん！　治ったら頑張ります。以上。

PART 2

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

書評の星座

ロフトプラスワンで定期的にやってるターザンとのイベントで竹内宏介＆新間寿といった三者三様な大物たちとトークをしたり、LYCOSでターザンとインターネット・ラジオを始めることになったり、OH砲ばりに地方を活性化させるべく広島でイベントをやることになったり、安部譲二にプロレスラー時代の思い出を聞いたり、PRIDEの怪人・百瀬さんに衝撃的なPRIDE裏話を聞いたりと、このページとはまったく無関係にアグレッシブな活動を続ける男の書評コーナー。〈e-mail:go@kamipro.com〉

『弾むリング』（北島行徳／文藝春秋／1381円＋税）

障害者プロレス団体・ドッグレッグスの代表であり、『無敵のハンディキャップ』（第20回講談社ノンフィクション賞受賞）や『ラブ＆フリーク』といったドッグレッグスのドキュメントをで知られる北島行徳の新作は、一連のシリーズの特別編。

人生に行き詰まった健常者レスラーのマチズモ神山がリング屋稼業を始めようとして知りあったリング屋・ジャッジ金子や、**「ヤクザのような風貌」**をしたリング職人・諸岡（誠ジムのボス）といったリングの周辺で生きる男たちの人生を描いていく……だけなのかと思ったら、なぜかタイトル通り各団体におけるリングマットの弾力差についても明らかにしていくわけなのだ！　障害者問題に続いて、またもやタブーに挑戦だよ！

とりあえず、アレクが「NOAHのマットはふわふわ」発言で叩かれたり、星野育萌が「プロレスのマットは足がガクガクして踏ん張れない」と語ったりしたように、やっぱりプロレスには**「男子と女子ではマットの弾み方を変える必要が出てくる。女子の場合はレスラーの体重が軽いので、弾んで音が出るくらいにマットを柔らかくするようにした。さらに追求するならば、男子も所属レスラーの体格によってマットの硬さを調節しなければならない」**カラクリがあったようなのである。

つまり、派手な投げ技を連発する団体ほどリングは柔らかくなるし、本書に登場する別のリング職人によると**「SWSのリングを作る時は、所属レスラーであるザ・グレート・カブキやジョージ高野からいろいろな注文を出された」**のだという。

「マットは柔らかすぎても硬すぎても駄目。コーナーポストから叩きつけられる時には、凄い大きな音が出るんだけど痛くない。あの人たちはそんな注文を出すんだよ。正直言って、あの高さから投げられて痛くないようにするのは、どう逆立ちしたって無理なんだよ。だけどSWSは、選手に怪我をしてもらいたくないから、そんなリングが作れるのなら費用はいくらかかっても構わないとまで言うんだ」

こうしてウレタン部分担当のリング職人は**「棒高跳び用のマット」**を活用した痛くないリングを作り上げることにどうにか成功したんだが、**「このスポンジでも完璧とは言えないんですよ。まず値段が高すぎる。SWSはメガネスーパーがバックについていたからいいけど、他の団体ではまずこのスポンジは使えない。それに吸収がいい分、音の迫力が半減してしまった気もしたね」**と語るように、これもまたSWSが失敗した数ある原因の一つだといまさら気付いた次第なのであった。

続いて、パンクラスの場合。もともと、**「電話があった時に『パンクラス』を『パンください』と聞き間違えて『ふざけるな、うちは鉄骨屋だ！』って怒鳴り返していた」**ぐらい、**「パンクラスのことも船木のことも知らなかった」**諸岡氏に、船木はまず**「リングの弾みを抑えるように調整して欲しい」**と注文してきたそうだ。……抑えるだけ？

「変な奴だなと呆れたよ。だって、リングの弾みを調整することに、意味なんかないと思うじゃない、よく弾めば叩きつけられても痛くないし、格闘技をやりたければまったく弾ませなければいいんだから」

こうして、**「プロレスほどではないにしろ多少は弾むようにはして欲しい」**と依頼されて**「格闘技よりは柔らかく、プロレスよりは硬い」**リングを作ったものの、**「三台目からは弾みをゼロにしたボクシングのようなリングになった」**りと、試合スタイルの変遷がリングにも現れていたわけである。

そんな船木のことが気に入った諸岡氏も、パンクラスに対して多少の不満は感じていた模様。

「船木と鈴木の意見だと思うんだけど、要は自分たちにステータスをつけたいわけよ。パンクラスっていうのは格闘技団体だから、若手にリングを組ませないで、企業者まかせにしてますよ、と。だけど、それじゃ人間教育ができない。（略）だから俺は会場では若手を捕まえて手伝わせたけどな」

好感を持っているパンクラスでもそうなんだから、他団体と仕事をしたら**「プロレス界は嘘の固まりだ」**と感じてしまうのも当然なのだ。その原因は、どう考えても高野拳磁辺りのことを指しているとしか思えない出来事が原因だったんだが。

「とあるプロレス団体にリングを作った時の話だ。リング代が半分ほど納められた後、途端に入金が遅れだした。半年近く催促したが、一向に払う様子がないので、正攻法で裁判所に訴えることにした。リング代を踏み倒そうとしている社長兼プロレスラーは、裁判所に呼び出されると『諸岡に脅されている』と自らが被害者のように言い出した。体が倍以上も大きいプロレスラーをどうやって脅すというのだろう」

その後、**「残金は月賦で返す」**と言いつつも金を払わないため諸岡氏がリングを回収すべく倉庫に向かうと、倉庫代が払えずにリングは雨ざらしになっていた。それを見て、**「どうしてこんな相手にリングを作ってしまったのか」**と悲しくなり、リングを持って帰ったそうなんだが、いい加減なのはインディー団体だけに限らないというか。

「メジャーと言われている団体も似たようなものだった。レスラーが出演するVシネマの撮影用にリングを一台作ったのだが、入金の段階になって支払いは別の会社と言われた。（略）次々と会社をたらい回しにされ、その挙げ句にヤクザに脅された」

所属選手がVシネに出られるようなメジャー団体っていうと、やっぱり……？

この本は、そんなプロレス界のダークサイドのみならず、ジャッジ金子がスマックガールに関わっていたことから、〝力道山を刺した男の娘〟篠原光や〝元女子高生レスラー〟千春といった女子格闘家たちの壮絶な人生も徹底取材。篠原光が将来の夢として**「子供のいじめ相談みたいな仕事をやりたいの」**と真顔で語る場面も実にいいんだが、なんといっても衝撃的なのは千春である。

人気先行だったため対戦相手は**「試合中にガチを仕掛けてくる」**し、**「地方巡業で試合を終えると、地元ヤクザの接待にも顔を出さなければならなかった」**し、**「ヤクザたちに体を触られたりすると、千春は怖くて泣きそうになった」**しで、SPWF時代はかなり過酷な人生を歩んでいたらしい彼女。

「千春の気持ちを考えることなく、さらにSPWFは敷いたレールの上だけを走ることを命じた。その最たるものが日本大学通信科への入学と、レスリング部への在籍だった」

これはSPWF側が**「女子高生レスラーの次は、女子大生レスラーとして売りたかった」**ためであり、他にも北島代表は**「高校を卒業した千春に、SPWFのさらなる命令は続く」「SPWFのがめつさはそれだけでは終わらない」「SPWFに妊娠した事実を隠してくれと頼まれた」**（ちなみにNOSAWAとは**「結婚してから会ったのは二回だけ」**で**「彼とのことは消し去りたい過去」**とのこと）だのと、SPWFのダークサイドをとことん暴きまくるのだ！　谷津、最強！

まあ、結局のところプロレス団体なんかどこもそんな調子だろうし、だったら格闘技はどうなのかと言えばスマックガールのギャラがなかなか貰えず貯金残高が8万円になったとジャッジ金子が最後に告白してるしで、とにかくマット界のキツい現状が嫌というほど伝わってくる一冊なのである。

それだけではない。あとがき部分では、障害者プロレスラーの**「ゴッドファーザーが作った障害者と健常者の交流ボランティアグループ」**に、いまは亡きFMWの荒井社長が高校時代に参加していたという知られざる事実にも言及。

「ある時、ゴッドファーザーが試合会場に行くと、座席に荒井氏が挨拶に来た。荒井氏は浮かない顔をして『今度、社長になるかもしれない』と言った。その曇った表情と、彼の性格を知っているが故に、ゴッドファーザーは『やめたほうがいい』とアドバイスした。これが二人が交わした最後の会話となった」

かくもヘヴィな情報ばかり詰まったこの本の中で一服の清涼剤となっていたのが、篠原光の元恋人・太陽○アのズバ抜けた呑気さなのであった。

「篠原が父親のことを切り出すと、太陽○アは『オー！　ビッグニュース』と言って目を丸くした。太陽○アの叔父もプロレスラーだったのだが、過去に力道山とハワイでタッグを組んでいたらしい。詳しい事情はわからないが、叔父は力道山のことが嫌いだったらしく、太陽○アはよく力道山の悪口を聞かされていたという。（略）太陽○アはまるで気にしていない様子だった」

少しは気にしろよ、太陽○ア！

弾むリング
四角い「舞台」がどうしても必要な人たち
北島行徳

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第13回

小川動く。

誘導発電装置で

INP.IV

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡　**目ガ覚メタロウ**

★目ガ覚メタロウさん、いつも投稿してくれてアリガトー!!　御希望の「海賊男ガスパー」Tシャツ(M)、お楽しみに!!
★映画『ピンポン』を観ました。中村獅童さん演じる“ドラゴン”がムチャクチャ格好良かったです。あ～ぁプロレス界にも“ドラゴン”が居たらなぁ…って居るじゃん!!　新日本プロレスの生涯現役社長、ウルティモ・ドラゴン、“ドラゴン”リッキー・スティムボート、今は亡きマジック・ドラゴンなど。でも大相撲の朝青龍関のような若くて気迫に満ちている“ドラゴン”が居ないのでさみしいです。
★ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博手づくりステッカー」をプレゼント!!
採用された方にはTシャツをプレゼント!!　いつ何時、誰のTシャツでもつくるって！　やるって!!
★見てチョーダイ!!　東京元気大学ＨＰ　http://tgu2001.com/

➡前号のTシャツ ストーンコールド

AUSTIN64

THE RATTLESNAKE

応募方法

プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月１名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S・M・L・XL)をハガキに書いて下さい。〈例〉モチョ・コタのXL

一足お先に

OH! Dynamite!

狂乱のFU●K野郎
デンプシーも大暴れ！

7・7 ZERO-ONE

両国大会
大爆発記念

ゼロワンダブル
7・7両国大成功！

16ページブチ抜き大特集

“ZERO-ONE族よ”地方を目指せ!

地方サーキット戦記

炎の男が“北の聖地”を燃やしつくす!

初上陸で超満員!! ZERO—ONE札幌大会2連戦、大成功!! ZERO—ONE=OH砲と定義づけられることに真っ向から反抗する炎の男・大谷晋二郎の起こした炎は、観客をも焼き尽くすような猛火となって、会場・テイセンホールを包んだ。小川直也不在の地方大会、見て損は無し!!

6月29、30日 札幌テイセンホール

小川直也が居る大会と、いない大会とではZERO—ONEの色は全く違う。それはどうしようもないほど小川直也という選手が特殊で、代表・橋本真也との関係が深すぎるからだと思う。小川・橋本というメインイベンターが居る時の大会の空気はまたそれでとても面白いのだが、6月29日・30日のZERO—ONE札幌大会2連戦は、小川直也抜きだから来場しなかった観客に対する、ZERO—ONEの挑戦状だった。

小川抜きだからと言って、この大会に来なかったことを後悔させてやる、という反発精神が、大谷晋二郎をはじめとする選手たちを爆発させていた。運良く、その爆発を目撃できたことを私は本当に嬉しく思う。スティーブ・コリノは必要以上に観客をアオり、星川尚浩&高岩竜一vs石川雄規&臼田勝美がバチバチの熱い試合を見せ、横井宏考が佐々木義人の振り上げたイスを鉄拳でブチ抜く。そしてメインのNWAインタコンチネンタルタッグ選手権試合は、観客をも巻き込むような猛火となって会場を包んだ。

それにしても、たったの千五百人しか、あの試合を見ていない。普段なら、「あの試合の面白さ」を「自分だけが知っている」ということは、ニヤニヤしてしまうような優越感にひたれることなのだけど、あの試合はちょっとそうするには勿体なさすぎて、むしろ哀しいような気持ちにさえなる。凄い試合だった。ものすごく面白い試合だった。あの空間で起きた、あの試合の凄さを、そっくりそのまま伝えることは不可能だ。だとしたら、せめて、あの試合の火種となった大谷晋二郎をはじめとする選手たちを、私は出来るだけの言葉で評価したい。いや、ホントにたいしたもんだったのだ、マジで。

底知れぬほど熱い男・大谷晋二郎が、小川直也不在の地方大会・札幌2連戦初日、田中将斗とのタッグで、金村キンタロー&黒田哲広組と対決。北の街・札幌に上陸した大谷晋二郎という炎は、田中・金村・黒田が〝インディーズ〟という言葉で隠していた、純粋な闘いへの欲求を剥き出しにさせた。インディーを名乗る時、選手は誰しも「メジャーでは出来ない、己のすべてを出し尽くした闘い」を求めていたはずだ。たとえ「己のすべて」がお笑いや電流爆破であっても。言葉遊びの末、いつしか見えにくくなってしまっていた「純粋な闘いへの欲求」が、インディーズの北の聖地と呼ばれている札幌・テイセンホールで爆発した。

黒田のエルボーと大谷のビックブーツのラリーの末、「インディーをなめんなー!!」と叫んでのラリアットで黒田が大谷を倒す。机を持ち込んだ金村は大谷を寝かせ、コーナーからのダイブ。机ごと大谷を真っ二つにし、ザックリと大谷の背中を切る。さらに田中の脳天をコーナーに固定したイスに打ち付ければ、田中が机の破片で金村の頭を3連打、カットに入った黒田と2人まとめてDDT。机ダイブのお返しとばかりに、大谷のスワンダイブ式ドロップキックが金村の後頭部に矢のように突き刺さる。どんなに強烈な攻撃が入っても入っても、4人は立ち上がることを辞めようとはしない。「全力を出す」と人は簡単に言うが、すべての力を出し切る、ということは、こういうことなのだ、と突きつけられている様な試合だった。

最後は、大谷が金村を捕まえてドラゴン・スープレックスからスパイラルボムへとつなぎ、3カウントを奪取した。カットに入った黒田が、金村にがあと一歩間に合わなかった黒田が、金村に寄り添っていつまでも動かなかった。大谷がコーナーに登ろうとして落ち、ベルトが王者組に返還される。リングを去る金村と黒田に向かって、大谷がマイクを取った。

「金村、黒田! 気に入ったぞ!! ……火祭り、出ていただけますか」。

大谷の言葉が、熱戦を次へ繋げた。黒田が「出てやるよ!! ど〜ですか、お客さ〜ん!!」と返し、4人を観客の大歓声が包んだ。

「金村、黒田。ZERO—ONEは楽しいだろ? ZERO—ONEはどうだ? 見てる方も楽しいし、やってるほうも楽しいから、みんなZERO—ONEにやって来るんだよ」。

試合後の田中の言葉を、まだZERO—ONEを体験していない人達と、ZERO—ONEは橋本・小川だけだと思っている人に捧げたい。その2人だけを見てZERO—ONEだと思いこんでしまうのは、あまりにも勿体ない話なのだ。

(ささきぃ)

〈ZERO-ONE 大谷バージョン〉

プロレスを待っている人たちのもとへ孤独な英雄はやってくる

OH砲のいるZERO―ONE地方興行・長野・新潟大会は、絶対的なスターを迎え入れることの出来た観客の興奮が会場を包んでいた。「たくさんの人が応援してくれて、心から本当に感謝したい」。割れんばかりの歓声は、ZERO―ONEと、孤独な暴走王をどう変えたのか？

7月6日　新潟市体育館

これまで小川直也に向かってファンの純粋な応援の言葉が向けられることは、きわめて少なかったと思う。いや、ファンはいるだろうが、勝って当然、負ければ大ブーイング、試合に出なければチキン、もしくは銭ゲバとまで言われるのが小川直也である。彼は、マット界に登場した時から、普通のレスラーではない。英雄ではあったかもしれないが、そのあまりにも衝撃的な登場の仕方によって、小川直也は〝普通の応援〟をされる機会を完全に失ってしまっていた。彼は登場した時から、ずっと独りだった。普通のレスラーが普通に経験するような、同期の仲間との交流もない。そんな小川直也が、己が何度も何度も倒して倒してきた男・橋本真也率いるZERO―ONE地方大会に、次々と参戦した。とっておきの、誰もがその姿を一目見るのを待っていた大スターとして。

小川直也・橋本真也の〝OH砲〟が参戦したZERO―ONE地方シリーズ「Creation」は、前半の札幌2連戦とかなり色合いの違うものとなった。小川・橋本という絶対的なメインイベンターが存在することで、大会全体に流れと権威が生まれた。新潟での第一試合、丸坊主・黒のショートタイツの選手が、「巨人の星」のテーマで登場するという、これ以上ないくらいわかりやすい「前座の第一試合」に象徴されるように、すべての選手が自分の役割を持ち、興行における意義を全うしていた。その上で、小川・橋本を見に来た客の心に、先に自分の姿を刻みつけてやるという意気込みがひしひしと感じられ、リングに向かう観客の意識がどんどん高まっていくのを感じた。そして、メインの小川直也・橋本真也の登場で期待感がイッキに爆発した。テレビのブラウン管や雑誌を通してしか見ることのできなかった小川直也という存在は、長野・新潟の会場にかつてない高揚感と緊張感を持ち込んだ。単純に「小川・橋本がナマで見られると言うことは、こんなにも大声をあげて歓喜することだったのか」と驚かされた。東京の大会等でよくある「あえて小川や橋本を応援してみよう」という声援とは、全く色が違う。小川直也様と橋本真也様が、こんな街まで来てくれた、という事で、観客は暴動さえ起きるのではないかと思うくらいに高揚していた。イナカだから、たまに来たスターが珍しいのだ、という理由だけでは、大会全体のあの大盛り上がりは説明できない。そもそも、そんな理由では小川直也を参加させることも難しいだろう。山ほどのスターを抱える他団体が地方興行に大苦戦している中、ZERO―ONEはどうやってその盛り上がりを手にすることが出来たのか？

基本として、橋本真也には「俺と俺のやっているプロレスは、人から愛される価値がある」という揺るぎない自信（自信の根拠は、よくわからない）がある。ZERO―ONEの地方シリーズが盛り上がる理由のひとつは、橋本真也の「地方の客にも、俺の団体を見せてやらねば可哀想だ」という、非常に単純で素敵な意志が、いつも選手達を守っているからではないか、と思うのだ。その意志は、小川直也という孤独な暴走王にまで届き、地方シリーズに誘い込んだ。小川直也は、その報酬に、己が来たと言うだけで狂喜し、花道に駆け寄る大勢のファンを見た。悲鳴にも似た声援を聞くことが出来た。それは、小川直也にとって初めての経験だっただろう。そして、ファンは、小川直也と橋本真也というスターをその目に焼き付けることが出来た。ZERO―ONEは、東京中心の興行から地方巡業可能な団体にステップアップし、地方での熱狂的な歓迎を受けることで、ひとまわり大きな団体へと変化を遂げた。すべての人にとって、なんて素敵な話なんだろう、と私は思うのだ。

「この2人がいる限り、ZERO―ONEは絶対につぶれません」。孤独な人間が声援という形で〝愛情〟を手にしてしまったということは、ある意味残酷なことだ。今までがどれほど孤独だったかを感じてしまうし、これからも無意識にその声を期待してしまうだろうから。その喜びと苦しみを背負ってしまった小川は、ここから〝何〟と、〝どんな〟闘いを見せるのか？

「俺達は政治力には絶対に負けません」。小川直也、セカンド・ステージ突入。そして新たなる闘いの始まり!!

（ささきい）

〈ZERO-ONE　OH砲バージョン〉

プロレス本来の、面白さを味わいたいなら

ZERO-ONE 2元観

好評につき
第2弾!
ZERO—ONE旅日記

ZERO-ONE 7・7 両国への道

『紙プロNO51』で大好評だったZERO—ONE地方巡業旅日記の第2弾！　今回のシリーズ『Creation』は6・27後楽園大会から、札幌2連戦、そして長野、新潟大会を経て、ビッグマッチとなる7・7両国大会までの全6戦。今回のZERO—ONE旅先案内人は、リング上での突貫ファイトだけでなく、デザイナー、そしてイラストレーターとしても評価の高い富豪²夢路だ！

【ふごふご・ゆめじプロフィール】
■平成8年、レッスル夢ファクトリー、博多スターレン大会で藤崎忠優の名でデビュー。脅威の威力を誇る頭突きと玉砕ファイトで頭角を現し、ZERO—ONE旗揚げ戦の両国に参戦。旗揚げ一周年の両国では、小笠原に蹴られ失神。その瞬間、見果てぬ夢を追い続けた男、藤崎のプロレス人生は終焉を迎えた。しかし、その魂は思いのほかしぶとく、一週間後の後楽園ホールに富豪2夢路として生まれ変わり堂々登場。黒毛和牛太とのコンビで強引に会場を盛り上げている。175cm　95kg

《第一日目》 6月27日　東京・後楽園大会

アメリカ最強軍に、我らが破壊王がフォールを奪われるという波乱で幕を開けたZERO—ONEセカンドシリーズ「Creation」。今回も色濃い連中が集まっての激闘戦線。ただでは済まないのは百も承知だ！

《第二日目》 6月28日　オフ

札幌への出発を明日の早朝に控え、焦燥感を押さえきれない男がいた。その男の名は、大谷晋二郎である。

前シリーズ「Genesis」金沢大会で一人飛行機に乗り遅れるという不祥事（?）を起こしてしまった大谷さん。遅刻といえばファンの皆さんもご存じの通り橋本さんの得意技の一つなのだが、大谷さんはたった一度だけの遅刻にもかかわらず周りから「明日大丈夫?」と必要以上にプレッシャーをかけられ、かなりデリケートになっていた。別れ際にポツリと一言。「う〜ん、今夜寝るのが怖いな」。

《第三日目》 6月29日　北海道・札幌大会

羽田空港に集合したZERO—ONE勢。そこには真っ赤な目をして誇らし気な笑みを浮かべる大谷さんの姿があった。「俺が一番乗りだ!」と会う人会う人に自慢してまわっている。よっぽど嬉しかったのか、大谷さんのアピールは止まらない。しかし、実際は弾丸戦士こと田中将斗が一番乗りだったという説があるが、追求するのはやめておこう。

さて、初上陸となった札幌はマニアが多い事で有名。会場となった札幌テイセンホールに集まった観客も盛り上がっていい感じだ。

初来日の外人勢も徐々に個性を出してきたが、その中でもインターナショナルJr王者スパンキーが光を放っていた。

空港一番乗りの勢いで（?）メインの大谷&田中 vs 金村&黒田のNWAインタコンチタッグタイトル戦は最高に熱い試合だった。

《四日目》 6月30日　北海道・札幌大会

前号で紹介した「中村」ボードに続き、6・27後楽園大会では「平成の仕掛人　中村渉外部長」というボードまで登場。破壊王への金の紙テープも忘れるべからず！

ハードスケジュールの中、日光浴をしながら、やや動物チックな二人。こんな時はなんにも考えてません。あえて言うなら「ソフトクリーム食べたいなぁ」くらいかな。

札幌二日目も超満員で嬉しい限り。この日は星川番長を相手に王座を防衛したスパンキー。とにかくキレイな顔をしてる。ゴリライモみたいな顔ばかり（by破壊王）のZERO―ONEには今までいなかった色男だ。いや、こんなにキレイな顔をしたプロレスラーは俺の記憶では過去にもいなかった。勝利のタイタニックポーズを決めた時に、後ろでサポートしているレフェリーのデューク佐渡が頬を染めて照れていた。おいおい、なんでだよ！

得意の丸め込み技が冴え渡る〝ファンシープリンス〟スパンキーの登場に破壊王のプロデュースブレーンがフル回転し始めた。

橋本「どうやったら、もっと人気でるかのぉ」

夢路「コスチュームを変えたらどうですか」

橋本「そや、すっごいビキニにしたれ！ 派手なヤツで。それはそうと両国でスパンキーは誰とやるんだ？」

中村「いや、橋本さんがいらないっていうんで、カード組んでないですよ」

橋本「いいから、両国でアイツの試合を組め！」

かくして両国国技館初のダークマッチ、第0試合・スパンキー対佐々木義人戦が緊急決定したのだった。

すっかり日本慣れしてきたスティーブ・コリノ。今回は盟友というか、"利用しやすい男"ラピッド・ファイヤーを帯同。怪しげに日本について指導中。

広がる美しい海を見つめながら、得意のタイタニックポーズをキメる初来日のスパンキー。かわいい顔して、憎らしいほどナルシスト。

ZERO―ONEに突如現れた美少年系レスラー・スパンキー。タイタニックのテーマで入場し、コーナーでカッコ良くポーズをキメていたのだったが…

《第五日目》7月1日 オフ

さて、選手達は試合後、それぞれ札幌の街へと繰り出した。俺は番長と高岩さんの三人で出かけたのだが、そこで猛威を振ったのが流星番長こと星川尚浩。とにかくこの男、タフだ。トレーニングに、試合に、そしてオフタイムに惜し気も無くエネルギーを発散しまくっている。一体いつ休んでいるんだろうと不思議に思うくらいだ。四件目をまわったところで、俺と高岩さんは目がトロンとしてきているのに番長は何事もなくスマイルを振りまいている。

高岩「おじさん達はそろそろ帰ろうか？」

夢路「そうすね」

俺と高岩さんは番長を残しホテルへ。番長はなんとその後も四件回り、計八件。朝まで遊んで飛行機で帰京。さすがは番長だ。

ここで珍事が。空港で到着荷物のスーツケースを取ろうとしたら、ベルトコンベアの勢いで、そのまま俺の体が乗っかってしまい、田舎のラブホテルの駐車場みたいな幕の向こうに飲み込まれてしまった。確かに一度はあれに乗ってみたいという願望はあったが、その時は人もあまりいなくて、ウケを狙うにはおいしくない。「へぇ～、中はこんな風になっているのか」と感心しつつ四つん這いのまま銀色のトンネルをくぐり抜け、しばし荷物と一緒にディズニーランド気分を満喫した。ようやく出口から顔を出すと心配して待ってくれていたZERO―ONE事務所のお姉さんが微妙な笑みで迎えてくれた。

そして、ZERO―ONE合宿所の寮長でもある流星番長は寮に着いて一時間もしないうちに、また遊びに出かけた。

（写真右）今シリーズも絶好調の流星番長。リング内外でギンギラギンっす!!（写真上）北の最小兵器らしく、札幌に出没した女子格闘家ナナチャンチンと高岩さんの2ショット。餅つきパワーボム伝授か!?

これが旅日記の五日目に出てくる富豪2夢路が空港の到着荷物のベルトコンベアに乗っかってしまった際の再現イラスト。ちなみに、この絵はイラストレーターとしても有名な富豪2本人によるもの。移動もコスチューム姿なの？

《第六日目》7月2日 オフ

オフの間に、橋本さんから指示を受けたスパンキーのNEWコスチュームを完成させるべく五反田にある『シマ・クリエイティブ』へ。こんなに短期間でコスチュームフルセットを作り直すのも極めて異例の話だ。これもZERO―ONEの魅力か!?

《第七日目》7月3日 オフ

レフェリーのデューク佐渡によるとコリノがスパンキーのショートタイツを異常に楽しみにしているらしい。

コリノ「えっ！ ショッキングピンクのショートタイツに変えるって？ かわいい顔したアイツにはピッタリだぜ！ ククックッ」

策略男爵、ピンクのショートに何を思う？

夢路&和牛太組のマネージャー・杏野るりちゃんがスケジュールの都合で両国に参戦できなくなったらしい。また会えるのを楽しみにしていたので、ちょっと残念。いや、かなり残念。

《第八日目》7月4日 オフ

スキンヘッドのスメリーの「スメリー」の由来って何だ？ そんな素朴な疑問が沸いて、さ

っそくデュークに調べてもらった。

スメリー「オレはシャワーも浴びなきゃ、風呂にも入らない。だから、スメリーだ」

デューク「Why?」

スメリー「そんなのオレの知ったこっちゃねぇ。子供の頃からそう躾られたんだ」

ていうか、お前レスラーだろ? 汗かくだろ? 大丈夫か? リアル・グリーンベレー、リアル・インディアンの次はリアル・スメリーかよ。ちなみに札幌で対戦した和牛太に聞いてみると、「そんな臭くなかったッスよ」との答えが返ってきたが……。

《第九日目》 7月5日 長野・長野市大会

これまたZERO―ONE初上陸となる長野の熱気は凄く、北に移動したという感覚がない。お客さんは盛り上がるところはガッと盛り上がり、じっくりした攻防は、じっくりと見入る。凄く楽しんでくれた感じだ。

「トゥー!」でお馴染みのミスター・フレッドも全国各地で、すっかり人気者。本人も気をよくして必用以上に「トゥー!」「トゥー!」「トゥー!」「トゥー!」張り切ってやがる。それでまたギャラアップを要求するんだろうなあ。

《第十日目》 7月6日 新潟・新潟市大会

新潟のお客さんも、やたらと熱い。何だこれは?って感じでOH砲の入場の時なんかはメチャクチャ大変だった。5月の松山大会も凄かったけど、新潟も激しいな。

それにしてもプレデターの入場は連日お客さんに雪崩れ込んで冷や汗ものだ。セコンド陣も殴られ蹴られ、試合同様(いや、それ以上?)のダメージを負う。何とかならないものか。それに加えてなんだかネイサン・ジョーンズが日本馴れしてきている。試合中の不気味な笑みも日増しに多くなった。でもバイオハザードに出て来たよな、こんな奴。

《第十一日目》 7月7日 東京・両国大会

いよいよ、両国最終戦。新潟から当日会場に移動するハードスケジュールだったが、選手ひとりひとりの表情からは大一番にかける意気込みがヒシヒシと伝わってくる。

これが噂の反入浴党・スメリー。試合中の雄叫びは「スーパードゥーパー! ブーパースクーパー!」(意味不明)。日本でいう「生麦生米生卵」みたいなもんか。

冴え渡る怪しげな法の番人ミスター・フレッド。俺も、あれくらい図々しく生きたいもんだ。一番うらやましい男かも。

これがスパンキーのニューコスチューム。ビキニを連想するデザインにしてみました。写真ではわからないけど、ヒップに入っている「SPANKY」の文字もおちゃめです。

なぜか御機嫌なプレデターに忍び寄る巨大すぎるネイサン。2人のライバル関係が波乱に波乱を巻き起こす。頼むから、おとなしくしてくれ!ッ

(写真上)若手から新弟子まで片っ端からなぎ倒し入場するプレデター。「危ないですから、お客さんは近づかないで下さい!」と大声を張り上げ続けるオッキーも大変だ (写真右)そこの少年ッ! 危ないから近づいちゃダメだって! エッ!?

『プライド1』で北尾と闘った男・ネイサン・ジョーンズ。そのバカでかさで、あちこちの壁を破壊しまくっていた(?)ネイサン。焼肉屋ではテーブルを一人占めして食いまくり。

7・7両国大成功！

ゼロワンダフル

破天荒なビッグマッチ続出で見に来たお客さんも驚くことが多々あったと思うが、俺も驚いた。控室に入ったらサバイバル飛田がいるじゃねえか！　飛田とはもう10年も前からの知り合い。古くはSPWFの3部リーグの試合で、なぜか電気炊飯器を片手に入場してきたという伝説を持つ怪人だ。屋台村プロレスでも一緒になったことがある。両国の控室で飛田に会うなんて、つくづくプロレス界は素敵な驚きを与えてくれる。飛田は金村選手、黒田選手組と一緒に怪しげなブリブラダンスを見せてくれた。

この日の俺と和牛太の相手は伝説の藤原喜明&ドン荒川組。久々のファイトとなる荒川さんは、どこまでもバカな技で俺達を煙に巻く日本一の無責任レスラーだ。しっかりと伝説を体感させていただきました。

名シーンを多く残した今大会の中でも忘れられないのが、元極真の小笠原和彦。実力と執念で橋本さんとの闘いに漕ぎ着け、感動の中での玉砕。男の人生を懸けた瞬間に涙が溢れた。その姿は、まさに実写版「空手バカ一代」。こんなに爽やかな遺恨決着も最近は少なかった。

そして、なんと言っても両国大会といえば「長すぎたケージ設営」だ。俺も当日初めて見た、あんなでっかい金網。次回、金網マッチがもしあるなら、なんらかの策を練らないとヤバイ。

それともうひとつ、メイン終了後の大乱闘、あの通訳は一体、誰だ!?　リング上の日本人選手がいっせいに「誰だ、この野郎！」とつっこんだが、その正体は今だに謎。

七夕に願いをかけたZERO―ONEの大一番は大成功に終わった。この勢いがどこに向かっているのか、渦の中にいる俺には、さっぱり分からない。まあ分かりきったものは面白くないから、それがZERO―ONEの魅力なのかもしれない。

《番外編》7月8日　両国大会翌日

目が覚めてびっくり！　俺の右腕に大きなアザが！　なんじゃ、こりゃ!?　昨日の試合でなんかあったか？　思いあたることはないが。あえて言うなら、最後に場外で荒川さんに右腕を極められて、なんかゴリッと痛かったような…。それにしても一瞬だったし、まさかカンチョーで妙なツボをやられたのか！　これが噂の七年殺し？　やっぱりあの親父、ただ者じゃあねぇ！　俺の体はこれから、どうなるんだ!?

金村キンタローの粋な計らい（？）で両国に登場してしまった〝インディーの中のインディー〟埼玉プロレス代表・サバイバル飛田。

試合後、感極まり互いに涙で頬を濡らす破壊王と小笠原。よ〜く見てみると、リングサイドにいる富豪2夢路も泣いている。フゴフゴ。

久々にリング登場のドン荒川。新日時代となんら変わらぬキレイなフォームで鋭いカンチョー炸裂！

右端に写っているレスラーと見間違えそうなルックスの男が両国大会の通訳を務めた。流暢な、べらんめえ調を操り観客の注目を集めた。

Q.突然ですが問題です！これは誰でしょう？

我こそはゼロ族（※破壊王公認ZERO―ONEファンの名称）だというキミ！　このジェントルマン風な男の正体が誰だかわかったという人は、選手名を明記して『紙プロ』編集部までハガキを出すんだ！　何かあげます。宛先はP159参照

見てみぃ、この腕！　両国大会で藤原組長&ドン荒川という伝説のタッグチームと闘った富豪2夢路の右腕に、試合翌日から原因不明の大きなアザが出没！　思い当たる節はないと頭を抱える夢路…。

次号予告　何が飛び出すかわからない　ZERO-ONE寮潜入レポート

リング上もリング外も何が飛び出すのかわからないのがZERO―ONEの魅力。『紙プロ』次号ではキャラクターの宝庫『ZERO―ONE渦巻寮』へ潜入取材を敢行！　時は来たッ!!

ゼロワン渦巻寮・寮長のセクシーショット！　ちなみに寮では、2週間に一度は寮長のカレー曜日がある。

前号の短冊でも『紙プロ』読者の方々を不思議ワールドに導いた崔リョウジ。彼の部屋で、ビニール袋を手で四角く切り取った（そんなことするか？　普通）ものに、油性マジックで『天才たけしの元気が出るテレビ』と書かれた謎の物体を発見。しかも、テーピングで壁に貼ってあり、さらに縦書きなのに左から書いてある。「何だこりゃ？」（夢路）。「出たかったんすよね。元テレ」（リョウジ）。「全然答えになってないやん。何これ？」（夢路）。「いひひひひ」（リョウジ）。ゴルドージムに押し掛け入門するだけあって、この男のおかしさはハンパじゃない。不可解な事が多すぎる。極々近い将来、『ZERO―ONE渦巻寮』（寮長・星川尚浩）のミステリーを紹介したいと思います。

富豪2夢路HPアドレスはこちら！　http://www.shotguntoy.com/yumebaka.htm

火祭りは地獄の一丁目や！

覚えとけよ!!　―破壊王

7・7両国大成功！
ゼロワン ダブル

6・27 火祭り'02総決起集会 in 後楽園ホール完全再録

（休憩明けに来場した金村&黒田がマイクアピール）

金村　オイ、ZERO―ONE？　中途半端なメジャーやのぉ。

黒田　（金村と顔を見合わせて）オヤジ、インディーかもよ。オイ、ZERO―ONE、ナンボのもんじゃあ！　どーですかぁ、お客さん!?

（ここで昨年の火祭り準優勝者の耕平がリングサイドに駆け上がる）

黒田　オイ、ザコは引っ込んでろ、オラ。ザコは用がないんじゃ、ボケッ！

金村　オイ、三流はこんでええんや、三流は。お前は一体誰やねん！　そんなことよりよぉ、お前らの大将や！　大谷、

田中　あちこちで火祭りに火つけておいてよ、ほったらかしかい!?　田中、大谷出てきてみろ、オラ！

（大谷、田中が控室から姿を見せると『神風』がダッシュでリングイン）

『神風』　オイ、大谷、久しぶりだな。『神風』だ、覚えているか？　お前ら2人（金村&黒田）火祭り出るってアピールしているけど、俺はもう火祭りに出るからよ（キッパリ）。ちなみに俺はAブロックだから！　っていうか今日からシリーズだろ。次どこだよ。あぁ札幌？　じゃあ札幌から試合するぞ、俺は。荷物持ってきたから、先に札幌に行ってるわ。

（石川が不敵な笑みを見せ、ブーイングを浴びながらリングに登場）

石川　ハイ、お待たせしました。大谷さんよぉ、火祭り俺がいなきゃ始まらねえだろ。俺の枠空けときな。俺が怖いんだったらしょうがねえけどな。それと、ブーブー言ってるお客さんよ、1人ぐれえなあ、憎まれ役がいた方がいいだろ！　楽しみにしときな。

（そこへTAKAが登場。TAKAコールが自然発生）。

TAKA　（ペコリと頭を下げて）どうも、KAIENTAI―DOJOのTAKAみちのくです。今日は火祭りの参戦立候補に来ました。俺はアメリカ、プエルトリコ、メキシコ、カナダ、世界中渡り歩いて、熱いものを求めてここにたどり着いた。こん中、入ったらよ、俺は小せえよ。だけどよお、コイツらより、誰よりも熱い試合してやるよ。小さいから、ジュニアだからって言葉で片付けんなよ。俺はアメリカじゃあ、お前らよりデカイ奴とやってきたんだよ。お前ら、TAKAみちのくと大谷晋二郎見たいか？（ファンから「見た〜い」の声）TAKAみちのくと田中将斗見たいか？

（会場に再び「見たい」との歓声が上がる）

田中　お前らが上がるんやったらなあ、誰とでも勝負してやるぞ。大谷、お前もやからな、覚えとけよ。

耕平　三流だと、ふざけんなよ。大体なあ、お前ら上の人間だけで勝手に決めてんじゃねえよ。テメエら全員、覚悟しとけ！

大谷　集まったなぁ、集まったなぁ、オイ。よしよしよし。お前らの気持ちはよくわかった。誰とでもやってやるぞ。今このリング上でZERO―ONEのトップと交渉してやる。橋本さん！

（橋本コールの中、破壊王登場）

橋本　オイ、お前ら、ごたくばっかり並べてないでなあ、去年の覇者は大谷晋二郎だ。大谷を倒すという気持ちがない奴は来なくていいぞ。変なチャンスじゃないぞ。地獄の一丁目だ、覚えておけよ。2番で納得する奴は出なくていいぞ、1番になりたい奴だけが出ろ。火祭りで1番になったら、次は天下一武道会で待っているぞ。

大谷　橋本さん、火祭りは天下一武道会の予選じゃねえんだよ！　火祭りは俺が優勝しなきゃ始まらないだろ。また1年間、刀ブンブン振り回してやるからな！

大谷晋二郎＝昨年の覇者を「刀ごと刈れ！」るヤツは出てくるのか？

「刀狩りはさせない！」
火祭り男、早くもV2宣言！

文／武士監督

今年も火祭りの時期（これがG1と同時期なのはこの時期に出る大谷のインタビューでのみ再確認できる）がやってきた。

今年は去年以上に豪華メンツって、当り前だけどね。昨年は本当に火祭りだった。

去年の火祭りはドタキャンが一番の話題で、佐藤耕平が準優勝したことなど、ほとんどの人が忘れているだろう。

今年の火祭りの合い言葉は「熱いヤツら」ということで熱いヤツらと暑いと表現したくなるヤツらが勢揃いした。

そのメンバー&ブロック紹介をしてみよう。

まずAブロック。昨年の覇者・大谷晋二郎がやっぱり優勝候補……真剣に勝ち負けを想像して火祭りをみる熱いファンが本誌の読者にいるのかは不明だが、やはり優勝候補だろう。大谷以外にも金村キンタロー、TAKAみちのく、田中将斗、そして暴走サモア戦士サモア・ウォリアーが火祭りに二年連続出場。筆者がZERO-ONE事務所にお使いに行った時、黒幕の中村さんが残業手当がなくても前向きに頑張る社員に「サモア・ウォリアーの本名なんだ？」社員「サモアなんとかでしょう」中村「そうか」。……そうなの？なんだかわからないけどサモアに注目！

Bブロックは、黒田〝最高〟哲広、昨年の準優勝者なのに三流扱いされた佐藤耕平、前科者の石川雄規、そしてキング・オブ・オールドスクールことスティーブ・コリノとここまででも異色メンバー揃いだが最後の枠で横井宏考の火祭り参加が決定した。横井対コリノはリングス対アメプロのインチキ部分の集大成との果たし合い。横井シングル初黒星になる可能性も大いにありえる。ある意味では優勝決定戦より楽しみなカードと言えるだろう。

この火祭りは地獄の一丁目になるのか、それとも今年もドタキャンがあるのか、どんな神風が吹くのだろう？って『神風』は？　今年の火祭りも見逃せない！

昨年の火祭りは、石川、アレク、村上の3人が出場辞退し、変わりに、大日本の関本、ジョージ高野、極めつけは〝でくの坊〟ホース・シューといった面々がエントリーされた

Aブロック

	大谷晋二郎	田中将斗	金村キンタロー	TAKAみちのく	サモアウォリアー
		7／31 後楽園	8／2 大分	7／28 ディファ有明	8／4 熊本
	7／31 後楽園		7／30 大阪	8／4 熊本	8／2 大分
	8／2 大分	7／30 大阪		7／31 後楽園	7／28 ディファ有明
	7／28 ディファ有明	7／30 大阪	7／31 後楽園		7／30 大阪
	8／4 熊本	8／2 大分	7／28 ディファ有明	7／30 大阪	

Bブロック

	黒田哲広	佐藤耕平	石川雄規	スティーブコリノ	横井宏考
		8／4 熊本	8／2 大分	7／31 後楽園	7／30 大阪
	8／4 熊本		7／28 ディファ有明	8／2 大分	7／31 後楽園
	7／31 後楽園	7／28 ディファ有明		7／30 大阪	8／4 熊本
	7／31 後楽園	8／2 大分	7／30 大阪		7／28 ディファ有明
	7／30 大阪	7／31 後楽園	8／4 熊本	7／28 ディファ有明	

『火祭り'02』スケジュール

＜7月＞
28日（日）　東京・ディファ有明（16：00）
30日（火）　大阪・大阪府立第2競技場（18：30）
31日（水）　東京・後楽園ホール（18：30）

＜8月＞
2日（金）　大分・大分県立荷場町体育館（18：30）
4日（日）　熊本・グランメッセ熊本（16：00）

【お問い合わせ】
ZERO-ONE　TEL.03-5730-3401

火祭り'02『紙プロ』編集部優勝者予想！

	決勝戦のカード	優勝者
山口日昇	大谷晋二郎 vs 石川雄規	石川雄規
石川屋が火祭りという話は聞かないが、石川雄規にはぜひ存在自体が火祭りとなって欲しい。		
吉田豪	大谷晋二郎 vs 横井宏考	大谷晋二郎
横井のシングル初黒星は大谷に捧げるべき（コリノでも可）。		
松澤チョロ	サモア・ウォリアー vs スティーブ・コリノ	スティーブ・コリノ
破壊王の対米国路線を過熱させるためには外人対決が望ましい…って、どっちも米国人じゃないや。辻ちゃん乱入だ。		
堀江ガンツ	大谷晋二郎 vs 石川雄規	大谷晋二郎
G1から漏れた藤波社長が突如、火祭り参戦を要求、横井に対し入れ替え戦を迫るもボコボコにされ大流血の返り討ちに。		
ジャン斉藤	大谷晋二郎 vs 石川雄規	石川雄規
ZERO-ONEは良く知らないが、「火祭りは俺がいなきゃ始まらねえだろ」が面白かったので乗ってみた。		
さささい	田中将斗 vs 横井宏考	田中将斗
石川雄規の活躍が見たいけど、横井が負ける所は見たくないのでBブロックは横井。刀をなくした大谷の今後も注目!?		

流血の魔術？最強の演技？

すべてのカウントはトゥーである

NWAエグゼクティブレフェリー

ミスター・フレッド

必殺の超高速3カウントと「トゥー！」を引っさげ、アメリカからやって来たNWAエグゼクティブレフェリー、ミスター・フレッド。ZERO―ONEに初来日以来、その独特な風貌と、時には厳格に、そして時には不可解なレフェリングで、ある意味レスラー以上の注目を浴びているのが、このフレッドなのだ。そのレフェリングを見たことがないという人、一度見てから気になってしょうがないという人、全てのプロレスファンに贈る、これがミスター・フレッドの半生だ。

7・7両国大成功！ ゼロワンダブル

聞き手／松澤チョロ
撮影／菊池茂夫
designed by さおとめの事務所

衝撃事実発覚！
“超高速3カウント男”ミスター・フレッドは、NWAの実質上のボスだった!?

――フレッドさん、早速ですが、いつものヤツを披露していただけないでしょうか？

フレッド　オッケー！「トゥーッ！トゥーッ！トゥーッ！」（いちいち、もの凄い表情をしながら大盤振る舞い）。

――も、もういいです（笑）。それにしても元気ですねぇ。いまは何歳になるんですか？

フレッド　私はニューヨークはブロンクスの出身で、1948年12月30日生まれの53歳！

――53歳！『ゴング』のインタビューでは34歳ということになってたんで、そりゃないだろって思ってたんですけどね（笑）。それで、フレッドさんとプロレスの出会いは、いつぐらいまで遡るんですか？

フレッド　私のプロレス人生の転機になったのは14歳の時『RING』っていうプロレスマガジンに投稿を採用されてからなんだよ。それ以来プロレスにハマってしまって、趣味が高じて17歳の時にニューヨークでレフェリーのライセンスを取ったってわけさ。

――エッ、17歳で!?　でもニューヨークはアスレチックコミッションとかあってライセンスとか取るのが大変って聞きますけど。

フレッド　私は別にインチキもしてないし（笑）、ちゃんと50ドル払ってメディカルチェックと試験を受けて取ってるんだから。

――正式なレフェリーデビューっていうのは、いつぐらいになるんですか？

フレッド　ライセンスを取ったんだけど、その後、ミリタリーの訓練でテキサスに行ったんだけど、それからすぐだったんだ。

――テキサスでデビューしたんですね。

フレッド　そう。それで私のレフェリーデビューっていうのは、ある日、突然訪れたんだ。なんの前触れもなくね。

――なんかドラマチックですね（笑）。

フレッド　私はリングサイドでタイムキーパーをやってたんだけど、その時のレフェリーがケガをして「オマエ行け！」って急に言われて私服のままリングに上がらされたんだ。

――なんの準備もなく？

フレッド そうそう。それもドリー・ファンクJr. vs サンダーボルト・パターソンっていう当時の黄金カードをレフェリングしたんだから（自慢げに）。それが私のデビュー戦。1968年だったねぇ（しみじみと）。

——それじゃあ、もうレフェリーのキャリアは30年以上の大ベテランなんですね。

フレッド そういうことになるね。ただ、もともとミリタリーの訓練でサンアンジェロに行ったわけだから、私のレフェリーの初体験ごっこはベトナム戦争に行ったことで、あっけなく終わりを告げたんだよ。

——ベトナム戦争では、フレッドさんは、どんなことをやってたんですか？

フレッド 11ヶ月とちょっとベトナムでパラメディクス（緊急医療）をやっていたんだよ。だから、私はドクターの資格はないけど、その時の経験と知識が、いまでもプロレスの控室とかでは選手に役だっているんだ。

——頼もしいレフェリーですね（笑）。ミリタリーを抜けた後は何をやってたんですか？

フレッド 私は苦学生だったんで、バスの運転手をしながら夜はペース大学っていうところに通ってたんだよ。

——バスの運転手もやってたんですか。それは、いつぐらいまでやってたんですか？

フレッド いや、それがバスの運転手を続けていったらドンドン地位が上がって、運転手からバス会社のユニオン（労働組合）のオフィサー（幹部）にまでなってしまったんだ。

——へぇ～、また偉い出世しましたね。

フレッド そう(笑)。1985年にはロー・スクール（大学院）も卒業したんだが、せっかくロイヤー（弁護士）の称号まで持ったんだったら普通に弁護士事務所で働くんじゃなくて、バス会社のロイヤーになれよって言われて、それが今までずっと続いているんだ。

私がNWAのニューヨークとニュージャージーのオーナーなんだから

話していても、どこまでがホントで、どこまでが嘘なのか、さっぱりわからないのがフレッド流。ところかまわず「トゥー！　トゥー！」叫んでいると思われがちなフレッドだが、なにげに白熱した好勝負では陰に徹したレフェリングを見せ試合を引き立たせている

——「トゥー」の裏側にそんな素顔があったとは（笑）。

フレッド まあ、これだけ生きてればいろいろあるでしょ(笑)。そこのバス会社は1973年に始めたんで来年には、ちょうど勤続30年になるんだけど、さすがにそこは、もうリタイヤするよ。その後はニュージャージーのパブリック大学っていうところで教鞭を取ることが決まっているしね（誇らしげに）。

——今度は教師ですか!? また凄い。でも一体、何を教えるつもりなんですか？

フレッド 「アメリカの歴史」だよ。

——ほぉ～。そうなると、レフェリー業は、あまりできなくなるんじゃないですか？

フレッド そんなことないよ。だって、私がNWAのニューヨークとニュージャージーのオーナーなんだから（アッサリと）。

——エッ？ フレッドさんがNWAのオーナーだったんですか!?

フレッド そうだよ。今のNWAっていうのは、ハワード・ブロディっていう前の会長がフロリダからノースキャロライナに移って、故ヒロ・マツダとのコネクションが切れてしまってからは、実質上は私がNWAの財務も仕切っているんだよ。言ってみれば私が現在のNWAのボスなんだよ。

——そうなんですか。でも、どこまでホントか、さっぱりわからないですけど(笑)。今は弁護士とプロレス関係の仕事は、どれぐらいの比率でやってるんですか？

フレッド 今のNWAっていうのは昔と違って、道楽でやってるインディーだから、儲かるならまだしも、支払いの方が明らかに多いからね（苦笑）。労力からいえば弁護士の方に65%、自分の趣味であるプロレスには35%使っているんだ。

——それじゃあ、さすがにシリーズごとに毎回来日してられないですよね。

フレッド そうもいかないからね。それが良いのか悪いのかはわからないけど、今はNWAに限らずだけど、アメリカのマット界って言うのはWWE以外はベネフィット（保証）もない、年金もない、何もないの、ないないづくしでね（苦笑）。それはおかしな話だと思うんだけど、レスラーにしろ私にしろ好きだからこそ続けられるんだろうね。

——切ない話ですけど、実際、有能なレスラーがケガとかで生活できなくて、そのまま引退しちゃった例はたくさんありますからね。

フレッド そんなヤツはたくさん見てきたよ。HHHとかホーガンが稼いでる金と比べたら、インディーなんて試合のギャラは20ドルも貰えないからね。あのスティーブ・コリノですら最初は25ドルだったんだから。

——日本では、すっかり人気者になったコリノでも、そんなもんだったんですか？

フレッド そんなもんだよ（笑）。だって私がその金を渡した本人だからね。

——そうか、ギャラを払う側なんですね(笑)。フレッドさんの得意技の超高速3カウントってアメリカマットでもやってるんですか？

フレッド いや、あれは日本だけ（笑）。アメリカでは、どっちかというと、お客さんと交歓したりするタイプのレフェリーなんだ。

——テッド田辺タイプですかね（笑）。

フレッド （無視して）でも日本でのレフェリングスタイルに関して言えば面白い話があって、日本に来る前、ハワード・ブロディからのアドバイスを受けたんだけど、私は、そのアドバイスに対して初めて逆らったんだ。

——それはどういうことなんですか？

フレッド 最初、日本に行く前、ブロディが「日本っていうのは真面目主義だから、アメ

「トゥー！」だけじゃない これが NWAエグゼクティブ レフェリーの レフェリングだ！

①まず一発目は、すっかりお馴染みとなったフレッドの「トゥー！」。そのイッちゃってる表情にも注目だ！　ちなみに、このムーブはアメリカでは、やっていないという②ＺＥＲＯ―ＯＮＥマットでの天敵、破壊王には度々蹴られたりもする③表情だけではなく、そのボディアクションも見逃せない④反則攻撃には滅法うるさい⑤たとえ同じＮＷＡのコリノだろうと厳しいときは、かなり厳しい⑥選手の痛みもイチイチ感じてみせるフレッド⑦嫌いな相手がフォールにいっても３カウントを叩かなければいけないときもある（当たり前）⑧時には攻撃するレスラーと一緒に架空の相手に技を決めたりもする⑨会場ではフレッドに握手を求めるファンも急増中だ！

日本各地で人気爆発！

7・7両国大成功！
ゼロワンダブル

リカでやってるようなレフェリングはやめとけ」って言われてたんだ。だけど、ナカムラさんとハシモトさんがアメリカに来て、自分のレフェリングを見て気に入って日本に呼んでくれたわけだから、私は自分流のやり方でやりたいと言って逆らったんだよ。

——その結果、ブレイクしたのが「トゥー」だったわけですね（笑）。

フレッド　そうそう（笑）。でも「トゥー」を除けばレフェリーのスタイルはアメリカと一緒だけどね。まあその結果、日本のお客さんに受け入れられたわけだから私は本当にハッピーだよ。初めての日本で初めてプロモーターに逆らって、それがお客さんに受けて、いまの自分があるんだから。Customers always right!（お客様は神様です）。

——アハハハ！　橋本さんだけじゃなく、フレッドさんも「お客様は神様です」と（笑）。

フレッド　私への声援もありがたいことだけど、やっぱり一番尊敬すべきは選手だから。ZERO—ONEで世界最高レベルの選手達に囲まれてやっているからこそ私はオーバーしたと思っているし、この団体でレフェリングをすることは最高に名誉なことだと思っているからね。

——でも、フレッドさんはお客さんからの声援に気をよくしてか、ギャラアップを要求したって聞いたんですけど（笑）。

フレッド　それは野球の選手と一緒じゃないか？　最初のシーズンはお互いがわからないけど、ホームランをたくさん打ったらギャラがアップするのは当然でしょ。ビデオや雑誌だって私の写真で売れるっていう部分もあるわけだから、知的所有権を要求するのは当然の話だと思うよ（笑）。

——たしかにホームランを連発しましたからね（笑）。でも、ちっちゃな頃からプロレスファンで、おまけに身体も大きいのにレスラーになろうとは思わなかったんですか？

フレッド　やっぱり、私や（ミスター・）マイケルが成功したのは、最初からレフェリーをやったからだと思ってるから。もちろんプロレスラーにもなりたかったけどね。あえて名前は言わないけど、いまレフェリーをやってるヤツの中にも選手になり損なってレフェリーをやってる連中はたくさんいるしね。

——日本でも多いですからね。それで、聞くところによると、フレッドさんはWWF（現・WWE）でもレフェリングをしたことがあるみたいですね。

フレッド　それは全くのデタラメ（苦笑）。残念ながら一度もないよ。ただ、警官役とかでアンダーテイカーを追いつめたり、ポール・ホワイト（現・ビッグショー）を車に押し込めたり、『サンデー・ナイトヒート』とかの始まる前の番組で、チョイ役としてならWWFに出たことはあるよ（笑）。

——あ、そうでしたか（笑）。

フレッド　WWFはアリーナにすら足を踏み入れたことはないからね（笑）。チョイ役っていうのもビデオ映像部分の警官役での出演だったし、実際に写ったのが、たったの45秒だよ。ポール・ホワイトを車に押し込めた姿が少し写っただけでね（苦笑）。WWFに出ていたという情報は間違いだよ。

——それでは、今までフレッドさんがレフェ

私の息子は、すでにレスラーとしてデビューしてるんだよ

リングした中で一番のビックマッチというと、どんな試合があるんですか?

フレッド WWFがサード・パーティー・ブッキングっていうスケジュールが空いている時だけ地元の興行に選手を貸し出ししている時期があったんだけど、その時にやったゴールダスト vs キング・ジェリー・ローラーの一戦かな。当時、私がやっていたNWAジャージーという団体で6000人集めたからね。

―ということは、7月7日の両国大会が一番大きな会場になるわけですね。

フレッド そうだね。

―札幌2連戦が終わって、しばらくオフでしたけど、何をして過ごしていたんですか?

フレッド ホテルの隣に神社があるんだけど、そこには何度も行ったね。私はお寺や神社がとても好きなんだよ。それから明日は秋葉原にも行こうと思ってて、これで2度目になるけど、電化製品を見るのも好きなんだ。

―典型的なガイジンなんですね(笑)。

フレッド もちろん、日本の女の子も大好きだよ。もし結婚していなかったら一日に少なくとも千回は恋をしているだろうね(笑)。

―それは、いくら何でも多すぎです!(笑)。

フレッド 日本の女の子に比べるとアメリカの女はチープで安っぽく感じるよ。たとえセクシーな服を着て胸元をはだけていてもね(笑)。日本の女性は、そういう見せかけだけじゃなく内面に美しさを持っているだろう?

―そういう人もいるとは思いますけど。ススキノや六本木では夜の街に繰り出したりはしてないんですか?

フレッド (とぼけた顔をして十字を切りながら) 聖書に懸けて私は何もしていない!

―それは非常に嘘臭いですね(笑)。

フレッド いや、ホントだよ。若いヤツらはそっちの方がいいんだろうけど、私はお酒もそんなに飲まないし、家に帰ればワイフと娘と猫がいるから。愛する女性は、その3つだけで十分だよ(ペロッと舌を出しながら)。

―アハハハハ! このオッサンは(笑)。お子さんは女の子1人だけなんですか?

フレッド いや男の子もいるよ。いま13歳なんだけど、日本に来たいと言ってるんで次のツアーで連れてきたいと思ってるんだ。

―将来はお父さんに憧れてレフェリーになりたいとかは言わないんですか?

フレッド それが、息子は、すでにレスラーとしてデビューしてるんだよ。

―エッ、だって、まだ13歳なんですよね?

フレッド デビュー戦は8歳の時だよ。

―テリー・ゴディも真っ青ですね(笑)。

フレッド NWAジャージーっていう自分の団体でギミックマッチをやらせたんだよ。当然、息子に勝たせたけどね(キッパリ)。

―とんでもない親バカですね(笑)。やっぱり高速3カウントですか?

フレッド もちろん! フォールした息子に私が覆いかぶさって「パン、パン、パン」で終わりさ(笑)。さすがに相手のレスラーは怒っちゃって、その後こっぴどくやられちゃったけどね(苦笑)。

―それは、しょうがないでしょうね(笑)。

フレッド そのレスラーの名前は可哀想だから言えないけど、かなりの大物だったよ(笑)。

―ホント、ひっどいことしますね(笑)。

フレッド 息子を勝たすためには、しょうがないでしょ(笑)。でもレフェリー稼業も楽じゃないよ。イスとかで殴られるなんて日常茶飯事だし、おかげで、これまで9回も指の骨を折ってるし、顔にだって傷は絶えないし、ホントにツライ仕事だと思うね。

―身体張らなきゃ出来ない仕事ですからね。フレッドさんはNWAのエグゼクティブ・レフェリーということで、胸に馬鹿でかいワッペンを付けてますけど、それはフレッドさんしか付けられないものなんですか?

フレッド その通り!(必用以上に胸を張って胸元のワッペンを指差して)このサイズのワッペンはチーフ・レフェリーしか付けられないものなんだ。This is ワッペン!

―荒井注かよ!(笑)。そんなフレッドさんでも、コイツだけには適わないと思うレフェリーって誰かいるんですか?

フレッド もう引退して、今はニューヨーク州のアスレティック・コミッションの検査官をやっている元レフェリーがいるんだけど、私は彼のWWFでのレフェリングをずっと見て勉強したんだよ。彼から「いいレフェリングだった」って言われた時にはアカデミー賞を取った時と同じぐらい嬉しかったね(ペロッと舌を出しながら、おどける)。

―いつアカデミー賞獲ったんだよ(笑)。で、リング上では悪役レフェリーって感じのフレッドさんですけど、弁護士の方では悪徳弁護士ってわけじゃないんですよね?

フレッド 正直言って、弁護士の世界の方では私はベビーフェイスと言えるだろう(笑)。それに弁護士と言っても私の仕事は裁判沙汰っていうよりは主に交渉人としての仕事が多いんだよ。相手側の弁護士と会って、揉める前に仲良くさせるっていうのが役割だから、そっちの世界ではベビーフェイスなんだ。

―まるっきり別の顔を使い分けてると?

フレッド まあ日本では私はヒールなんだろうけど(笑)、本音を言うとZERO―ONEには感謝の気持ちでいっぱいなんだよ。私の飛行機代やホテル代を払ってくれて、それでサラリーもキチンとくれてるし、私だけじゃなく、ZERO―ONEが、これからのプ

PROFILE

みすたー・ふれっど■1948年12月30日、アメリカ出身。残念ながらミスター高橋本についてのフレッドの見解は生々しすぎてカットされてしまったが、NWAエグゼクティブレフェリーとして、「そういった本はプロレス界にとって良くないこと」とコメントしてくれた。

7・7両国大成功！
ゼロワンダブル

フジワラとは年も近いし、彼が頑張っているから私も頑張れるんだ

ロレス界の未来を考えて、どれだけ投資しているかを考えたら、プロレスが下火になってきてるなんて言われてるけど、ZERO－ONEに関して言えば、これからも安泰だね。

―最後に何か日本のプロレスファンに対してメッセージはありますか？

フレッド　というか、「最高のレスラーは誰か？」とか聞いてほしいんだけどなぁ。プロレスマガジンの定番の質問じゃない？

―じゃあ聞きますけど（笑）、フレッド認定ナンバー1レスラーは誰なんですか？

フレッド　やっぱりバディ・ロジャースが最高だね。観客のことを常に意識し、リック・フレアーらにも影響を与えた彼のような選手が出てきてからプロレスがビジネスとして成り立つようになったと思うしね。彼はヒールだったけど、「プロレスファンとは何か？」っていうことを、ずっと考えてきた選手だからね。ロジャースがナンバー1かな。

―現役選手の中では誰がナンバー1レスラーなんですか？

フレッド　ここ最近のレスラーの中でなら文句なしでオオタニだよ（キッパリ）。

―大谷さんがナンバー1ですか！

フレッド　あえて日本のマガジンで説明することでもないとは思うがオオタニは素晴らしいよ。あれだけ、お客さんを手玉に取れる選手っていうのはアメリカにもそうそういないからね。しいて挙げればジェリー・ローラーぐらいかな。ローラーはアスリートとしては評価できないって言う人もいるけど、喋りでキチンと観客を楽しませることができるし、それも含めたものがプロレスラーだと思うし、ローラーもベストだろうね。それと「フレッドはいつ引退するんだ？」っていう質問もしてほしいんだけど？（なぜかウインク）。

―わかりましたよ（笑）。フレッドさんはいつ引退するんですか？

フレッド　私はフジワラ（喜明）より先に引退するつもりはないね（笑）。

―アラッ、組長がライバルでしたか（笑）。

フレッド　ライバルというか、私は彼が大好きなんだよ。フジワラは（股間を指差して）こっちの方が調子が悪いみたいだから、バイアグラを2年分ぐらい進呈したいと思ってるんだ（笑）。私は、いいのを知ってるから（ニヤッ）。

―アハハハ。親切ですねぇ（笑）。

フレッド　あのヘッドバットは芸術品だね。フジワラとは年も近いし、彼が頑張っているから私も頑張れるところもあるからね。

―それじゃあ次回は、藤原組長か、もしくはミスター高橋さんとの対談でもしましょうか（笑）。どうですか、フレッドさん？

フレッド　（再び胸の馬鹿でかいワッペンを指差し）私はNWAのエグゼクティブレフェリーなんだよ。どんな相手でもキッチリ裁く自信はあるから、全く問題ないよ（笑）。

【02年7月3日／都内某所にて収録】

まだまだ続くZERO-ONE外人インタビュー　次号は…

格闘グリーンベレー

トム・ハワード

元グリーンベレー、マスカラスのライバル、ケアー、コールマン、キモの師匠、ＵＰＷ道場師範、すべての肩書きは真実だった！謎に包まれたトム・ハワードの素性とともにＵＰＷ設立の真相も遂に明らかに！　見逃せない！

キング・オブ・オールドスクール

スティーブ・コリノ

ＮＷＡ元チャンピオン、『週プロ』の表紙をゲット、さらに、あの小池栄子にも告白経験有りと、素晴らしいものから胡散臭いものまで様々な肩書きを持つコリノ。『火祭り02』にも参加が決定しているコリノの素顔に迫ったぞ！

NEWS TOPICS

WMFプレ旗揚げ戦

8月18日(日)本川越・ペペホールアトラス
開場13:00／開始14:00
[料金]全席指定／4,000円　立ち見(当日のみ)／2,000円

中山香里　vs　ラ・マルクリアーダ

［ミスター雁之助復帰戦
～8人タッグマッチ　30分1本勝負］

ミスター雁之助
ガルーダ
怨霊
池田くん
vs
GOEMON
マンモス佐々木
リッキー・フジ
ソルジャー

［プレ旗揚げスペシャル～時間差バトルロイヤル］

～トークショウー参加選手～
雁之助／マンモス／怨霊／池田くん

WMF旗揚げ戦

The Independence Day～新たなる希望～

8月28日(水)ディファ有明　開場18:00／試合開始19:00
[料金]　特別リングサイド／6,000円
リングサイド／5,000円
立ち見：中学生以下／2,000円(当日のみ)
立ち見：小学生以下／無料

マンモス佐々木　vs　ガルーダ

ミスター雁之助
新崎人生
vs
大矢剛功
X

GOEMOM
怨霊
ダークネス・ドラゴン
／他
vs
ザ・グレート・サスケ
タイガーマスク
ドラゴン・キッド

問い合わせ■WMFオフィス　03-5362-7364

やはりハヤブサは"不死鳥"だった！

蘇った"新生FMW"新団体WMF旗揚げ！
雁之助、マンモスらが参戦　ハヤブサはコミッショナー就任

昨年、10月23日マンモス佐々木戦でムーンサルトを失敗し前頭部から転落、頸椎損傷の大怪我を負ってしまったハヤブサ。一時は社会生活への復帰も危ぶまれたが、不死鳥のように舞い戻ってきた！

ハヤブサはやはり不死鳥だった！

昨年10月22日、試合中の事故で頸椎損傷の重傷を負い、以後、必死のリハビリを努めていたハヤブサ。その間、FMWの倒産、荒井社長の自殺など不幸が重なったが、遂に学生時代からの親友・ミスター雁之助と共に新団体・WMF（レスリング・マーベラス・フューチャー）の旗揚げを決意した！

約8ヶ月ぶりに公の場に姿を現したハヤブサだが、まだまだリハビリの真っ最中である車椅子生活ということもあり、WMFではコミッショナーを努めることとなる。

この新団体に、雁之助、GOEMON、マンモス佐々木、怨霊、ガルーダ、フライングキッド市原、牧田理改めソルジャー、ハッピー池田改め池田くんが参加。そしてハヤブサの親友・新崎人生も全面協力を約束した。

ハヤブサが目指す団体のカラーは、デスマッチではなく、プロレスの面白さを純粋に伝えること。まさにあの、ハヤブサをエースにした「新生FMW」の第2章と言えるだろう。

プレ旗揚げ戦は8月18日・本川越。そして8月28日にいよいよ新団体が羽ばたくこととなる。お楽しみはこれからだ！

闘龍門JAPAN　7・14ディファ有明

9・8有明コロシアム大決戦に向け
闘龍門JAPAN×T2P大沸騰中!!

次回、8・11ディファ昼夜興行で遂に両軍代表が出揃う！

その嫌みなキャラクターに最近ますます磨きがかかるミラノコレクションAT。日本ではいまだ無敗を誇るT2Pのエースは、いまや闘龍門JAPANの賞金首だ。

クレイジーMAX　vs　M2K

8・11ディファ昼の部で実現
UWA世界6人タッグ選手権

集客が難しいディファ有明が超満員札止め！　いま乗りに乗っている闘龍門が、いよいよ団体設立以来最大のビッグマッチである9・8有明コロシアムに向けて、その闘い模様が大きく動き出した！

事前にカードが発表されていなかった、この日のディファ大会。オープニングでウルティモ・ドラゴンから発表されたカードは、なんと"闘龍門の自信作"6人タッグ3WAY。切り札を惜しげもなく切ったところに、有明への意気込みを感じずにはいられない。

この3WAY、神戸ではC—MAXが勝ち残ったが、この日はC—MAが通路で観戦中のミラノコレクションATら"イタコネ"と乱闘している隙に、TARUが敗退。マグナム率いるM2Kに勝ち残りを許してしまった。

この結果を踏まえて、8・11ディファでは、C—MAXとM2Kがベルトを賭けて闘うことが決定。そしてこの勝利チームが9・8有明コロシアムで、いよいよT2Pの挑戦を受けることとなった。

"無敗の伊達男"ミラノコレクションと闘うのは、C—MAか？　マグナムか？　8・11を見ずに、有コロは語れない！

8・11闘龍門最弱決定
負け残りトーナメント開催

ストーカー市川

三島来夢

闘龍門大会スケジュール

■7月
26日(金)　鹿児島・出水市総合体育館　開始18:30
27日(土)　福岡・行橋市民体育館　開始17:30
28日(日)　山口・海峡メッセ下関　開始17:00
■8月
10日(土)　愛知・名古屋国際会議場　開始18:00
11日(日)　東京・ディファ有明　開始12:30
11日(日)　東京・ディファ有明(T2P)　開始18:30
21日(水)　北海道・函館市民体育館　開始18:30
22日(木)　北海道・室蘭市体育館　開始18:00
24日(土)　北海道・札幌テイセンホール　開始18:00
25日(日)　北海道・札幌テイセンホール　開始14:00
26日(月)　北海道・旭川大成市民センター体育館　開始18:30
27日(火)　北海道・道立北見体育センター　開始18:00
28日(水)　北海道・岩見沢スポーツセンター　開始18:00
29日(木)　北海道・ベルクラシック帯広　開始18:30
30日(金)　北海道・鳥取ドーム　開始18:00
■9月
8日(日)　東京・有明コロシアム　開始15:00
お問合せ：闘龍門JAPAN　TEL:078-333-9797

7月7日神戸七夕決戦——

水と油の最高コンビが6900人（満員）を動員！

7月7日　闘龍門JAPAN 神戸ワールド記念ホール

もう一つの“七夕決戦”闘龍門神戸大会も大成功！

闘龍門は天の川

そこに行けばいつでも失われたプロレスのフォルムに会える

——ターザン山本

UWA世界6人タッグ王座決定戦3WAYマッチ（時間無制限）

○マグナム・TOKYO 堀口元気 ダークネス・ドラゴン	（17分35秒 エビ固め）	望月成晃 ドラゴン・キッド● 斉藤　了
○CIMA ドン・フジイ TARU	（19分55秒 片エビ固め）	マグナムTOKYO 堀口元気● ダークネス・ドラゴン

＊勝ち残ったCIMA組が第22代王者チームとなる。

英連邦ジュニアヘビー級選手権試合

（王者） SUWA	（19分26秒 片エビ固め）	（挑戦者） 横須賀　亨

＊第20代王者が初防衛に成功。

7月7日、七夕。ゼロワンが両国でプロレスの醍醐味を見せつけていた同じ頃、関西でも闘龍門が神戸ワールド記念ホールのビッグマッチを開催。こちらも団体最高入場者数を記録する大成功を収めていた。そんな“もう一つの七夕決戦”をターザンがメルヘンたっぷりにお届けします。

プロレスとは〝セール〟なり
——ウルティモ・ドラゴン

「みんながZERO―ONEの両国大会に行くので、私、神戸の闘龍門に行かせてもらいます……」

だってそうだろう。その日は7月7日、七夕なんだよ。天上の星の世界では1年に1回、その日だけ織姫と彦星が会うことのできる日じゃないか？

時空を超えた男と女のセンチメンタルな恋。だったらさぁ、電車で30分もかからない両国国技館には行けないよ。〝七夕〟に敬意を表するなら、ここはひとつ〝遠出〟をしないとね。我が友、我が愛する仲間たちのいる闘龍門しかないではないか？

ちょうどこの日は神戸ワールド記念ホールが会場。神戸は闘龍門にとって地元なのだ。というわけで行ってきました。そして岡村社長がまたやってくれました。

6900人（満員）の観客動員。これ、ハッキリ言うけど岡村社長なくして絶対にありえない数字。会場に入った時、彼は私にこう言った。「今回、史上最高の〝手売り〟を記録しました」と。〝手売り〟とは、チケットを足で売りさばくこと。

今時、そんな原始的な……。というよりもアナログな……と言うなかれ。地上波のテレビがあるわけではないし、またプロレス専門誌は、まだ一度も闘龍門を表紙にしていないんだよ。そうしたら頼れるものは自分たちの手で切符を売ってまわるしかないではないか？

あのCIMAだって7・7神戸大会は、300枚売ったそうである。もし一枚でも残ったら、その分は自腹で払う。CIMAはそう宣言して見事に300枚売り切った。

それもあってか会場には、家族連れの客が多かった。子供を連れた一家。あるいは近所の人たちがそろってプロレスを楽しんでいるという雰囲気なのだ。

いいじゃないか、7月7日〝七夕〟の日は、ちょうど日曜日だったしさぁ。さて、そんな闘龍門も一度でもその内部に入るとこれが面白いんだよな。

はっきり言おう。岡村社長と校長のウルティモ・ドラゴンは水と油の関係。社長はもう根っからの営業マン。それも飛び切り優秀な営業マン。とにかく経営第一の人。

それに対して校長は24時間、プロレスのことだけを考えているアーティスト。一方は〝お金〟を中心にものを考え、もう一方は〝アイデア〟を中心に考える。

〝ウルティモ・ドラゴンの自信作〟6人タッグ3WAYを制したのは、やはりクレイジーMAX。いまや日本マット界ナンバー1のチームだ。8・11ディファでC―MAXはベルトを掛けてM2Kと対戦。そしてその勝ちチームが9・8有コロでいよいよT2Pと激突する。

お互いに対立して当然。だが〝持ち場〟が違うので逆に相手のエリアに踏みこむことはない。そこがまたいいのだ。

こうして経営のスペシャリストと、プロレス頭のスペシャリストは対立しながら、うまくやっているというわけである。

今、日本の団体では最強のコンビと言えるだろう。試合が終わったあと、社長、校長のビッグ2にCIMAも含めた4人で食事をした。

言うなれば打ち上げである。校長は私の耳元にそっとささやいた。「今日は岡村ワールドですから…」。校長によると神戸ワールド記念ホールは、社長が切符を手売りして作った空間。

だから厳密に言うと、この日の観客はプロレスファンとは少し違っていた。メインの6人タッグ3WAYは、これが東京ならもっと沸いていただろうというのが、校長の率直な思い。

いまいち6人タッグ3WAYの面白さが、観客に理解されなかった。それが校長的には残念だったのだ。あの6人タッグ3WAYは、闘龍門ならではのもの。

校長からすると立派な〝作品〟でもあるのだ。それも自信作。しかし初心者のファンにそれをわかれと言ってもまだ無理。そう考えると社長が自力で会場をいっぱいの観客で埋めたのは、偉いと言うしかない。

興行は「初めにお客ありき」だからだ。7・7〝七夕決戦〟闘龍門の神戸大会は、社長が校長に一本取ったと、私はそう見ている。

社長と校長は組織にとって〝車の両輪〟みたいなもの。どちらか一方が力を持ちすぎてもだめ。笑えるのは私の前で「社長は本当にプロレスが下手な人だよな」と校長が平気で言うことだ。社長は空手をやっていたんだから、それは仕方がない。

セミの試合はSUWAと横須賀亨の英連邦ジュニアヘビー級タイトルマッチ。神田がリングに乱入すると、背広姿の社長が駆け上がり、神田にキックをぶちこんだ。

チケットを買ってもらった人には、あれで社長も顔が立ったというもの。ああいう時、社長もちゃっかり〝おいしい所〟を取る。

たしかにあのシーンは沸いた。結果的に校長が力を入れたメインの6人タッグ3WAYよりも、セミの試合の方が客に届いた。

これは横須賀がSUWAの左足を、連続して徹底的に攻めたからだ。するとお客は「何をやっているんだよ？」とイライラしてくる。

それがレスラーの狙いでもあるのだが、ここで重要なことはやられている選手が、決してすぐに反撃しないことである。じっとしてその足攻撃に耐え続けたこと。

これが今のレスラーにはできないのだ。できないというよりも、プロレスの何たるかを叩き込まれていない。校長は「プロレスとはセールなり」と言った。これは隠語でセールとは「相手にいい所を取らせること」なのだ。

プロレスは試合でどっちかが悪（ワル）のヒールになることと、もう一つは試合でセールすること。この二つが大原則である。

その原則を壊したプロレスは、プロレスではなくなる。闘龍門の試合を見ていたら、自然のままのプロレスがそこに存在している。

プロレスのフォルム（型）をいじるな。変えるな。変えようとするな。プロレスに進化の概念なし。プロレスはプロレスをやるだけなんだよ。闘龍門に来るとそれがよくわかる。

すなわち私にとって闘龍門の会場に行くことは、失われたプロレスのフォルムを記憶の中で確認することでもある。

〝七夕〟の意味がこれでわかっていただけたと思う。闘龍門は天の川。プロレスが好きであれば1年に1度と言わず、いつでもプロレスに会うことができる。

君は彦星？　君は織姫？　闘龍門に行けばプロレスに会えるからね。わかったね？

巻末SPECIAL INTERVIEW

全日本プロレス新社長就任秒読み？
天才が灼熱の大ギャンブル

武藤敬司

LEGEND OF NEW KING ROAD

「社長就任をアングルにしたくない。
俺は『新王道伝説』を築くよ！」

聞き手／堀江ガンツ　撮影／吉場正和　designed by hisa (Two Three)

NEWムタ秘話も独占公開！

武藤　今日も人生相談やるの？

―いや、前号の人生相談は大好評だったんですけど、まだ相談のハガキがそんなに集まってないんで、来月以降に改めてお願いします（笑）。

武藤　でもさぁ、あんなことばっかり言ってたら、俺のイメージ悪くならない？

―いや、キャラ通りだと思いますよ（笑）。

武藤　へぇ、そう？　（前号をペラペラとめくりながら、急にビックリして）俺、「尺八」なんて言ったっけ⁉

―思いっきり、言ってましたよ（笑）。まあ、最近はあんまり、「尺八」って言葉を使う人も少ないですけどね。

武藤　じゃあ、何て言うわけ？

―やっぱり「フェ○チオ」ですよね、多いのは。

武藤　ふ～ん……アメリカでは「blowjob」って言ってたけどね。

―いわゆる「ベッド・イングリッシュ」ですね。勉強になります（笑）。

武藤　で、今日は何の質問なの？

―アメリカでのことや、社長就任問題とか、いろいろうかがおうと思ってますので、よろしくお願いします。

※ここでウェイトレスさん登場

ウェイトレス　ご注文は何にいたしますか？

―「blow job」でも頼みますか？（笑）。

武藤　何言ってんだよ！（笑）。いやぁ～、さっきも取材で腹いっぱい食ってきちゃったからさぁ。メシはいいや。お姉さん、ホットコーヒー。おっきいダブルでお願い！

―ホットコーヒーのダブルって聞いたことないですよ（笑）。

ウェイトレス　か、かしこまりました。

武藤　でもさ、『紙プロ』にしてみたら俺のインタビューなんてまともすぎて面白くないんじゃないの？

―ま、まともですか！　でも、武藤さんはどんな話でも面白いですから。まず、今回のアメリカ遠征はいかがでしたか？

武藤　面白かったねぇ。試合は「ほどほど」だったんだけど、いろんな人と会ったりして楽しかったよ。エリック・ビショフなんかとも久々に再会して、いろんなビジョンを語り合ったりね。

―ビショフとも会っていたんですか。

武藤　ただ、WCW副社長時代の威光は感じられなかったけどね。「今回はワールドカップでお前のアメリカ遠征が実現したわけだけど、プロレス界でもワールドカップをやろうぜ」って話してたよ。そのときは「オッケー」って言ったけど、俺はプロレス界にワールドカップは求めてねえもんなぁ。

―ワールドカップは求めない？　どういうことですか？

武藤　ワールドカップっていうのは違うんじゃねえかな。その大会がラスベガスで行われてたこともあるんだけど……俺はプロレスにラスベガスのショーを求めてるよな。よくわかんねぇけどさ。

―ワールドカップよりもラスベガス！　よくわからないけど、なんとなく「ニュアンスは伝わります（笑）。久々のアメリカ・マットはどうでしたか？

武藤　う～ん……俺が言うのも嫌なんだけどさ、そのイベント自体はレスラーの同窓会みたいだったからなぁ。

―80年代に活躍したビッグネームが大集合したんですよね？

武藤　そうそう。ジミー・スヌーカ、キングコング・バンディ、ロード・ウォリアーズ、キマラ、サモアンズ……みんなアメリカで一世を風靡した連中ばっかりだったよ。でも、その時代をそのまま持ってきてるんだよね。その中で俺だけ、というかグレート・ムタだけは進化してるから、俺だけちょっと違和感があったかな。

※　ここでウェイトレスさん、再登場。

ウェイトレス　申し訳ございません。コーヒーは普通のサイズしかお出しできないんです。

武藤　いいよ、じゃあコーヒー2つ頂戴。

ウェイトレス　ふ、ふたつですか？

武藤　ダブルだから2つでしょ⁉

―ダブルだから2つ！（笑）。

ウェイトレス　か、かしこまりました。

―それにしても、あの新ムタはインパクトありましたよ！

武藤　あ、そう！　あのメイクは俺が考えたんだよ！（誇らしげに）。頭全体をスッポリ隠して欲しかったんだよね。毛がなくなった空間をどうやって埋めるかを考えたんだ。ペイントで塗っただけじゃ絶対にカッコ悪いと思ったから、必然的にああいうふうになっちゃいましたね。

―でも、あれは大成功じゃないですか？

武藤　いやぁ、まだわからないよ。昔のムタとは、あまりにかけ離れちゃってるからねぇ。「昔のムタの方がいいよ」っていう人はいますよ、確実に。だから、あんまり期待されると困るんだよ。ホントに困るんだって！

LEGEND OF NEW KING ROAD Keijo Muto

―イメージばっかり、どんどん大きくなっていっちゃいますから怖いですよね。でも、グレート・ムタというキャラクターは、新日本の商標登録になってるんですよね？

武藤　う、……うん。

―そういう権利関係のゴタゴタした部分で、「ひょっとしたらムタはもう出来ないのかな」なんて諦めかけた部分とかありましたか？

武藤　ないよ（アッサリ）。ないけど、一回これで（新日本と）揉めてもいいかなぁとか思ってますよ。でも、ちゃっかり別の名前のTシャツは作って用意しておいて、新日本とは揉めるだけ揉めて話題を作って煽ってから、Tシャツを売ろうかなぁ～。

―ダハハハハ！　商売人だ！

武藤　……なんてことを考えたりもしたけどね。でも、これでケンカしてどっちがみっともないかって考えていったら、絶対に新日本の方がみっともないはずなんだよ。だってムタは新日本の誰かが考えたものでもないんだよ⁉　名前から衣装まで、全部俺が考えたんだから！　その権利だって坂口（征二）さん、倍賞（鉄夫）さんと麻雀やる前に、「ちょっとお前よぉ、早くやりてえから、ここにサインしろよぉ」（坂口のモノマネで）って言われて、パパパッとサインしちゃっただけなんだからさぁ！

―ダハハハハハ！　ムタの契約書は雀卓の上で作られたんですか⁉（笑）。

武藤　わけのわかんないうちにね。そのときは別に新日本を離れるなんて思ってもみなかったからさぁ。……この話、マズいかな？

―いや、武藤さんらしくて最高です‼

武藤　坂口さんが怒っちゃうかもな（笑）。でも、正直なところ、新しい名前を考えないとまずいよなぁ。

―単純に「ムタ」だけだとダメなんですかね？

武藤　いや、OKでしょ。たぶん文句も言ってこないと思うよ、そんなことしたら新日本がみっともなく思われるじゃん。

―この先、プロレス界にもそういう版権問題が出てくるかもしれないですね。

武藤　ただ さぁ、今回アメリカで不思議に感じたのは、タタンカとかがWWF（当時）にいた頃のまんまのキャラクターで試合してたんだよな。ああいうのはいいのかな？

―どうなんでしょうね？

武藤　WWEもタタンカなんか眼中にないのかもしれないね（笑）。

―きっとハウスショーぐらいなら大目にみてるんじゃないですかね。で、お客さんの反応はいかがでしたか？

武藤　すこぶる良かったね！　俺も詳しくは知らないんだけど、インターネットとかでアメリカのプロレスマニアを対象にしたコマーシャルを打ってたみたいで、マニアックなファンばかり集まってましたよ。「ムタ！　シャイニングウィザードッ！」なんて声援も飛んできたよ。アメリカじゃ一回もやったことない技なのに（笑）。

―ほ～う。では、新たに才能ある選手を発掘出来たりしましたか？

武藤　……（両手を組み回想中）。印象に残ったやつはいなかったなぁ。

―じゃあ、逆に売り込みの方が多かったとか？

武藤　確かに売り込みは多かったですね。でも、今回は小島（聡）を一緒に連れて

新日本と交したムタの契約なんて麻雀の席でサインしただけなんだから

ったんだけど、連れてって良かったなぁと思いましたよ。あいつ試合前なんか、すげえナーヴァスになってたもんなぁ。行ったこともない初めての場所で、見たこともない初めての野郎と対戦するというそのシチュエーションだから緊張感ありましたよ。

――初めてのところだと、お客さんもどういう反応をするかわからないですからねぇ。

武藤　うん、シチュエーションによって全然違うでしょ。やっぱりドレッシングルームでも、俺の場合は顔が知れ渡ってるから誰かが媚を売りに来たりするわけでしょ？　だから居心地はいいよね。

――そんな中で一番話をしたのは誰でしたか？

武藤　一番話しかけてきたのはロード・ウォリアーズだろうな。今回の大会は、彼らがブッカーだったからね。

――ああ、そうだったんですか？　今後、日本で彼らと絡む可能性もあるんでしょうか？

武藤　それは俺が決めることじゃないし。もし全日本が彼らを必要としてて、なおかつ俺に「お前が交渉やってくれ」ということであれば、交渉を出来る立場ではあるけどね。

――「俺が決めることじゃない」と言いますけど、武藤さんがアメリカに行ってる間に日本では全日本プロレス次期社長問題が大きな話題になっていたんですよ。

武藤　う～ん……あんまり社長就任問題をネタ、というかアングルにはしたくないよな。そういう問題は非常にデリケートな話だし、シビアな問題だし、アングルだけじゃ片付けられないことが山ほどあるじゃないですか？　だから、あんまりアングルとしてしゃべりたくはないですよね。でも、野心90％で全日本プロレスに来たわけだから、そういう野心はありますよ。

――その野心というのは、つまり一国一城の主になるということですよね？

武藤　うん。それが社長になるってことなのかどうかは、わからないけれどもね。スタッフの担いだ御輿に乗ってここまで来たわけだから、それを裏切るわけにはいかないですよ。

――でも、武藤さんが社長問題をアングルとして見られたくないというのは意外でしたねぇ。

武藤　だってさぁ、あのFMWの社長だって自殺したりとか、そういう厳しい現実が実際にあるからね。負債も全部抱えなきゃいけないわけでしょ。全日本プロレスも決して儲かってるわけではないですから。

――ぶっちゃけた話、この社長就任問題で話題を転がして、この先の展開を作っていくのかなと思ってたんですよ。そうすれば、「新しい全日本プロレスは武藤敬司が背負っていきますよ」というプロモーションにもなりますからね。

武藤　（真顔になり）ホントにプロモーションになる⁉　なるんだったら、利用しなきゃいけないのかなぁ？　こんなことがリングにフィードバックできると思う？

――より一層、武藤さんと天龍さんの対立がわかりやすく見えてくると思いますよ。

MUTA is Back

IWS INTERNATIONAL WRISTLING FEST 2002

6・22 米国ニュージャージー州アトランティックシティーサイドキャッスルスタジアム

アニマル・ウォリアーがブッカーを努める米インディー新団体IWSの旗揚げ戦で、遂にその姿を露わにしたNEOグレート・ムタ。顔中を毒蜘蛛で覆い、頭にはガイコツ、そして顔面から後頭部にかけてまで真っ赤なペイントを施す。その不気味さは、強烈なインパクトを与えた。　（写真・左下）初のアメリカマットとなった小島聡は、シングルでタタンカと対戦。「いっちゃうぞ、バカヤローッ！」エルボーはアメリカでも爆発した。

昔からの全日本ファンに言いたいのは
俺らが来なかったら全日は終わってんだよ

武藤　そうだよね……ただ、10月まで天龍絡みの試合ってないんだよな。

――あ、そうなんですか（笑）。

武藤　試合がねえじゃん。ただ、元子社長とはいろいろといい話が出来ましたよ。未来を語ったりして。ただ、思い出とケンカしても良くないからね。馬場さんがいた頃の思い出、三沢たちがいた頃の思い出、いろんな全日本の思い出がありますよね？　そういうものをインプットした上で次のビジョンというものを考えていきたいから。だからこそ、俺はアメリカに行く前に「新王道伝説」って言ったんですよ。

――馬場さんや三沢さんが積み上げてきたものの上に、武藤さんが新たに積み上げていく感じですかね？

武藤　そうそう。

――最近、全日本プロレスのホームページがリニューアルされてたんで久々にじっくりみてみたんですけど、掲示板に昔ながらの全日本プロレス・ファンの残党のような人たちが書き込んでるんですよね。

武藤　いまや貴重な人たちですよ。

――数少ない先住民みたいなもんですかね（笑）。

武藤　ただ、そういう人たちは絶対に俺のことを非難してるんだよね。だけどさ、彼らに言いたいのは、俺らが来なかったら何もないんだよ⁉　終了してるんだよ⁉　そりゃ全日本プロレスを思ってくれる気持ちはありがてえけどさ、何もないよりはいいじゃん！　その中で川田選手なり、天龍さんなり、ケアなりを応援してくれたら最高だよね。

――仮に武藤さんが実権を握ったら、全日本をどんな風にしていきますか？

武藤　口が酸っぱくなるくらい同じことを言ってるけど、やっぱり基礎固めだな！　さっきもインタビューで「長州さんを全日本に上げるんですか？」とか聞かれたけどさ、やっぱり上げたくないね。

――上げたくない！　言い切りますか？

武藤　上げたい気持ちもありますよ。でも、こっちから「長州さん、出てください」ってお願いするよりは、「武藤、全日本に出たいんだよ」って長州さんに言わせたいよね。その差っていうのは凄く大きいから。そういう環境作りをやっていきたいな。

――同世代の三沢選手や橋本選手が選手兼社長という立場で頑張ってますけれども、彼らを意識する部分はありますか？

武藤　う～ん？　何も考えてないですねぇ。まあ、マスコミでの報道は、気になるんで読んだりしてますけど。「うわぁ、ノアが不渡りだってよ⁉」とかね（笑）。

――あ、『ファイト』情報（笑）。

武藤　「社長になんかなって、大丈夫かなぁ？」とか考えちゃうよ（笑）。

――武藤さんはプロレス界の流れを『ファイト』で知る男でしたか（笑）。蝶野さんも今、現場を監督する立場になって苦しんでるようですけど、そういうのもマスコミを通じて状況を知るという感じですか？

武藤　蝶野も苦しいかもしれないけどさ……俺、頑張ってるよね？

――も、もちろん。頑張ってますよ！

武藤　俺もたぶん苦しいんだけどさ、頑張ってるから苦しく感じないんだ。

――武藤さんのリング上のキャラクターと同じですよね。どんなに凄い試合をしていても悲壮感が全然漂ってこないという（笑）。

武藤　（急に真顔になって）それはすごくマイナスかもしれないな。

――ガハハハハハ！　昔はそれで批判されたりもしてましたけど、武藤さんはそこが魅力だと思いますから。で、話は変わりますけど、最近、武藤さんが『SPA!』でやってる連載、凄く面白いですよね。

武藤　そう？

――その中で、武藤さんが「マット界は新しい知恵を受け入れない風土がある」と発言していたんですけど……。

武藤　覚えてないなぁ。俺がそんなこと言ってるの？

――ええ、言ってるんですよ（笑）。で、武藤さんはこの先、外部から新しいブレーンや戦力を受け入れようとしてるのかなと思ったんですけどね。何か考えたりしてますか？

武藤　わかんねえ。というかね、そんな先のことまで考えてないよ。もしかしたら独裁者になって、「顔が嫌いだからお前はクビ！」とか言ってるかもしれないよ（笑）。

――武藤敬司の恐怖政治がスタートするかもしれない！（笑）。見てみたいなぁ、それも。

武藤　そういう問題って、経済的なことが大きく関わってくるでしょ？　豊かなときと貧しいときでは気持ちがだいぶ変わってくるから。本当だったら、外部の血を入れるより純血で生きていける方が幸せなんだろうけどね。

――WWEなんかだと、才能あるスタッフが組織内のいろんなセクションで頑張ってますよね。

武藤　ただ俺は、WWEはロックの次に誰をスターにしようとしてるのかなって考えてるんだけどさ。ケアは今、アメリカでも

LEGEND OF NEW KING ROAD Keijo Muto

全日新社長　武藤就任へ
創立30周年の10月　勇退・元子社長から禅譲
気になる天龍の動向

武藤らがアメリカ遠征中、毎日のようにスポーツ紙は、全日本次期社長問題を報道。それだけ、注目されている事柄だといえる。武藤はこれをアングルに結びつけるのか？

全日本プロレスが完全に「武藤・全日本」になることを、寸前で留めているのが天龍.リング上リング外ともに、武藤とこの頑固オヤジの抗争が全日本を面白くしそうだ。

の凄くチャンスがあるよ！

——ほう。

武藤　なぜなら、あいつはアメリカで面が割れていないから。その割には、あいつの持っている技術はアメリカでもトップクラスだと思うから。英語もしゃべれるし、チャンスがあるよ。ただ一つ難点なのはロックと被るということ。

——ああ、たしかにロックはハワイアンと黒人のハーフで、ケアもハワイアンですからね。

武藤　だから、ロックの後に2人ぐらいスターを挟んで、ケアがスターになるのはそれ以降だろうな。まだ、あいつは若いから4〜5年後でも十分だよ。いつかは、そういういい形で送り出せたら、最高なんだけどなぁ。

——なるほど。で、話を戻しますけど、最近『週刊プロレス』で脚本家の内舘牧子さんとの対談は面白かったですね。

武藤　面白くねぇよ！

——ガハハハハハ！　自分で「面白くない」って言う人も珍しいですね。

武藤　だってさ、「猪木さんのダジャレは面白くないけど、笑ってるんですよね。あ、これは書かないでくださいよ」って言ったら、そのまんま誌面になってるんだもん！　あの人（佐藤正行編集長）、記者としてズルいよ！　裏切られたよ！　書いておいてよ！

——それを見出しにしましょうか、「佐藤編集長に裏切られた！」って（笑）。

武藤　あの人はそういうことが度々あるんだもん！（口を尖らせて）。

——そんな対談ですけど印象的だったのは、「プロレスにも脚本が必要なんですよ」という武藤さんの発言なんですよね。

武藤　ああ、言ったね。その後、「猪木さんと長州さんの舌戦も、結局は新日本のシナリオの上で転がされてるだけかもしれない」っていうことは言ったのも覚えてるよ。

——自分の発言を忘れることの多い武藤選手ですけど、それは覚えてましたか（笑）。

武藤　新日本の怖さって、ホントにそれをシナリオにしちゃうことでしょ。

——あれを読んで、僕は武藤さんも社長就任問題をシナリオにしちゃえばいいのになぁと思ったんですよ。

武藤　あんなドス黒くは出来ないよ（笑）。

——ガハハハ！　確かにあのドス黒さは猪木さんと長州さんならではですよね（笑）。

武藤　ただ、3年後にはタイツ姿の猪木さんと長州さんが東京ドームあたりで試合してるかもしれないよ。

——その可能性はありますよね（笑）。武藤さんは、やはりビンス・ルッソーのような脚本家が必要だと思いますか？

武藤　どうだろうなぁ？　俺はアメリカのテレビに支配されたプロレスはあまり好きじゃないから。ただ、猪木さんと長州さんのような、現実よりも一歩先にいったり、一歩遅れてたりするシナリオって面白いよね。

——それがつまりスキャンダルをアングルに結びつけるということですよね。日本のプロレスはもともとそういうことが得意ですからね。

武藤　そうそう。だから、社長交代劇も何でも肥やしにしなきゃいけないんだろうな、ホントは。ただ、正直に言って……元子社長とか、全日本のスタッフには真面目な人が多いんだよ。その人たちのそういう部分を裏切れないじゃん？

——ああ、なるほど。猪木さんなんかは、そういう部分をおかまいなしにやってしま

いそうですけど（笑）。これも内舘さんとの対談の中で「キャラクターが出来てしまえば、シナリオは後からついてくるんだ」とおっしゃってましたよね。

武藤　もっともだよね。たとえば、今回のアメリカ遠征だって、たったの1試合やるだけだったのが、何かしら生まれてきたからね。

――武藤さんは『PRIDE』やK―1のTV中継ってご覧になりますか？

武藤　最近見ないですね。藤田や石澤が出場した頃は見てましたけど。

――ああいう番組を見てればわかると思いますけど、選手のキャラクターを伝える努力が凄いんですよ。例えば桜庭vsグレイシーの因縁を説明するのにも、ちゃんと時間を割いてるんですよ。それは丸っきりアングルを作ってるということと同じですよね。

武藤　それは最初から何もないところからスタートしてるの？

――そうです。

武藤　それは内舘さんが言っていた「キャラクターが存在していれば、シナリオは後からついてくる」ということだよね。

――最近のプロレスはキャラクターがアングルと結びついてないことが多いじゃないですか？

武藤　それはレスラー自身のキャラクターが乏しいっていうこと？

――キャラクターから一歩踏み出してアングルに直結していくようなものが、今までのプロレス界には足りなかったかなぁと思いますよ。

現実よりも一歩先に行っちゃったり、一歩遅れたりするシナリオって面白いよね

武藤　ただ、全日本って基本的にアングルを毛嫌いしてるでしょ？　もともと全日本にはアングルないもんね。

――でも、ジャンボ鶴田と天龍源一郎の抗争なんて、あの2人の考え方やキャラクターの違いがそのまんま転がっていったものじゃないですか。

武藤　う〜ん、やっぱり……それぞれが成長していくしかないんだよ。俺もそんなに詳しくないんだけど、全日本もTV中継やってほしくて必死に頑張ってるじゃん。でもTVもただ単に試合を見せるだけじゃ、プロレスというソフトにはそんなに魅力を感じてないみたいですね。

――試合だけじゃなくて、そもそもリング上の2人がなぜ闘っているかを見せないといけないわけですよね。

武藤　ただ、そのときはプロレスというものが変わってくるからね。それを選手がこなせるかどうかだよね。

――よりシビアになるかもしれないですね。武藤さんは、この先どんなビジョンを描いてますか？

武藤　正直言って、8月なんかマッチメイクが厳しいじゃない？　ネタもないしさぁ。

――そんな弱気にならないでくださいよ（笑）。

武藤　いや、ネタはあるよ。あるけど8月末は興行戦争じゃん。

――毎日のようにビッグイベントがありますよね。

武藤　ただ、よその団体と交わらずにここまで我慢してきたんだから、それを貫き通したいし。泣きつくかもわかんないけど（笑）。まぁ、それも試練だと思って乗り越えたときに、それぞれがみんな力をつけてるんじゃねえの？　変な話、よそだってホントに厳しいんじゃないのかな？　世の中すべて苦しいんだから！

――いかに頭を使うかということですよね。

武藤　いやぁ……頭も使わなくていいんじゃない？　いかに一生懸命やるかでしょ！　頭を使うと読まれちまうからなぁ。お客にだって頭いいヤツがいっぱいいるんだからさ！

――わかりました。じゃあ、来月こそは人生相談をよろしくお願いします（笑）。

【02年7月6日／水道橋「後楽園飯店」にて収録】

LEGEND OF NEW KING ROAD Keijo Muto

●マット界の1ヶ月丸わかり●
紙の新聞

編集長（?）／堀江ガンツ
文／ジャン&ささきぃ

6/20 ↓ 7/17

♪燃〜えろよ燃えろ〜よ〜、炎よ燃えろ〜。さて、みなさん、待ちに待った夏休みがやってきましたね。夏休みと言えば、やっぱりキャンプ！ そしてキャンプと言えば、キャンプファイヤー！ というわけで、我らが小笠原師範の一足早いキャンプファイヤーでした。

6/26

【新日本プロレス】

ドラゴン、安田の要求に激怒!!

毎年恒例「最後のG1」に燃えていたドラゴンを突如襲った、安田の「俺の代わりに棄権しろ」要求。「何で藤波さんが出れて俺が出れないの？」という、安田の疑問は明らかに正論だが、自らのライフワークを脅かされたドラゴンは、もちろん逆ギレぎみにダーク・ドラゴンへと豹変した！「やっと出場権をつかんだのに、矛先をおれに向けるな。代わりに越中が出なければいいんだ！」なんと、パーマ頭を振り乱しながら、降りかかる火の粉を復帰したばかりの越中に追いやる極悪ぶり。中年のエゴまるだしにし、存在しない社長権限を振り回すドラゴンであった。

6/27

【新日本プロレス】

ドラゴン、今度はIWGP挑戦宣言！

自分のG1出場権を守るためには、他人を犠牲にすることもいとわない、という最悪の人間性を遂に露わにした冷血ドラゴンは、「越中がでなけりゃいい」発言から一夜明け、そのクレイジー・エゴイストぶりにさらに拍車がかかっていた！ なんと「あわよくば、G1後にIWGPに挑戦したい」と、ずうずうしくも挑戦宣言。そして「王者・永田とは同じAブロック。ここで勝てば、自然と挑戦が見えてくる」と、毎度お馴染みドラゴンの皮算用を得意げに披露した。あまりに身勝手な暗黒社長にクレイジーサマー到来だ。

6/25

【新日本プロレス】
猪木事務所

安田がG1割り込み参戦を表明！

安田忠夫が6月25日猪木事務所で会見を行った。すでに出場選手が決まっているG1への割り込み参戦要求と8・8UFOへの出場を宣言した。「金が一番だけど（笑）、名誉も欲しいんでG1もUFOも両方出ます！。今回のメンバーには「なんで君の名前が入ってるの?」っていう選手が4人いる。俺が出ます」とG1割り込み宣言。この発言を受けて、7月19日に札幌でG1出場者決定戦がドラゴンと安田で行われ、安田がドラゴンを大流血させTKOで勝利。安田G1出場決定。哀れドラゴン。こんな可哀相な社長はいないよ。

6/22

【新日本プロレス】

永田、健介軍を『佐々木健介とコス&ブルー』に命名！

早くも“平成の決起軍”との声も聞かれる、不可思議ユニット健介軍（当時仮称）。無理矢理組まされた見切り発車ユニットらしく、なかなか正式なチーム名が決まらなかったが、見るに見かねたIWGP王者永田が、ご親切にも名付け親に名乗りを挙げた！ その名前とは往年のムード歌謡グループ「敏いとうとハッピー&ブルー」をもじり「佐々木健介とKOTH（コス）&ブルー」と命名。「よせばいいのに」の歌詞のように「♪いつまでたっても、ダメなわた〜しね〜♪」なのかどうか、見極めてやる」と、健介軍をとことんコケに。永田株急上昇！

6/20

【ZERO−ONE】
インターコンチネンタルホテル

改心プレデター、やっぱり小川襲撃

7・7両国大会、小川vsプレデターのシングルマッチ決定発表記者会見に、スーツ姿で礼儀正しく登場したプレデター。小川の挑発にも乗らず礼儀正しく退席し、会見は終了。会見場をなぜか小川&破壊王も混じって片付けているその時！突如奇声とともにコスチューム姿のプレデターがチェーンを持って小川を急襲した!! またしてもチェーンでぐるぐる巻きにされる小川！ あわててZERO−ONE勢が引き離し、プレデターをエレベーターに押しこめた。「なんだアレ！」突然の襲撃に小川の怒りは止まらない。破壊王は「もう殺しちゃっていいよ」と、渋く言い切った。ゼロワン最高！

7/4

【THE　BEST】
BCG

7・20『THE BEST』大型日本人対決実現!

7・20「THE BEST」ディファ有明大会で対戦するジャイアント落合(怪獣王国)と橋本友彦(DDT)両者の意気込みが語られた。お互いの印象を聞かれ、「別になんとも思わなかったです。」と言う橋本に対し「ボクもビデオをもらったんですけど、見たらゼロワンの試合で橋本真也選手の試合でした」と、とぼけたジァイ落に怒った橋本が詰め寄り互いにヘビー級の身体をぶつけ合い一触即発状態。この一戦は、互いに柔道出身で数少ない日本人ヘビー級同士とキャラが被るだけに両者とも負けられない壮絶な一戦となるはず。

7/2

【IWAジャパン】
新宿二丁目・花善

松野、許さん! カブキが怒りのカムバック!

"東洋の神秘"が復活だ! IWA8・3札幌大会において、ザ・グレート・カブキ(焼き鳥屋主人)が、リングにカムバックすることになった。カブキは6・23 IWA後楽園大会に、特別レフェリーとして登場したが、ゴージャス松野氏に鈍器で急襲され、怒りのリング復帰を決意。復活会見でも、同席した松野氏に「アンタ、焼鳥を焼いてる方が似合ってるよ!」と挑発されるなど、カブキの怒りはもう止められない。このままでは、浅野社長の「すてきな16才」、シンの「妖怪人間ベム」に続き、魅惑の歌手デビューをはたすのも、きっと止められないだろう。

6/28

【NEO】
板橋産文ホール

アニマルまりな芸能界&プロレス引退!

"たったひとりで後楽園ホールを満員にした女"元チェキッ娘の久志麻理奈が、学業に専念するため芸能界を一時引退。誠に残念なことに自動的にプロレスも引退することになってしまった。急遽引退式の行われたこの日、大きな告知もなかったのに板橋産文ホールは超満員。セレモニーの最後は、2度自分に"恥ずかし固め"をかけたタニー・マウスにお願いして、卒業の恥ずかし固めを極め、「開きっぱなしのプロレス人生(by麻理奈)」に幕をおろした。女子プロを救う女神になれたかもしれない久志麻理奈の引退は非常に残念。祈! 再プロレスデビュー!!

6/27

【ZERO−ONE】
後楽園ホール

エッ!? 大仁田がゼロワンに入門願い!?

27日のZERO−ONE後楽園大会の試合前に大仁田厚が乱入した。目的は"ZERO−ONE入門"。破壊王の控え室を訪ね、「入門書」を手渡そうとすると破壊王は「冗談はやめてよ。これ以上うちにかかわらないでくれ」と一蹴、その後悪徳レフェリー・Mr.フレッドと何やら話をした後、握手。「(話の内容は)ただ挨拶をしていただけ」。入門を却下された大仁田厚が挨拶だけを目的にMr.フレッドのもとを訪れるとは到底思えない。　あちこちに闘いの火種をかかえ、ZERO−ONEのリングはますます燃え上がる!!

7/6

【全日本女子プロレス】
大田区体育館

女王・豊田、衝撃の全女離脱!

全女ファンに衝撃走る! 某専門誌において、某記者とズッコケ対談を敢行した豊田真奈美が、今度は衝撃退団をブチ上げた! メインのWWWA世界シングル選手権で、挑戦者・伊藤薫に敗れた豊田は、「ここには私の求める全女イズムはない。今日限り全女を退団します!」とマイクアピール。さっそく翌日のGAEAに乱入するなど、"全女イズム"探しの旅を始めたのだ。しかし、勝者・伊藤に、「全女イズムがないって言ってるけど、自分が衰えてるのを人のせいにしてるだけでしょ」と、それを言われちゃオシマイな言葉を浴びせられた女王様。今後の活躍で、この冷たいコメントを覆せるか!?

7/4

【新日本プロレス】
猪木事務所

8・29武道館、藤田プロデュース!

この日、行われた「藤田和之懇親会」の席で、7・20札幌大会、8・10両国大会への出場と共に、8・29武道館大会で「マット界の流れを変える面白い"提案"がある」と意味深な予告をした藤田。それを受けて新日本プロレスは8・29武道館大会のプロデュースを藤田に一任することを発表した。8・30&31全日本武道館2連戦と8・28『ダイナマイト』国立に挟まれるという、最悪の日程で、観客動員の苦戦が予想されるが、はたしてこの2大会を上回るインパクトは残せるか? 常識はずれの野獣プロデュースに期待だ。

6/30

【藤魂塾】
台東区リバーサイド・スポーツセンター

第1回藤原敏男杯、開催!

"敏ちゃん"こと、鉄人・藤原敏男先生が中心となり、打撃格闘技の底辺拡大を図るべく設立された藤魂塾連盟。その初の大会が、第一回藤原敏男杯という素晴らしいネーミングで開催された。小学1年生からビジネスマン、OLまで150人以上が参加。大会は大いに盛り上がった。また、「藤原敏男」が冠についているだけに単なるアマ大会で終わらず、宇野薫と小林聡の夢のエキジビションや、昭和の鉄人・藤原敏男と平成の鉄人・和田良覚の競演など、入場無料とは思えない充実ぶり。次回は11月を予定している。

6/28

【新日本プロレス】

ドラゴン、悲壮な肉体改造

ドラゴンが"最後の"肉体改造に着手! ドラゴンのG1に今度は肉体から赤ランプ点滅した。「体調は最悪。正直、体重が113キロもある」なんと、運動不足による深刻な中年太りを告白したドラゴン。こんな48歳がG1に出場していいわけがないのだが、G1制覇、IWGP奪取を死ぬまで諦めないという最悪の往生際を見せるドラゴンは、衰えてしまった肉体を今一度鍛え直すために合宿敢行を決意した。その合宿場所とは、なんとあのリチャード・バーンとの死闘に向けて、ガッツとパンチ特訓を積んだ思い出の修善寺。ということは、肉体はともかくこの夏、ヒゲを蓄えることは間違いないだろう。

7/14

【クラブDEEP】
クラブOZON

坂田、史上初のVTタッグマッチ

ZERO−ONEでの大活躍で乗りに乗る坂田が、地元・名古屋で行われた「クラブDEEP」で、史上初のバーリ・トゥード・タッグマッチに出場。プロの力の差を見せつけ快勝した。このところ、プロレスラーとしての評価が急騰した坂田だが、現在は格闘家としても絶好調、この日の勝利は出場が噂される8・8『UFO LEGEND』へのいいステップとなったか。さらに6・27ZERO−ONEでブチ挙げたボブ・サップ戦も狙っている坂田。今夏、この男から目が離せない。

7/14

【K−1】
マリンメッセ福岡

武蔵、デンプシー相手でも変わらぬ試合

「武蔵の試合」は変わりなし！ 結果として敗れるも"狂拳"ジョシー・デンプシーが、見事な打たれ強さを発揮した。4R、右ハイを始めとして武蔵が勝負に出るが、ジョシーは倒れないどころか、中指を立てまくる(グローブをしてるため見えないが)。しかも、あろうことか「クリンチが多いため」武蔵にイエローカードが出てしまう。判定は全て大差だったが、最終ラウンドまで打たれまくりながらも、けして倒れなかった精神力を大きく評価されたデンプシーは見事ダイナマイト賞をゲット。ビバ、デンプシー！ というより、誰が相手なら変わるんだ、武蔵！

7/12

【新日本プロレス】

高山、安田のG1参戦歓迎

G1本戦より遙かに話題の的となっている、安田とドラゴンのG1入れ替え戦問題。両者共にまったく譲る気はなさそうだが、意外な所から安田に心強い援軍が現れた。今大会の台風の目・高山が安田の参戦を熱烈歓迎したのだ。「G1はグレードワンの略だろ？ なら引退を宣言した人間に来られても、こっちはモチベーションが下がるだけ。藤波はペケ！」と、ドラゴンばりに手でバッテンマークを作る高山。そして「家庭のグレードは藤波さんの方が上だけど、レスラーとしてのグレードは安田が断然上だ」と、マイホーム・ドラゴンを一刀両断した。

7/7

【シュートボクシング】
横浜文化体育館

SBの会場で前田と高田がニアミス！

7月7日、七夕。1年に1度、天上の織姫と彦星が天の川で出会うこの日に、UWF系の2大巨頭、前田日明と高田延彦が公の場で久々に再会(?)をはたした。UWF時代から親交があるシーザー会長のS−CUP開催のお祝いに、来賓として駆けつけ花束を手渡した高田。その後、リングサイドで全試合を観戦していたが、そこへリングス代表として前田日明が登場。前田と高田の再会！ と周囲は色めき立ったが、結局目も合わせずニアミスに終わった。次に二人が会うのは、織姫、彦星同様来年だろうか。

7/17

【全日本プロレス】
大阪府立体育会館

天龍、三冠防衛小川戦をアピール

天龍、小島聡をパワーボムで玉砕、初防衛に成功。元日本一のラリアートの使い手、現ハンセンの後継者、半年後にはテンガロンハット＋「ウィ−−−!!」をやるだろうと噂される小島に30分近い激戦でプロレスファンに改めて、世界最強の51歳であることを認識させた。試合後の源ちゃんは「30周年だし、小川(良成)と闘いたい。アイツらも全日本出たんだし、出戻り同士の夫婦も珍しいだろ、いいじゃない夢があって」とコメント。出戻り同士の夫婦に夢があるかどうかは別にして、源ちゃんは小川戦の交渉を自らかって出るつもりだ。

【K−1】
マリンメッセ福岡

ランペイジ強し！K-1でも勝った!!

『PRIDE』VS『K-1』、大ヒート！ まずはアレク、石川、佐竹と次々に日本人を破壊してきた"暴走ホームレス"が、アビディをKO!! そしてレイ・セフォーと対戦したギルバート・アイブルは、ホームリングで余裕しゃくしゃくの"南海の黒豹"に右ローでダウンを奪われてしまう。思いっきり痛そうな顔で倒れたところに、さらにローを打たれたアイブルは、怒ってムキになり突進!! 蹴りとパンチの"ダダッ子野獣ラッシュ"をかけた。観客は大いに沸くも、それをニヤリとしながら受け止めたセフォーが、とどめの右ロー!! 反則男もK-1の威力には従順だった。

7/13

【K−1】
福岡市内ホテル

狂犬・デンプシーが会見で大暴れ!!

明日のK−1福岡大会に向けて行われた会見で、デンプシーが大暴れ！ 会見でのツーショット撮影で、いきなりデンプシーが武蔵を突き飛ばし、中指を立て、放送禁止用語を連発。最後は周到に用意していた武蔵人形の首をひきちぎって投げつけ「ジャップ！」と大挑発三昧!!! 止めに入った島田レフェリーが腰を痛めるほどの傍若無人ぶりを発揮した。石井館長から「素晴らしい試合を見せた選手にはダイナマイト賞を出す」と聞くと、すかさず「ダ〜イナマイッツ!!」とシャウト！これでなぜか石井館長のハートを掴むことに成功したデンプシー。まずは叫んでみるものである。

7/10

【ZERO−ONE】
小笠原道場

死闘の末の共闘へ…小笠原、破壊王と固い握手!!

両国血戦を経て、笹塚の小笠原道場を表敬訪問した破壊王を、小笠原が笑顔で出迎えた！ 花束を手渡した破壊王に対して「是非、これからもZERO-ONEのリングで闘わせてほしい」と、小笠原が参戦を申し入れた。かつての敵の思いもよらない申し入れを、驚きながらも破壊王は大喜びで快諾し「よし、次のシリーズ、カード組もう」と宣言!! 小笠原は7日の死闘で、右ヒジを脱臼の上靱断裂を起こしている状態だが、本人は「ボクは足の甲が折れた状態で、空手の大会に出たこともある。このくらい全然平気」と、やる気まんまん。日米対決を前に、破壊王は強力な仲間を得た!!

Dynamaite! Present

フジテレビ放映「K-1福岡大会」で、TBS番組を宣伝しまくったアイブルさん。

ジョシー・デンプシー

LAボクシングキャップ（デンプシーサイン入り）

福岡K-1大会で「ダイナマイト賞」を自己申告ゲットしてゴキゲンのデンプシーから頂きました。

1名様

ギルバート・アイブル

Gilbert "Hurricane" Yvel

イエローカード

『PRIDE.21』でバラまいていた非売品のイエローカード！ 商品化も夢じゃない？

3名様

高山善廣

ノーフィアーTシャツ（サイン入り）

『PRIDE.21』のMVP高山のニューTシャツ。【高山善廣提供】

【通信販売】¥4,200（送料込み。複数枚申込みの場合は要連絡）。住所・氏名・年齢・電話番号・サイズ（S・M・L・XL）を明記の上、現金書留で申込み

【現金書留郵送先】〒150-0011東京都渋谷区東2-21-9-803号「高山堂」

【TEL】03-5464-2806

1名様

ロシアン・トップチーム

ロシアン・トップチームTシャツ（サイン入り）

来日した全員がTシャツバックにサイン。ハンのサインは自分の力でどうぞ。

各3名様

谷川貞治

日本代表レプリカユニフォーム

前号の座談会で『SRS』谷川編集長が着用したユニフォーム。クリーニング済みです。

1名様

フィギュア「モグラハウス」

モグラハウス主催
ジャンボ鶴田基金チャリティー
9月1日ノア甲府
アイメッセ山梨大会チケット
商品他のお問い合わせは
055-262-7799「モグラハウス」まで

4名様

破壊王＆大谷晋二郎フィギュア（限定500個）

三沢光晴＆小川良成フィギュア（限定500個）

各1名様

プロレス・格闘技ショップ「ジェイスター」

各3名様

ブルーザー・ブロディTシャツ

アニメ「タイガーマスク」マスク

ジェイスター

【住所】大阪市都島区東野田町5-9-6

【アクセス】京橋駅下車（大阪環状線・京阪線・東西線・地下鉄鶴見緑地線）

【営業時間】12:00〜20:00

【TEL】06-6926-2888 【URL】http://www.jstar.co.jp/

WWEショップ「Big Blue」

「ストーンコールド」ウエストバック

「トリプルH」最新ビデオ

別冊WWE MAGAZINE "Hulkamania"

「HULKAMA」タンクトップ

「PSYCH WARD」Tシャツ

各1名様

WWEグッズはここで買え！ DVD・ビデオのWWE最新映像が現地同時リリースするなど、ファンにはたまらないお店が浜松町「Big Blue」だ！ 電車賃がなくなるまで買い漁ろう！

Big Blue
【場所】東京都港区浜松町2-5-1石波ビル2F
【アクセス】浜松町駅（JR）
大門駅（地下鉄浅草線・大江戸線）
芝公園駅（地下鉄三田線）
【TEL】03-3435-2883
【URL】http://s-ovation.com/bigblue.html

ichigeki

ichigeki Tシャツ①

ichigeki Tシャツ②

【イグジット提供】 初心者のための武道系サイトichigeki.co.jp にサイバーショップ「ichigeki Maniacs」がオープン。プロレス・格闘技ファンにはおなじみの「新宿ファイター」も入っているこのショップでは、あの「エセ骨法Tシャツ」のオンラインショッピングも可能
【URL】http://www.ichigeki.co.jp

5名様

SUBSCABS

【E-MAIL】subscabs@jp-t.ne.jp
【FAX】03-5371-9313

三島☆ド根性の助「このパワーを見よ!」Tシャツ
¥3,900
SIZE XS & S & M & L & XL

各1名様

K-1武蔵「634爆撃機」Tシャツ
¥3,900
SIZE XS & S & M & L & XL

今月のプロレス・格闘技本

各3名様

ニッポン縦断 プロレスラー列伝
365人のレスラーを出身地別に分けて解説した門馬忠夫氏執念の一冊。総536ページ。¥1800+税

馳浩「国会議員赤裸々白書」
国会議員・馳浩が政治のしくみとニュアンスをわかりやすく講義した一冊。¥1,500+税

アントニオ猪木「非常識」
テリー伊藤、杉本彩、土屋敏男との対談を収録。¥1,400+税

IWA JAPAN

5名様

プロレス ミュージック・ファイル
マット界のミュージックシーンを引っ張るIWAが、ジェット・シン、浅野社長、そしてシン&浅野社長&松野氏による「妖怪人間ベム」などを収録したCDを発売中。¥2,000（税込み）

バンバンビガロ

各1名様

【TEL】03-3460-1145
【URL】http//:www.bambam88.com

花くまゆうさく モンスター工場Tシャツ③

花くまゆうさく モンスター工場Tシャツ①

花くまゆうさく モンスター工場Tシャツ④

花くまゆうさく モンスター工場Tシャツ②

応募要項

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名
③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦「紙プロ」で実現して欲しい企画
⑧好きな&嫌いな選手を挙げて下さい

応募券

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「フジテレビ」係まで
※締切は2002年8月23日（金）当日消印有効

『PRIDE』

DSE
【TEL】「PRIDE」ナビダイヤル03-5775-5852
【URL】http//:www.so-net.ne.jp/pride/

アントニオ猪木 ナンダコノヤローTシャツ
¥4,000

アントニオ猪木「1、2、3、ダーッ!」Tシャツ
¥4,000

ボブチャンチンTシャツ①
¥4,000

ボブチャンチンTシャツ②
¥4,000

セーム・シュルトTシャツ
¥3,800

各1名様

タイガーマスク

各2名様

ORSO
【TEL】04-7131-9677
【URL】http//:www.ki-jin.com 【E-MAIL】store@ki-jin.com

4代目タイガーマスク「PELEA DE TIGRE」
¥3,000
SIZE M & L

4代目タイガーマスク「THE KING OF RING」
¥3,000
SIZE M & L

紙のプロレス RADICAL
No.52
2002年8月25日発行
No.53は
8月下旬発売予定！
※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇
編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（両国でプレデターに殴られたため非番）
編集見習い
武上康夫

スーパーバイザー
吉田豪
スーパー助っ人
スモーノブ
助っ人
中村カタブツ君
片山ボン
ジャイ子
独り電気部
さささぃ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）
デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん（以上TwoThree）
トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）
海老沢勇（Zero graphics）
石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫
試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝
出前
出前持ち入江（TwoThree）
フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所
印刷
図書印刷株式会社
印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188（編集・制作）

新作も登場!
夏はやっぱり『紙プロ』Tシャツ!

★★★この夏に最適! トリムTシャツ!★★★

U.M.F. トリムシャツ〈白×黒〉
¥3,000　S (SOLD OUT) or M or L
残りわずか!

U.M.F. トリムシャツ〈白×青〉
¥3,000　S (SOLD OUT) or M (SOLD OUT) or L

★★★夏の新作! 紙Tシャツ!★★★

『紙のプロレス』・紙Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,000　S or M or L or XL

『紙のプロレス』・紙Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,000　S or M or L or XL

★★★大好評! おなじみのラインナップ★★★

SS Tシャツ半ソデ〈赤〉
¥3,500　S (SOLD OUT) or M or L

SS Tシャツ半ソデ〈紺〉
¥3,500　S (SOLD OUT) or M (SOLD OUT) or L
残りわずか!

紙プロネックピース
¥~~1,200~~→大特価¥600

紙のプロレスRADICAL おもいっきりロゴT
¥~~3,800~~→大特価¥1,900［Sサイズのみ］
残りわずか!

リングおじさんパーカー〈黒〉
¥6,000　M or L (SOLD OUT)

リングおじさんパーカー〈白×黒〉
¥6,000　M or L

★★★DEEP出陣!? 田村を着ろ!★★★

WHO ARE U　Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800　S or M or L

WHO ARE U　Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800　S or M or L

Kapra半袖Tシャツ〈グレー〉
¥3,500　S or M (SOLD OUT) or L (SOLD OUT)
残りわずか!

Kapra半袖Tシャツ〈デニム〉
¥3,500　S or M (SOLD OUT) or L

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥4,500　S or M or L

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ〈黒×グレー〉
¥3,800　S or M or L

※通販完売商品は直販店で探すんだ!

【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237）★東京イサミ（TEL.03-3352-4083）★岐阜・バンザイ商会（TEL.0584-75-4966）★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160）★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551）★グレート・アントニオ（TEL.03-3219-9550）★大阪・バディスラム（TEL.06-6645-1378）★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658）★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646）

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZIN MOOK210
2002 NO.52
灼熱の格闘技大戦、待ったなし!!

平成14年8月25日発行 編集発行人／山口日昇
発売元：（株）ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：（株）ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188

ワニマガジン社 定価：本体838円＋税

9784898296905
ISBN4-89829-690-4
C9476 ¥838E
1929476008381

雑誌 69860―10

印刷：図書印刷株式会社

☎INDEX

＊50音及びアルファベット順

団体名	電話番号	住所
アルシオン	➡03-5745-6101	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24　サンハイツ1004
大阪プロレス	➡06-6636-6672	〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36　フェスティバルゲート2F
怪獣王国	➡03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
キャプチャー	➡044-959-3333	〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1　横山ビルB1
キングダム・エルガイツ	➡0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
栗栖ジム	➡06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
喧嘩プロレス二瓶組	➡044-588-2438	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2　二瓶ビル
国際プロレス	➡0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
修斗コミッション	➡03-5824-1324	〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8　若山ビル201
女子総合格闘技・AX	➡03-5286-7921	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7
新日本プロレス	➡03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
掣圏道	➡03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14　恵比寿スカイハイツ607
全日本女子プロレス	➡03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
全日本プロレス	➡03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
大日本プロレス	➡045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347
ダイプロデュース（大仁田興行）	➡03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3　大北ビル3F
高田道場	➡03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6　ワールドパレス武蔵小山1F-B1
高山堂	➡03-5464-2806	〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア
闘龍門JAPAN	➡078-333-9797	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8　TOWA元町ビル901
トータルワークアウト	➡03-3280-5557	〒108-0073 東京都芝区三田4-7-24　明るいビル
ドリームステージエンターテインメント	➡03-5775-5700	〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4　ルーメリ赤坂103
バトラーツ	➡0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
パンクラス	➡03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
プロレスリング・ノア	➡03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
みちのくプロレス	➡019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
DDT	➡03-3868-9181	〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-7　MORIMOTO FLATS 4F
DEEP 2001事務局	➡052-339-0303	〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
GAEA JAPAN	➡03-5459-3101	〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1 F
GCM COMUNICATION（和術慧舟會、A'GYM、RJW）	➡03-3538-5801	〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10　松楠ビル9F
IWAジャパン	➡03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1　四谷サンハイツ401
Jd'	➡03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4　ランディック赤坂ビル4F
JWP	➡03-5849-2341	〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
K－1 事務局	➡03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
KAIENTAI DOJO	➡043-214-6960	〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
LLPW	➡03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4　ビクセル文京105
NEO	➡044-422-8344	〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
SMACK GIRL実行委員会	➡03-5545-4766	〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5　ノアビル12階
SPWF	➡03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4　クロサキビル
T.A.M.A	➡042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
U-FILE CAMP	➡044-932-0282	〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
UFO	➡03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5　OK白金台ビル7F
WEW	➡03-5958-5651	〒176-0005 東京都豊島区南大塚3-34-4ニューヴァリー2F
WMF	➡03-5362-7364	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-26　テクノ四谷ビル2F
WWS	➡0495-24-6900	〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23　連合305
ZERO-ONE	➡03-5730-3401	〒105-0014 東京都港区芝2-30-11　寿ビル601
ZIPANG	➡03-3312-0328	〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21　ハイネス梅里201

帰ってきた

紙のプレイボ〜イ RADICAL

Oh! Dynamite!

Nudy Rave

100（バスト）MEGA SHOGK

Ryoko

(KAIENTAI-DOJO)

りょうこ■本名・非公開。S57・8・17、東京都渋谷区出身。昨年の12月20日、プエルトリコでのvs境魔夜戦でデビュー。写真右はK-DOJO内ユニット・Nudy RaveのHi69、Ryokoの左はPABLO。"日本のリタ"Ryokoの野望は"デカイ""怖い""男みたい"という女子プロレスラーのイメージを変えること、Nudy Raveを世界一クールなユニットにすることだという。
160cm 47kg B100cm W61cm H86cm

次号でやります! Ryokoをはじめ「K−DOJO」特集

8·8 UFO『LEGEND』東京ドーム

臨戦態勢

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ＋
マリオ・スペーヒー
withブラジリアン・トップチーム写真集
『Brazilizm』
ブックマン社刊　8月10日発売
撮影／石川武志

村上和成
in Rio de janeiro

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇　◎ ジャン斉藤
♠ 松澤チョロ　♥ さささぃ
◆ 堀江ガンツ

8 THU.

UFO■東京・東京ドーム（17:00）★◆◎
新日本■広島・広島グリーンアリーナ（18:30）
大日本■徳島・徳島市立体育館（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）
アルシオン■東京・亀戸サンストリート・マーケット広場（19:00）

9 FRI.

みちのく■神奈川・横須賀臨海公園特設会場（19:00）
大日本■愛知・名古屋市体育館（16:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
LLPW■神奈川・川崎市体育館（19:00）

10 SAT.

新日本■東京・両国国技館（18:00）
闘龍門■愛知・名古屋国際会議場（18:00）
みちのく■宮城・古川市民総合体育館（18:30）
大日本■愛知・豊田市体育館（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）
WEW ■愛知・名古屋国際会議場イベントホール（13:30）

11 SUN.

新日本■東京・両国国技館（16:00）
みちのく■青森・青森県民体育館サブアリーナ（15:00）
闘龍門■東京ディファ有明（12:30）◆
T2P■東京ディファ有明（18:30）◆
大日本■大阪・鶴見緑地花博記念公園水の館附属展示場（13:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
大仁田FMW■長野・長野市運動公園体育館（17:00）
GAEA■名古屋・千種スポーツセンター（13:30）
NEO■東京・板橋区立産文ホール（18:00）

12 MON.

DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）

13 TUE.

みちのく■岩手・花泉町民体育館（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（14:00）

14 WED.

ノア■岩手・北上市和我多目的催事場（18:00）
大日本■広島・広島県立福山産業会館（18:30）
みちのく■山形・米沢市営体育館（19:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
LLPW■新潟・新潟フェイズ（18:30）

15 THU.

ノア■秋田・皆瀬村・とことん山キャンプ場（18:30）
大日本■熊本・姫路みなとドーム（18:30）
みちのく■新潟フェイズ（19:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）
Jd’ ■岡山・和気町体育館（13:00）

16 FRI.

大日本■静岡・アクトシティ浜松展示イベントホール（18:30）
みちのく■山形・酒田市営体育館（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
Jd’ ■岡山・児島競艇場（9:45&13:14）

17 SAT.

みちのく■福島・福島市国体記念体育館サブアリーナ（18:30）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）
全女■埼玉・本川越ペペホール（17:00）
Jd’ ■大阪・NGKスタジオ（18:00）
アルシオン■神奈川・横浜赤レンガ倉庫（17:00）
NEO■東京・北沢タウンホール（18:30）

18 SUN.

みちのく■福島・白河市中央体育館（15:00）
大日本■神奈川・横浜文化体育館（16:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
WWS■埼玉・本庄市民体育館（14:00）
全女■神奈川・JR新川崎小倉陸橋下広場（19:00）
アルシオン■茨城・つくばピカオ（17:00）
Jd’ ■東京・北沢タウンホール（13:00&17:00）

19 MON.

みちのく■秋田・本荘市民体育館（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）

21 WED.

みちのく■青森・大間町北通り総合文化センターウイング（19:00）
闘龍門■北海道・函館市民体育館（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
全女■茨城・笠間市民体育館（18:30）

21 THU.

ZERO−ONE■岐阜・岐阜産業会館（18:30）★♠◆◎♥
みちのく■青森・むつ市民体育館（18:30）
闘龍門■北海道・室蘭市民体育館（18:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）

23 FRI.

ZERO−ONE■愛媛・テクスポート今治（18:30）★
みちのく■青森・はちのへハイツ（18:30）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
WEW■東京・ディファ有明（19:00）
全女■東京・足立区六ッ木小学校前広場（19:00）
アルシオン■神奈川・小田原アリーナ・サブアリーナ（18:30）

24 SAT.

ZERO−ONE■福岡・博多スターレーン（18:00）★
ノア■東京・ディファ有明（18:00）
みちのく■山形・ウエルサンピア山形（18:30）
闘龍門■北海道・札幌テイセンホール（18:00）
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上（17:00）
大阪■大阪・フィスティバルゲート（18:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field （19:00）
全女■山梨・小瀬スポーツ公園体育館（18:30）
LLPW■東京・葛飾区金町地区センター（時間未定）
アルシオン■愛知・名古屋市体育館（16:30）
GAEA■埼玉・本川越ペペホール（17:00）
「Club CONTENDERS02」■東京・新宿リキッドルーム（時間未定）

RADICAL CALENDAR

7 July

25 THU.

みちのく■秋田・山本町民体育館(18:30)
大日本■茨城・北茨城市民体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
K—DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
FWF■千葉・八日市場市・お祭り広場特設リング(18:30)
全女■愛知・岡崎市竜美丘会館(18:30)
LLPW■東京・後楽園ホール(19:00)

26 FRI.

ノア■東京・代々木第二体育館(18:00)
みちのく■岩手・釜石市民体育館(18:30)
闘龍門■鹿児島・出水市総合体育館(18:30)
大日本■東京・八王子市民体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
活き活き塾■東京・北沢タウンホール(18:30)
全女■神奈川・ユニー座間店駐車場特設(19:00)
アルシオン■埼玉・秩父市民体育館(18:30)
NEO■東京・板橋区立産文ホール(19:00)
『AX』■東京・後楽園ホール(18:00)♠

27 SAT.

みちのく■宮城・中田町勤労者体育センター(19:00)
闘龍門■福岡・行橋市民体育館(17:30)
大日本■神奈川・小田原市総合文化体育館・サブアリーナ(18:30)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
K—DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
WEW■神奈川・伊勢崎市食品市場(18:00)
MEGA-FIGHT■東京・D-CLUB(19:00)
アルシオン■岩手・矢本町民体育館(18:30)
全女■茨城・取手市ふれあい道路セントラルグループ敷地(19:00)
修斗■東京・北沢タウンホール(18:00)

28 SUN.

ZERO—ONE■東京・ディファ有明(16:00)♦♥
みちのく■宮城・河北町民体育館(15:00)
闘龍門■山口・海峡メッセ下関(17:00)
大日本■長野ハイパーマート長野若里店屋上(17:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(13:00)
JWP■東京・板橋区立産文ホール(18:00)
パンクラス■東京・後楽園ホール(13:00&18:00)
全女■東京・全女事務所ガレージ(12:00)

29 MON.

K—DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

30 TUE.

ZERO—ONE■大阪・大阪府立体育館第2競技場(18:30)★
みちのく■福島・塩川町民体育館(19:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
IWA■北海道・函館市民体育館(18:30)
全女■静岡・藤枝市駅前南多目的広場(18:30)

31 WED.

ZERO—ONE■東京・後楽園ホール(18:30)★
みちのく■福島・楢葉町民体育館(19:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
IWA■北海道・苫小牧市オーロラ球場特設リング(18:30)

8 August

1 THU.

みちのく■岩手・二戸ショッピングセンターニコア(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
IWA■北海道・寿都町ファミリー体育館(18:30)
K—DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

2 FRI.

ZERO—ONE■大分・大分県立荷揚町体育館(18:30)★
みちのく■岩手・水沢市体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
IWA■北海道・静内神社境内特設リング(18:30)

3 SAT.

新日本■大阪・大阪府立体育館(18:00)
みちのく■青森・弘前市河西体育センター(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
IWA■北海道・札幌テイセンホール(18:00)
K—DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
LLPW■福島・白河市中央体育館(19:00)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)

4 SUN.

新日本■大阪・大阪府立体育館(16:00)
ZERO—ONE■グランメッセ熊本(16:00)★♠♥
みちのく■秋田・秋田市立体育館(14:00)
大日本■東京・後楽園ホール(12:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
SMACK GIRL■東京ディファ有明(18:30)♠
大阪■大阪・フィスティバルゲート(14:00)
全女■東京・立川競輪場横駐車場(19:00)
NEO■東京・板橋区立産文ホール(15:00)
J—DO■東京・Zepp Tokyo(19:00)

5 MON.

新日本■香川・高松市総合体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)

6 TUE.

大日本■山形・酒田市営体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)
K—DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

7 WED.

新日本■福岡・福岡国際センター(18:30)
大日本■長野・佐久市総合体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(17:00)

8 THU.

UFO■東京・東京ド
新日本■広島・広島
大日本■徳島・徳島
DDT■千葉・船橋ら
K—DOJO ■千葉・
アルシオン■東京・

9 FRI.

みちのく■神奈川・
大日本■愛知・名古
DDT■千葉・船橋ら
LLPW■神奈川・川

10 SAT.

新日本■東京・両国
闘龍門■愛知・名古
みちのく■宮城・古川
大日本■愛知・豊田
DDT■千葉・船橋ら
大阪■大阪・フィステ
K—DOJO ■千葉・
WEW ■愛知・名古

11 SUN.

新日本■東京・両国
みちのく■青森・青森
闘龍門■東京ディファ
T2P■東京ディファ有
大日本■大阪・鶴見
DDT■千葉・船橋ら
大仁田FMW■長野・
GAEA■名古屋・千種
NEO■東京・板橋区

12 MON.

DDT■千葉・船橋らら

13 TUE.

みちのく■岩手・花泉
DDT■千葉・船橋らら
K—DOJO ■千葉・B
大阪■大阪・フィスティ

14 WED.

ノア■岩手・北上市和
大日本■広島・広島県
みちのく■山形・米沢
DDT■千葉・船橋らら
LLPW■新潟・新潟フ

15 THU.

ノア■秋田・皆瀬村・と
大日本■熊本・姫路み
みちのく■新潟フェイ
DDT■千葉・船橋らら
K—DOJO ■千葉・Bu
Jd' ■岡山・和気町体

16 FRI.

大日本■静岡・アクト